

令和6年度 角田市市民意識調査業務委託

# 市民意識調査結果報告書

令和6年12月

角 田 市



## 目 次

1. 調査概要 .....	1
(1) 目的 .....	1
(2) 調査対象 .....	1
(3) 集計結果の見方 .....	2
2. 調査結果 .....	3
(1) 回答者の属性 .....	3
(2) 角田市での暮らしについて .....	5
①暮らしやすさ .....	5
②定住意向と住み続けたい・住み続けたくない理由 .....	7
③角田市民であることの誇り .....	18
(3) 角田市の取り組みについて .....	20
①重点プロジェクト .....	20
②行政サービス（施策） .....	22
③地域における相談できる相手や場所 .....	37
(4) これからのまちづくりの課題と方向性について .....	42
①人口が減少した際の課題 .....	42
②人口を減少させないための施策 .....	47
(5) デジタル化の推進について .....	52
(6) 男女共同参画の推進について .....	61
①男女の地位 .....	61
②男女の役割 .....	70
(7) スポーツの推進について .....	75
①最近1年間における週1回以上の運動 .....	75
②過去1年間における1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」 .....	80
(8) 幸福度・満足度について .....	86
①幸福度・満足度 .....	86
②身近なまわりの人 .....	95
③地域の生活環境 .....	97
④地域の間人関係 .....	116
⑤自分らしい生き方 .....	119
(9) 自由記入 .....	126



## 1. 調査概要

### (1) 目的

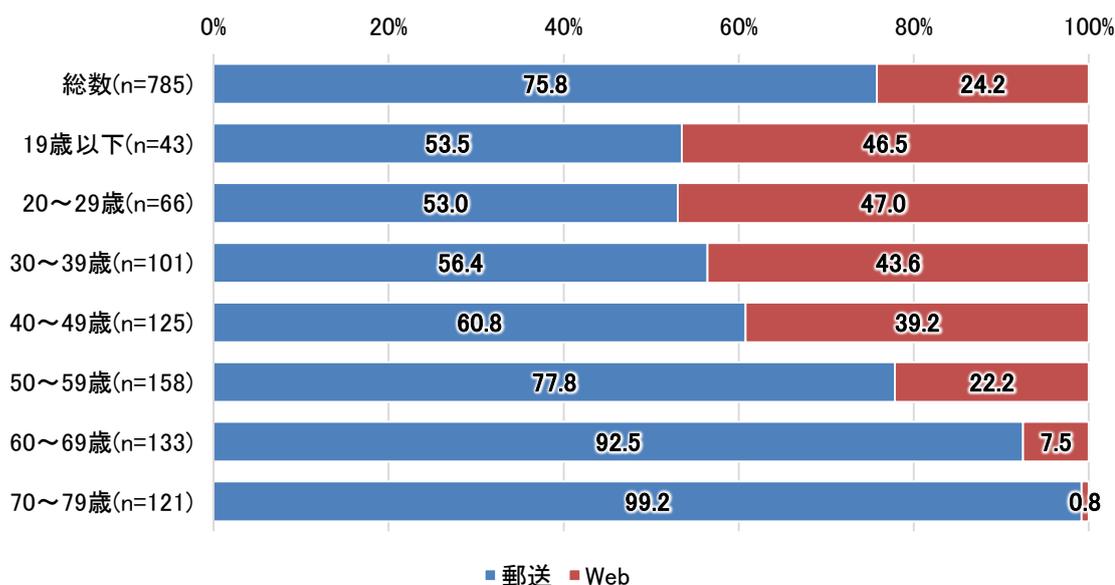
本調査は、角田市第6次長期総合計画に位置づけた各施策に対する現状の「満足度」の把握、市民の生活や市政に対する意見・要望を分析することを目的として実施した。

### (2) 調査対象

16歳以上の市民 2,500人（住民基本台帳より無作為抽出）

調査対象（配布数）	16歳以上の市民 2,500人（住民基本台帳より無作為に抽出）
調査期間	令和6年8月27日～9月9日
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収またはWebフォームへの入力
回収結果	回収票 785票（郵送：595、Web：190）、回収率 31.4%

【年齢別の郵送とWebの回答割合】



### (3) 集計結果の見方

- ・ n (number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える。
- ・ 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・ 調査数 (n 値) が少数のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・ 本調査と比較する「前回調査【R2】」の概要は下記のとおりであり、比較グラフなどにおいては、本調査結果を「今回調査【R6】」としている。

#### 参考：前回調査【R2】の概要

##### 1. 調査の目的

市民のまちづくりに関する意識・ニーズ等を広く把握し、角田市第6次長期総合計画の策定に向けた基礎資料とすること。

##### 2. 調査方法

調査対象（配布数）	16歳以上の市民 3,000人 （住民基本台帳より無作為に抽出）
調査期間	令和2年5月22日～令和2年6月8日
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
回収結果	回収票 1,230票（回収率 41.0%）

## 2. 調査結果

### (1) 回答者の属性

属性		回答数	回答率
総数		785	100.0%
問1 性別	男性	344	43.8%
	女性	415	52.9%
	回答しない	22	2.8%
	無回答	4	0.5%
問2 年齢	19歳以下	43	5.5%
	20～29歳	66	8.4%
	30～39歳	101	12.9%
	40～49歳	125	15.9%
	50～59歳	158	20.1%
	60～69歳	133	16.9%
	70～79歳	121	15.4%
	80歳以上	33	4.2%
	無回答	5	0.6%
問3 居住地区	角田地区	317	40.4%
	横倉地区	82	10.4%
	小田地区	18	2.3%
	枝野地区	53	6.8%
	藤尾地区	67	8.5%
	東根地区	24	3.1%
	桜地区	85	10.8%
	北郷地区	87	11.1%
	西根地区	48	6.1%
	無回答	4	0.5%

属性		回答数	回答率
問4 家族構成	単身世帯	75	9.6%
	夫婦のみの世帯	157	20.0%
	親と子どもの二世帯世帯	391	49.8%
	親・子・孫の三世帯世帯	113	14.4%
	その他	43	5.5%
	無回答	6	0.8%
問5 職業	農林業	23	2.9%
	商工自営業	26	3.3%
	会社員	258	32.9%
	団体職員・公務員	56	7.1%
	パート・アルバイト	92	11.7%
	専業主婦(主夫)	82	10.4%
	無職	163	20.8%
	学生	48	6.1%
	その他	33	4.2%
	無回答	4	0.5%
	問6 居住歴	2年未満	25
2年～5年		38	4.8%
6年～10年		43	5.5%
11年～20年未満		83	10.6%
20年以上		279	35.5%
生まれてからずっと		297	37.8%
その他		17	2.2%
無回答		3	0.4%

#### 【その他の内容】

##### 問4

「夫婦のみの世帯」と「親と子どもの二世帯世帯」の共同生活	父親＋夫婦世帯
4世代	独身
兄と別	ともだち4人
一世帯	パートナーとの二人暮らし
親、子、嫁、3人	夫婦、義妹
親・兄弟	夫婦、息子、3人家族
親と兄弟4人と私のみ世帯	夫婦と子供独身(女子)

親と子	娘と夫婦
親と子のみ	義両親と夫婦
親との世帯	居候なので。
義祖父、夫婦、義弟	妻
高齢者と長男夫婦（子供の当たる？）子供はいません	夫婦、子供達、叔母と
子のみの世帯	父と母と犬と一緒に住んでいます
施設入所中（本人）	母と子
曾祖母、祖父母、親、子、四世代世帯	母子家庭

問5

派遣社員	自営業	派遣
80歳以上	自営の手伝い	美容師
FACTORY WORKER	準職員	法人役員
介護	障害者施設	ワークサポート作業員
介護職	障がい者施設に通所。	会社役員
会社役員	造園業	学校職員
期間契約社員	土木	建設業
契約職員	年金	派遣社員
検針員	年金生活者	法人職員

問6

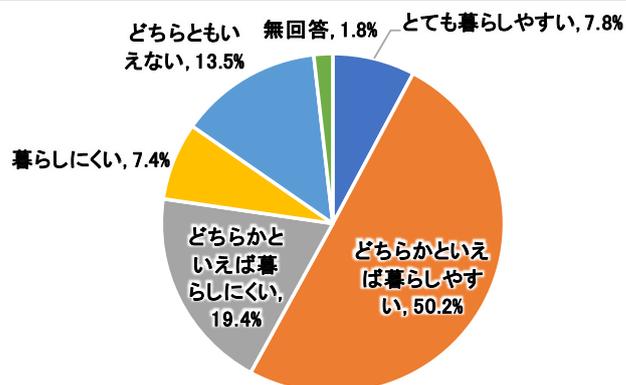
30歳～50歳迄別地域に居住。	1かげつ
18歳まで居住13年間他県その後Uターン	40年
20代後半に一時市外に出ているが、その後実家に戻っている。	40年以上
生まれてから～27年、3年離れ戻って来ました。	50年
生まれてから19年いて、帰って来てから10年位。	56年
学生の時他県へ。	5ヶ月
角田に嫁いで50年	
結婚してから50年	

## (2) 角田市での暮らしについて

### ①暮らしやすさ

問7 角田市での暮らしについて、どのように感じていますか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

#### 【暮らしやすさ】



(n=785)

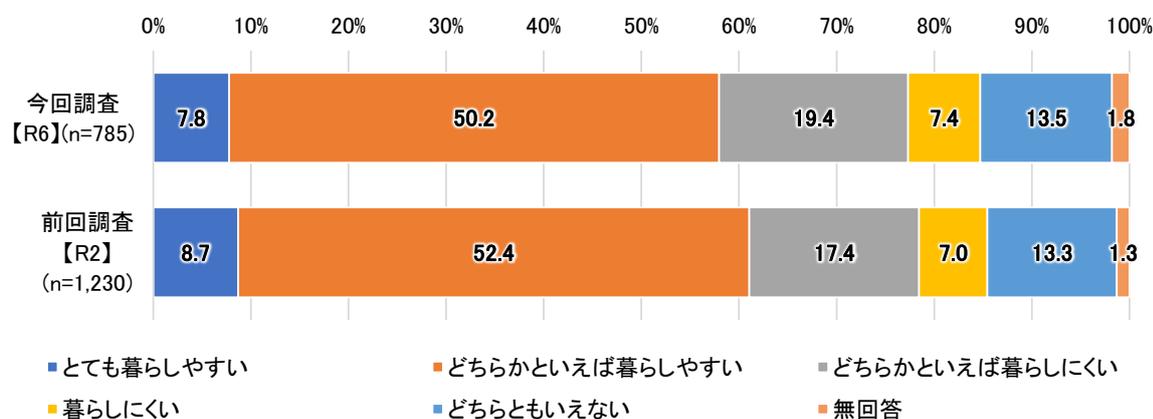
「どちらかといえば暮らしやすい」50.2%、「どちらかといえば暮らしにくい」19.4%、「どちらともいえない」13.5%の順となっている。前回調査（R2）と今回調査（R6）には大きな差異はみられない。

居住地域別にみると『小田地区』で「とても暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた《暮らしやすい》が66.7%と最も多い一方で『東根地区』では「暮らしにくい」と「どちらかといえば暮らしにくい」を合わせた《暮らしにくい》が31.7%と最も多い。

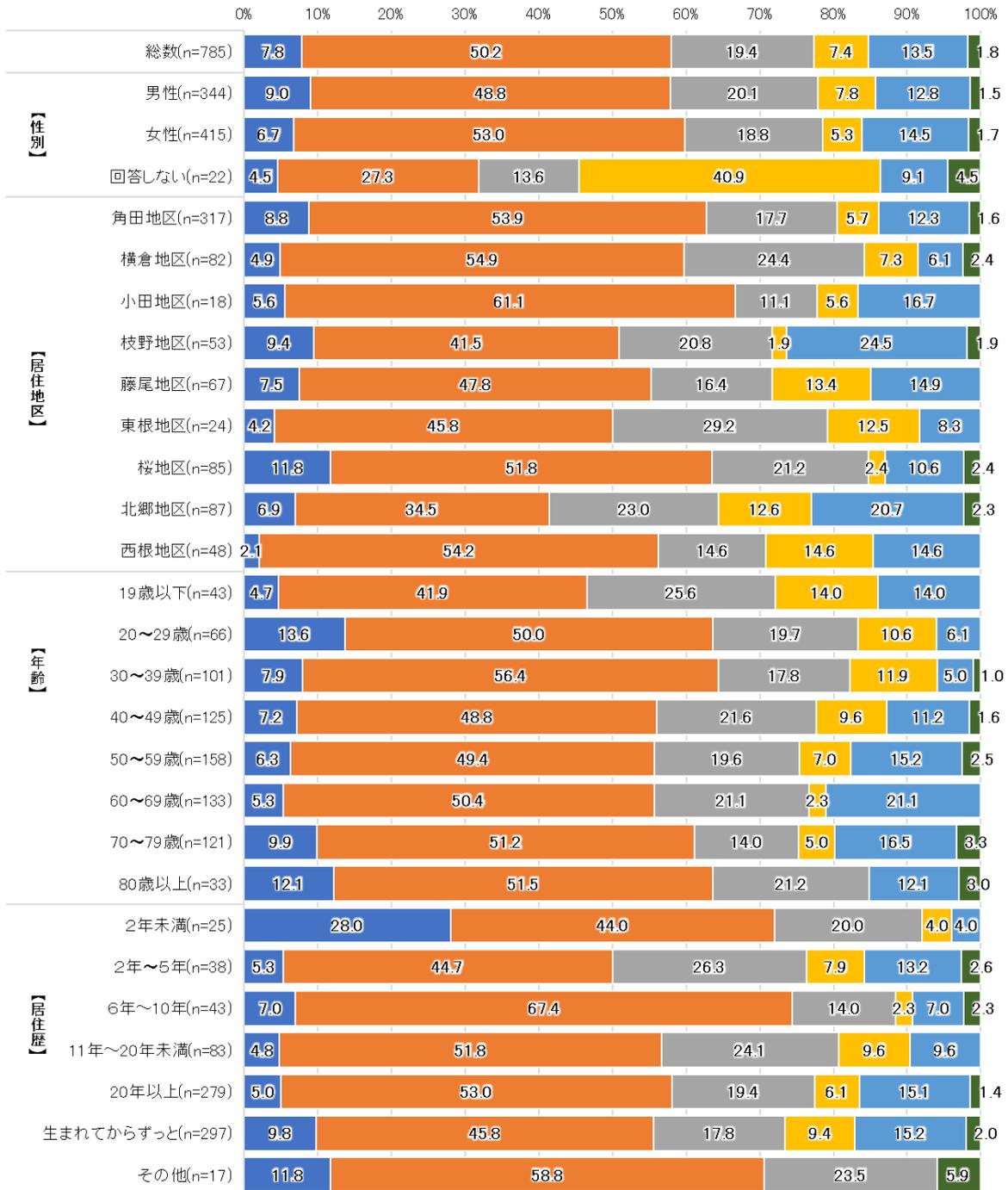
年齢別にみると『20～29歳』、『30～39歳』、『80歳以上』で《暮らしやすい》が65%弱と多い一方で『19歳以下』では《暮らしにくい》が39.6%と最も多い。

居住歴別にみると『2年未満』、『6～8年』、『その他』で《暮らしやすい》が70%を超え、多い一方で『2～5年』、『11～20年未満』では《暮らしにくい》が30%を超え、多い。

#### 【暮らしやすさ/前回調査との比較】



## 【暮らしやすさ/属性別】

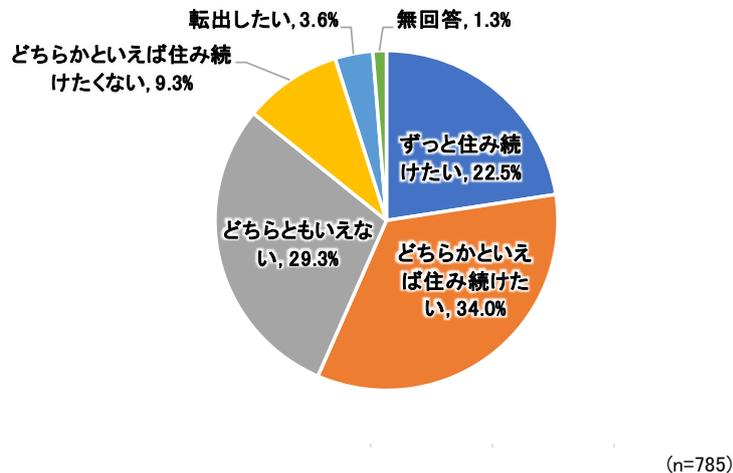


- とても暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしにくい
- 暮らしにくい
- どちらともいえない
- 無回答

## ②定住意向と住み続けたい・住み続けたくない理由

問8 これからも角田市に住み続けたいと考えていますか。当てはまる番号 1 つに ○印をつけてください。

### 【定住意向】



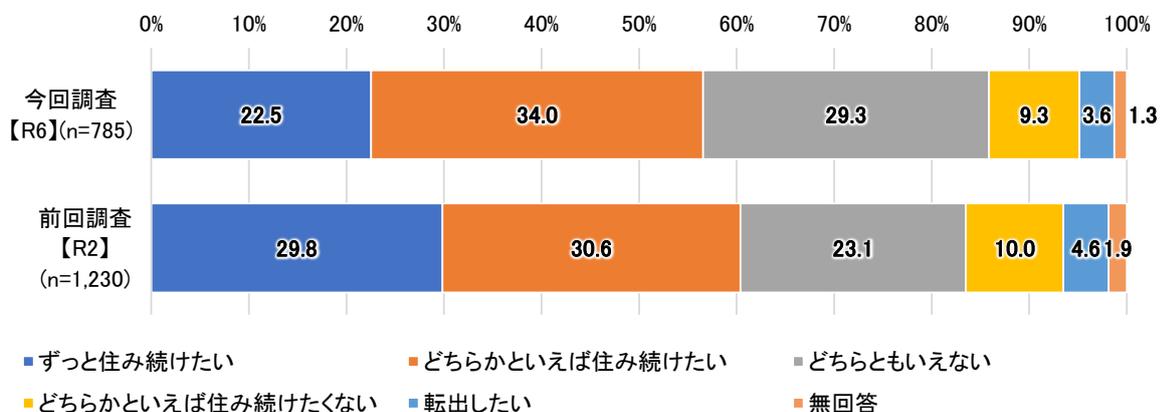
「どちらかといえば住み続けたい」34.0%、「どちらともいえない」29.3%、「ずっと住み続けたい」22.5%の順となっている。前回調査（R2）と今回調査（R6）には大きな差異はみられない。

居住地域別にみると『桜地区』で「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》が66.8%と最も多い一方で『横倉地区』では「転出したい」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》が46.4%と最も多い。

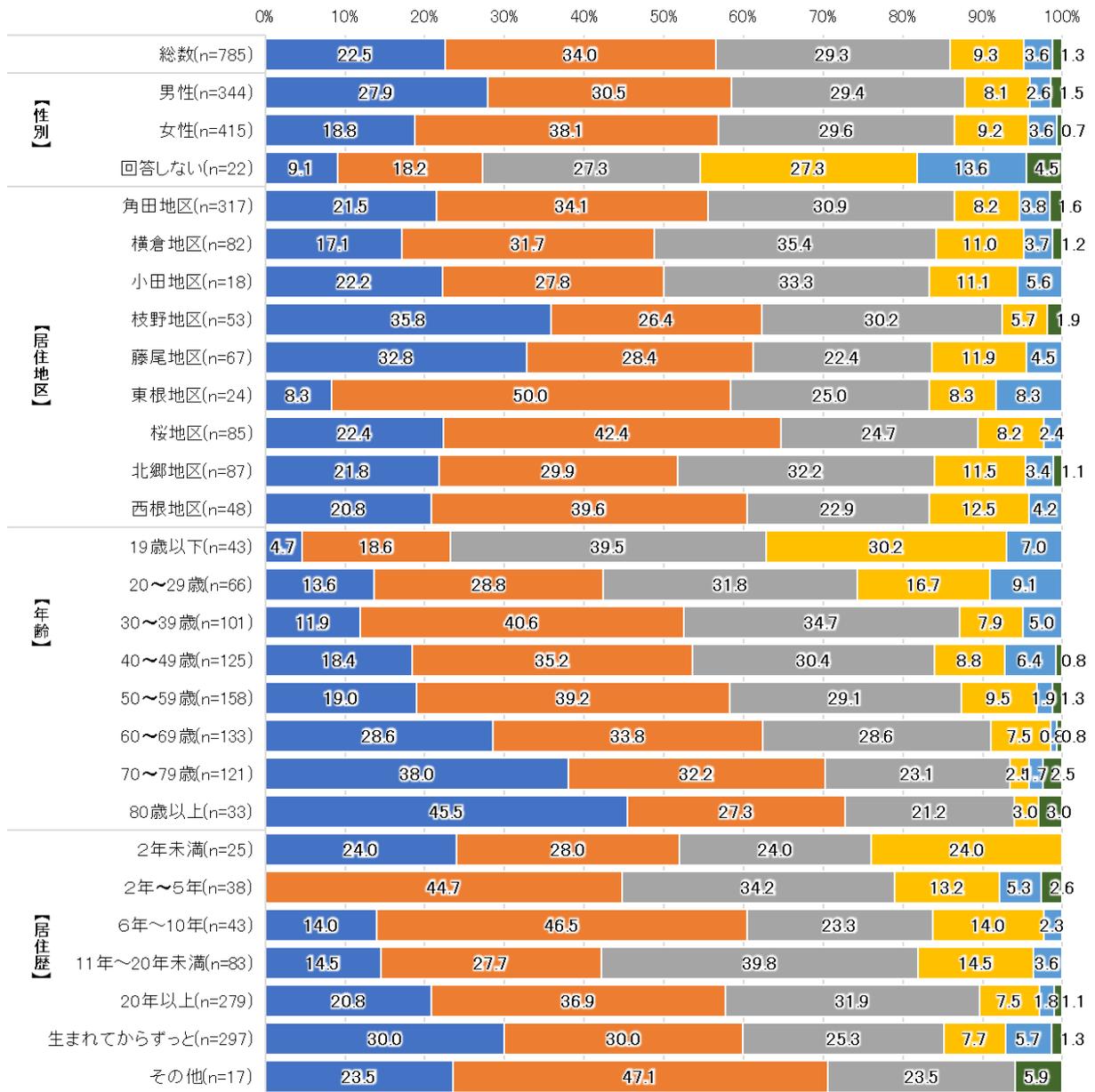
年齢別にみると年齢が高くなるにつれ《住み続けたい》が多くなり、《住み続けたくない》が少なくなっている。

居住歴別にみると『その他』で《住み続けたい》が70.6%で最も多い一方で『2年未満』では《住み続けたくない》が24.0%と最も多い。

### 【定住意向/前回調査との比較】

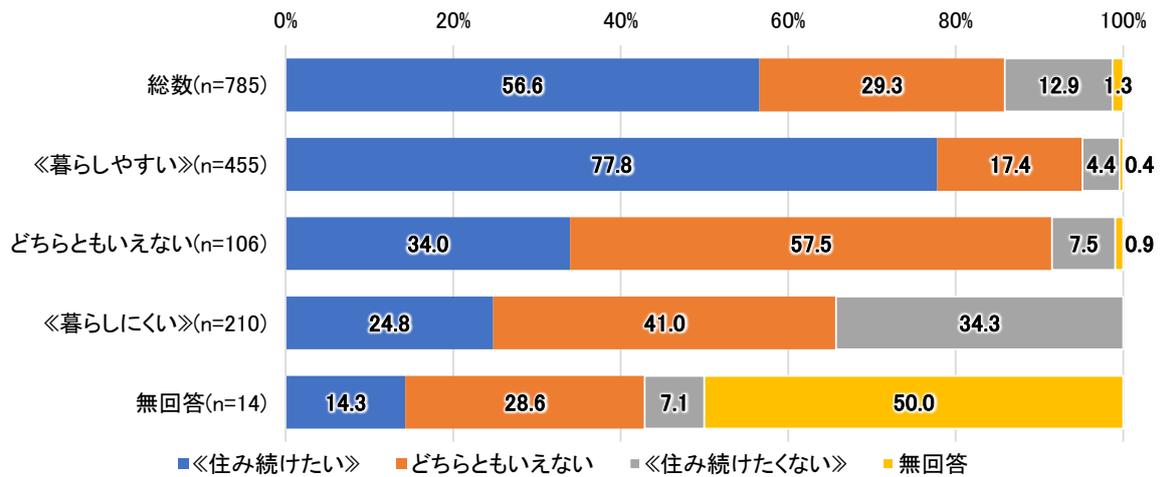


## 【定住意向/属性別】



- ずっと住み続けたい
- どちらかといえば住み続けたい
- どちらともいえない
- どちらかといえば住み続けたくない
- 転出したい
- 無回答

【定住意向×暮らしやすさ】



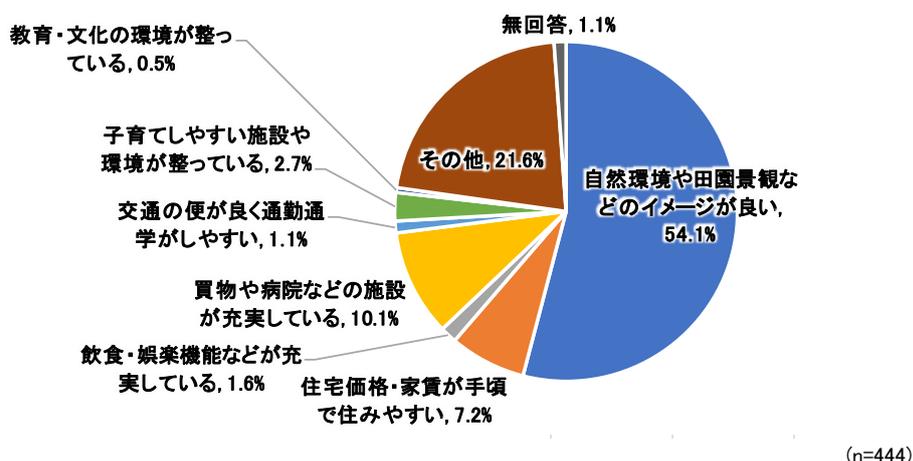
問7の暮らしやすさとの関係を見ると、《暮らしやすい》と回答した人の77.8%、「どちらともいえない」と回答した人の34.0%、《暮らしにくい》と回答した人の24.8%が《住み続けたい》と回答している。

逆に《暮らしにくい》と回答した人の34.3%が《住み続けたくない》となっており、《暮らしやすい》の4.4%や「どちらともいえない」の7.5%を大きく上回っている。

(問8で「1 ずっと住みたい」または「2 どちらかといえば住みたい」を選択した方にお聞きします。)

問8-1 「住みたい」理由として最も当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【住みたい理由】



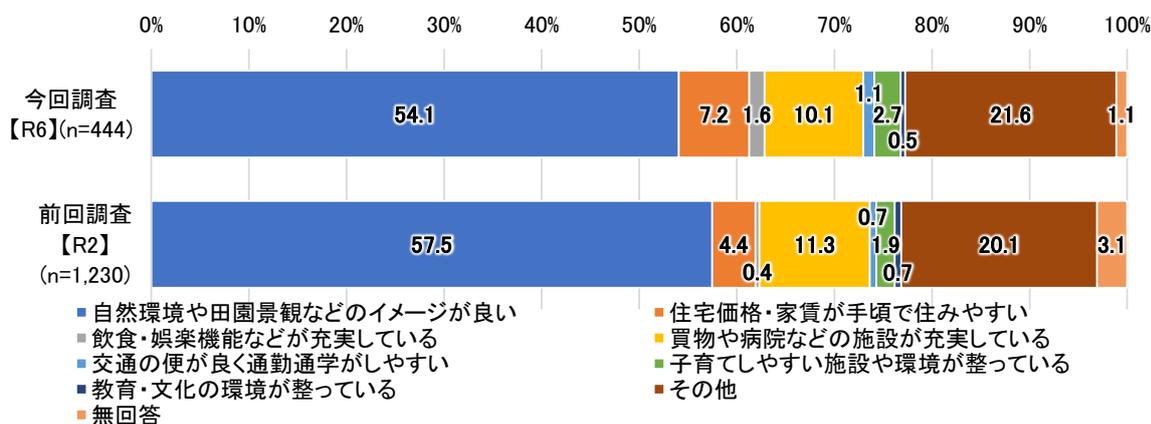
「自然環境や田園景観などのイメージが良い」54.1%、「その他」21.6%、「買物や病院などの施設が充実している」10.1%の順となっている。前回調査（R2）と今回調査（R6）には大きな差異はみられない。

居住地域別にみると『小田地区』、『枝野地区』、『北郷地区』で「自然環境や田園景観などのイメージが良い」が70%を超え多い一方で、『角田地区』、『藤尾地区』で43%台と低い傾向にある。

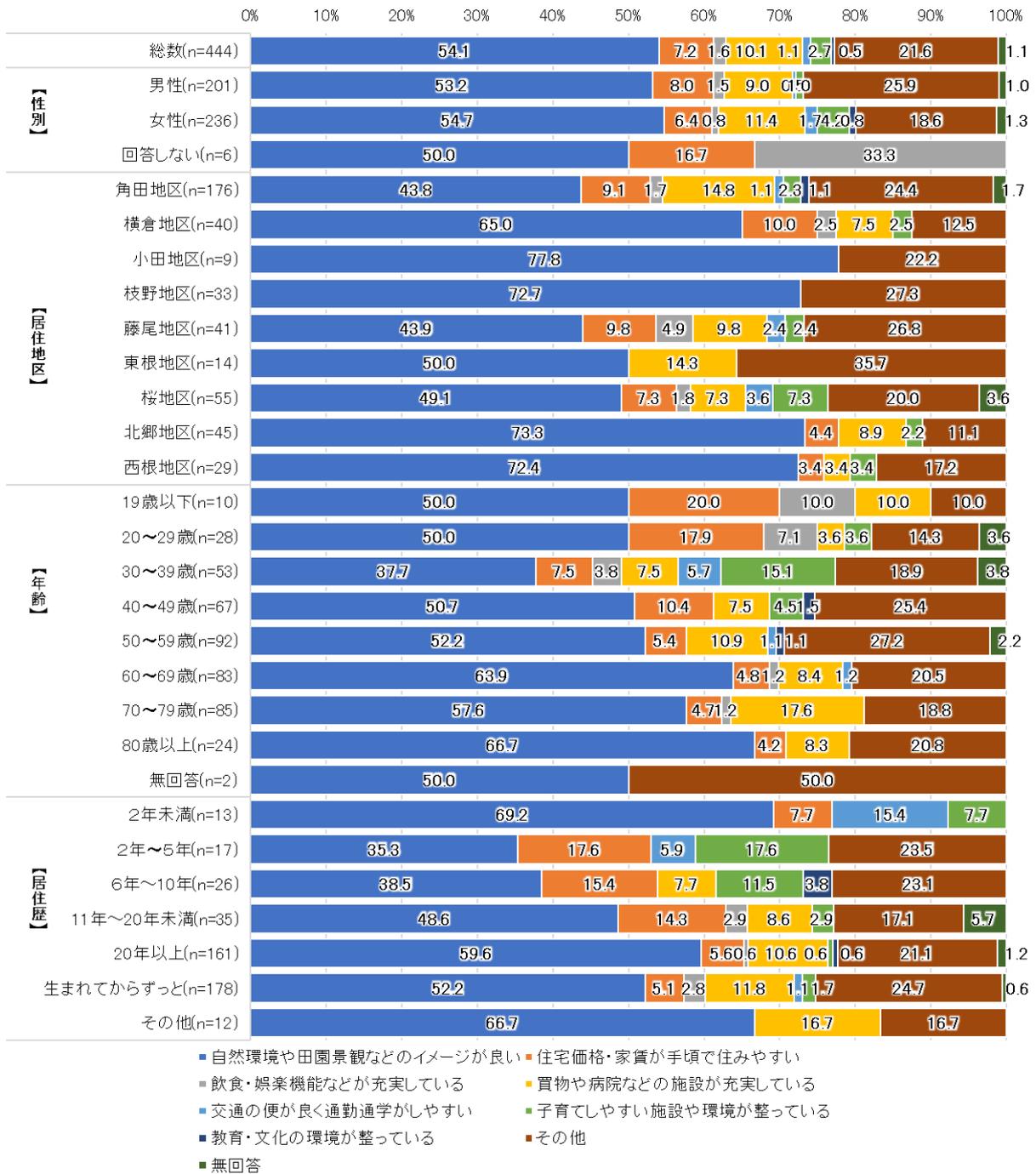
年齢別にみると『19歳以下』、『20～29歳』では「住宅価格・家賃が手頃で住みやすい」が2番目に多い理由となっており、『30～39歳』では「自然環境や田園景観などのイメージが良い」が37.7%と最も低く、「子育てしやすい施設や環境が整っている」が15.1%と最も多い。

居住歴別にみると『2年～5年』、『6年～10年』では「自然環境や田園景観などのイメージが良い」が40%以下と低い一方で「住宅価格・家賃が手頃で住みやすい」が15%以上と比較的が多い。

【住みたい理由/前回調査との比較】



### 【住み続けたい理由/属性別】



## 【住み続けたい理由/その他の内容】

91 件の意見があり概要は以下の通り。

### 1. 地元への愛着:

- 祖父母が住んでいた場所、お墓がある
- 生まれ育った所、親がいる
- 地元だから、愛着がある
- ずっと住んでいるから、慣れている
- 先祖代々の土地やお墓を守るため
- 地域の間人間関係や住宅環境が良い

### 2. 持ち家・自宅:

- 持ち家がある、自宅がある
- 家を建てたから、家のローンが終わったから
- 引越しが面倒だから、他に住む理由がない

### 3. 生活環境:

- 物価や治安が良い
- ごみごみしてなくてゆったりしている
- 住民が穏やかだ
- 平穏な生活、静かで安全
- 必要最低限の施設が整っている

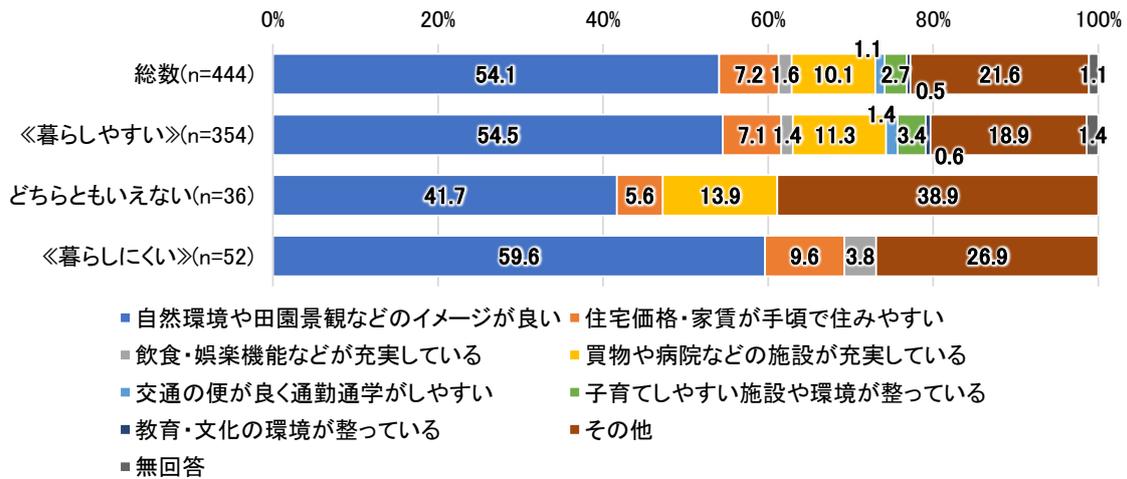
### 4. 自然・季節:

- 季節の移り変わりを感ぜられる
- 旬の野菜、山菜、果物を味わえる
- 自然災害が比較的に少ない

### 5. その他:

- いまさら転居はしたくない
- 特に不便を感じない
- 仕事場が近い
- 農家なので一生離れない
- 友人や知り合いが多いので安心

### 【住みたい理由×暮らしやすさ】

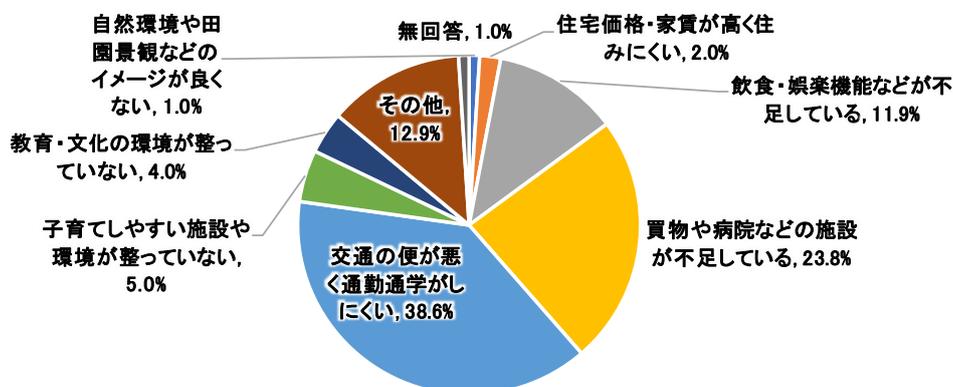


問7との関連で見ると、感じている暮らしやすさに関係なく「自然環境や田園景観などのイメージが良い」が他と比べて割合も非常に高く最上位となっています。「その他」を除くと2位、3位は、《暮らしやすい》と「どちらともいえない」では「買物や病院などの施設が充実している」、「住宅価格・家賃が手頃で住みやすい」の順に多くなっているのに対して、《暮らしにくい》では「住宅価格・家賃が手頃で住みやすい」、「飲食・娯楽機能などが充実している」の順になっている。

(問8で「4 どちらかといえば住み続けたくない」または「5 転出したい」を選択した方にお聞きします。)

問8-2 「住み続けたくない」理由として最も当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【住み続けたくない理由】



(n=101)

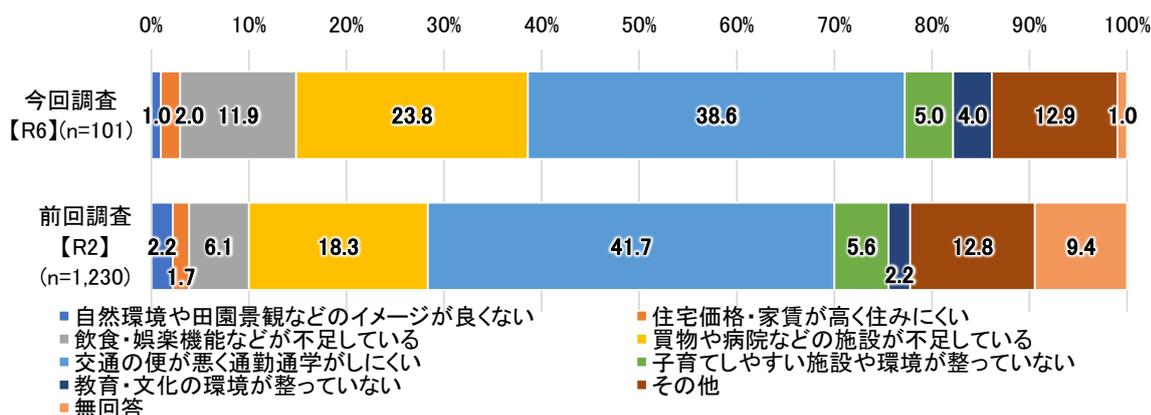
「交通の便が悪く通勤通学がしにくい」38.6%、「買物や病院などの施設が不足している」23.8%、「飲食・娯楽機能などが不足している」11.9%の順となっている。前回調査(R2)と今回調査(R6)には大きな差異はみられない。

居住地域別にみると『小田地区』では「買物や病院などの施設が不足している」が66.7%と最も多く、『枝野地区』では「交通の便が悪く通勤通学がしにくい」が66.7%と最も多い。

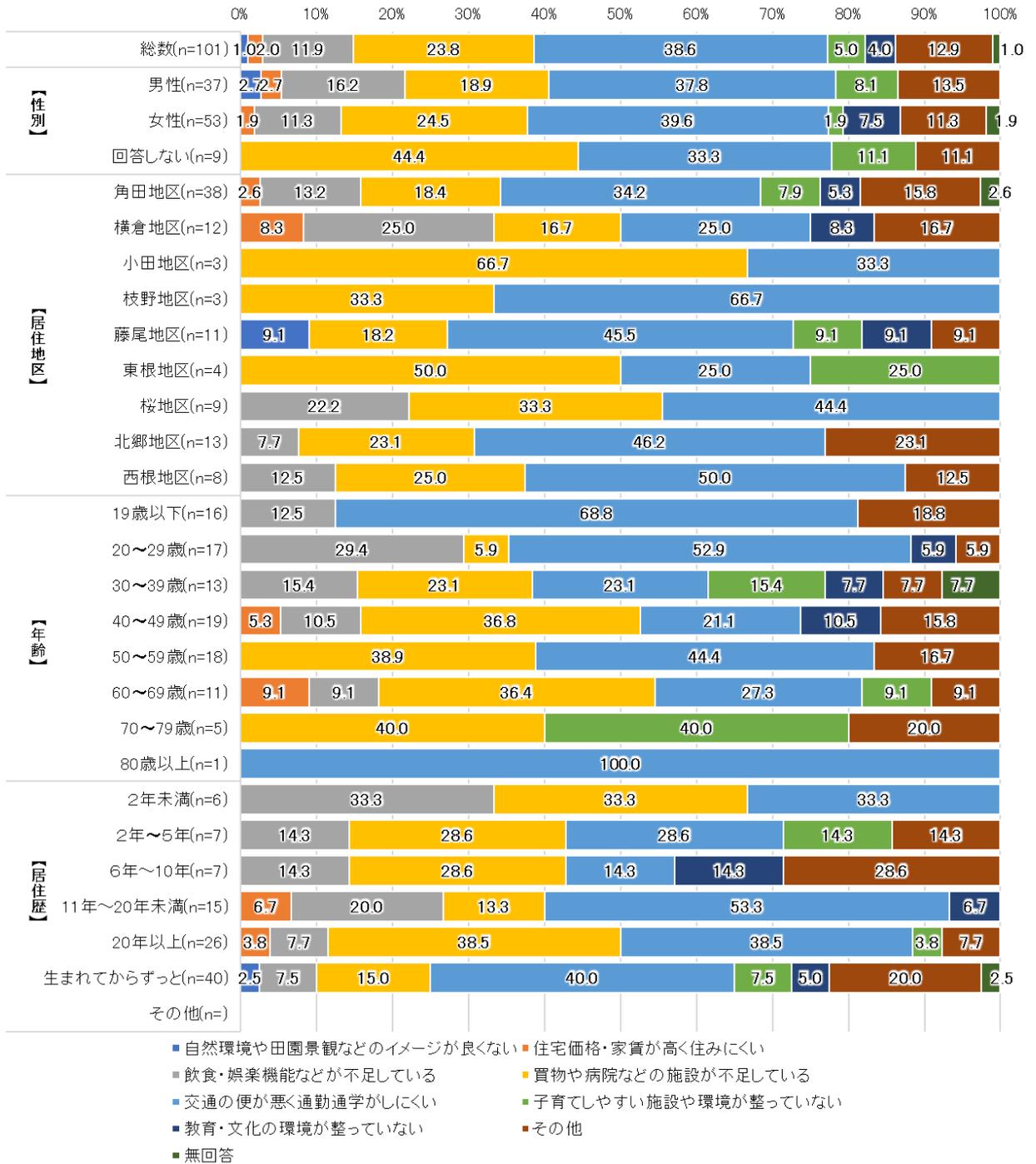
年齢別にみると『19歳以下』、『20～29歳』、『80歳以上』では「交通の便が悪く通勤通学がしにくい」の割合が多く、『40～49歳』、『50～59歳』、『60～69歳』では「買物や病院などの施設が不足している」が多い。また『20～29歳』においては「飲食・娯楽機能などが不足している」の割合も多い。

居住歴別にみると『11～20年未満』では「交通の便が悪く通勤通学がしにくい」が53.3%、『20年以上』では「買物や病院などの施設が不足している」が38.5%、『2年未満』では「飲食・娯楽機能などが不足している」が33.3%と多い。

【住み続けたくない理由/前回調査との比較】



### 【住み続けたくない理由/属性別】



### 【住み続けたくない理由/その他の内容】

以下の13件の意見があった。

何も進化、変化のない老人主体の市。

小・中・高とほぼ人間関係が変わらない中で、いじめられたことがあるから。

全部

人間性が悪い。

この土地は地盤沈下のため。

都会暮らしがしたいから。

未来が見えない。

地域のしがらみが多い

人間関係

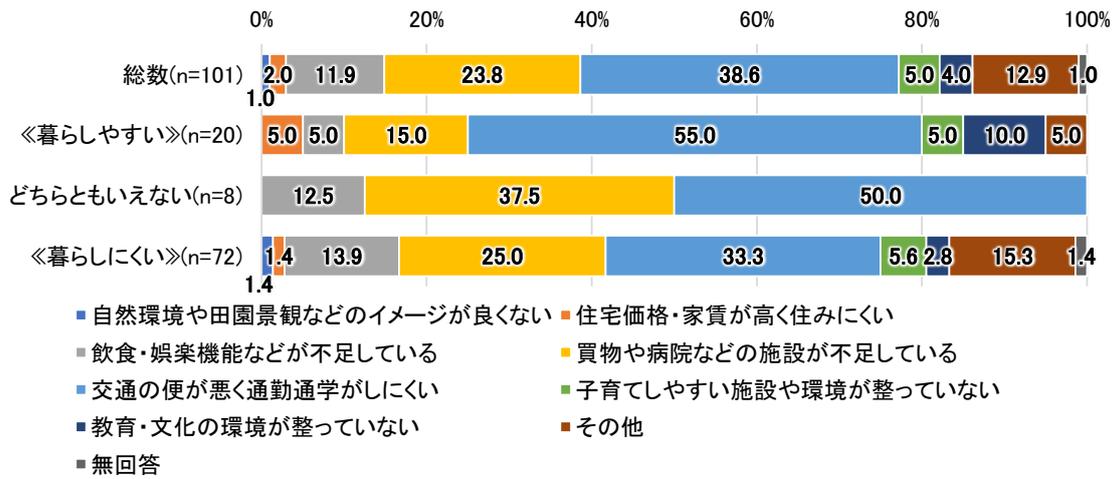
会社勤めのために住んでいるので退職後は地元に戻りたい

阿武隈急行線と東北本線の情報共有が全くなされていない。どちらかの遅れで予定してた時間に乗れなくなるのはありえない。

交通の便が悪い。娯楽施設が少ない。小児科、産婦人科がない。子育てしやすい環境が整っていない。

パートナーシップ制度がない

### 【住み続けたくない理由×暮らしやすさ】

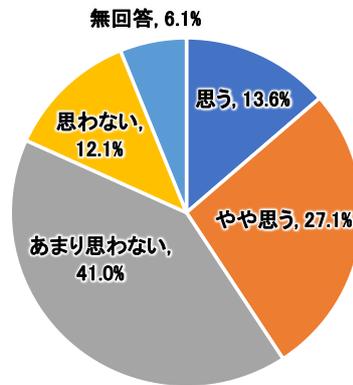


問7との関連でみると、感じている暮らしやすさに関係なく「交通の便が悪く通勤通学がしにくい」が他と比べて割合も非常に高く最上位となっており、第2位も「買物や病院などの施設が不足している」が共通している。第3位（「その他」を除く）は、《暮らしやすい》では「教育・文化の環境が整っていない」、「どちらともいえない」と《暮らしにくい》では「飲食娯楽機能などが不足している」となっている。

### ③角田市民であることの誇り

問9 あなたは角田市民であることを誇りに思いますか。当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【角田市民であることの誇り】



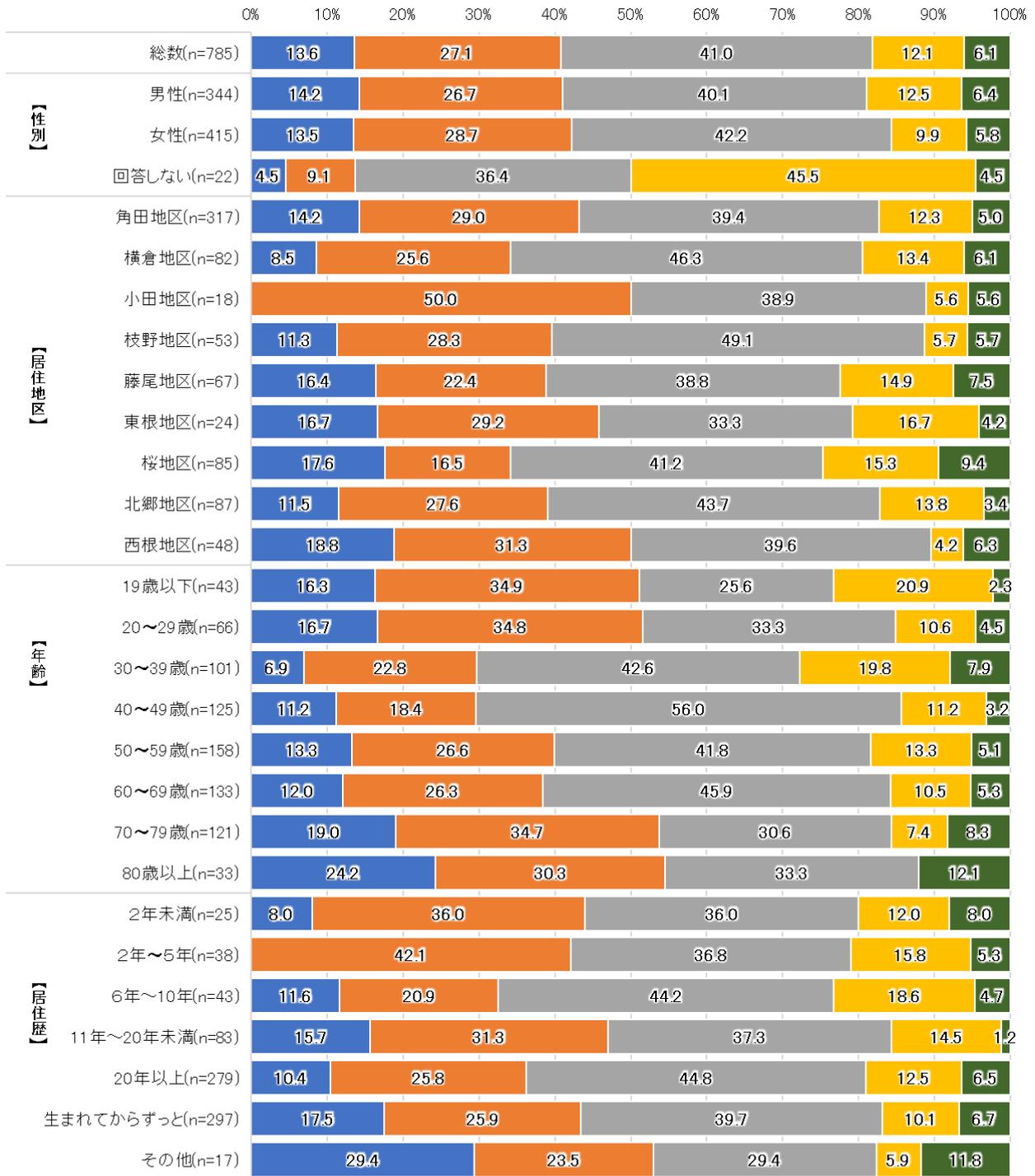
「あまり思わない」41.0%、「やや思う」27.1%、「思う」13.6%の順となっている。

居住地域別にみると『小田地区』では「思う」と「やや思う」を合わせた《思う》が50.0%と最も多い一方で『横倉地区』では「思わない」と「あまり思わない」を合わせた《思わない》が59.7%と最も多い。

年齢別にみると『80歳以上』では《思う》が54.5%と最も多い一方で『40～49歳』では《思わない》が67.2%と最も多い。

居住歴別にみると『その他』では《思う》が52.9%と最も多い一方で『6年～10年』では《思わない》が62.8%と最も多い。

### 【角田市民であることの誇り/属性別】



■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答

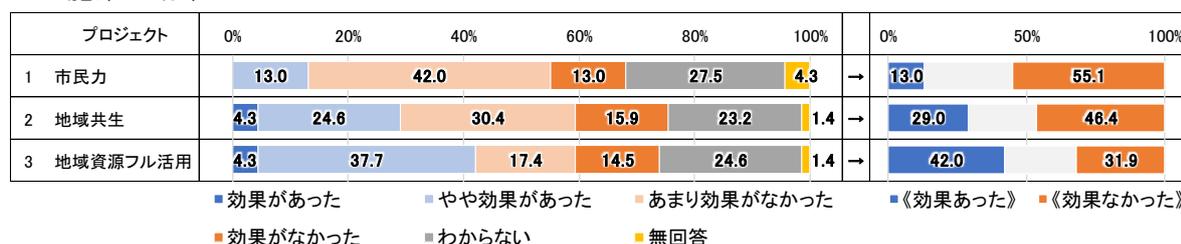
### (3) 角田市の取り組みについて

#### ①重点プロジェクト

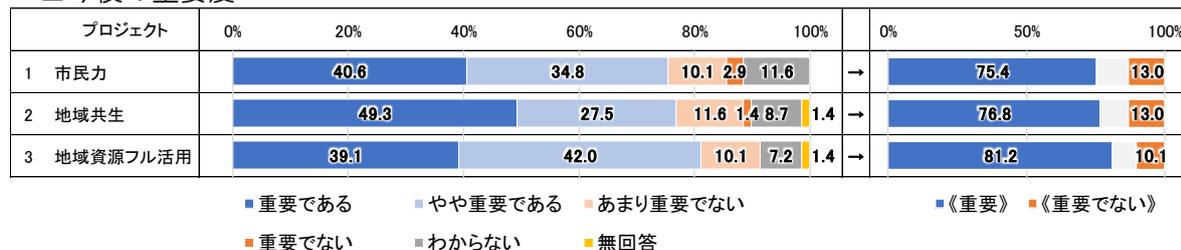
問 10 本市では、目標とする都市像の実現に向けて、3つの重点プロジェクトを戦略的に進めてきました。この重点プロジェクトの「施策の効果」と「今後の重要度」について、あなたの考えに最も近い選択肢の番号にそれぞれ**1つずつ〇印をつけてください**。

#### 【重点プロジェクトの「施策の効果」「今後の重要度」】

##### ■施策の効果



##### ■今後の重要度



重点プロジェクトの施策の効果について、「効果があった」と「やや効果があった」を合わせた《効果あった》は『3 地域資源フル活用』で42.0%と最も多い一方、「効果がなかった」と「あまり効果がなかった」を合わせた《効果なかった》は『1 市民力』で55.1%と最も多くなっている。

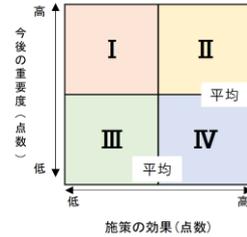
重点プロジェクトの今後の重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は『3 地域資源フル活用』で81.2%と最も多い。「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は10~13%と大きな差異はない。

「施策の効果」と「今後の重要度」の回答を下式により点数化する

$$\text{施策の効果(点数)} = \frac{(\text{効果があった} \times 2) + (\text{やや効果があった} \times 1) + (\text{あまり効果がなかった} \times -1) + (\text{効果がなかった} \times -2) + (\text{わからない} \times 0)}{\text{回答総件数}} \times 50$$

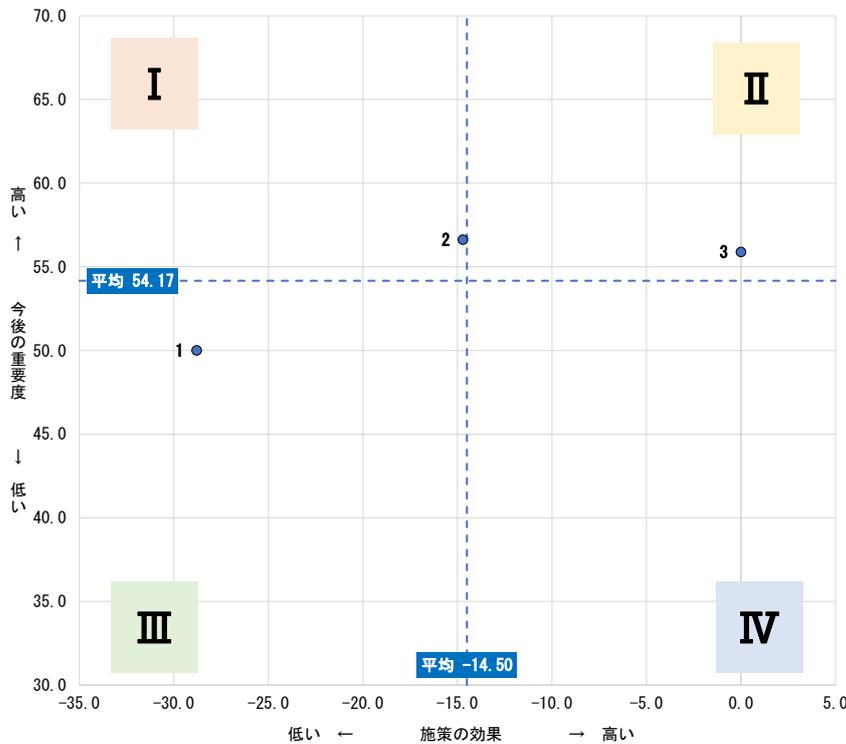
$$\text{今後の重要度(点数)} = \frac{(\text{重要である} \times 2) + (\text{やや重要である} \times 1) + (\text{あまり重要でない} \times -1) + (\text{重要でない} \times -2) + (\text{わからない} \times 0)}{\text{回答総件数}} \times 50$$

「施策の効果（点数）」と「今後の重要度（点数）」のグラフ（散布図）は、それぞれの平均値を境に右図のように4つの領域に分類でき、例えば施策の効果が低く、重要度が高いI領域に位置づけられた施策は優先的な対応が必要なプロジェクトとみることができる。



I領域：施策の効果が低く、重要度が高い⇒優先的な対応が必要  
 II領域：施策の効果が低く、重要度も高い⇒重点的な対応の継続が必要  
 III領域：施策の効果が低く、重要度も低い⇒優先度は低いものの対応が必要  
 IV領域：施策の効果が低く、重要度は低い⇒現在の対応の維持が必要

【重点プロジェクトの「施策の効果（点数）」×「今後の重要度（点数）」】



プロジェクト	施策の効果(点数)	今後の重要度(点数)	領域
1 市民力	-28.79	50.00	III
2 地域共生	-14.71	56.62	I
3 地域資源フル活用	0.00	55.88	II

## ②行政サービス（施策）

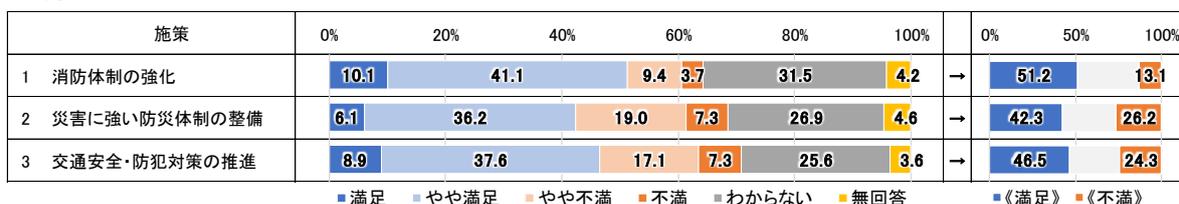
問 11 角田市が行っている行政サービスの「満足度」と「重要度」について、施策の項目ごとに、あなたの考えに最も近い選択肢の番号にそれぞれ**1つずつ〇印をつけてください。**

### ア 分野別満足度・重要度

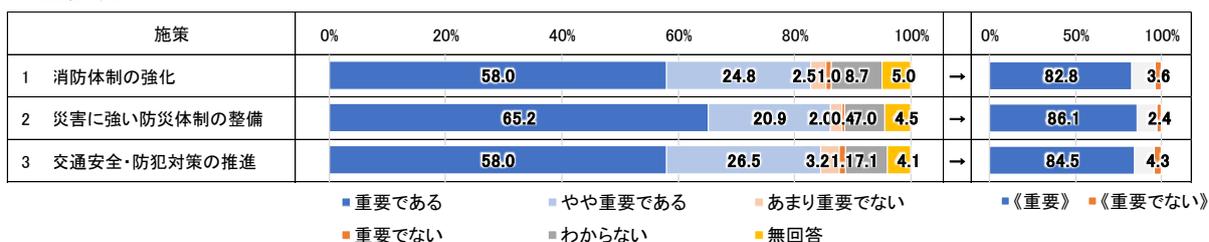
#### 1) 安心・安全

#### 【安心・安全分野の施策の「満足度」「重要度」】

##### ■満足度



##### ■重要度



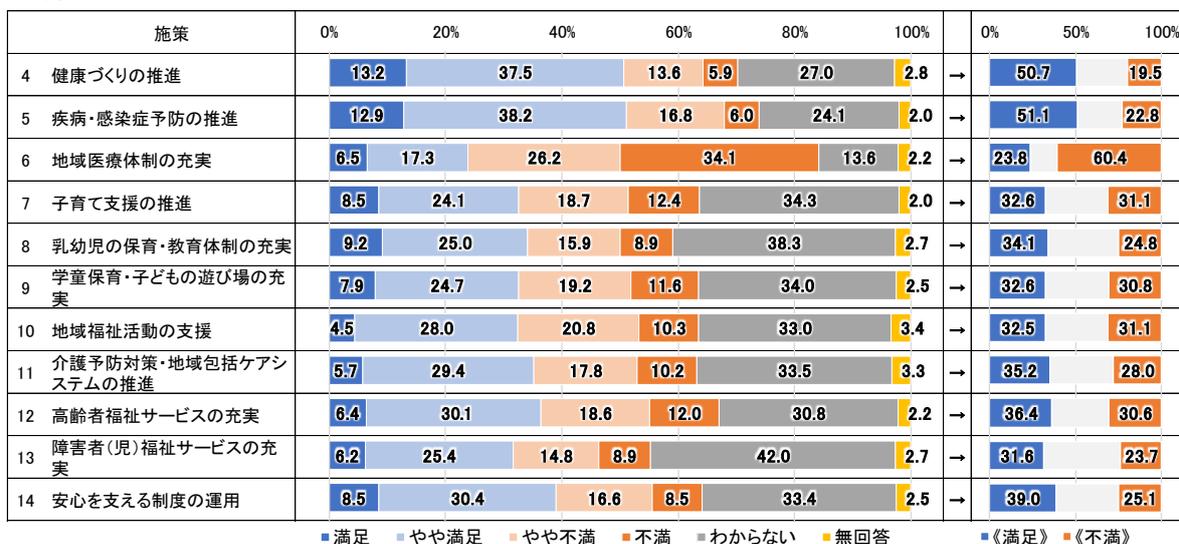
安心・安全分野の施策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は『1 消防体制の強化』で51.2%と最も多い一方、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は『2 災害に強い防災体制の整備』で26.2%と最も多くなっている。

安心・安全分野の施策の重要度については施策毎に大きな差異はなく、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は80%台、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は数%となっている。

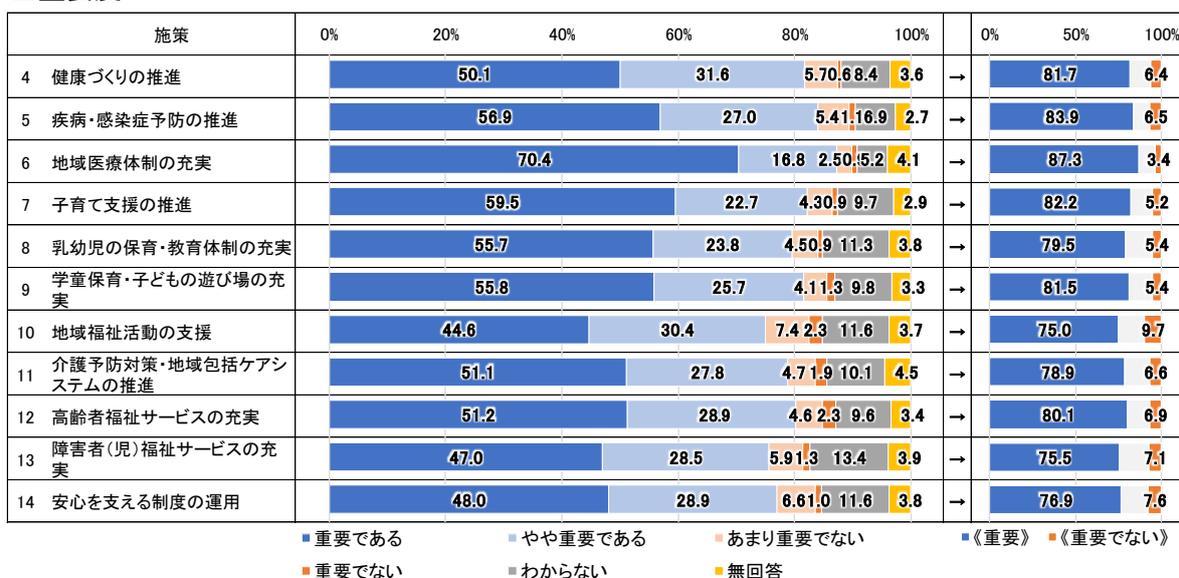
## 2) 保険・医療・福祉

### 【保険・医療・福祉分野の施策の「満足度」「重要度」】

#### ■満足度



#### ■重要度



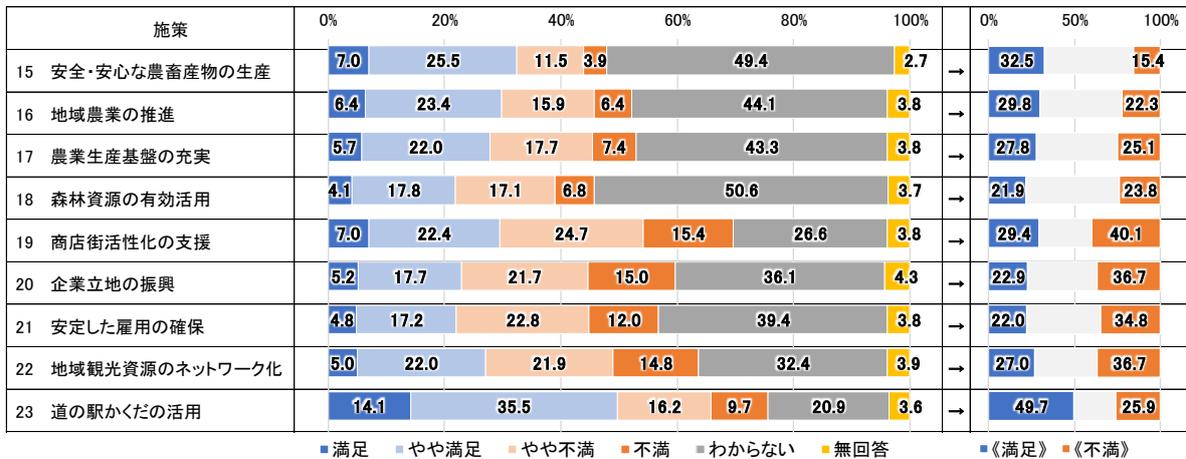
保険・医療・福祉分野の施策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は『5 疾病・感染症予防の推進』で51.1%と最も多い一方、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は『6 地域医療体制の充実』で60.4%と最も多くなっている。

保険・医療・福祉分野の施策の重要度について、施策毎の大きな差異はないが、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は『6 地域医療体制の充実』で87.3%と最も多く、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は『10 地域福祉活動の支援』で9.7%と最も多くなっている。

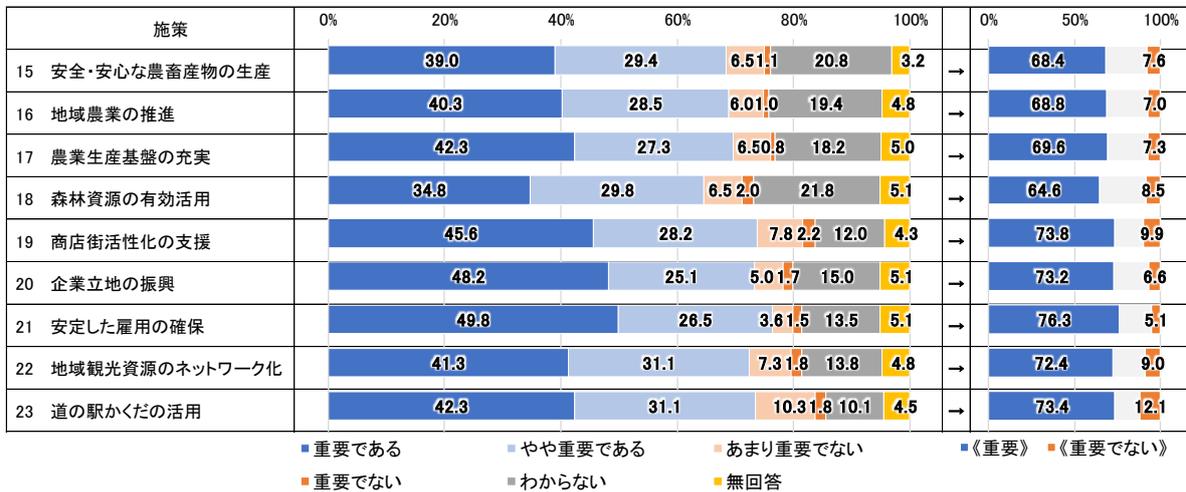
### 3) 産業振興・就労

#### 【産業振興・就労分野の施策の「満足度」「重要度」】

##### ■満足度



##### ■重要度



産業振興・就労分野の施策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は『23 道の駅かくだの活用』で49.7%と最も多い一方、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は『19 商店街活性化の支援』で40.1%と最も多くなっている。

産業振興・就労分野の施策の重要度について、施策毎の大きな差異はないが、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は『21 安定した雇用の確保』で76.3%と最も多く、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は『23 道の駅かくだの活用』で12.1%と最も多くなっている。

#### 4) まちづくり

##### 【まちづくり分野の施策の「満足度」「重要度」】

###### ■満足度

施策	0% 20% 40% 60% 80% 100%					→	0% 50% 100%		
	24 住民自治による地域づくり	4.8	22.9	18.6	7.8		42.0	3.8	27.8
25 男女共同参画の推進	4.1	20.5	19.2	6.4	46.0	3.8	24.6	25.6	
26 継続的なつながりの確保	5.2	20.0	20.1	8.9	41.9	3.8	25.2	29.0	

■満足 ■やや満足 ■やや不満 ■不満 ■わからない ■無回答 ■《満足》 ■《不満》

###### ■重要度

施策	0% 20% 40% 60% 80% 100%					→	0% 50% 100%		
	24 住民自治による地域づくり	29.6	31.6	11.3	2.3		20.5	4.7	61.1
25 男女共同参画の推進	29.8	31.2	12.0	2.4	19.6	5.0	61.0	14.4	
26 継続的なつながりの確保	32.1	32.1	11.5	2.7	16.9	4.7	64.2	14.1	

■重要である ■やや重要である ■あまり重要でない ■《重要》 ■《重要でない》  
 ■重要でない ■わからない ■無回答

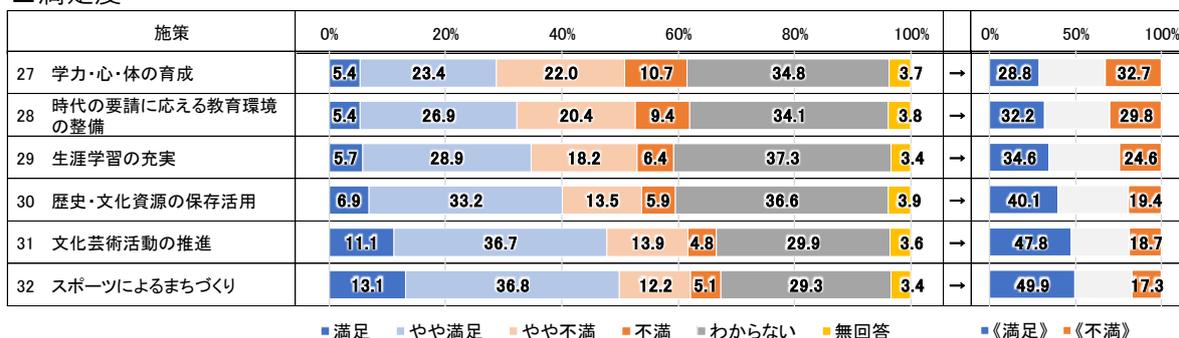
まちづくり分野の施策の満足度について、施策毎の大きな差異はなく、「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は25%前後、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は25~30%程度となっている。

まちづくり分野の施策の重要度について、施策毎の大きな差異はなく、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は60~65%程度、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は14%前後となっている。

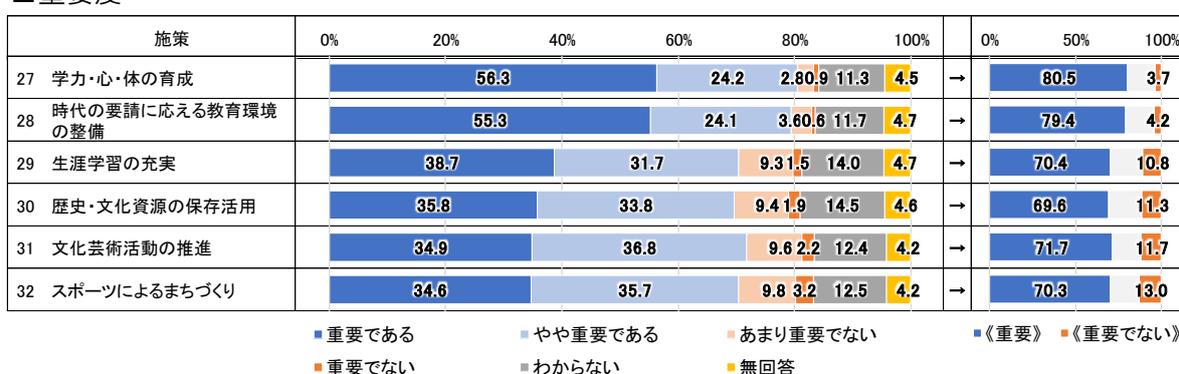
## 5) 教育・文化・スポーツ

### 【教育・文化・スポーツ分野の施策の「満足度」「重要度」】

#### ■満足度



#### ■重要度



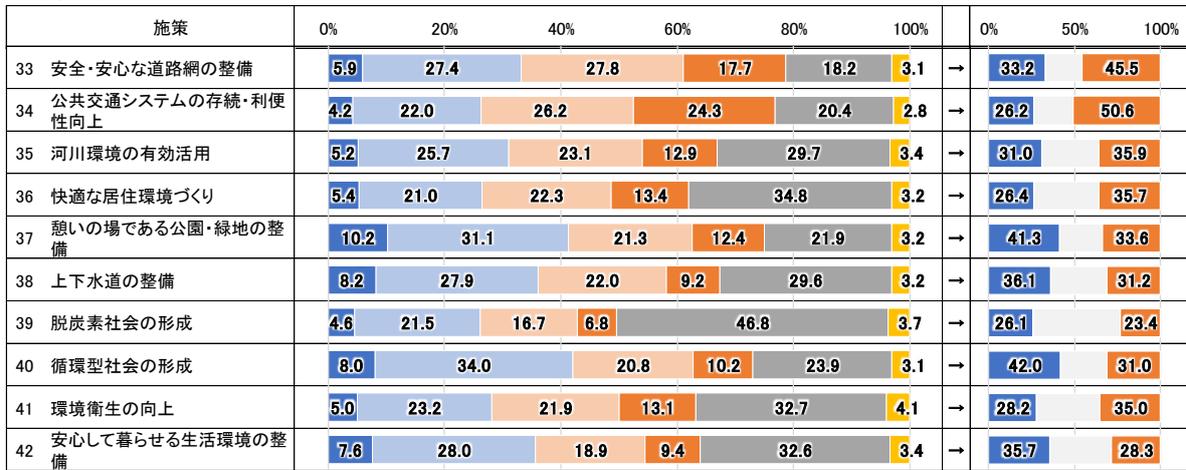
教育・文化・スポーツ分野の施策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は『32 スポーツによるまちづくり』で49.9%と最も多い一方、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は『27 学力・心・体の育成』で32.7%と最も多くなっている。

教育・文化・スポーツ分野の施策の重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は『27 学力・心・体の育成』で80.5%と最も多く、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は『32 スポーツによるまちづくり』で13.0%と最も多くなっている。

## 6) 都市基盤・生活環境

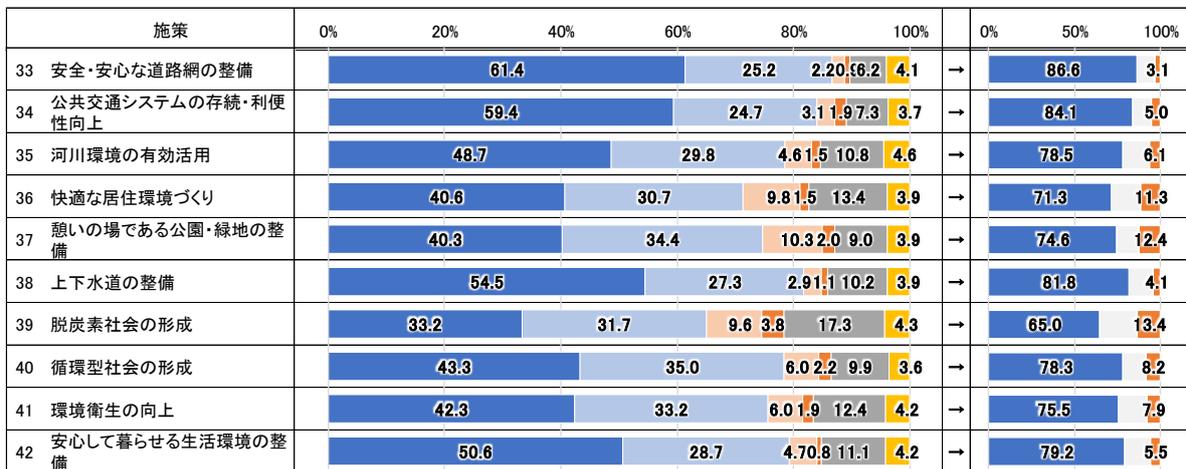
### 【都市基盤・生活環境分野の施策の「満足度」「重要度」】

#### ■満足度



■満足 ■《満足》 ■《不満》

#### ■重要度



■重要である ■《重要》 ■《重要でない》

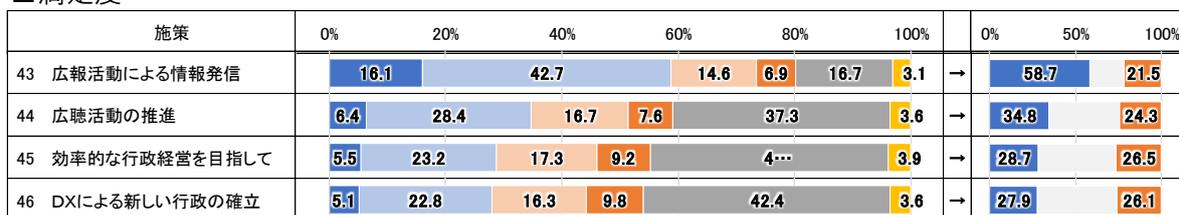
都市基盤・生活環境分野の施策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は『40 循環型社会の形成』で42.0%と最も多い一方、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は『34 公共交通システムの存続・利便性向上』で50.6%と最も多くなっている。

都市基盤・生活環境分野の施策の重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は『33 安全・安心な道路網の整備』で86.6%と最も多く、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は『39 脱炭素社会の形成』で13.4%と最も多くなっている。

## 7) 行財政経営

### 【行財政経営分野の施策の「満足度」「重要度」】

#### ■満足度



■満足 ■やや満足 ■やや不満 ■不満 ■わからない ■無回答 ■《満足》 ■《不満》

#### ■重要度



■重要である ■やや重要である ■あまり重要でない ■重要 ■重要でない ■わからない ■無回答

行財政経営分野の施策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は『43 広報活動による情報発信』で58.7%と最も多い一方、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は施策毎の大きな差異はないが、『45 効率的な行政経営を目指して』で26.5%と最も多くなっている。

行財政経営分野の施策の重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要》は『43 広報活動による情報発信』で74.8%と最も多く、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》は『44 広聴活動の推進』で15.3%と最も多くなっている。

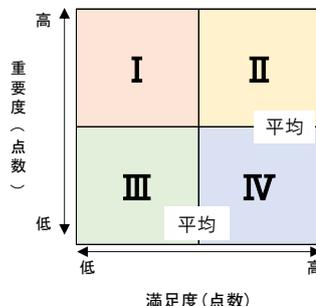
## イ 満足度×重要度

「満足度」と「重要度」の回答を下式により点数化する

$$\text{満足度(点数)} = \frac{(\text{満足} \times 2\text{点}) + (\text{やや満足} \times 1\text{点}) + (\text{やや不満} \times -1\text{点}) + (\text{不満} \times -2\text{点}) + (\text{わからない} \times 0\text{点})}{\text{回答総件数(無回答を除く)}} \times 50$$

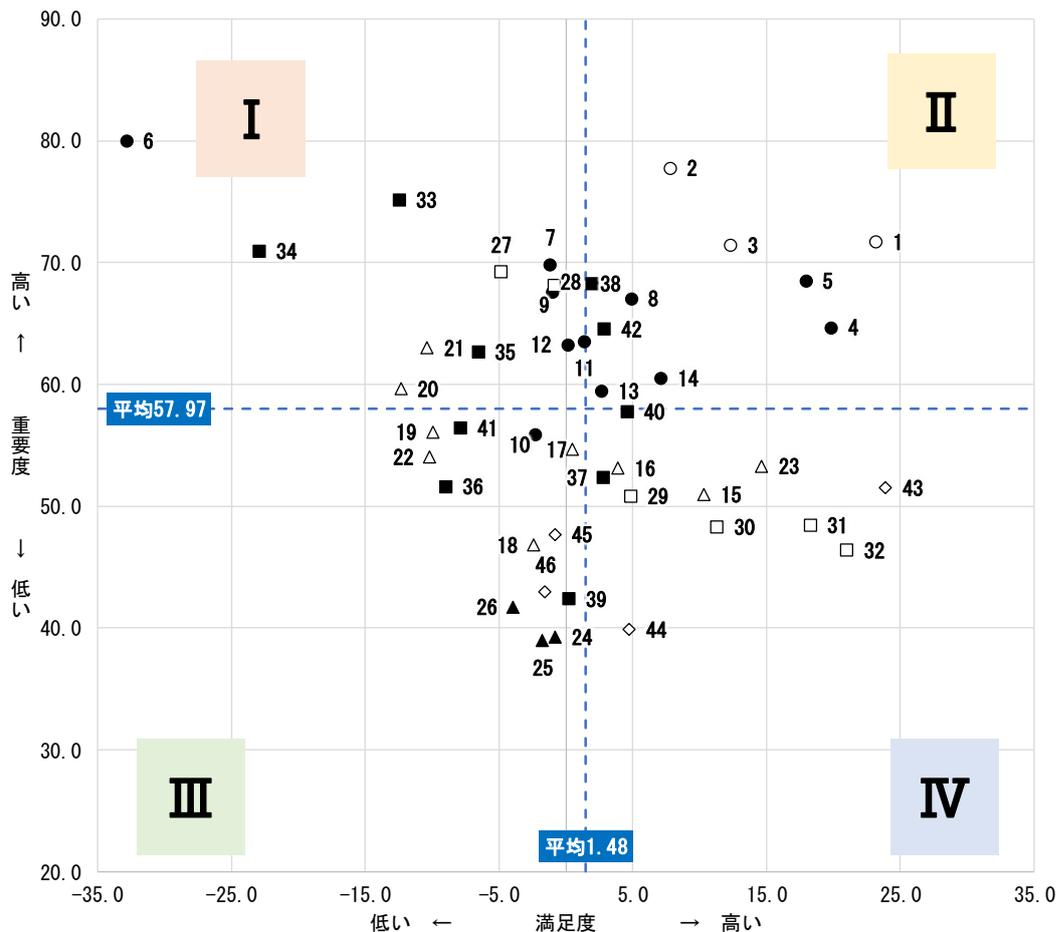
$$\text{重要度(点数)} = \frac{(\text{重要である} \times 2\text{点}) + (\text{やや重要である} \times 1\text{点}) + (\text{あまり重要でない} \times -1\text{点}) + (\text{重要でない} \times -2\text{点}) + (\text{わからない} \times 0\text{点})}{\text{回答総件数(無回答を除く)}} \times 50$$

「満足度（点数）」と「重要度（点数）」のグラフ（散布図）は、それぞれの平均値を境に右図のように4つの領域に分類でき、例えば施策の効果が低く、重要度が高いⅠ領域に位置づけられた施策は優先的な対応が必要なプロジェクトとみることができる。



Ⅰ領域：満足度が低く、重要度が高い⇒優先的な対応が必要  
 Ⅱ領域：満足度が高く、重要度も高い⇒重点的な対応の継続が必要  
 Ⅲ領域：満足度が低く、重要度も低い⇒優先度は低いものの対応が必要  
 Ⅳ領域：満足度が高く、重要度は低い⇒現在の対応の維持が必要

### 【施策の「満足度」×「重要度」】



- 「安心安全」分野の施策
- 「保険・医療・福祉」分野の施策
- △ 「産業振興・就労」分野の施策
- ▲ 「まちづくり」分野の施策
- 「教育・文化・スポーツ」分野の施策
- 「都市基盤・生活環境」分野の施策
- ◇ 「行財政経営」分野の施策

施策の満足度/重要度で、満足度が低く、重要度が高い『優先的な対応が必要』な項目は「6 地域医療体制の充実」、「33 安全・安心な道路網の整備」、「34 公共交通システムの存続・利便性の向上」などとなっている。

満足度も重要度も高い『重点的な対応の継続が必要』な項目は「1 消防体制の強化」、「2 災害に強い防災体制の整備」、「3 交通安全・防犯対策の推進」などとなっている。

満足度が高いものの、重要度が低い『現在の対応の維持が必要』な項目は、「32 スポーツによるまちづくり」、「43 広報活動による情報発信」、「44 広聴活動の推進」などとなっている。

満足度も重要度も低い『優先度は低いものの対応が必要な項目』な項目は「24 住民自治による地域づくり」、「25 男女共同参画の推進」、「26 継続的なつながりの確保」となっている。

【施策別領域】

今回調査【R6】

施策	領域
1 消防体制の強化	Ⅱ
2 災害に強い防災体制の整備	Ⅱ
3 交通安全・防犯対策の推進	Ⅱ
4 健康づくりの推進	Ⅱ
5 疾病・感染症予防の推進	Ⅱ
6 地域医療体制の充実	Ⅰ
7 子育て支援の推進	Ⅰ
8 乳幼児の保育・教育体制の充実	Ⅱ
9 学童保育・子どもの遊び場の充実	Ⅰ
10 地域福祉活動の支援	Ⅲ
11 介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	Ⅰ
12 高齢者福祉サービスの充実	Ⅰ
13 障害者(児)福祉サービスの充実	Ⅱ
14 安心を支える制度の運用	Ⅱ
15 安全・安心な農畜産物の生産	Ⅳ
16 地域農業の推進	Ⅳ
17 農業生産基盤の充実	Ⅲ
18 森林資源の有効活用	Ⅲ
19 商店街活性化の支援	Ⅲ
20 企業立地の振興	Ⅰ
21 安定した雇用の確保	Ⅰ
22 地域観光資源のネットワーク化	Ⅲ
23 道の駅かくだの活用	Ⅳ
24 住民自治による地域づくり	Ⅲ
25 男女共同参画の推進	Ⅲ
26 継続的なつながりの確保	Ⅲ
27 学力・心・体の育成	Ⅰ
28 時代の要請に応える教育環境の整備	Ⅰ
29 生涯学習の充実	Ⅳ
30 歴史・文化資源の保存活用	Ⅳ
31 文化芸術活動の推進	Ⅳ
32 スポーツによるまちづくり	Ⅳ
33 安全・安心な道路網の整備	Ⅰ
34 公共交通システムの存続・利便性向上	Ⅰ
35 河川環境の有効活用	Ⅰ
36 快適な居住環境づくり	Ⅲ
37 憩いの場である公園・緑地の整備	Ⅳ
38 上下水道の整備	Ⅱ
39 脱炭素社会の形成	Ⅲ
40 循環型社会の形成	Ⅳ
41 環境衛生の向上	Ⅲ
42 安心して暮らせる生活環境の整備	Ⅱ
43 広報活動による情報発信	Ⅳ
44 広聴活動の推進	Ⅳ
45 効率的な行政経営を目指して	Ⅲ
46 DXによる新しい行政の確立	Ⅲ

前回調査【R4】

施策	領域
住民自治によるまちづくり	Ⅲ
市民活動団体の支援	Ⅲ
地域観光資源のネットワーク化	Ⅲ
賑わいの交流拠点施設の整備	Ⅳ
食と物産のブランド化の推進	Ⅲ
体験・滞在型観光機能の整備充実	Ⅲ
交流の推進	Ⅳ
街なか交流拠点の整備	Ⅲ
交流情報の発信	Ⅰ
安全・安心な農畜産物の生産	Ⅱ
地域農業の推進	Ⅰ
農業生産基盤の充実	Ⅲ
森林資源の有効活用	Ⅲ
商店街活性化の支援	Ⅲ
企業立地の振興	Ⅰ
安定した雇用の確保	Ⅰ
健康づくりの推進	Ⅱ
疾病予防対策の推進	Ⅱ
地域医療体制の充実	Ⅰ
子育て支援の推進	Ⅰ
乳幼児の保育・教育体制の充実	Ⅱ
学童保育・子どもの遊び場の充実	Ⅰ
家庭・地域が支える子育て環境の充実	Ⅰ
地域福祉活動の支援	Ⅱ
介護予防対策の推進	Ⅱ
高齢者福祉サービスの充実	Ⅱ
障がい者福祉サービスの充実	Ⅱ
安心を支える制度の運用	Ⅱ
生涯学習の充実	Ⅳ
歴史・文化資源の保存活用	Ⅳ
芸術文化活動の推進	Ⅳ
地域スポーツの振興と交流	Ⅳ
学校教育の充実	Ⅱ
小・中学校など教育施設などの充実	Ⅱ
環境に配慮した土地利用の推進	Ⅲ
機能的な道路網の整備	Ⅰ
公共交通システムの充実	Ⅰ
美しい都市景観の形成	Ⅲ
快適な居住環境づくり	Ⅲ
身近な公園・緑地の整備	Ⅳ
上下水道の整備	Ⅱ
地球環境問題への対応	Ⅳ
資源リサイクルの推進	Ⅱ
環境衛生の向上	Ⅱ
災害に強い防災体制の整備	Ⅰ
交通安全対策	Ⅱ
防犯体制の強化	Ⅱ
安心な生活環境の確保	Ⅳ
行政情報の公開	Ⅳ
広報活動による行政情報の発信	Ⅳ
広聴活動の推進	Ⅲ
効率的な行政経営を目指して	Ⅲ
情報化社会への対応	Ⅲ
広域行政の推進	Ⅳ

## 【満足度（点数）のランキング】

今回調査【R6】

順位	施策	点数
1位	43 広報活動による情報発信	23.92
2位	1 消防体制の強化	23.20
3位	32 スポーツによるまちづくり	21.04
4位	4 健康づくりの推進	19.86
5位	31 文化芸術活動の推進	18.30
6位	5 疾病・感染症予防の推進	17.95
7位	23 道の駅かくだの活用	14.66
8位	3 交通安全・防犯対策の推進	12.35
9位	30 歴史・文化資源の保存活用	11.34
10位	15 安全・安心な農畜産物の生産	10.34
11位	2 災害に強い防災体制の整備	7.81
12位	14 安心を支える制度の運用	7.12
13位	8 乳幼児の保育・教育体制の充実	4.91
14位	29 生涯学習の充実	4.88
15位	44 広聴活動の推進	4.76
16位	40 循環型社会の形成	4.60
17位	16 地域農業の推進	3.91
18位	42 安心して暮らせる生活環境の整備	2.90
19位	37 憩いの場である公園・緑地の整備	2.83
20位	13 障害者(児)福祉サービスの充実	2.68
21位	38 上下水道の整備	1.97
22位	11 介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	1.38
23位	17 農業生産基盤の充実	0.53
24位	39 脱炭素社会の形成	0.26
25位	12 高齢者福祉サービスの充実	0.13
26位	24 住民自治による地域づくり	-0.79
27位	45 効率的な行政経営を目指して	-0.80
28位	28 時代の要請に応える教育環境の整備	-0.86
29位	9 学童保育・子どもの遊び場の充実	-0.98
30位	7 子育て支援の推進	-1.17
31位	46 DXIによる新しい行政の確立	-1.52
32位	25 男女共同参画の推進	-1.72
33位	10 地域福祉活動の支援	-2.31
34位	18 森林資源の有効活用	-2.38
35位	26 継続的なつながりの確保	-3.91
36位	27 学力・心・体の育成	-4.83
37位	35 河川環境の有効活用	-6.53
38位	41 環境衛生の向上	-7.84
39位	36 快適な居住環境づくり	-8.95
40位	19 商店街活性化の支援	-9.93
41位	22 地域観光資源のネットワーク化	-10.15
42位	21 安定した雇用の確保	-10.33
43位	20 企業立地の振興	-12.32
44位	33 安全・安心な道路網の整備	-12.42
45位	34 公共交通システムの存続・利便性向上	-22.87
46位	6 地域医療体制の充実	-32.81

前回調査【R2】

順位	施策	点数
1位	健康づくりの推進	20.79
2位	資源リサイクルの推進	20.38
3位	地域スポーツの振興と交流	13.59
4位	歴史・文化資源の保存活用	11.44
5位	安全・安心な農畜産物の生産	11.31
6位	交通安全対策	10.65
7位	疾病予防対策の推進	9.74
8位	環境衛生の向上	9.68
9位	防犯体制の強化	9.34
10位	芸術文化活動の推進	8.52
11位	上下水道の整備	8.44
12位	行政情報の公開	4.03
13位	小・中学校など教育施設などの充実	3.82
14位	安心な生活環境の確保	3.33
15位	広報活動による行政情報の発信	2.86
16位	生涯学習の充実	2.66
17位	介護予防対策の推進	2.22
18位	障がい者福祉サービスの充実	-0.21
19位	地球環境問題への対応	-0.51
20位	地域福祉活動の支援	-1.16
21位	交流の推進	-1.66
22位	安心を支える制度の運用	-1.96
23位	広域行政の推進	-2.01
24位	学校教育の充実	-2.10
25位	乳幼児の保育・教育体制の充実	-2.22
26位	高齢者福祉サービスの充実	-2.30
27位	賑わいの交流拠点施設の整備	-2.49
28位	身近な公園・緑地の整備	-3.09
29位	学童保育・子どもの遊び場の充実	-5.96
30位	家庭・地域が支える子育て環境の充実	-6.23
31位	市民活動団体の支援	-6.47
32位	農業生産基盤の充実	-6.61
33位	地域農業の推進	-6.83
34位	効率的な行政経営を目指して	-7.22
35位	子育て支援の推進	-7.37
36位	広聴活動の推進	-7.49
37位	森林資源の有効活用	-8.65
38位	住民自治によるまちづくり	-9.80
39位	環境に配慮した土地利用の推進	-10.15
40位	美しい都市景観の形成	-10.41
41位	体験・滞在型観光機能の整備充実	-11.15
42位	情報化社会への対応	-12.03
43位	快適な居住環境づくり	-12.10
44位	食と物産のブランド化の推進	-12.66
45位	地域観光資源のネットワーク化	-16.71
46位	機能的な道路網の整備	-17.88
47位	街なか交流拠点の整備	-18.25
48位	企業立地の振興	-19.50
49位	交流情報の発信	-20.83
50位	商店街活性化の支援	-22.31
51位	安定した雇用の確保	-22.70
52位	地域医療体制の充実	-23.51
53位	災害に強い防災体制の整備	-25.97
54位	公共交通システムの充実	-44.45

## 【重要度（点数）のランキング】

今回調査【R6】

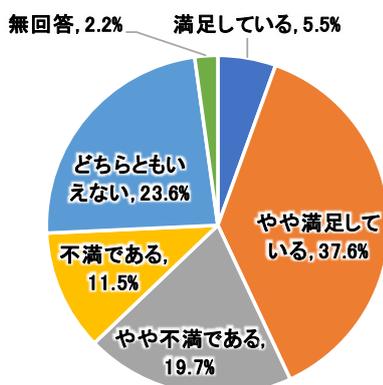
順位	順位	点数
1位	6 地域医療体制の充実	79.95
2位	2 災害に強い防災体制の整備	77.73
3位	33 安全・安心な道路網の整備	75.10
4位	1 消防体制の強化	71.65
5位	3 交通安全・防犯対策の推進	71.38
6位	34 公共交通システムの存続・利便性向上	70.90
7位	7 子育て支援の推進	69.82
8位	27 学力・心・体の育成	69.20
9位	5 疾病・感染症予防の推進	68.46
10位	38 上下水道の整備	68.24
11位	28 時代の要請に応える教育環境の整備	68.11
12位	9 学童保育・子どもの遊び場の充実	67.59
13位	8 乳幼児の保育・教育体制の充実	67.02
14位	4 健康づくりの推進	64.66
15位	42 安心して暮らせる生活環境の整備	64.49
16位	11 介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	63.53
17位	12 高齢者福祉サービスの充実	63.26
18位	21 安定した雇用の確保	62.95
19位	35 河川環境の有効活用	62.62
20位	14 安心を支える制度の運用	60.46
21位	20 企業立地の振興	59.60
22位	13 障害者(児)福祉サービスの充実	59.42
23位	40 循環型社会の形成	57.73
24位	41 環境衛生の向上	56.38
25位	19 商店街活性化の支援	56.06
26位	10 地域福祉活動の支援	55.89
27位	17 農業生産基盤の充実	54.62
28位	22 地域観光資源のネットワーク化	54.02
29位	23 道の駅かくだの活用	53.27
30位	16 地域農業の推進	53.08
31位	37 憩いの場である公園・緑地の整備	52.32
32位	36 快適な居住環境づくり	51.59
33位	43 広報活動による情報発信	51.46
34位	15 安全・安心な農畜産物の生産	50.92
35位	29 生涯学習の充実	50.80
36位	31 文化芸術活動の推進	48.40
37位	30 歴史・文化資源の保存活用	48.26
38位	45 効率的な行政経営を目指して	47.65
39位	18 森林資源の有効活用	46.78
40位	32 スポーツによるまちづくり	46.34
41位	46 DXによる新しい行政の確立	42.95
42位	39 脱炭素社会の形成	42.34
43位	26 継続的なつながりの確保	41.71
44位	44 広聴活動の推進	39.84
45位	24 住民自治による地域づくり	39.24
46位	25 男女共同参画の推進	38.94

前回調査【R2】

順位	順位	点数
1位	災害に強い防災体制の整備	83.32
2位	地域医療体制の充実	82.89
3位	子育て支援の推進	75.94
4位	乳幼児の保育・教育体制の充実	73.98
5位	学校教育の充実	73.75
6位	安定した雇用の確保	73.57
7位	介護予防対策の推進	72.31
8位	小・中学校など教育施設などの充実	71.87
9位	高齢者福祉サービスの充実	71.75
10位	防犯体制の強化	71.54
11位	公共交通システムの充実	71.47
12位	上下水道の整備	70.81
13位	学童保育・子どもの遊び場の充実	70.14
14位	資源リサイクルの推進	69.44
15位	機能的な道路網の整備	69.34
16位	健康づくりの推進	68.92
17位	安心を支える制度の運用	68.43
18位	地域福祉活動の支援	68.02
19位	疾病予防対策の推進	67.78
20位	障がい者福祉サービスの充実	66.82
21位	企業立地の振興	66.14
22位	交通安全対策	65.30
23位	家庭・地域が支える子育て環境の充実	64.38
24位	環境衛生の向上	60.90
25位	地域農業の推進	59.73
26位	交流情報の発信	59.41
27位	安全・安心な農畜産物の生産	59.37
28位	効率的な行政経営を目指して	58.85
29位	食と物産のブランド化の推進	56.90
30位	地域観光資源のネットワーク化	56.90
31位	商店街活性化の支援	56.36
32位	快適な居住環境づくり	55.84
33位	行政情報の公開	55.40
34位	地球環境問題への対応	54.62
35位	広聴活動の推進	54.24
36位	身近な公園・緑地の整備	54.06
37位	美しい都市景観の形成	53.96
38位	住民自治によるまちづくり	53.57
39位	広報活動による行政情報の発信	52.22
40位	農業生産基盤の充実	52.11
41位	環境に配慮した土地利用の推進	51.93
42位	安心な生活環境の確保	51.06
43位	情報化社会への対応	50.47
44位	地域スポーツの振興と交流	49.40
45位	生涯学習の充実	48.54
46位	広域行政の推進	48.08
47位	歴史・文化資源の保存活用	44.48
48位	市民活動団体の支援	42.83
49位	芸術文化活動の推進	40.24
50位	賑わいの交流拠点施設の整備	39.93
51位	体験・滞在型観光機能の整備充実	38.45
52位	森林資源の有効活用	37.56
53位	交流の推進	34.00
54位	街なか交流拠点の整備	33.52

問 12 角田市の行政全体に対して、どの程度満足していますか。当てはまる番号1  
つに○印をつけてください。

【行政全体に対する満足度】



(n=785)

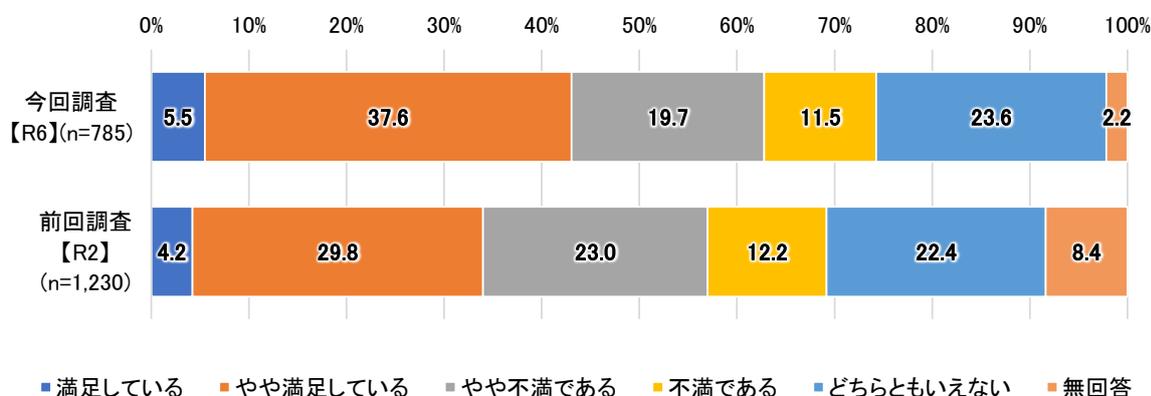
「やや満足している」37.6%、「どちらともいえない」23.6%、「やや不満である」19.7%の順となっている。前回調査（R2）と今回調査（R6）には大きな差異はみられない。

居住地域別にみると『枝野地区』では「満足している」と「やや満足している」を合わせた《満足》が50.9%と最も多く、『藤尾地区』では「不満である」と「やや不満である」を合わせた《不満》が33.4%と最も多い。

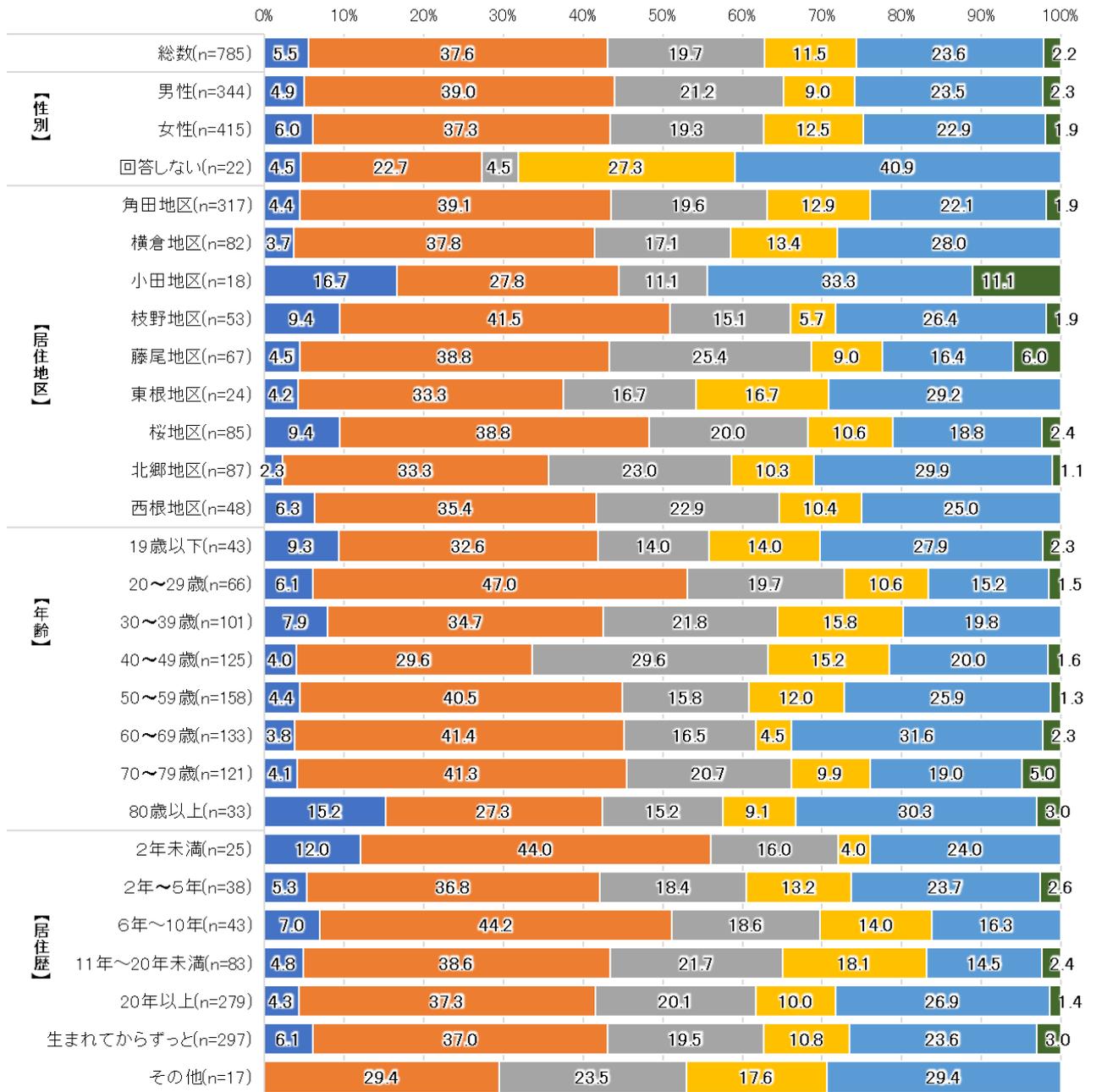
年齢別にみると『20～29 歳』では《満足》が53.1%と最も多い一方で『40～49 歳』では《不満》が44.8%と最も多い。

居住歴別にみると『2年未満』では《満足》が56.0%と最も多い一方で『その他』では《不満》が41.1%と最も多い。

【行政全体に対する満足度/前回調査との比較】

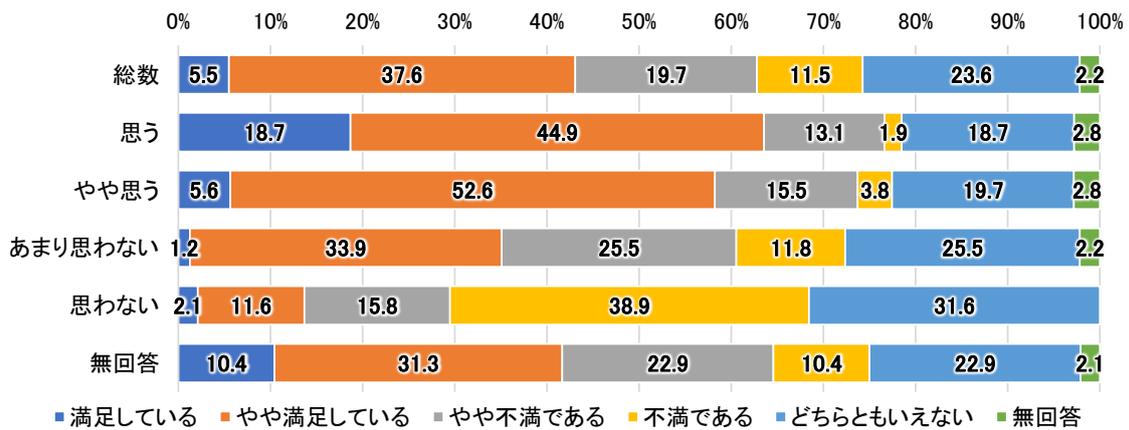


### 【行政全体に対する満足度/属性別】



■満足している ■やや満足している ■やや不満である ■不満である ■どちらともいえない ■無回答

【行政全体に対する満足度×角田市民であることの誇り】

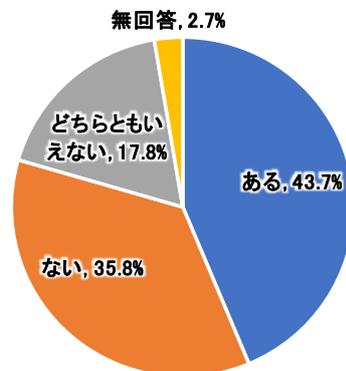


角田市民であることの誇りとの関連で見ると、「思う」、「やや思う」、「あまり思わない」、「思わない」の順に、「満足している」と「やや満足している」を合わせた《満足》の割合が低く、「不満である」と「やや不満である」を合わせた《不満》の割合が高くなっている。

### ③地域における相談できる相手や場所

問 13 地域に相談できる相手や場所が、家族・自宅以外にありますか。当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【地域における相談できる相手や場所の有無】

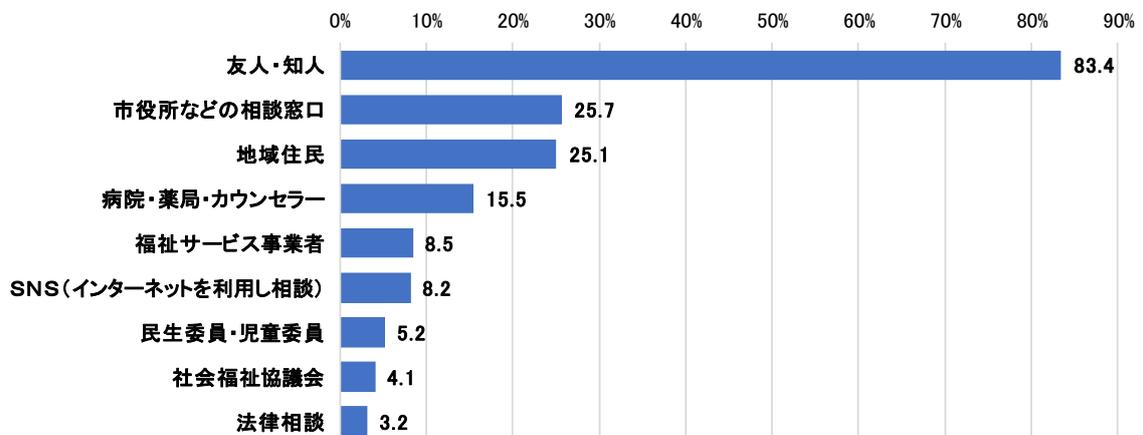


(n=785)

(問 13で「1 ある」を選択した方にお聞きします。)

問 13-1 相談できる相手や場所について、当てはまるものを 3つまで選んで○印をつけてください。

【地域における相談できる相手や場所】



n=343

「ある」43.7%、「ない」35.8%、「どちらともいえない」17.8%の順となっている。

「ある」を選択した方で、地域における相談できる相手や場所の回答としては「知人・友人」が83.4%と最も多く、次いで「市役所などの相談窓口」25.7%、「地域住民」25.1%の順となっている。

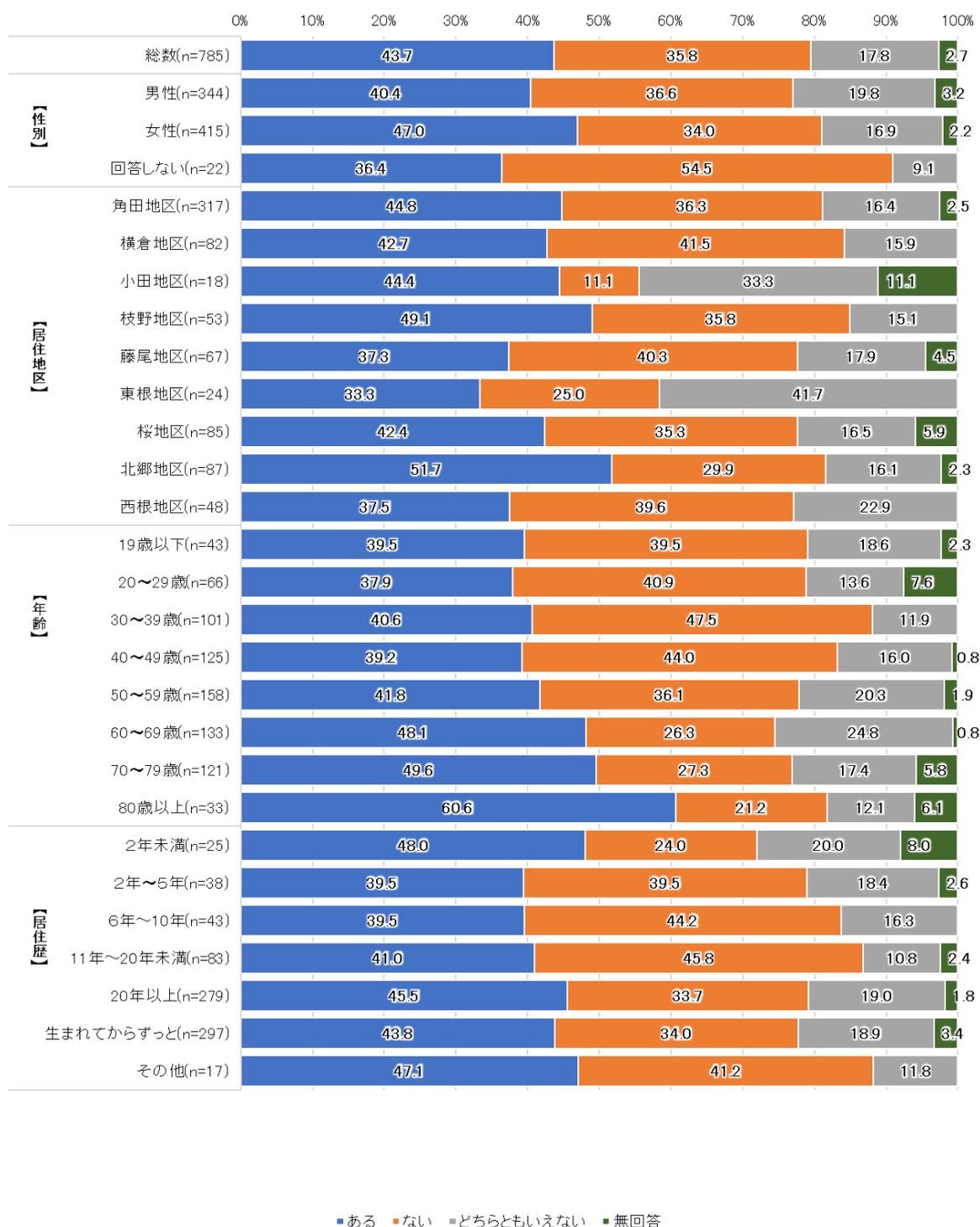
居住地域別にみると『北郷地区』では「ある」が51.7%と最も多い一方で『横倉地区』では「ない」が41.5%と最も多い。

年齢別にみると年齢が高くなるにつれ、「ある」の割合が多くなる傾向があり『80歳以上』

では「ある」が60.6%と最も多い。一方で『20～29歳』、『30～39歳』、『40～49歳』においては「ある」よりも「ない」の割合が多く、『30～39歳』では「ない」が47.5%と最も多い。

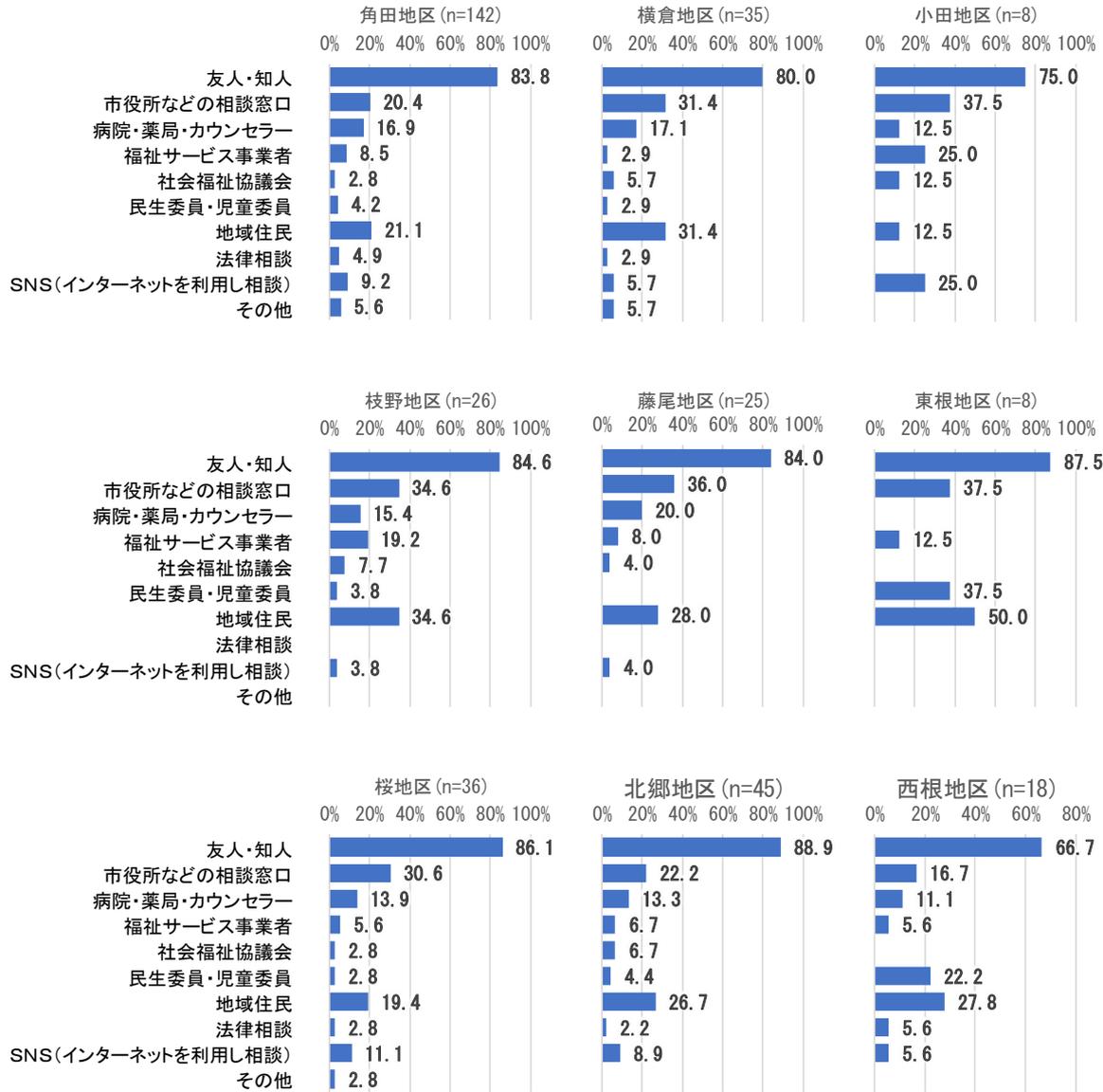
居住歴にみると『2年未満』では「ある」が48.0%と最も多い一方で『11年～20年未満』では「ない」が45.8%と最も多い。

### 【地域における相談できる相手や場所の有無/属性別】

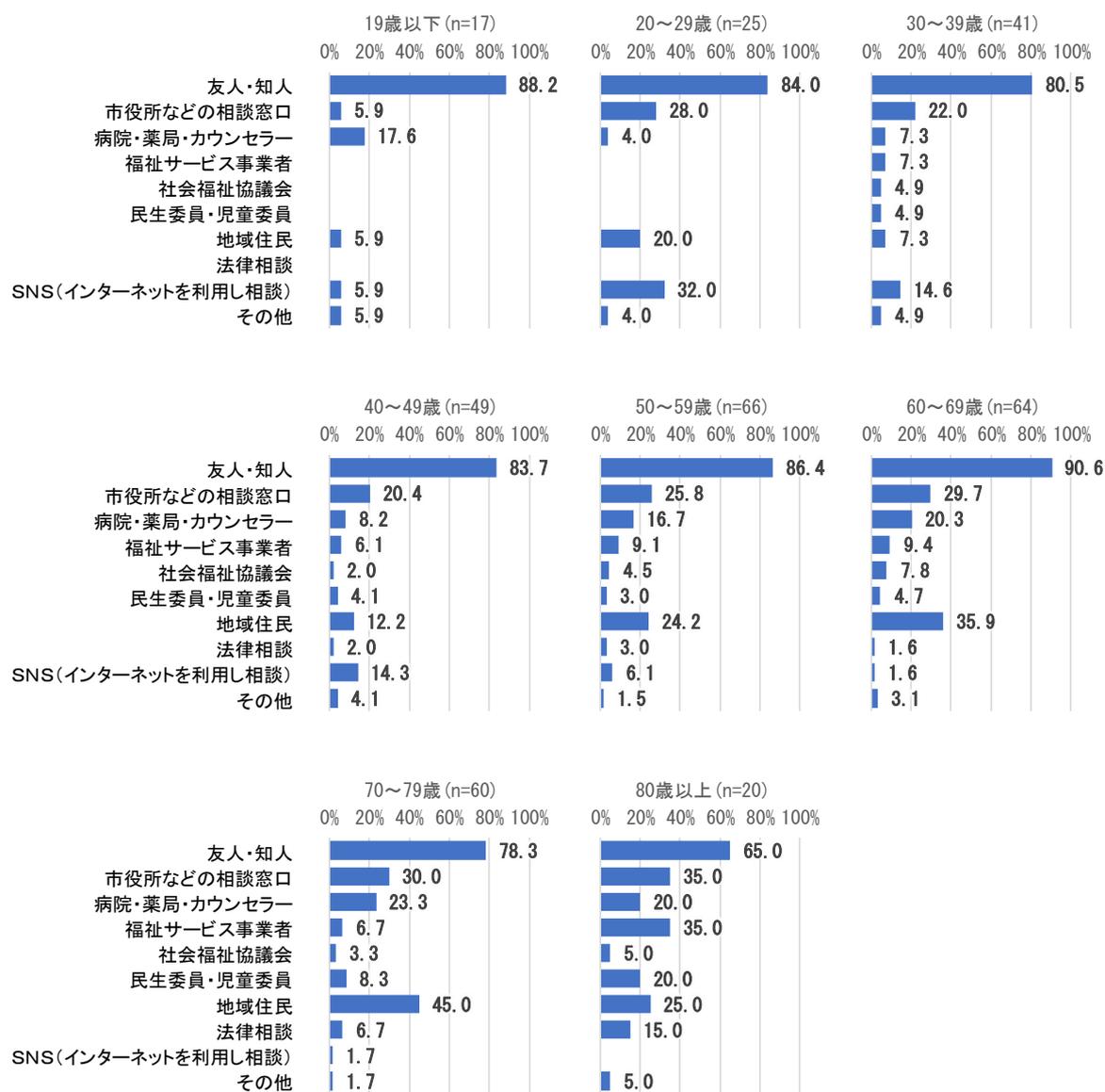


## 【地域における相談できる相手や場所/属性別】

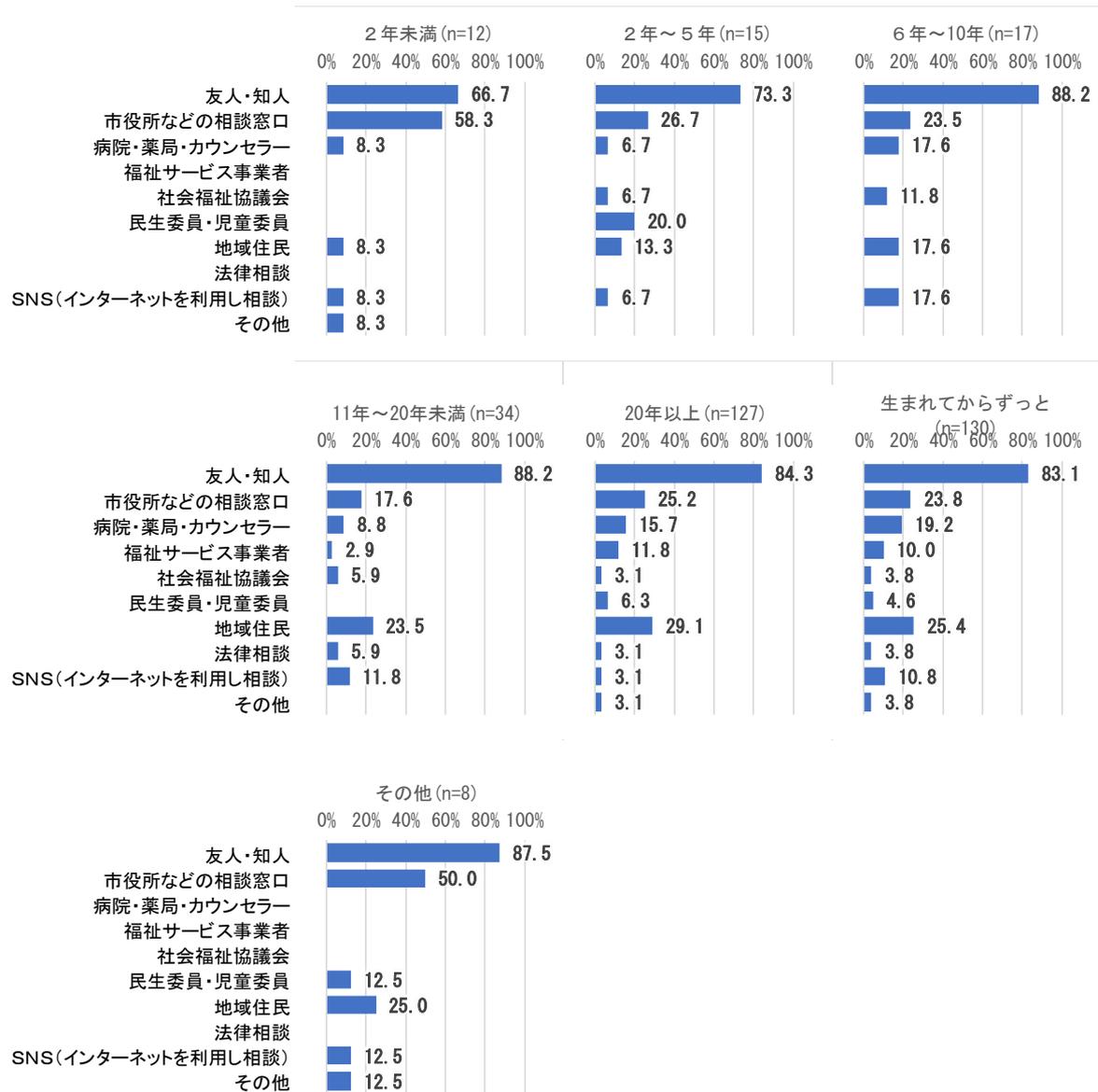
### ■ 居住地区別



■ 年齢別



## ■居住歴別



## 【地域における相談できる相手や場所/その他の内容】

以下のような意見があった。

離れている家族

親戚

先生（学校等の）

職場仲間

職場

施設職員

どこまで相談すれば良いのかわからない時あり困難する。

家族

学校の相談室

スクールカウンセラー

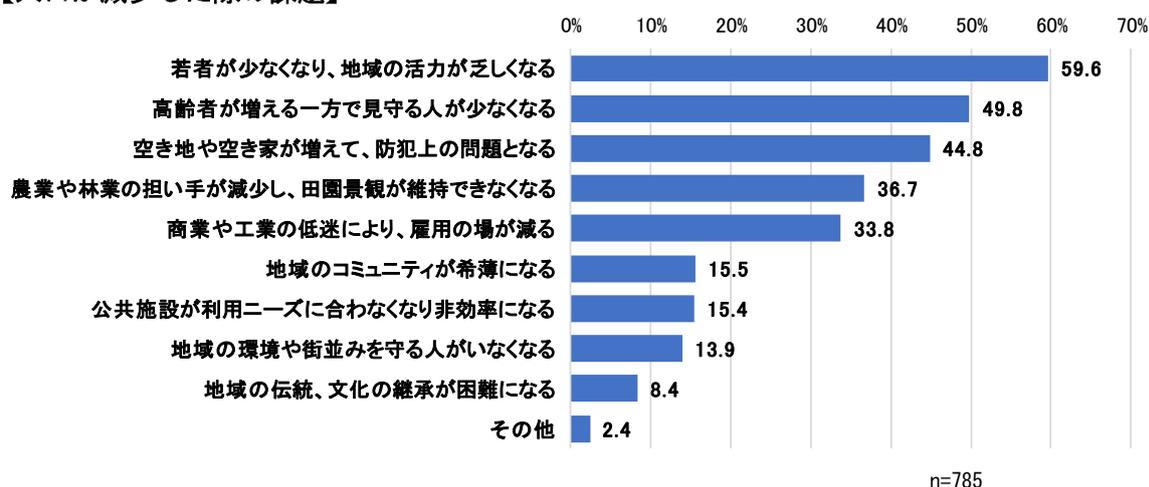
従姉妹

#### (4) これからのまちづくりの課題と方向性について

##### ①人口が減少した際の課題

問 14 人口が減少し高齢化が更に進むことで、角田市では今後10年にどのようなことが課題になると考えますか。当てはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

##### 【人口が減少した際の課題】



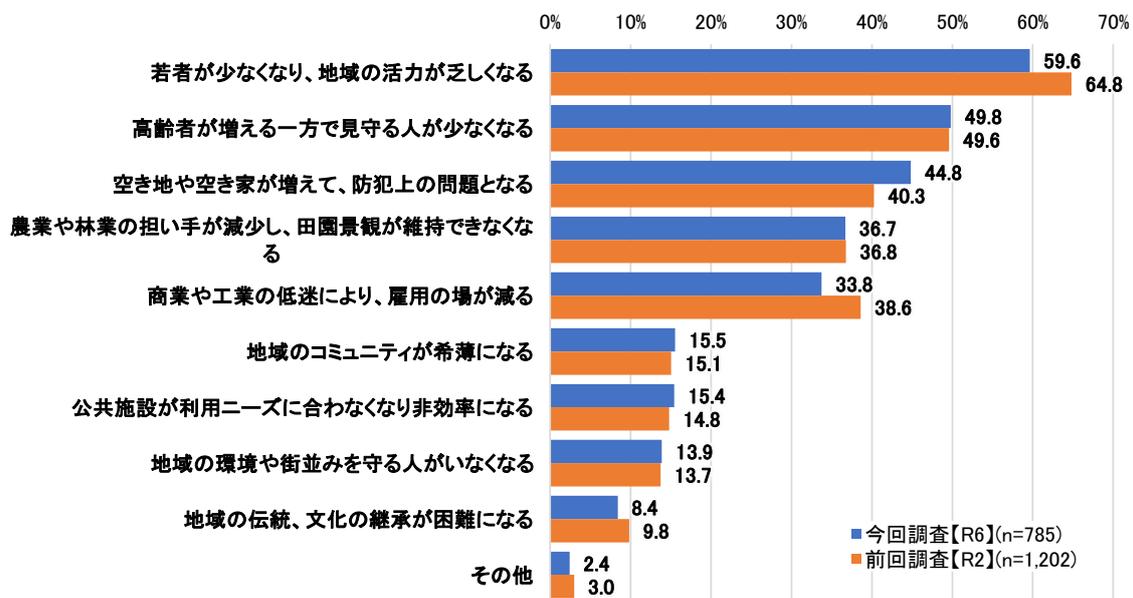
「若者が少なくなり、地域の活力が乏しくなる」59.6%、「高齢者が増える一方で見守る人が少なくなる」49.8%、「空き地や空き家が増えて、防犯上の問題となる」44.8%の順となっている。前回調査（R2）と今回調査（R6）には大きな差異はみられない。

居住地域別にみると『小田地区』と『枝野地区』では「若者が少なくなり、地域の活力が乏しくなる」よりも「高齢者が増える一方で見守る人が少なくなる」が多く、順位が入れ替わっている。また『藤尾地区』と『西根地区』においては「空き地や空き家が増えて、防犯上の問題となる」の割合が多く、2番目の順位になっている。

年齢別にみると年齢が低いほど、「若者が少なくなり、地域の活力が乏しくなる」の割合が多い一方で、『70～79 歳』では「空き地や空き家が増えて、防犯上の問題となる」、『80 歳以上』では「高齢者が増える一方で見守る人が少なくなる」が1位となっている。

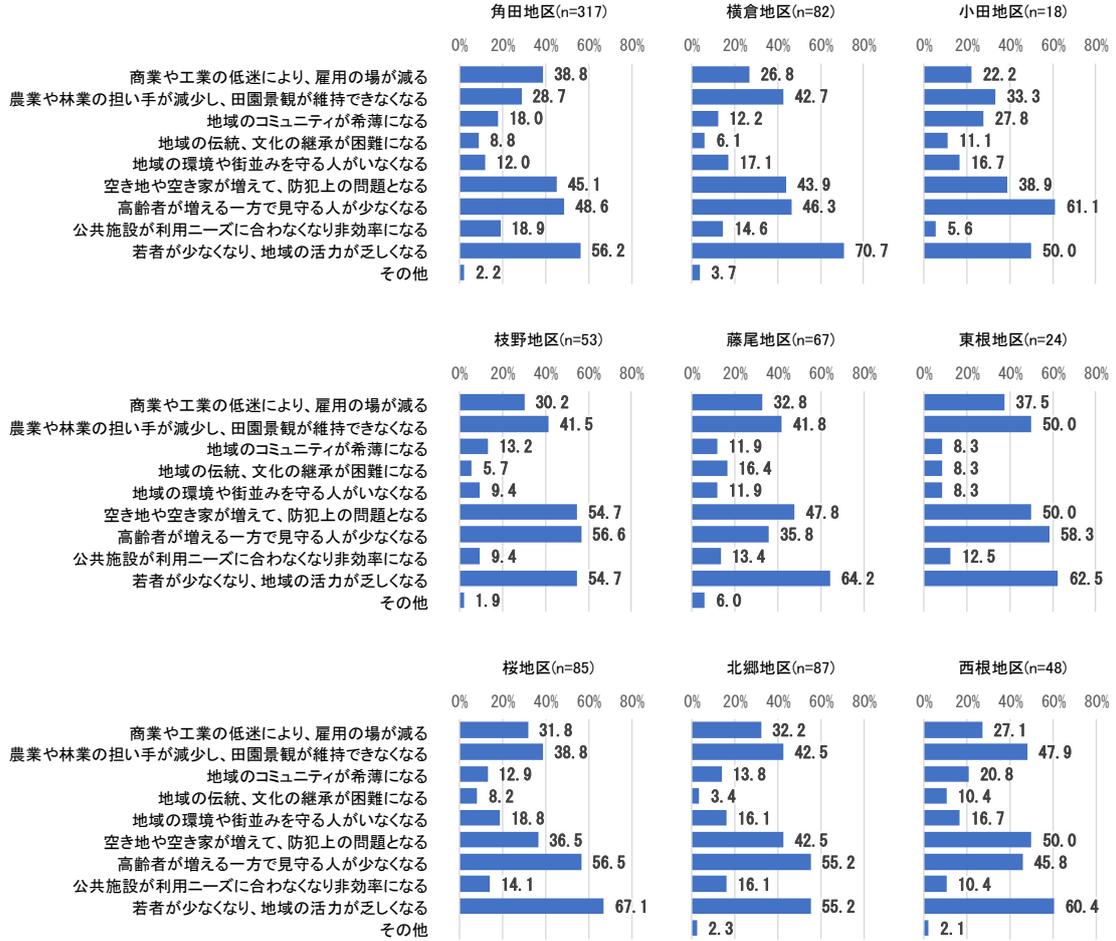
居住歴別にみると大きな差異はないが、居住歴が長くなるにつれ、「空き地や空き家が増えて、防犯上の問題となる」の割合が増える傾向がみられる。

### 【人口が減少した際の課題/前回調査との比較】

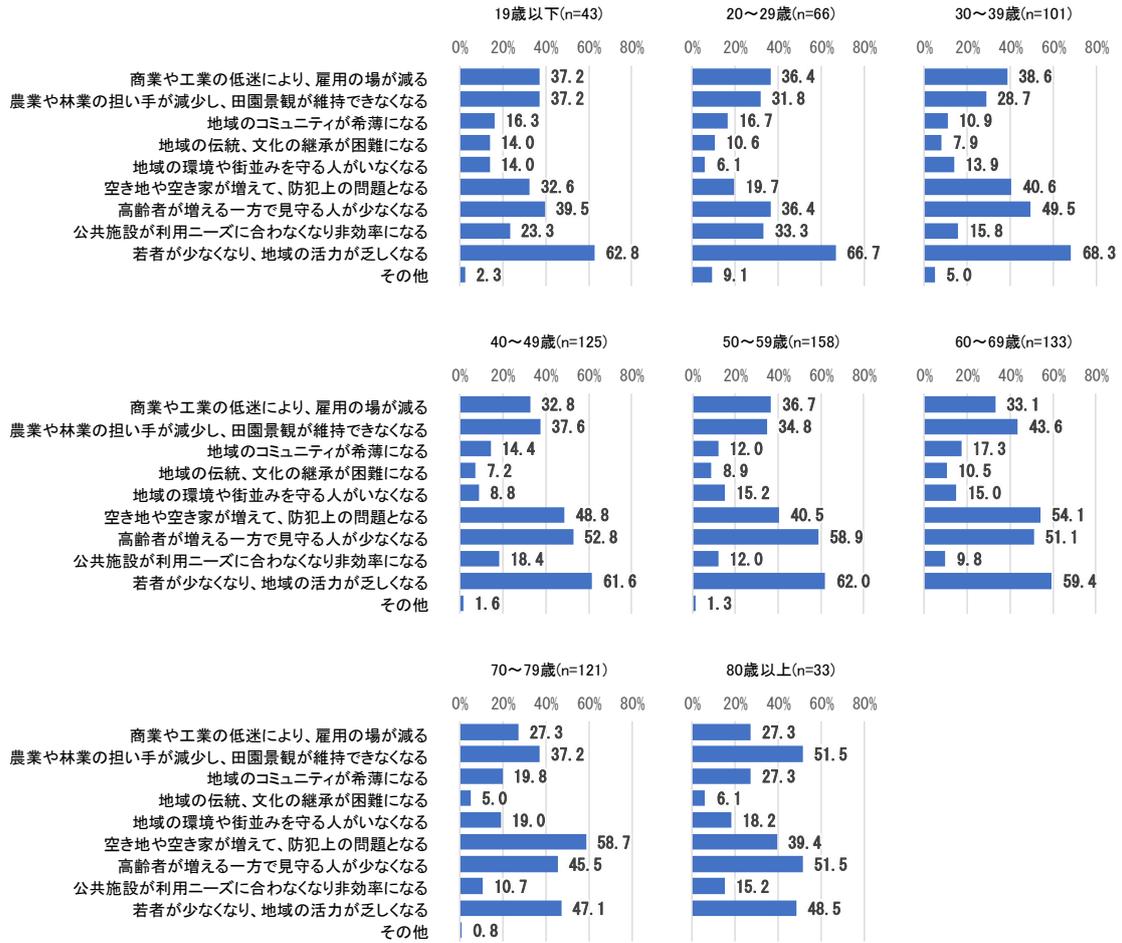


## 【人口が減少した際の課題/属性別】

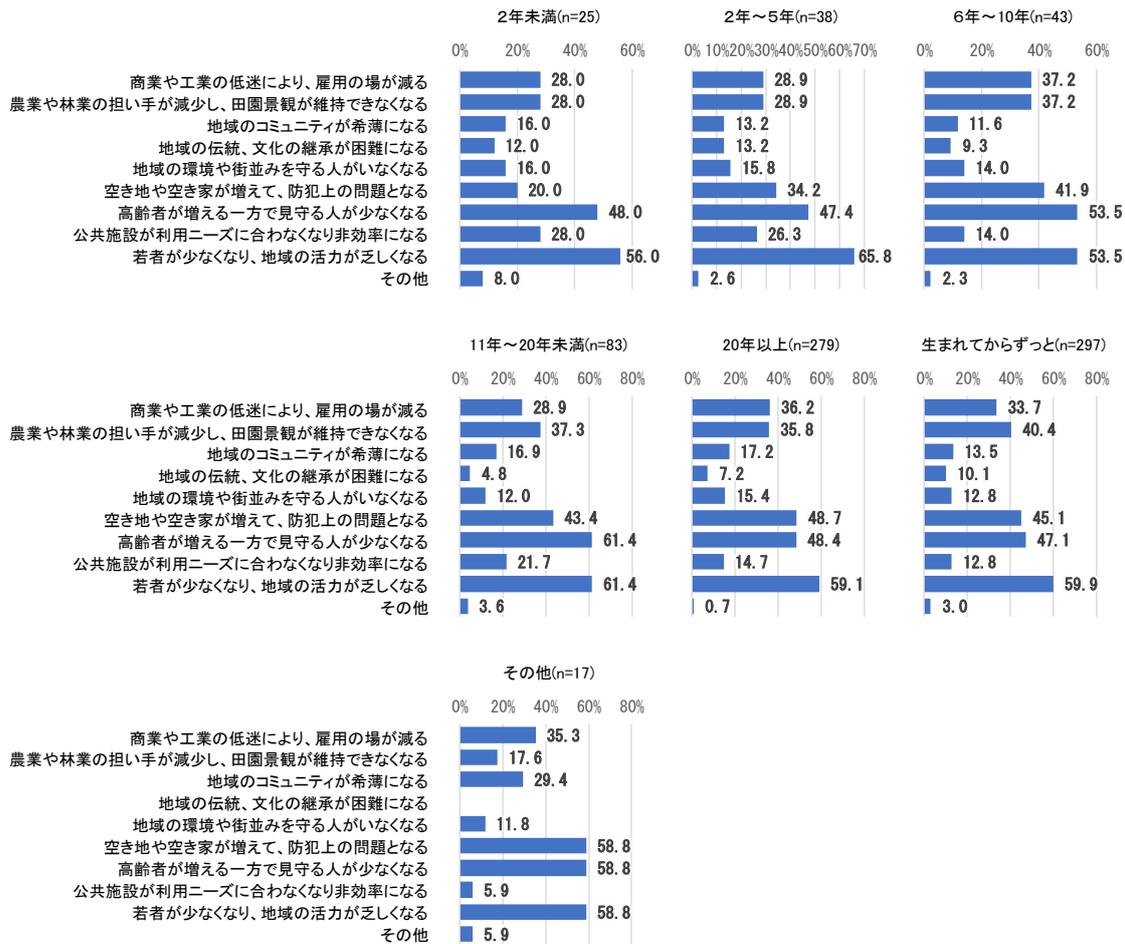
### ■居住地区別



## ■年齢別



## ■ 居住歴別



## 【人口が減少した際の課題/その他の内容】

以下のような意見があった。

病院がない。

市政メンバーの高齢化によるアイデア、対応の低下。

お店がつぶれる。介護施設が増える。

担い手不足を補う為に安易に呼んだ外国人が増え、治安が悪くなり日本の良さがなくなる。

工場、会社の誘致を積極的に市役所もって頑張れ！！

全部

税収減少による様々な支援が不足する。

わかりません

高齢者が増え、介護者が減少する。

古臭い街になる

自治センター活動の形骸化

高齢者を中心に買い物や通院が難しくなる

公共交通の衰退

金銭面をはじめ、若年層の負担が増える

交通の便が悪い

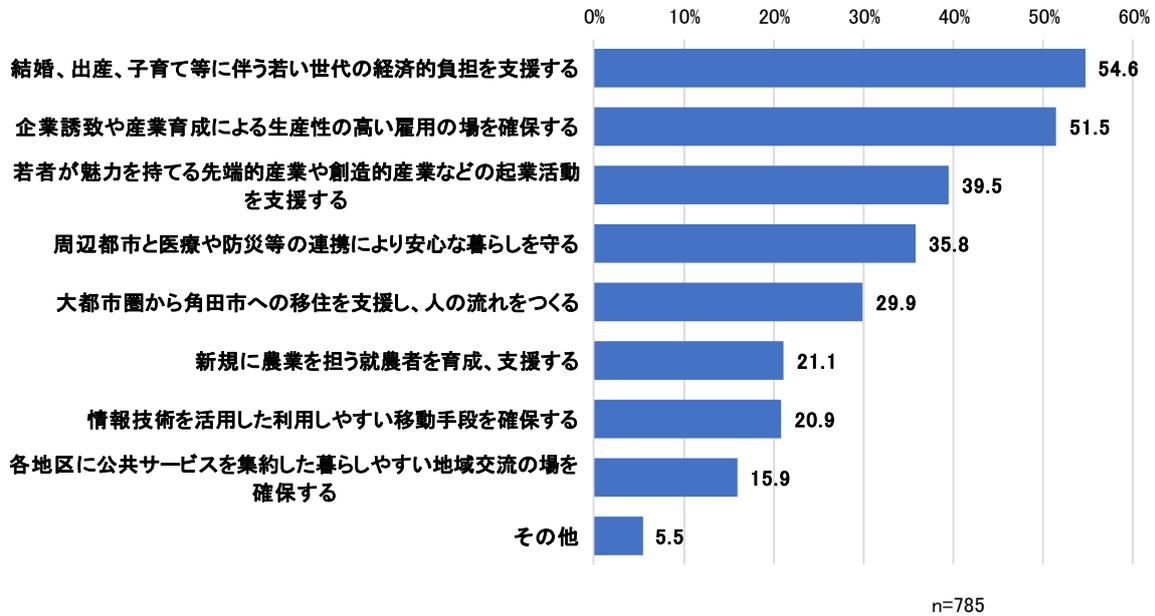
高齢者のための地域になり若者が暮らす意味が無くなる

地域の要である鉄道の維持が困難になり、バスなどの代替輸送案で解決できるか分からない。

## ②人口を減少させないための施策

問 15 角田市の人口をできる限り減少させないためには、どのような取り組みが必要だと考えますか。当てはまるものを**3つまで選んで○印をつけてください**。

### 【人口を減少させないための施策】



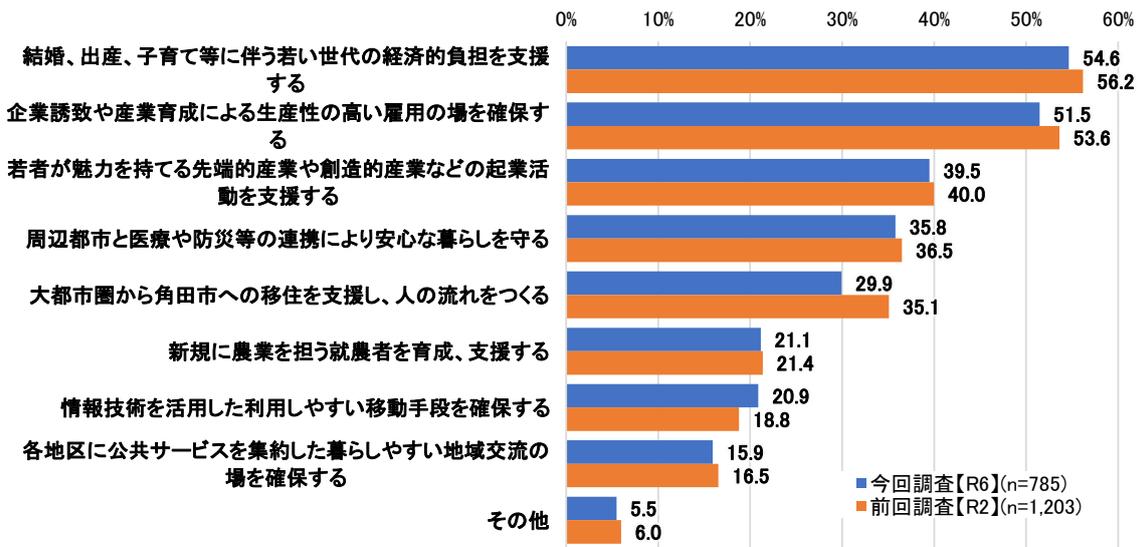
「結婚、出産、子育て等に伴う若い世代の経済的負担を支援する」54.6%、「企業誘致や産業育成による生産性の高い雇用の場を確保する」51.5%、「若者が魅力を持てる先端産業や創造的産業などの起業活動を支援する」39.5%の順となっている。前回調査（R2）と今回調査（R6）には大きな差異はみられない。

居住地域別にみると『藤尾地区』では「企業誘致や産業育成による生産性の高い雇用の場を確保する」が61.2%と最も多く、1位の施策となっている。

年齢別にみると『40～49歳』、『50～59歳』、『60～69歳』、『80歳以上』では「企業誘致や産業育成による生産性の高い雇用の場を確保する」が1位となっており、『19歳以下』では「大都市圏から角田市への移住を支援し、人の流れをつくる」の割合が高く2番目に多い回答となっている。

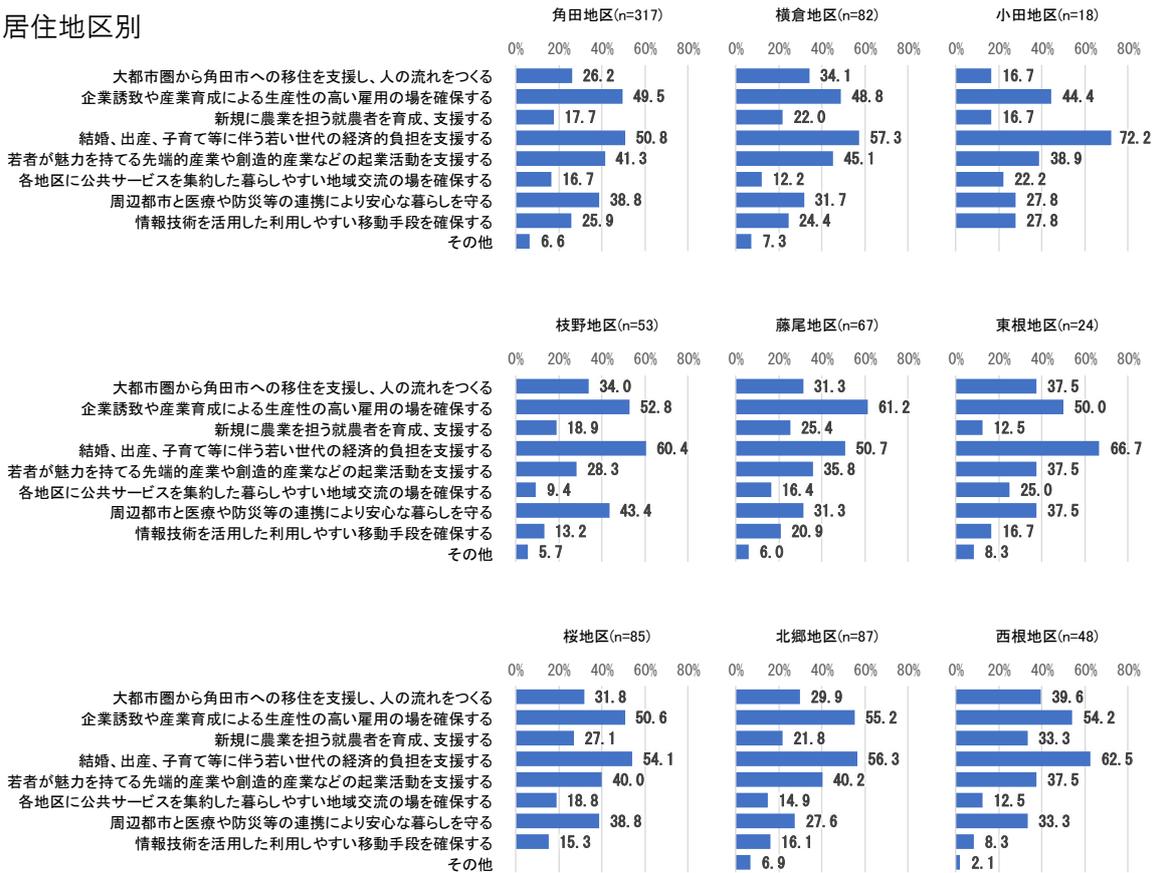
居住歴別にみると『20年以上』では「企業誘致や産業育成による生産性の高い雇用の場を確保する」が1位となっている。

【人口を減少させないための施策/前回調査との比較】

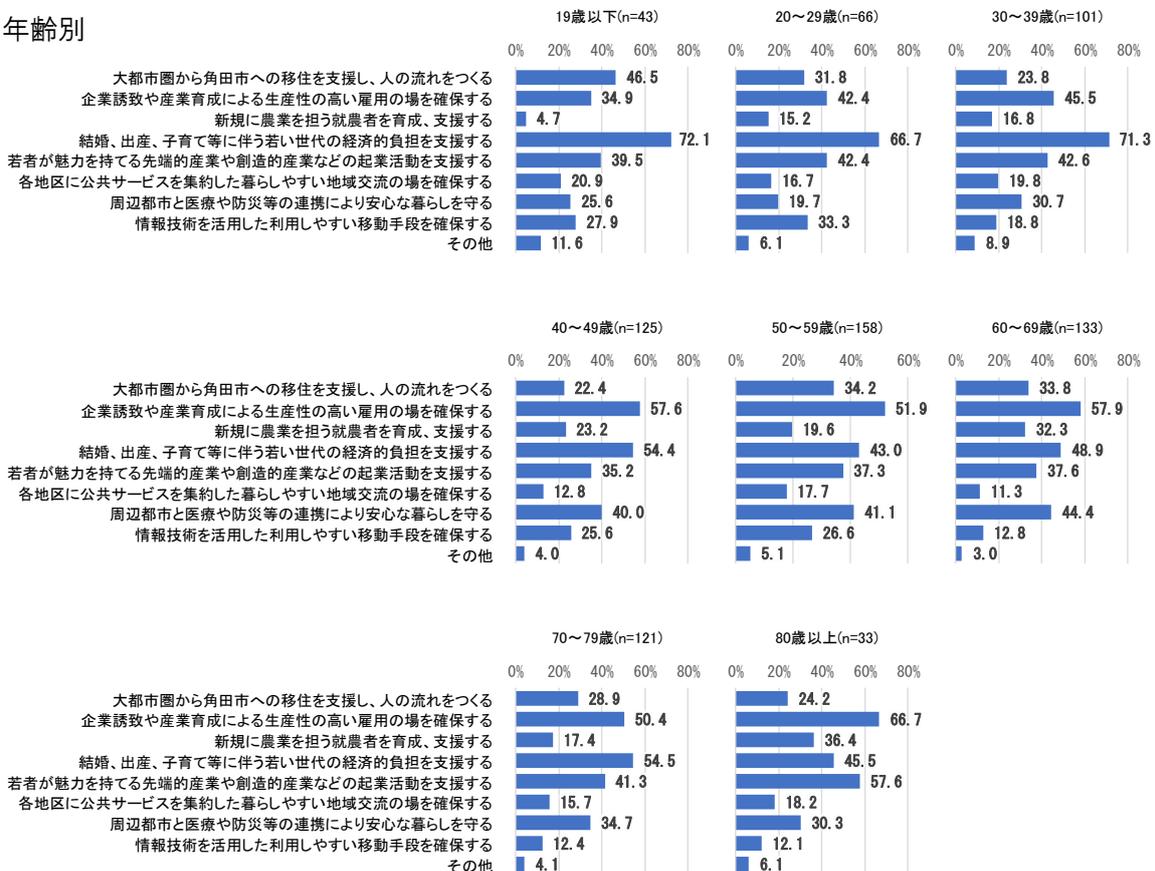


## 【人口を減少させないための施策/属性別】

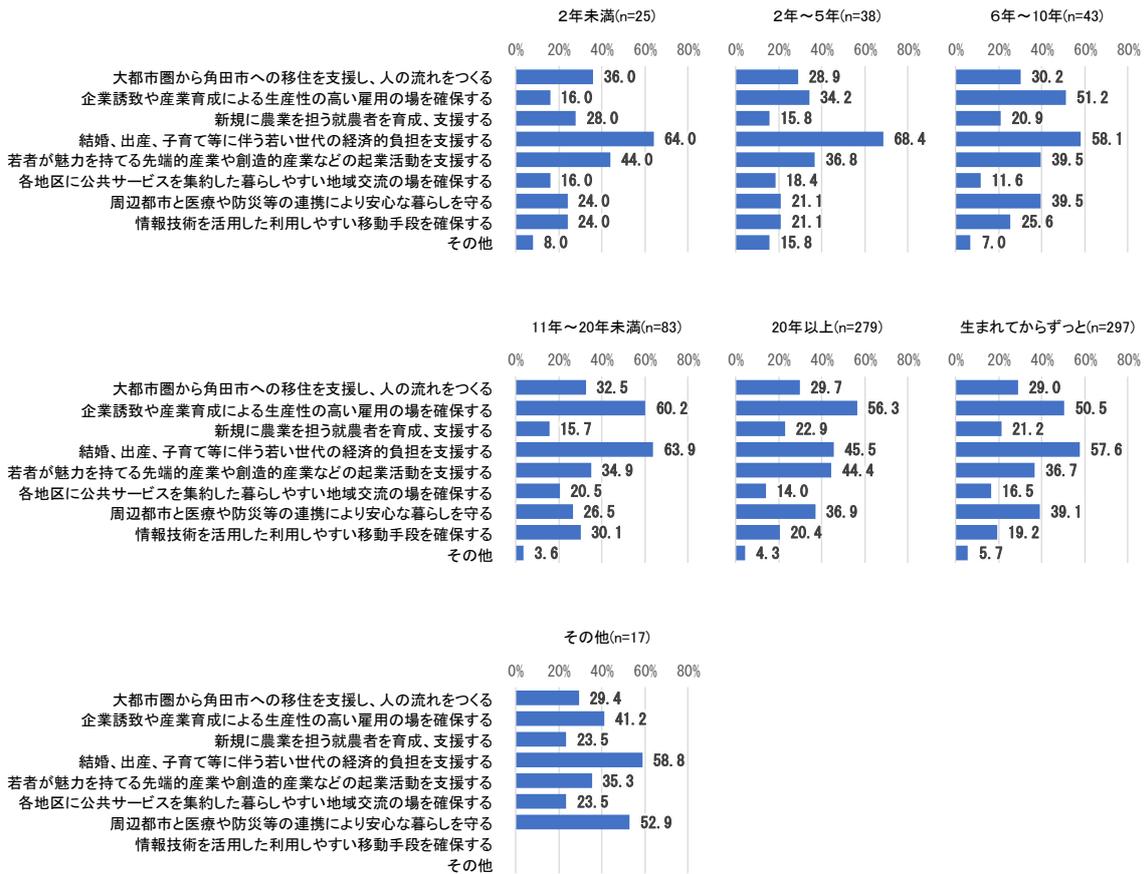
### ■ 居住地区別



### ■ 年齢別



## ■ 居住歴別



## 【人口を減少させないための施策/その他の内容】

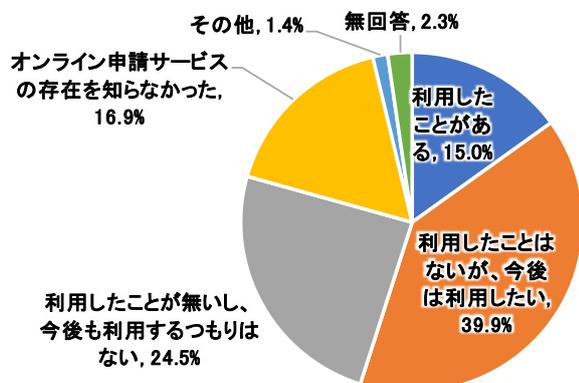
42 件の意見があり、概要は以下の通り。

1. **交通の便の改善:**
  - JR の開通、電車の本数増加、IC カード導入
  - 公共交通機関の充実
2. **商業施設・娯楽施設の充実:**
  - 複合商業施設建設、大手企業出店（スタバ、ドン・キホーテ）
  - 若者向けの店やアミューズメント施設（ゲームセンター、ラウンドワン）
  - 飲食店やデパートの設置
3. **医療・子育て支援:**
  - 産婦人科、小児科の設置
  - 子育て支援、学力向上のための無料塾
4. **教育・文化の充実:**
  - 小中高の一貫校化
  - 教育・文化環境の整備
5. **地域の安全・安心:**
  - 自然災害の心配のない町づくり
  - 交通安全の強化
6. **その他の提案:**
  - 海外からの移民受け入れ
  - 居住地区の整備
  - スポーツ施設の充実
  - 観光用施設の設置
  - 経済的負担の支援

## (5) デジタル化の推進について

問 16 角田市のオンライン申請サービス(※10)を利用したことがあるかお答えください。当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

### 【市のオンライン申請サービスの利用の有無】



(n=785)

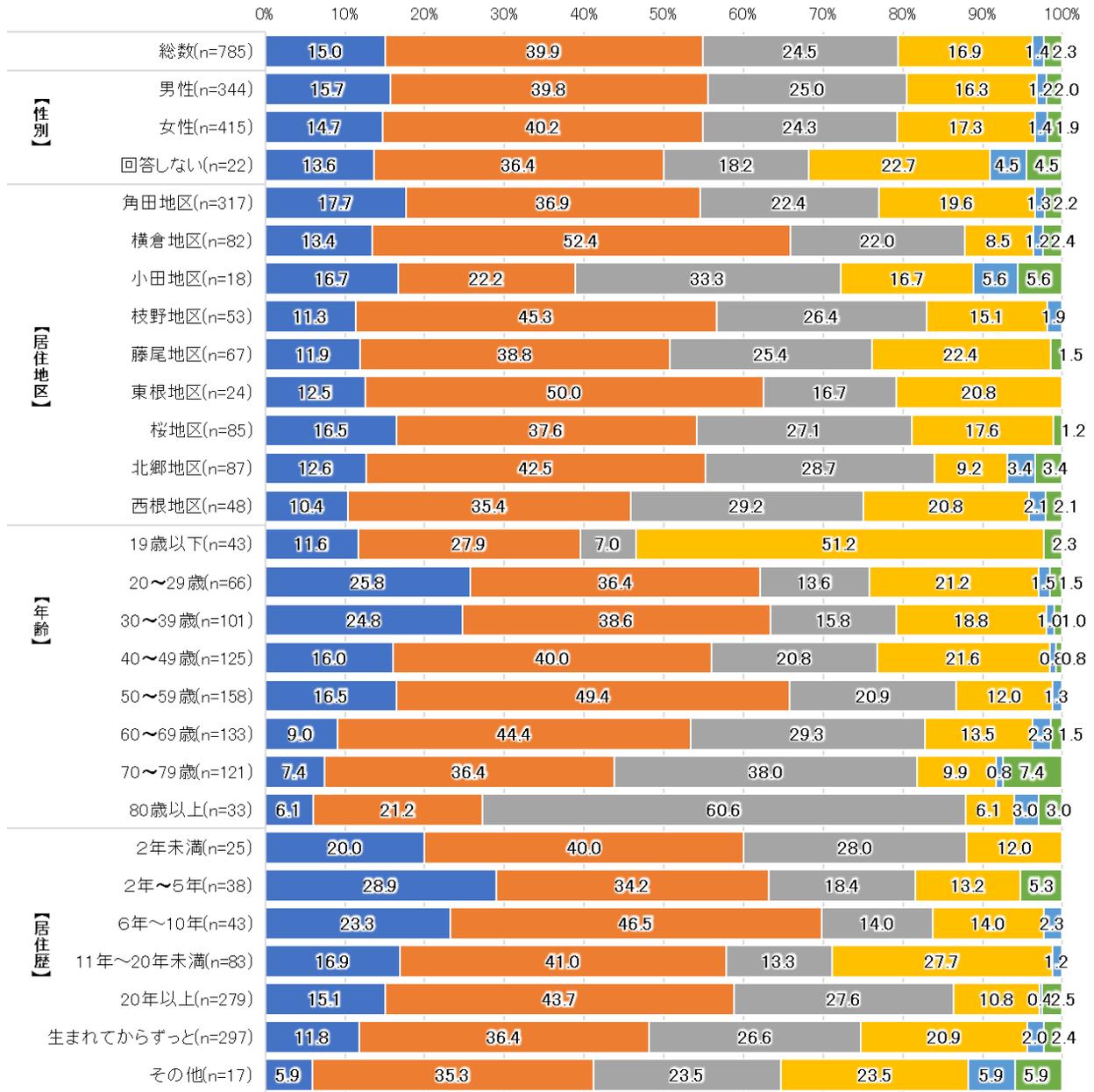
「利用したことはないが、今後は利用したい」39.9%、「利用した事が無いし、今後も利用するつもりはない」24.5%、「オンライン申請サービスの存在を知らなかった」16.9%の順となっている。

居住地域別にみると『横倉地区』では「利用したことはないが、今後は利用したい」が52.4%と最も多い一方で『小田地区』では「利用した事が無いし、今後も利用するつもりはない」が33.3%と最も多い。

年齢別にみると年齢が高くなるにつれ、「利用した事が無いし、今後も利用するつもりはない」の割合が多くなり、『80歳以上』では60.6%と最も多い。また『19歳以下』では「オンライン申請サービスの存在を知らなかった」が51.2%と最も多い。

居住歴別にみると『6年～10年』では「利用したことはないが、今後は利用したい」が46.5%と最も多い一方で『2年未満』では「利用した事が無いし、今後も利用するつもりはない」が28.0%と最も多い。

## 【市のオンライン申請サービスの利用の有無/属性別】



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、今後は利用したい
- 利用したことが無いし、今後も利用するつもりはない
- オンライン申請サービスの存在を知らなかった
- その他
- 無回答

## 【市のオンライン申請サービスの利用の有無/その他の内容】

以下のような 11 件の意見があった。

機会がないが利用したい。

わからない（2件）

したような気もするけどわからない。

パソコン、スマホが苦手。

インターネットが出来ない。

オンラインの手続きの仕方が分からないので教えて頂けるのでしょうか。

申請するものがないため知っているが利用していない。

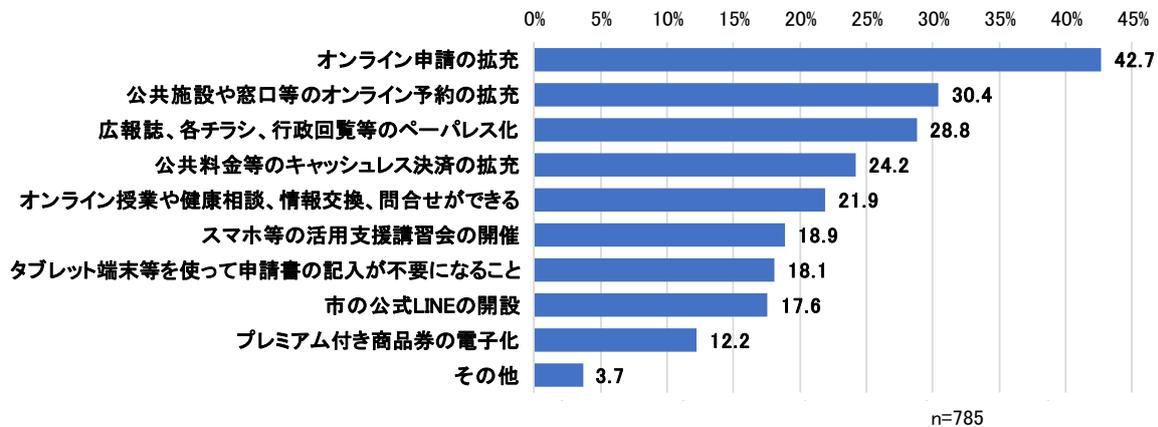
高齢化によりデジタル化申請分かりにくい。

高齢者はパソコン、ケイタイが使いこなせないため、利用したくてもできない。

利用したいと思うが使い方に不安（わからない）がある。

問 17 行政手続きや行政サービスのうちデジタル化を期待するものはなんですか。  
 当てはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

【デジタル化を期待する行政手続きや行政サービス】



「オンライン申請の拡充」42.7%、「公共施設や窓口等のオンライン予約の拡充」30.4%、「広報誌、各チラシ、行政回覧等のペーパーレス化」28.8%の順となっている。

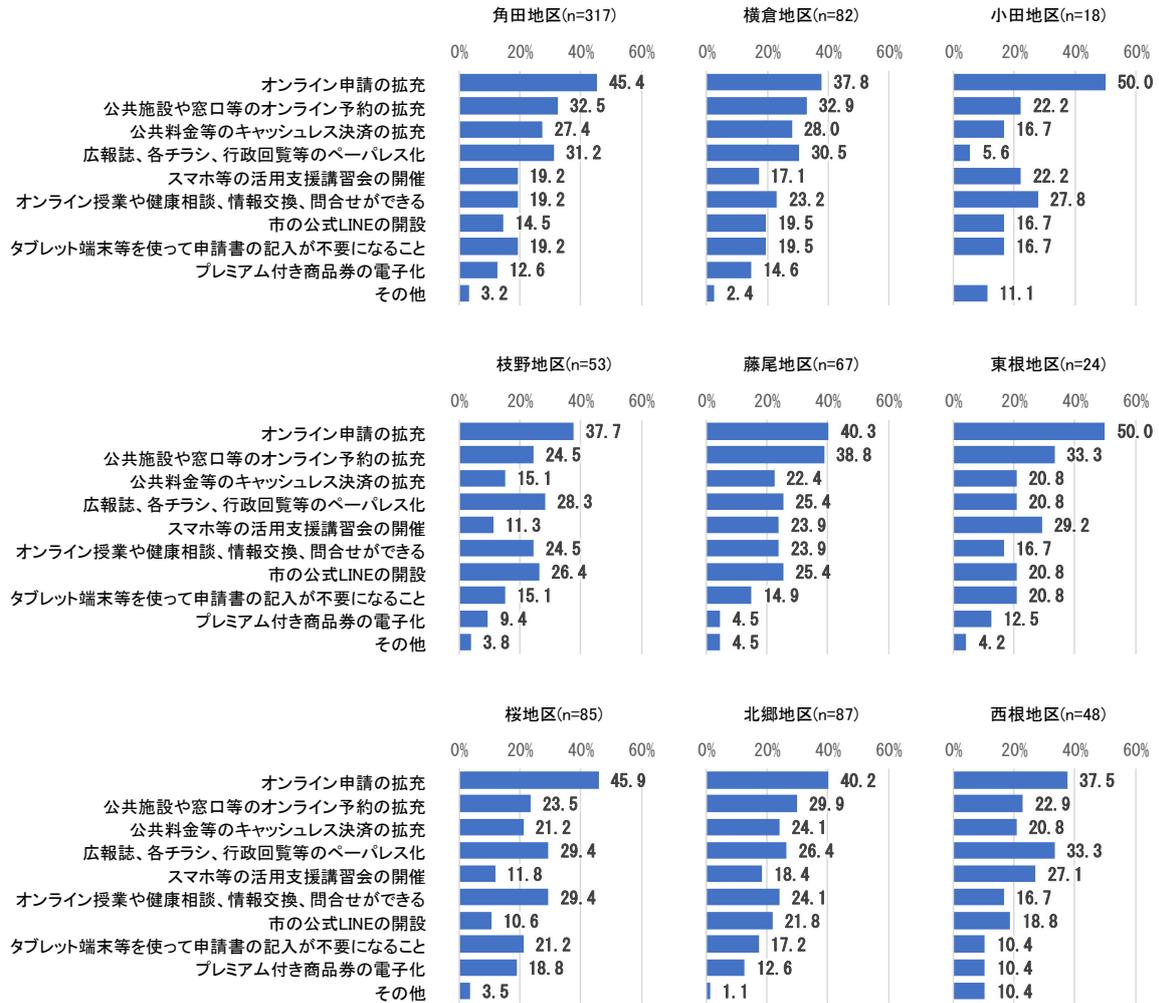
居住地区別にみるとどの地区でも1位は「オンライン申請の拡充」となっているが、『小田地区』では「オンライン授業や健康相談、情報交換、問合せができる」、『枝野地区』と『西根地区』では「広報誌、各チラシ、行政回覧等のペーパーレス化」、『桜地区』では「広報誌、各チラシ、行政回覧等のペーパーレス化」と「オンライン授業や健康相談、情報交換、問合せができる」が2位となっている。

年齢別にみると『19歳以下』では「公共料金等のキャッシュレス決済の拡充」、『70歳～79歳』では「スマホ等の活用支援講習会の開催」、『80歳以上』では「広報誌、各チラシ、行政回覧等のペーパーレス化」が1位になっている。

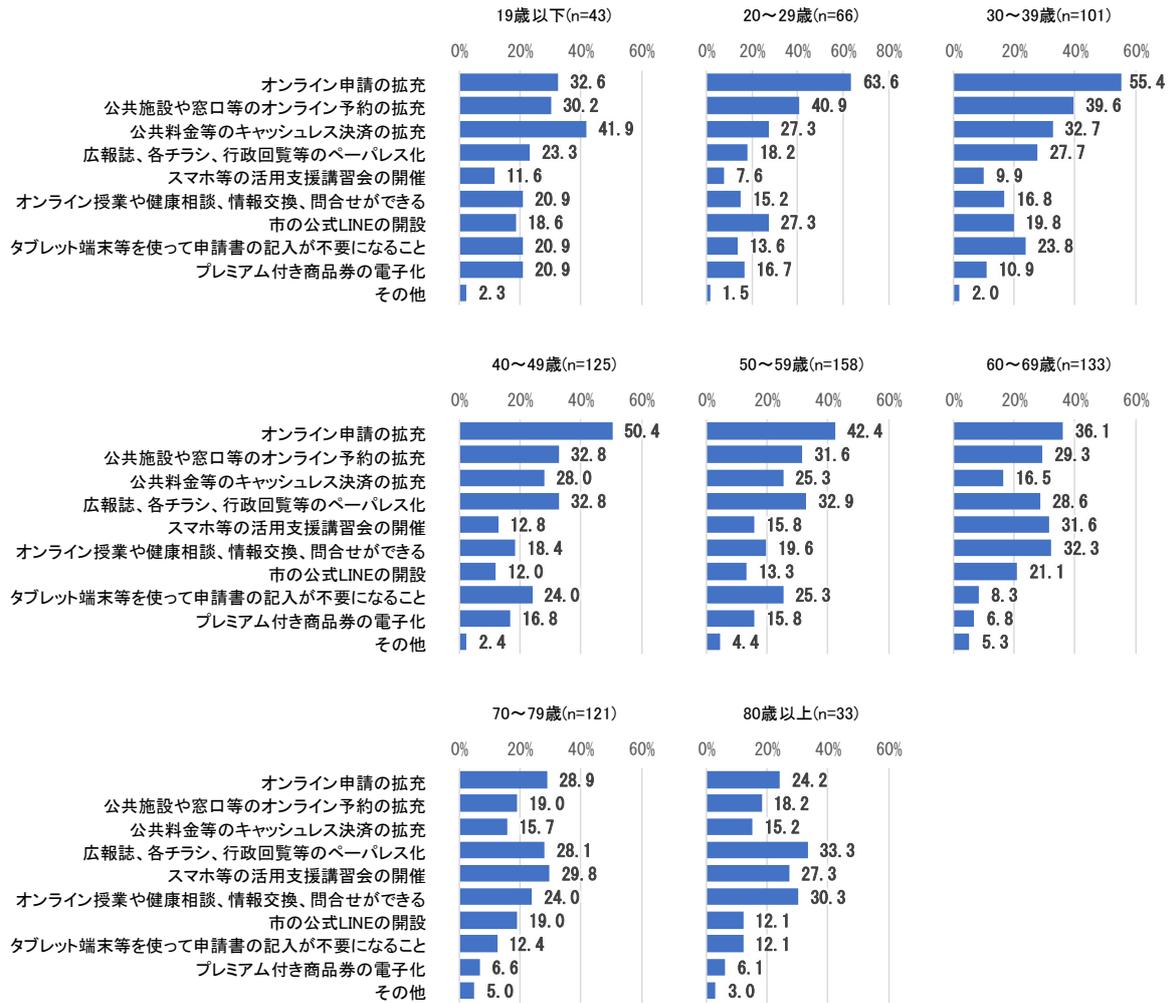
居住歴別にみると『その他』では「スマホ等の活用支援講習会の開催」が47.1%と多く、1位になっている。

## 【デジタル化を期待する行政手続きや行政サービス/属性別】

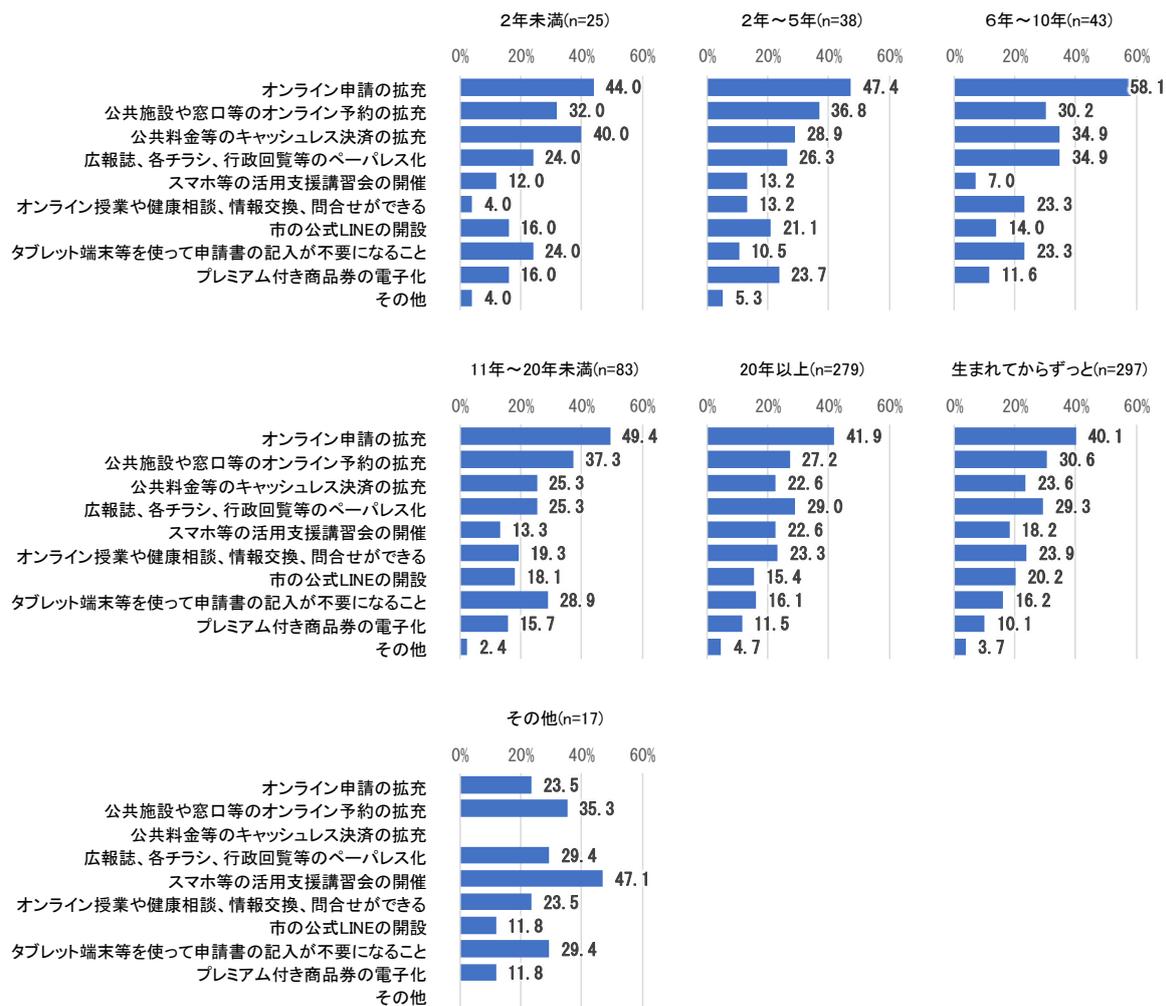
### ■ 居住地区別



■ 年齢別



## ■ 居住歴別



## 【デジタル化を期待する行政手続きや行政サービス/その他の内容】

27 件の意見があり概要は以下の通り。

### 1. デジタル化に対する不安・不信:

- デジタル化は信用していない
- 機械音痴なので分からない
- スマホやタブレットが使えない
- デジタル化に期待していない

### 2. デジタル化の必要性を感じない:

- 自分には必要がない
- 特になし
- わからない

### 3. デジタル化のサポート希望:

- 地域にできる人が教えてまわる
- オンラインについて基本的なことを知りたい

### 4. 従来の方法の維持希望:

- 従来の方法は残すべき
- 顔の見える窓口対応、心の通った行政サービスを希望

### 5. その他:

- 住民票等の取得をしやすくしてほしい
- 便利になればなるほど振り回されるので、ほどほどに

問 18 角田市のDXの推進に関して、ご意見があればご自由にご記入ください。

84 件の意見があり、その概要は以下の様に整理できる。

1. 高齢者に対するデジタル化の配慮：

- 高齢者がデジタル技術を理解しやすいように、わかりやすい説明やサポートが必要。
- デジタルデバイスの使い方を教える講習会やサポート体制の充実が求められる。
- スマホを持たない高齢者やフィーチャーフォン利用者にも対応できるサービスの提供が重要。

2. デジタル化の必要性和境界：

- デジタル化がすべての問題を解決するわけではなく、紙媒体の利便性も考慮する必要がある。
- デジタル化により、タブレット授業やオンライン予約・申請が進む一方で、機械に不慣れな人々への配慮が必要。
- 若者にとって便利なデジタルサービスを推進しつつ、高齢者にも配慮するバランスが重要。

3. デジタルデバイドの解消：

- 高齢者やデジタルに不慣れな人々が取り残されないように、デジタルデバイド（情報格差）を解消するための取り組みが必要。
- 市の公式LINEでイベント情報を発信するなど、デジタルツールを活用して情報を提供する。
- Wi-Fiが使える場所を増やし、デジタルアクセスを広げる。

4. デジタル化のリスクとコスト：

- デジタル化に伴う通信料や機器のコストが高齢者にとって負担となることを考慮し、支援策を検討する。
- 災害時のデジタル機器の利用に関する不安を解消するための対策が必要。

5. デジタル化の推進と教育：

- デジタル化のメリットとデメリットを市民にわかりやすく説明し、理解を深める。
- デジタル機器の取扱いや活用に関する研修会を定期的に行い、市民がデジタル技術に慣れる機会を提供する。
- 初心者でも活用できるように手順を簡素化し、使いやすいデジタルサービスを提供する。

## (6) 男女共同参画の推進について

### ①男女の地位

問 19 あなたは、次にあげる分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。1～8までの項目ごとに、最も当てはまる選択肢の番号 **1つに○印をつけてください。**

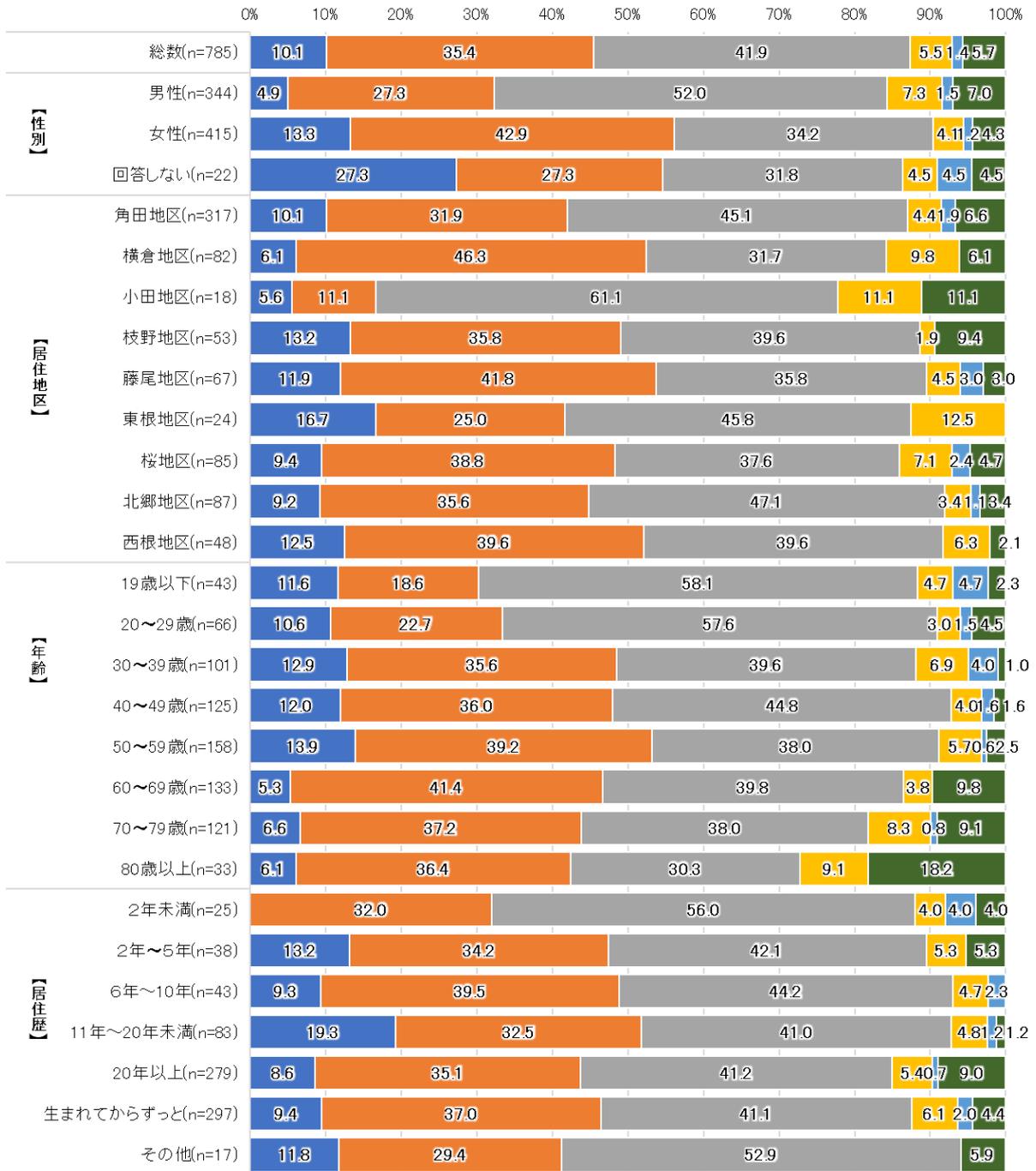
#### 【男女の地位】

項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 家庭生活における男女の地位	10.1	35.4	41.9	5.5	1.4	5.7
2 職場における男女の地位	12.2	43.3	32.5	3.7	0.9	7.4
3 学校教育の場における男女の地位	3.6	19.1	64.7	2.5	0.9	9.2
4 政治の場における男女の地位	27.8	42.8	20.6	0.8	0.5	7.5
5 法律や制度上における男女の地位	13.8	34.5	40.0	3.6	1.7	10.0
6 自治会やPTAなど地域活動の場における男女の地位	8.9	33.5	45.2	4.2	1.4	6.8
7 災害時の避難の場における男女の地位	6.6	21.8	54.9	7.9	1.1	17.6
8 社会全体における男女の地位	11.7	50.2	27.4	3.3	0.9	6.5

- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

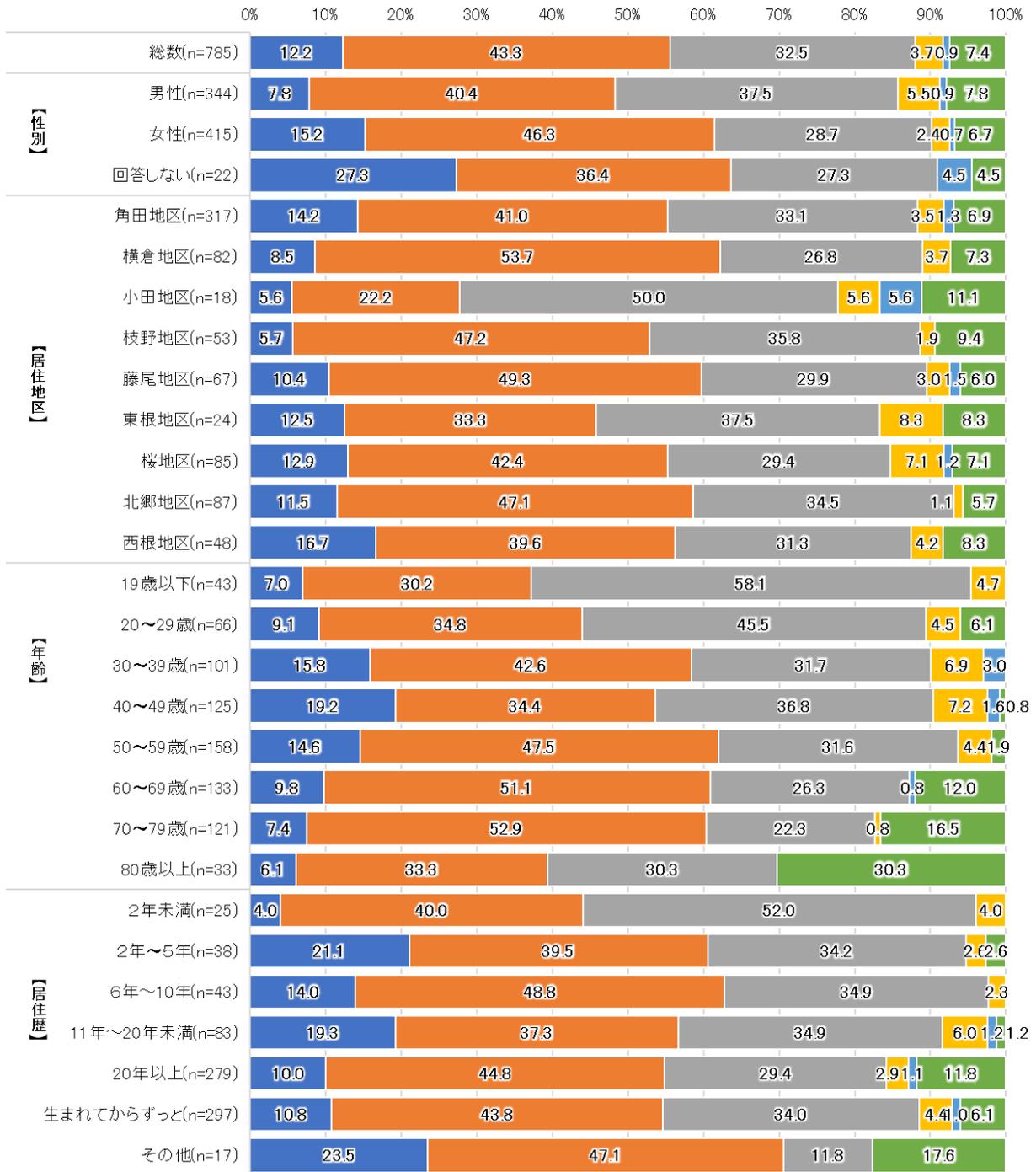
「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた《男性の方が優遇されている》は『4 政治の場における男女の地位』で70.6%と最も多い一方、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた《女性の方が優遇されている》は『7 災害時の避難の場における男女の地位』で9.0%と最も多くなっている。また、「平等」については『3 学校教育の場における男女の地位』で64.7%と最も多い。

## 【家庭生活における男女の地位/属性別】



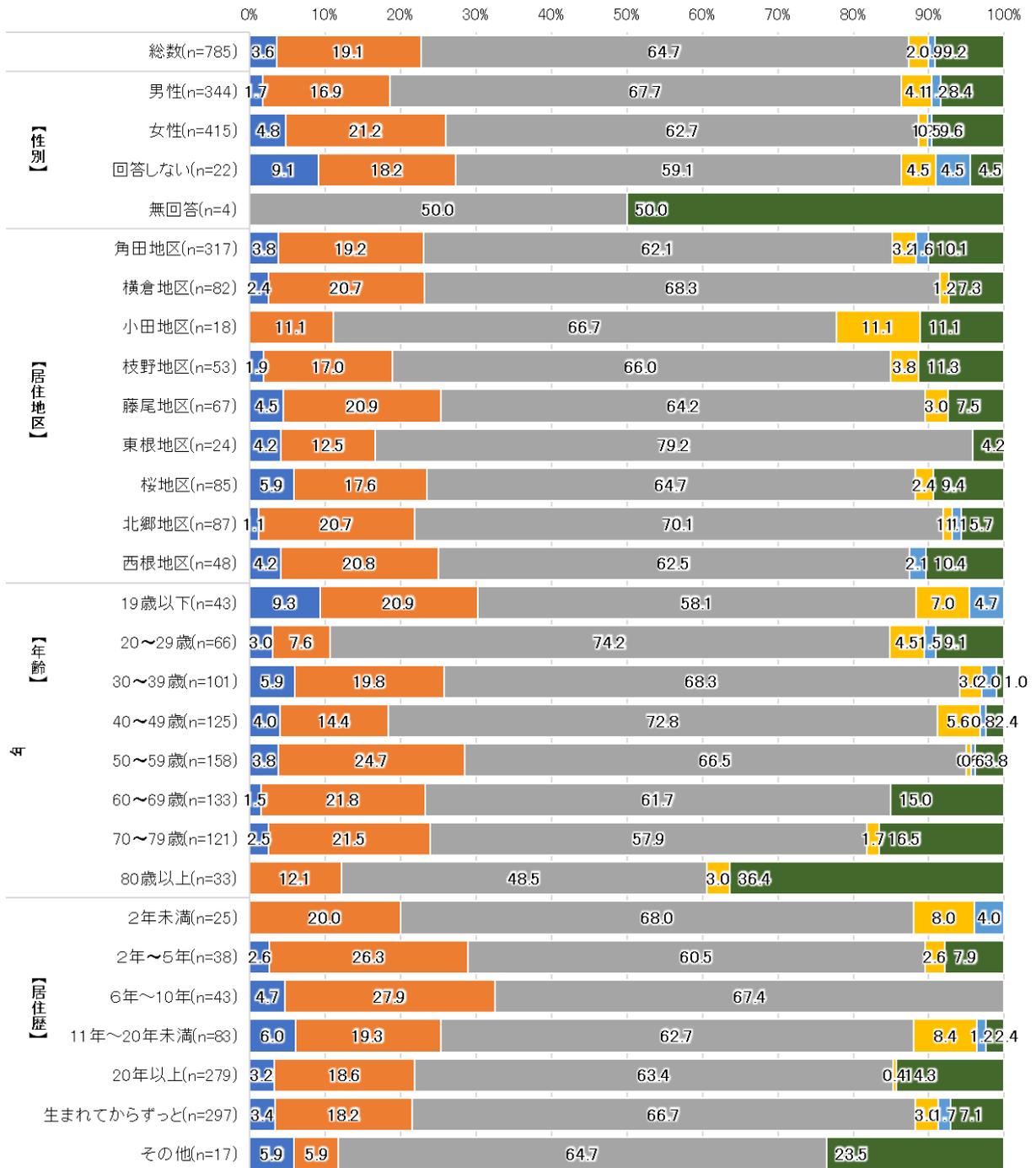
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

## 【職場における男女の地位/属性別】



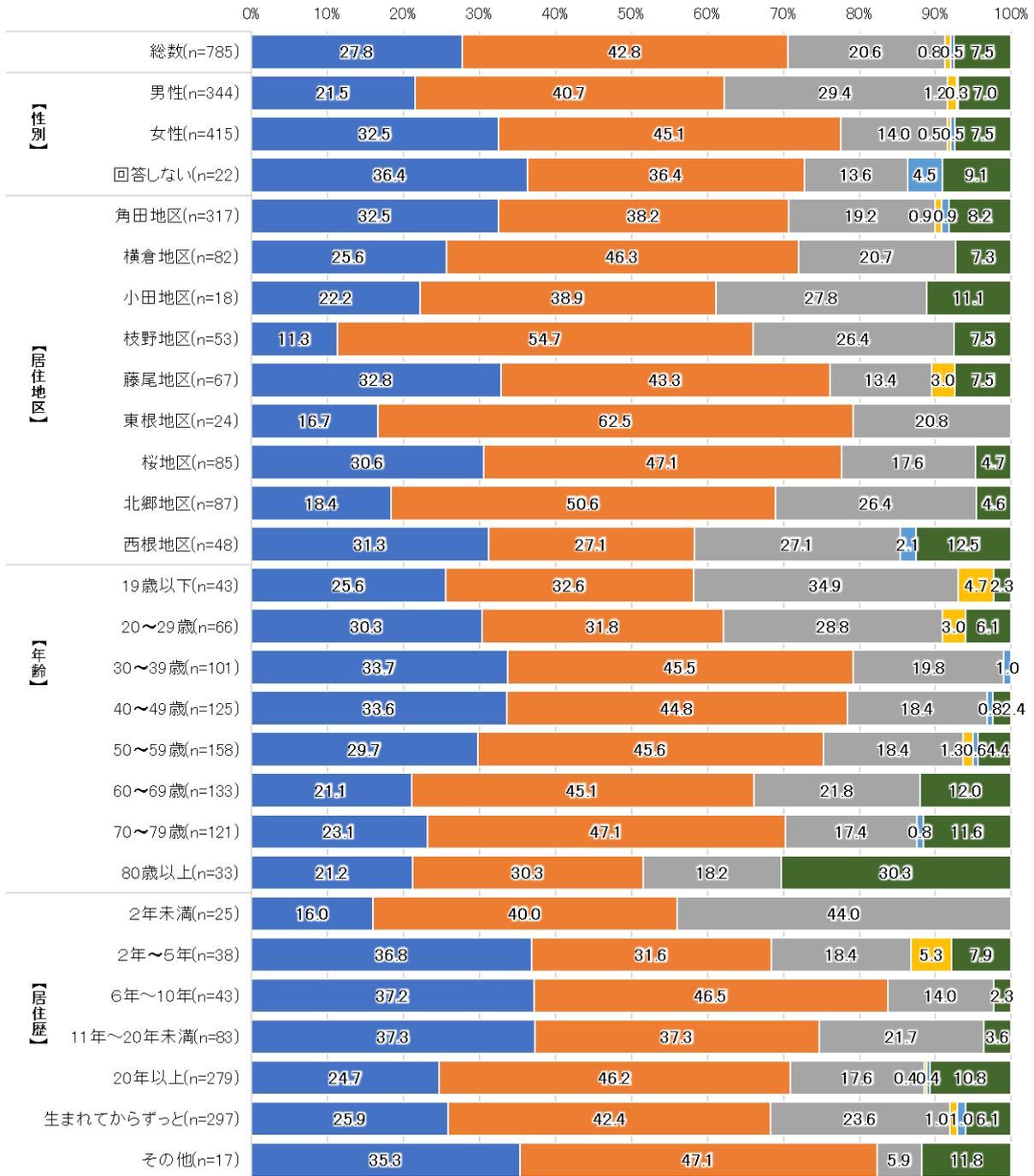
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

## 【学校教育の場における男女の地位/属性別】



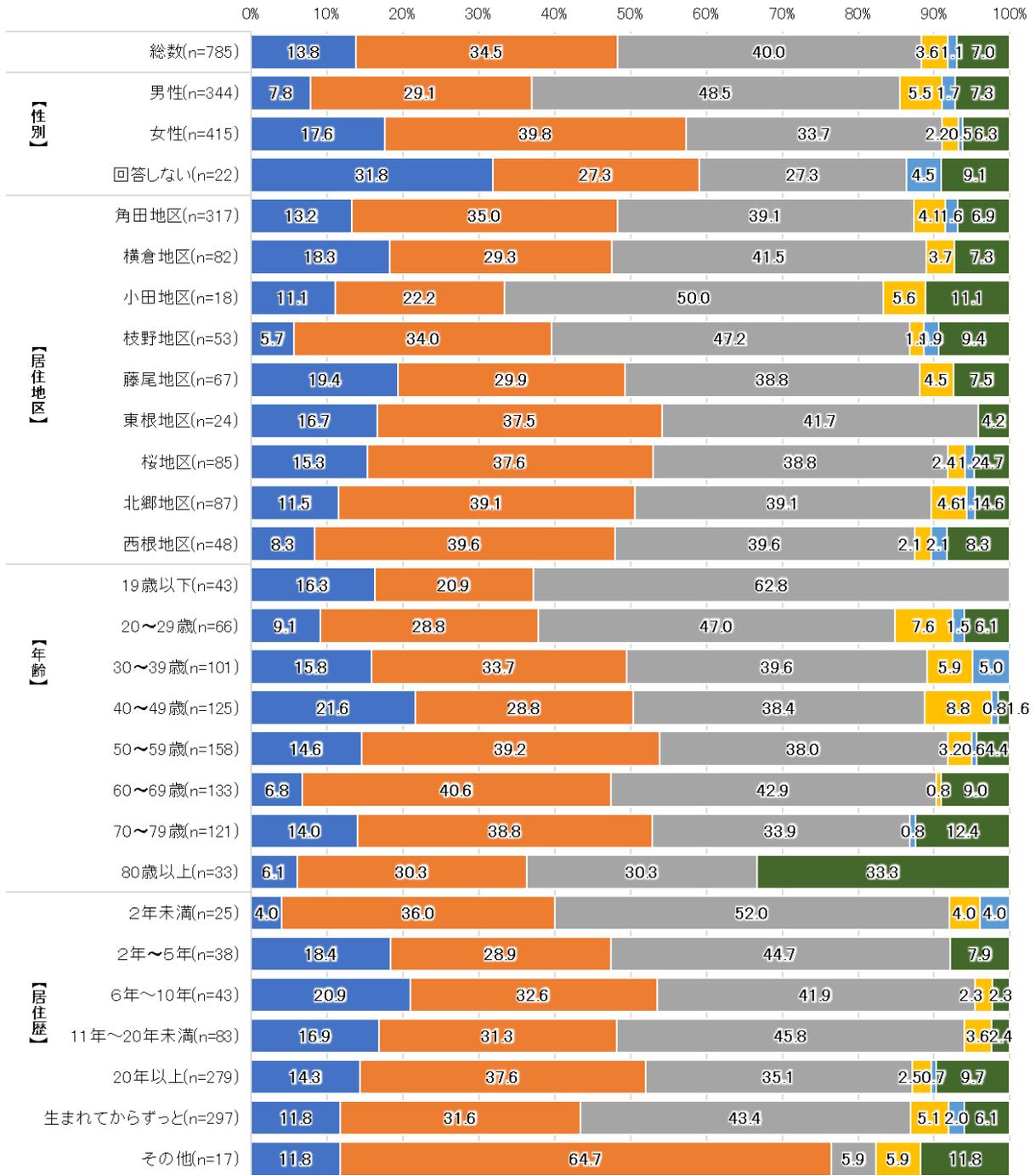
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

## 【政治の場における男女の地位/属性別】



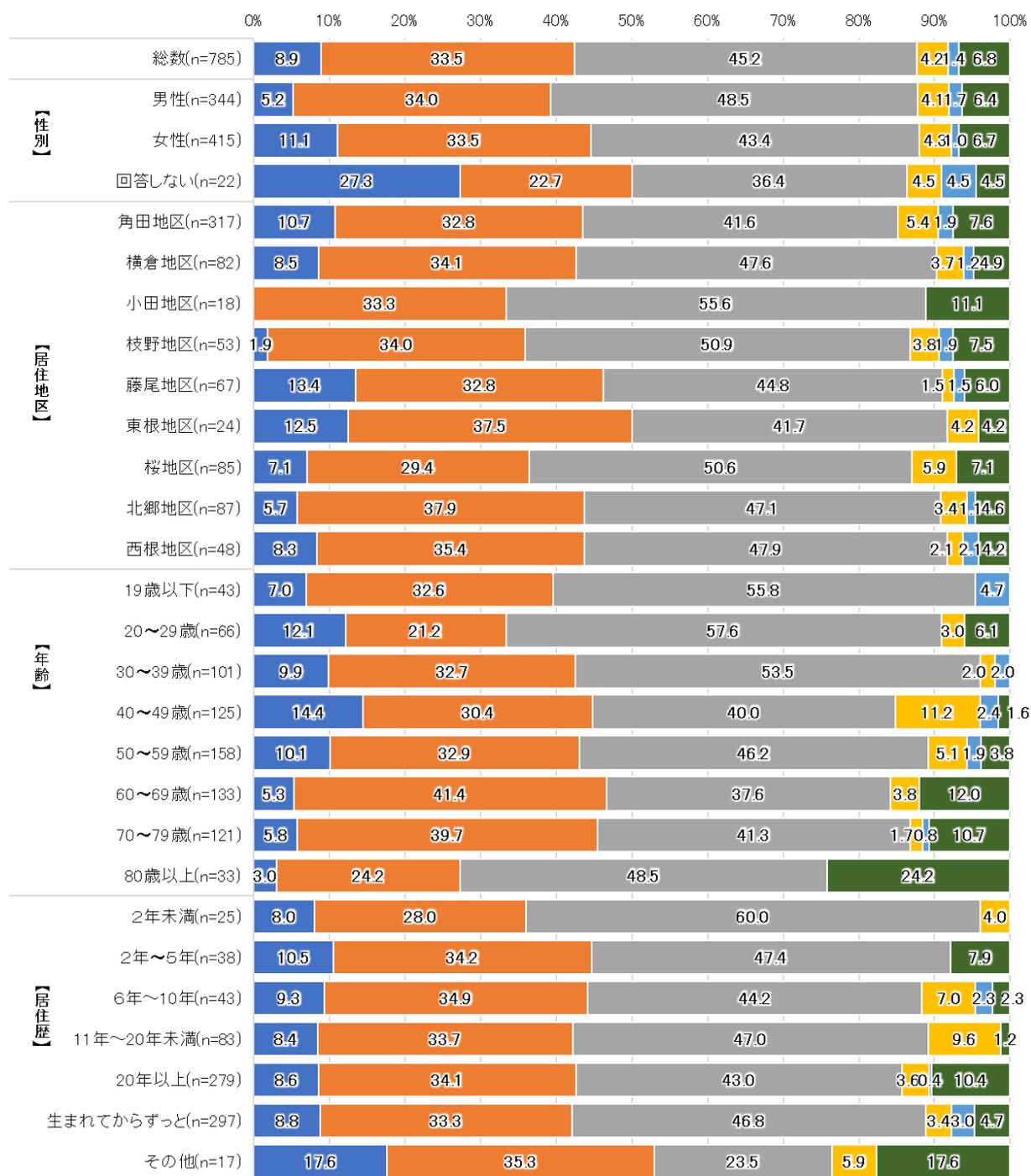
- 男性の方が非常に優遇されている
- 男性の方がやや優遇されている
- 平等
- 女性の方がやや優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

## 【法律や制度上における男女の地位/属性別】



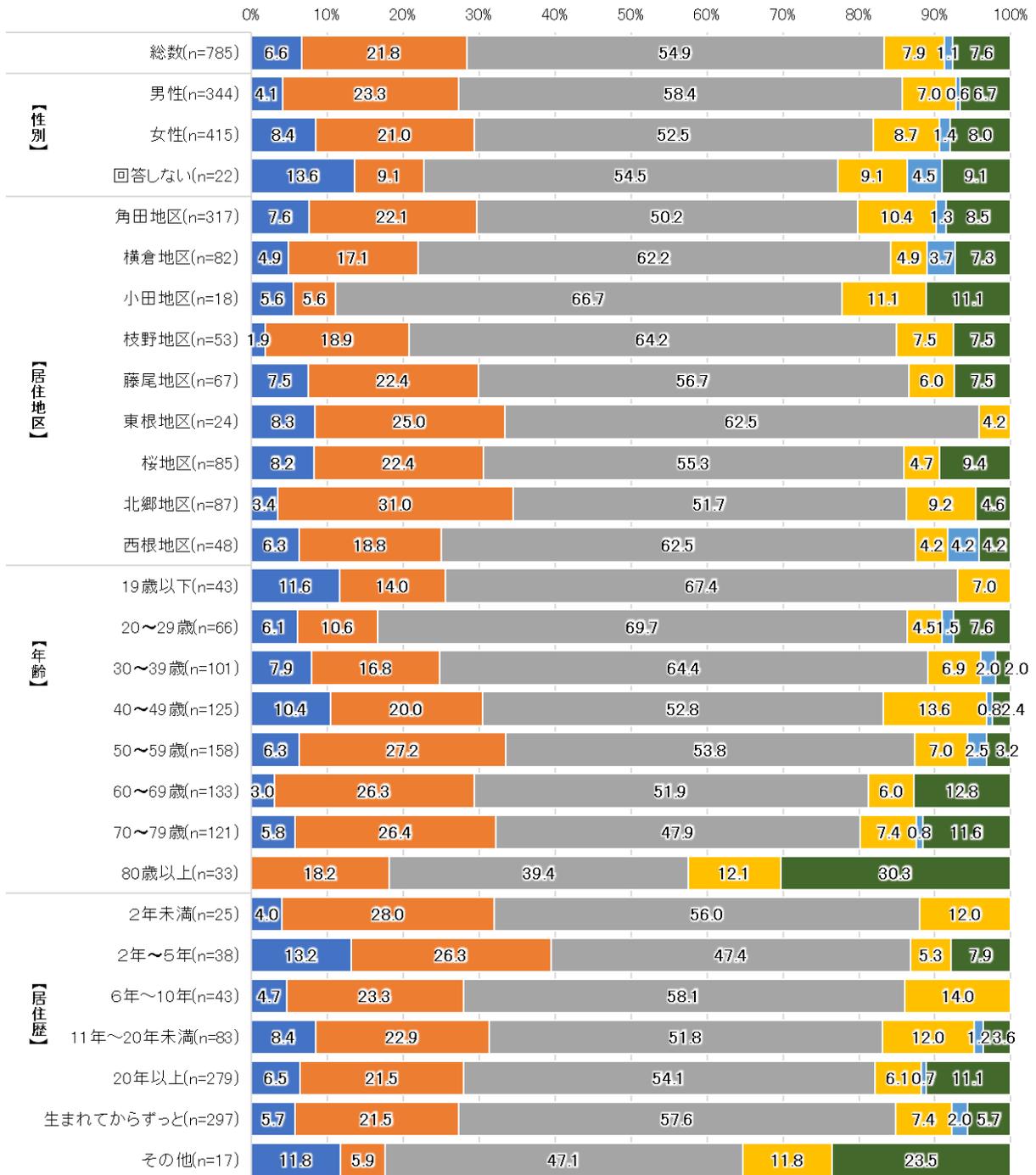
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

## 【自治会やPTA 等など地域活動の場における男女の地位/属性別】



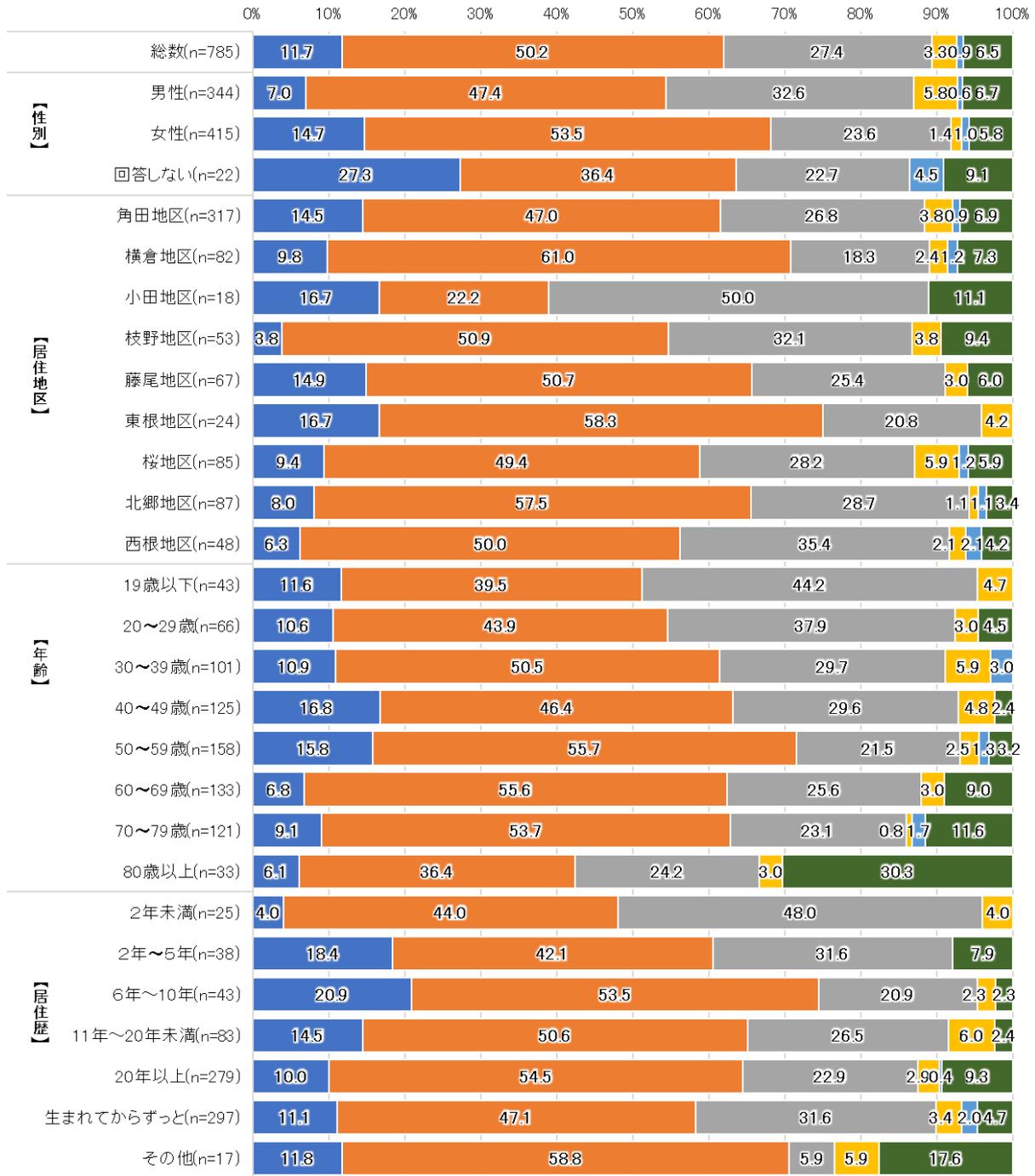
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

### 【災害時の避難の場における男女の地位/属性別】



- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

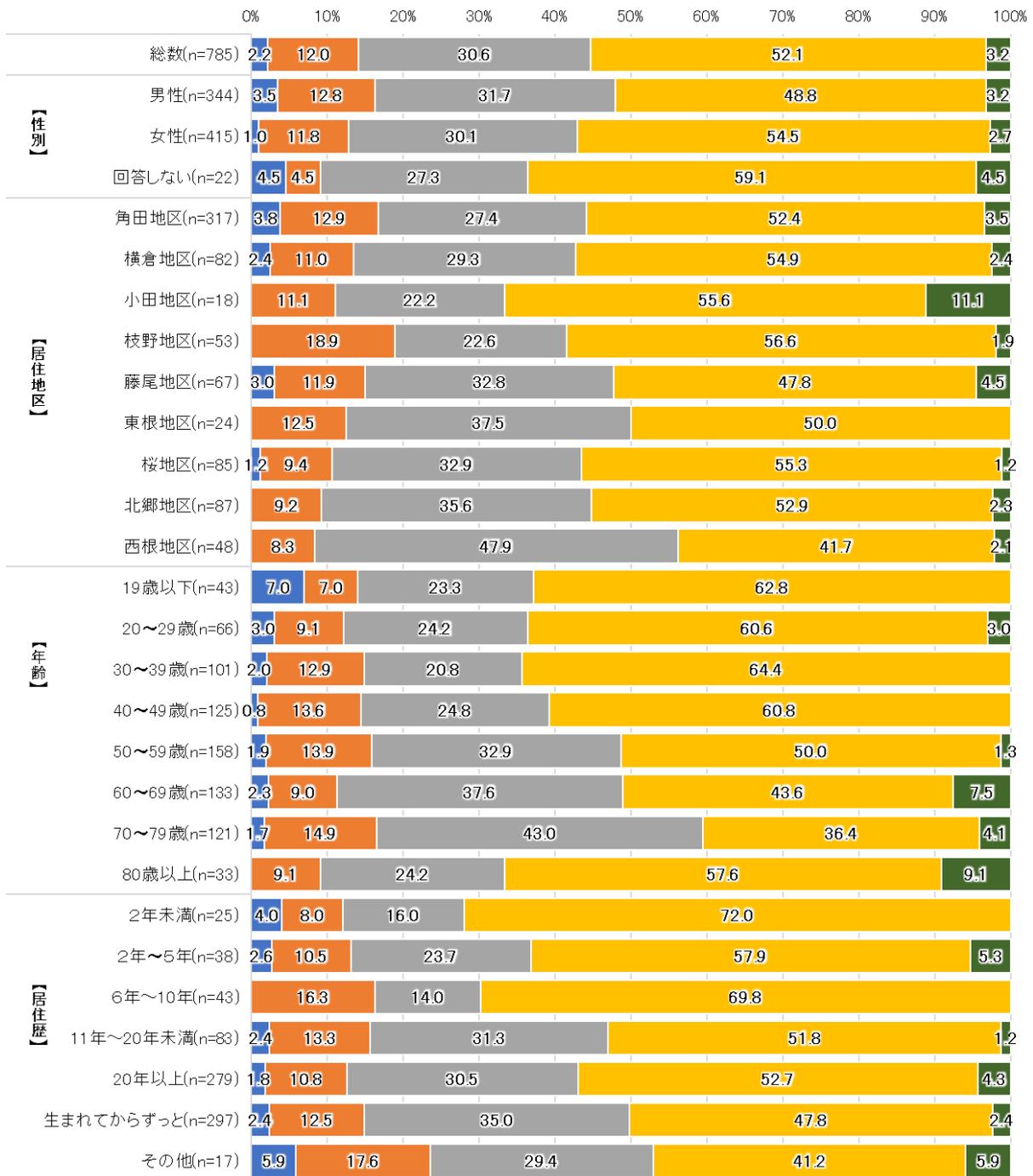
## 【社会全体における男女の地位/属性別】



- 男性の方が非常に優遇されている
- 男性の方が優遇されている
- 平等
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

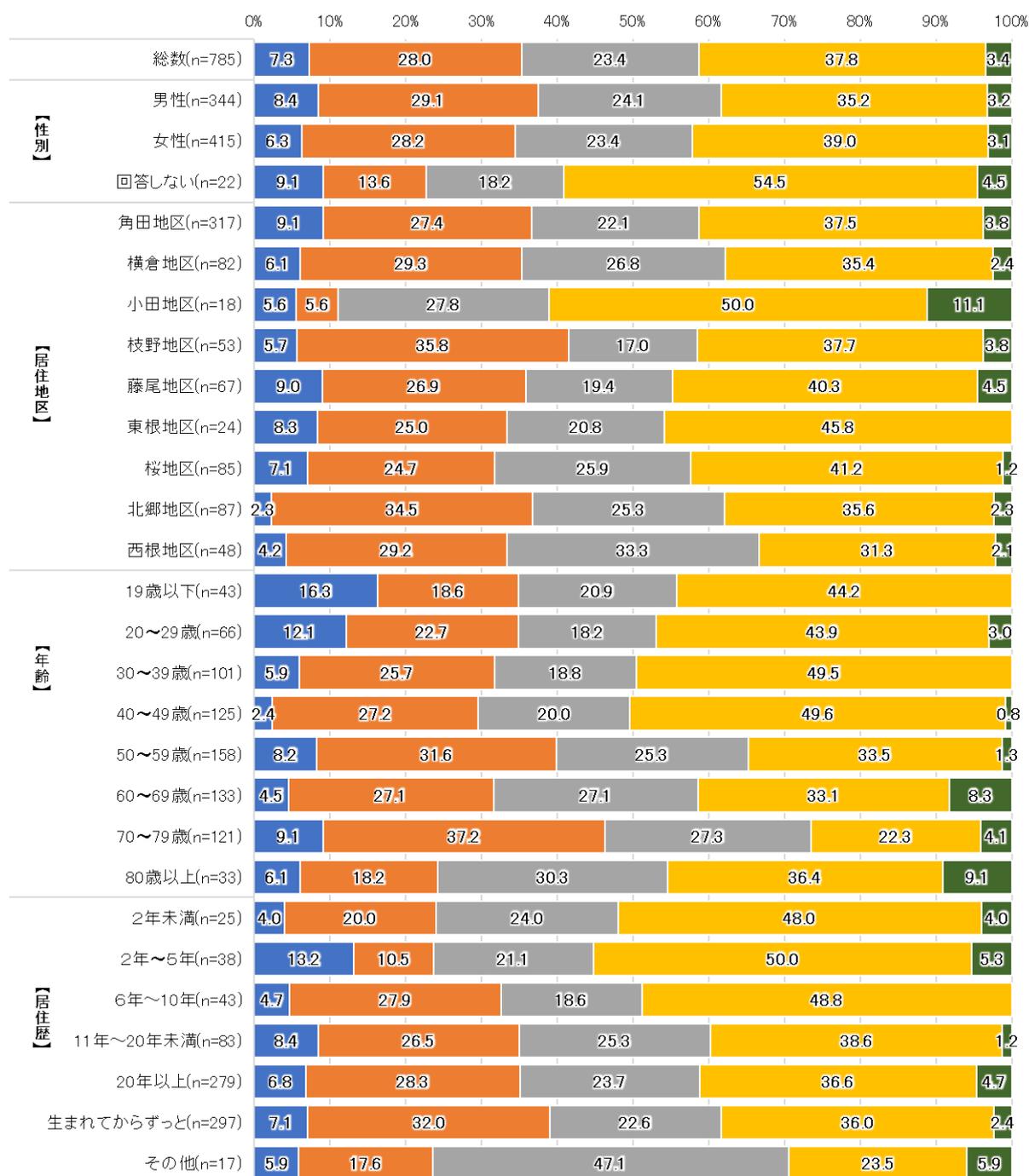


【「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである。」について/属性別】



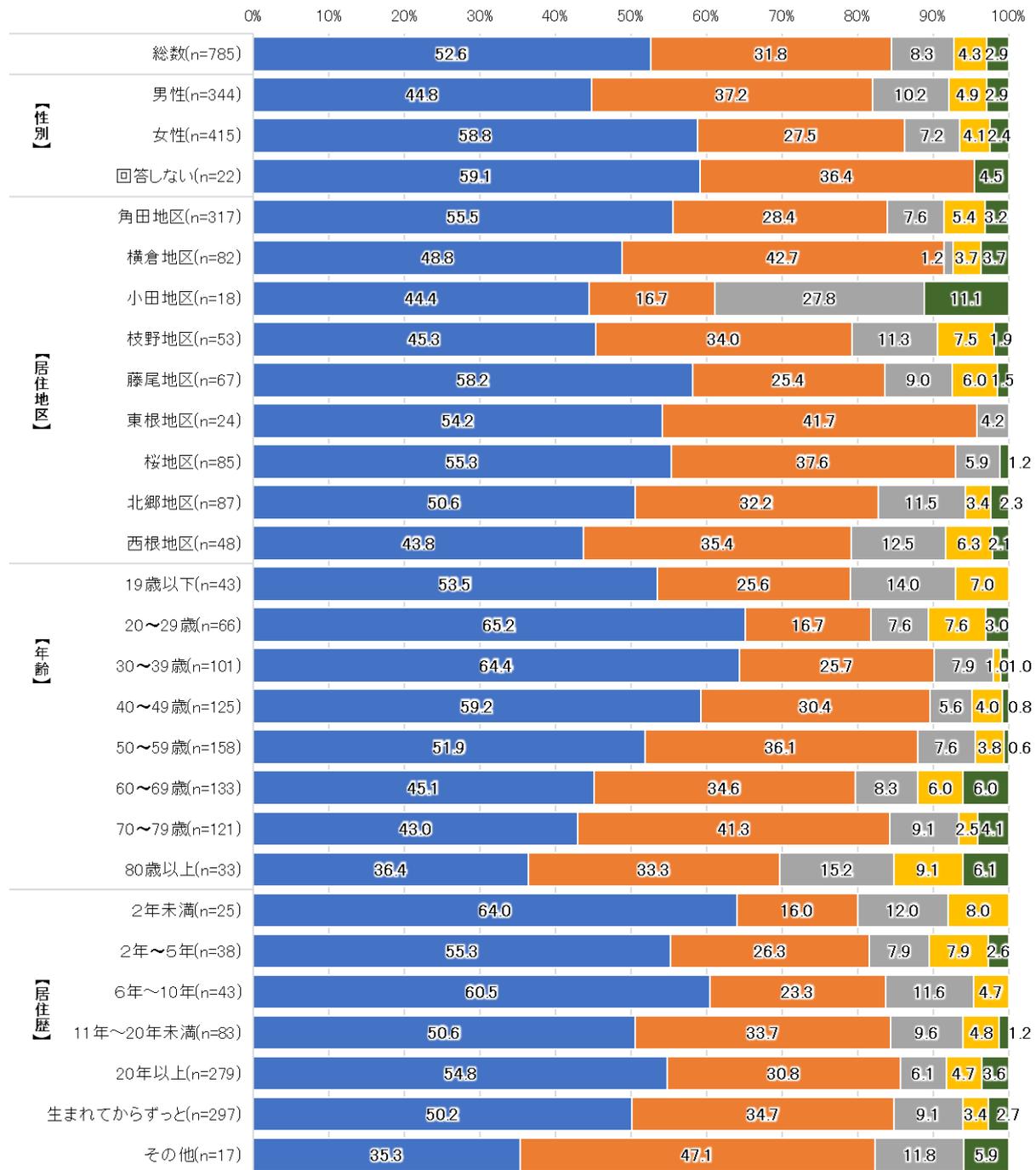
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

【「家族を経済的に養うのは男性の役割である。」について/属性別】



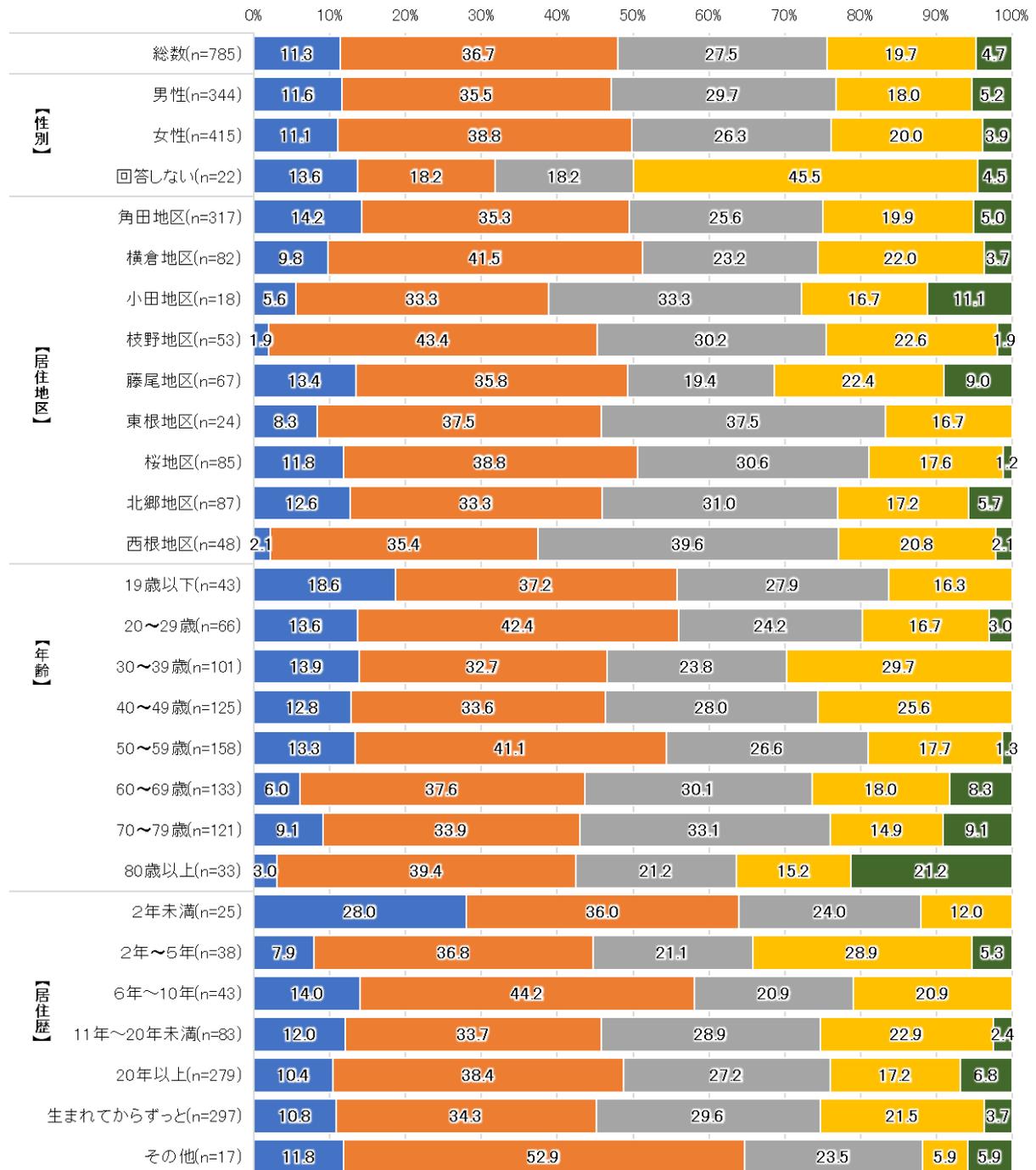
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

【「男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができた方が良い。」について/属性別】



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

【「あなたは現在、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が取れていると感じますか。」について/属性別】



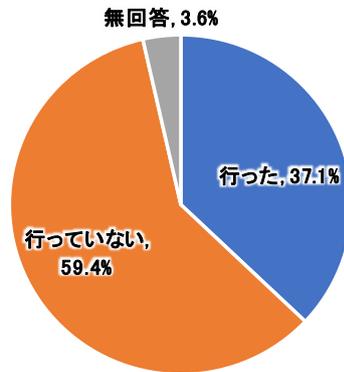
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

(7) スポーツの推進について

①最近1年間における週1回以上の運動

問 21 最近1年間において週1回以上運動を行いましたか。当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【最近1年間における週1回以上の運動の実施】



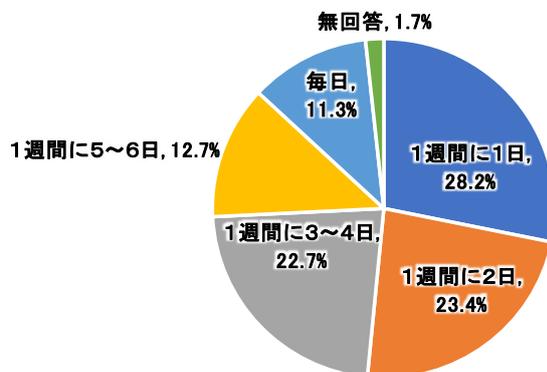
(n=785)

(問21で「1 行った」を選択した方にお聞きします。)

問 21-1 最近1年間の運動習慣についてお答えください。

(1) 1週間の運動日数。当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【1週間の運動日数】



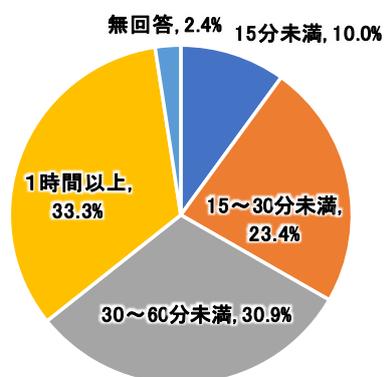
(n=291)

(問21で「1 行った」を選択した方にお聞きします。)

問 21-1 最近1年間の運動習慣についてお答えください。

(2) 運動を行う1日あたりの時間。当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【運動を行う1日あたりの時間】



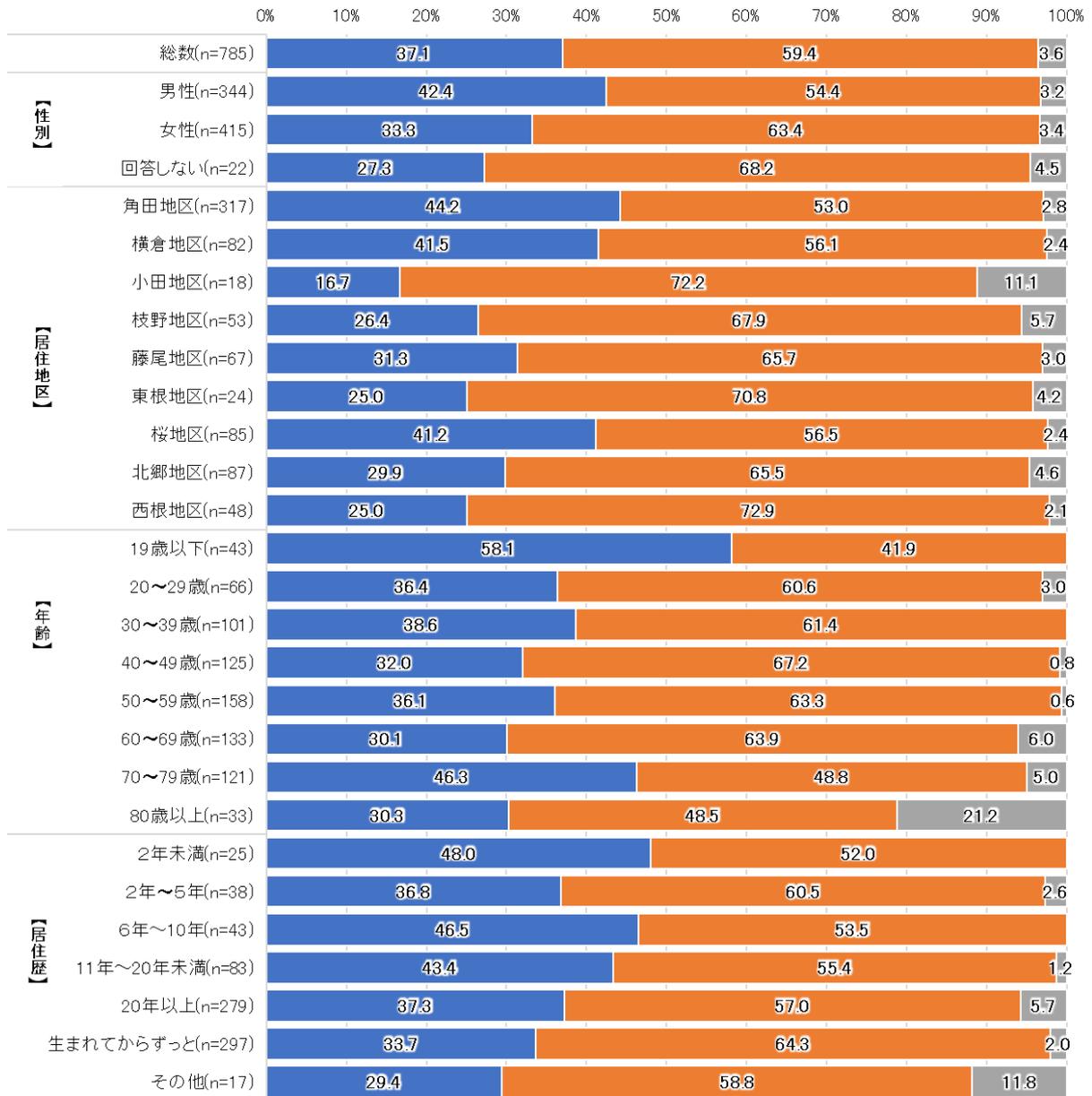
(n=291)

最近1年間における週1回以上の運動については「行っていない」59.4%、「行った」37.1%となっている。

1週間の運動日数については「1週間に1日」28.2%、「1週間に2日」23.4%、「1週間に3~4日」22.7%の順となっている。

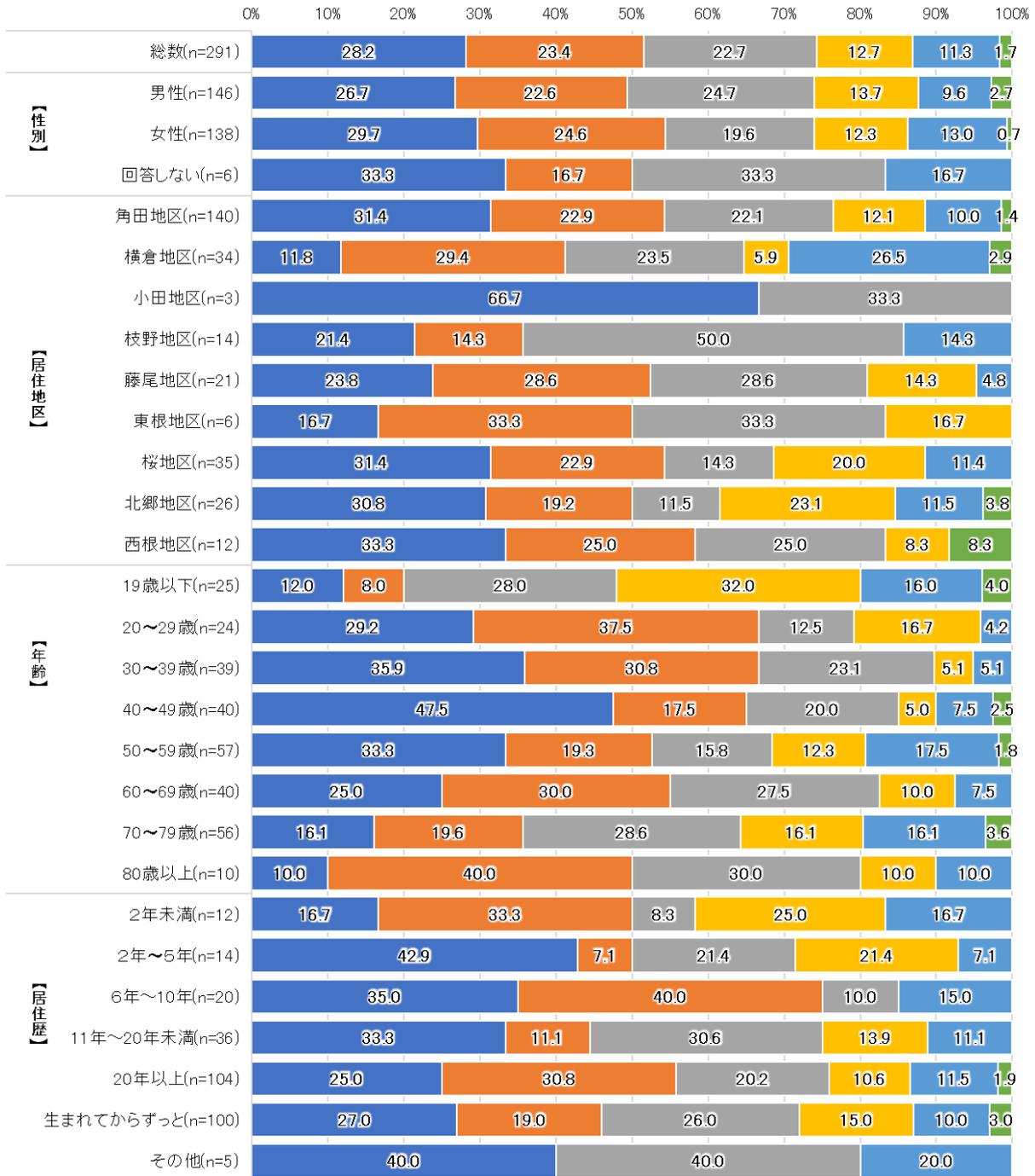
運動を行う1日あたりの時間については、「1時間以上」33.3%、「30~60分未満」30.9%、「15~30分未満」23.4%の順となっている。

【最近1年間における週1回以上の運動の実施/属性別】



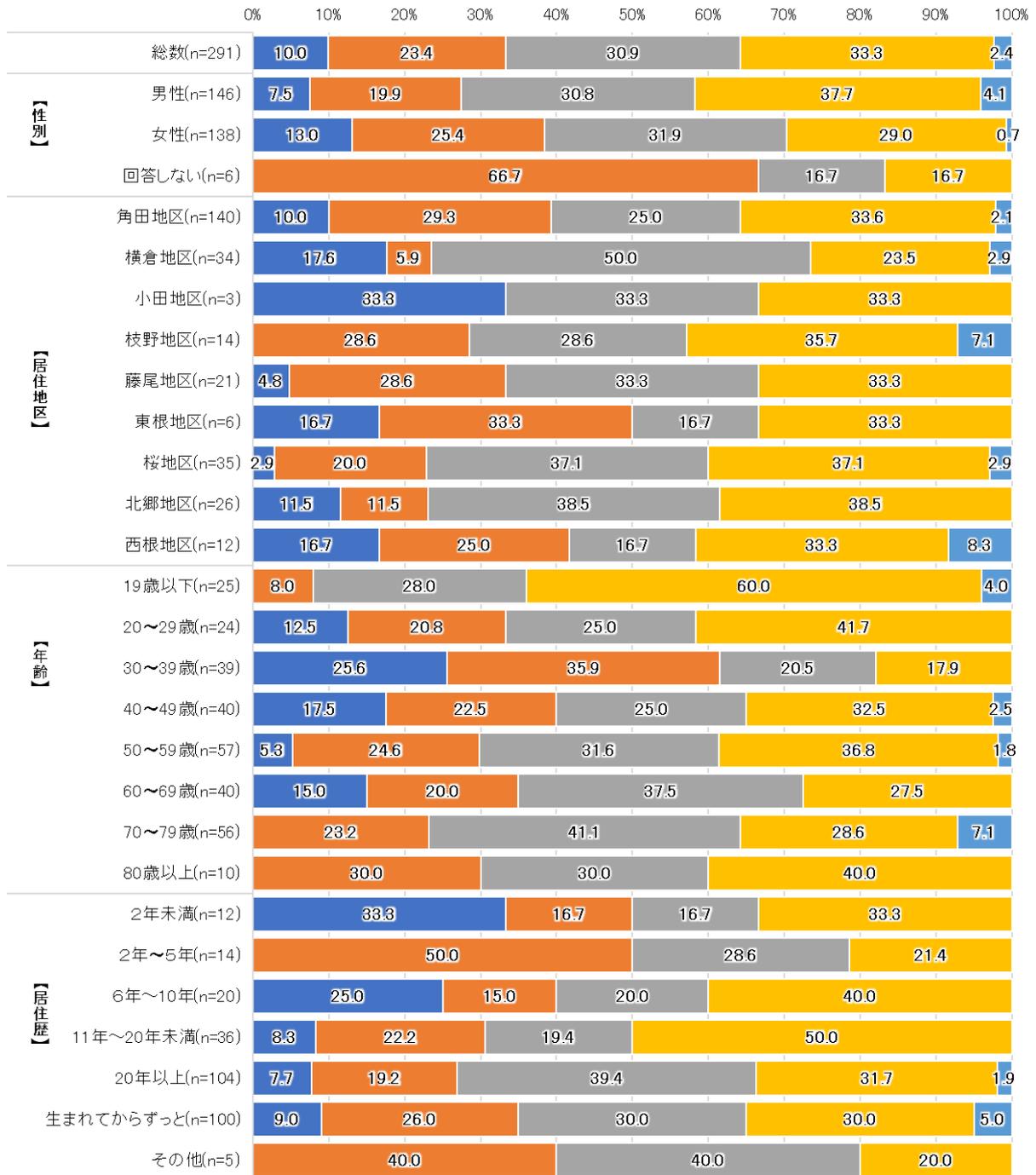
■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

### 【1週間の運動日数/属性別】



■ 1週間に1日 ■ 1週間に2日 ■ 1週間に3~4日 ■ 1週間に5~6日 ■ 毎日 ■ 無回答

【運動を行う1日あたりの時間/属性別】

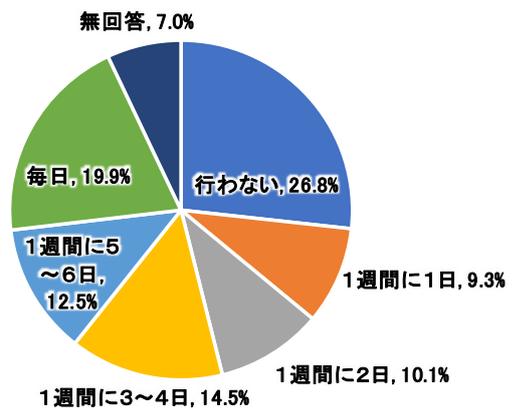


■ 15分未満 ■ 15~30分未満 ■ 30~60分未満 ■ 1時間以上 ■ 無回答

②過去1年間における1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」

問 22 運動に限らず、日常生活の中で体を動かすことで健康寿命は伸ばせるといわれています。過去1年間について、運動以外の身体活動(※11)のうち、1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」をしているかどうかお答えください。当てはまる番号 1つに○印をつけてください。

【過去1年間における1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」の実施】



(n=785)

【過去1年間における1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」の実施/週2回以上】

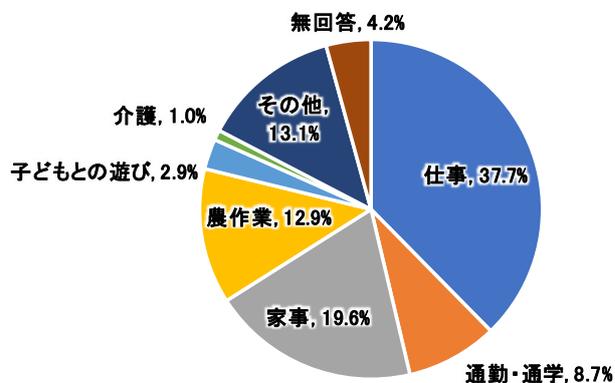
		総数	男性	女性	回答しない	無回答
総数		785	344	415	22	4
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Q22	行わない	210	84	115	11	0
		26.8%	24.4%	27.7%	50.0%	0.0%
	1週間に1日	73	36	34	3	0
		9.3%	10.5%	8.2%	13.6%	0.0%
	1週間に2日	79	37	42	0	0
		10.1%	10.8%	10.1%	0.0%	0.0%
	1週間に3~4日	114	58	54	1	1
		14.5%	16.9%	13.0%	4.5%	25.0%
	1週間に5~6日	98	51	46	1	0
		12.5%	14.8%	11.1%	4.5%	0.0%
毎日	156	48	104	3	1	
	19.9%	14.0%	25.1%	13.6%	25.0%	
無回答	55	30	20	3	2	
	7.0%	8.7%	4.8%	13.6%	50.0%	

	総数	男性	女性
週2回以上	447	194	246
	56.9%	56.4%	59.3%

(問22で「2 1週間に1日」～「6 毎日」を選択した方にお聞きします。)

問22-1 1日30分以上「歩行と同程度かそれ以上に体を動かす身体活動」の主な場面はどれですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

【1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」の主な場面】

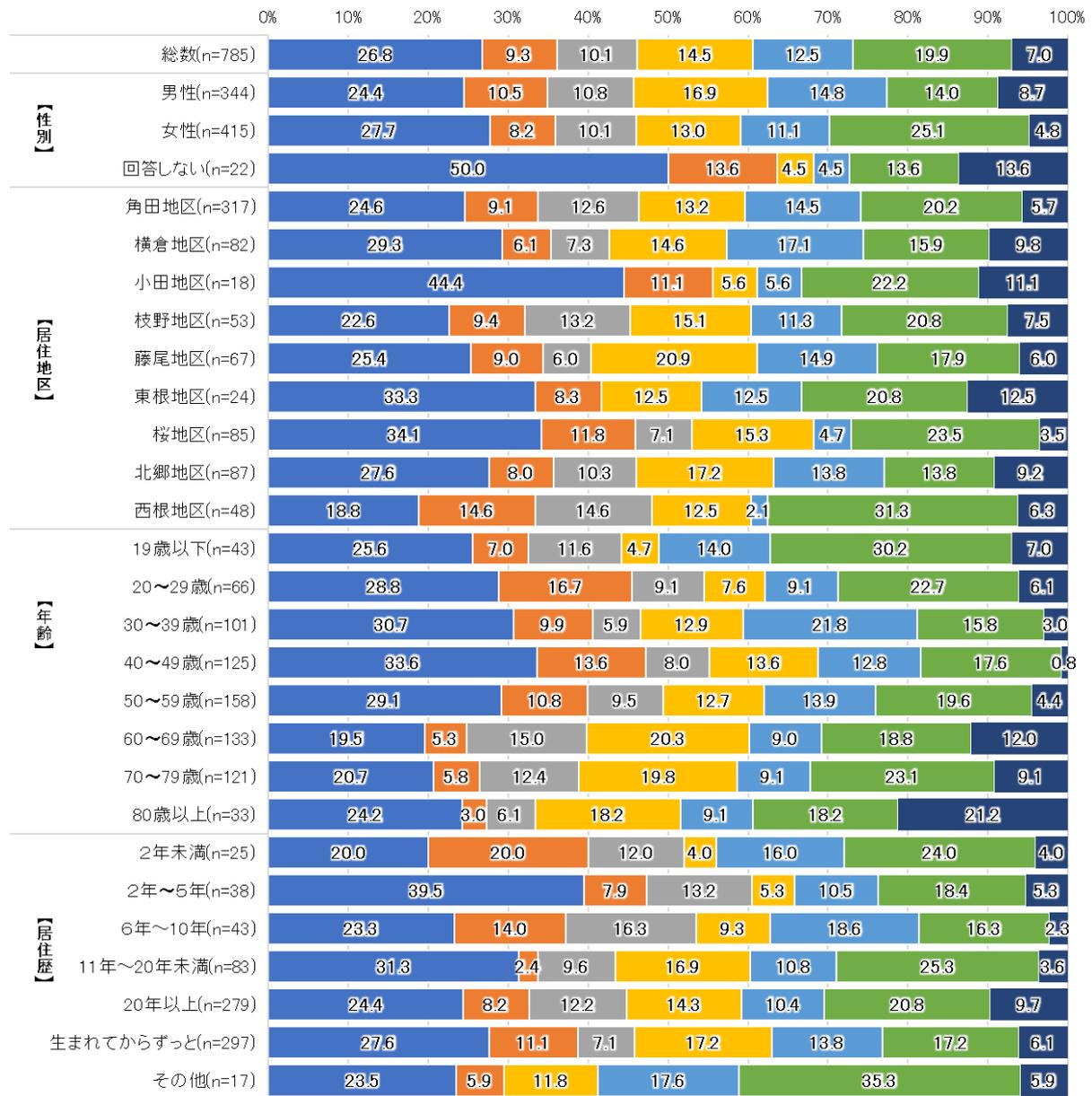


(n=520)

過去1年間における1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」については「行わない」26.8%、「毎日」19.9%、「1週間に3～4日」14.5%の順となっている。

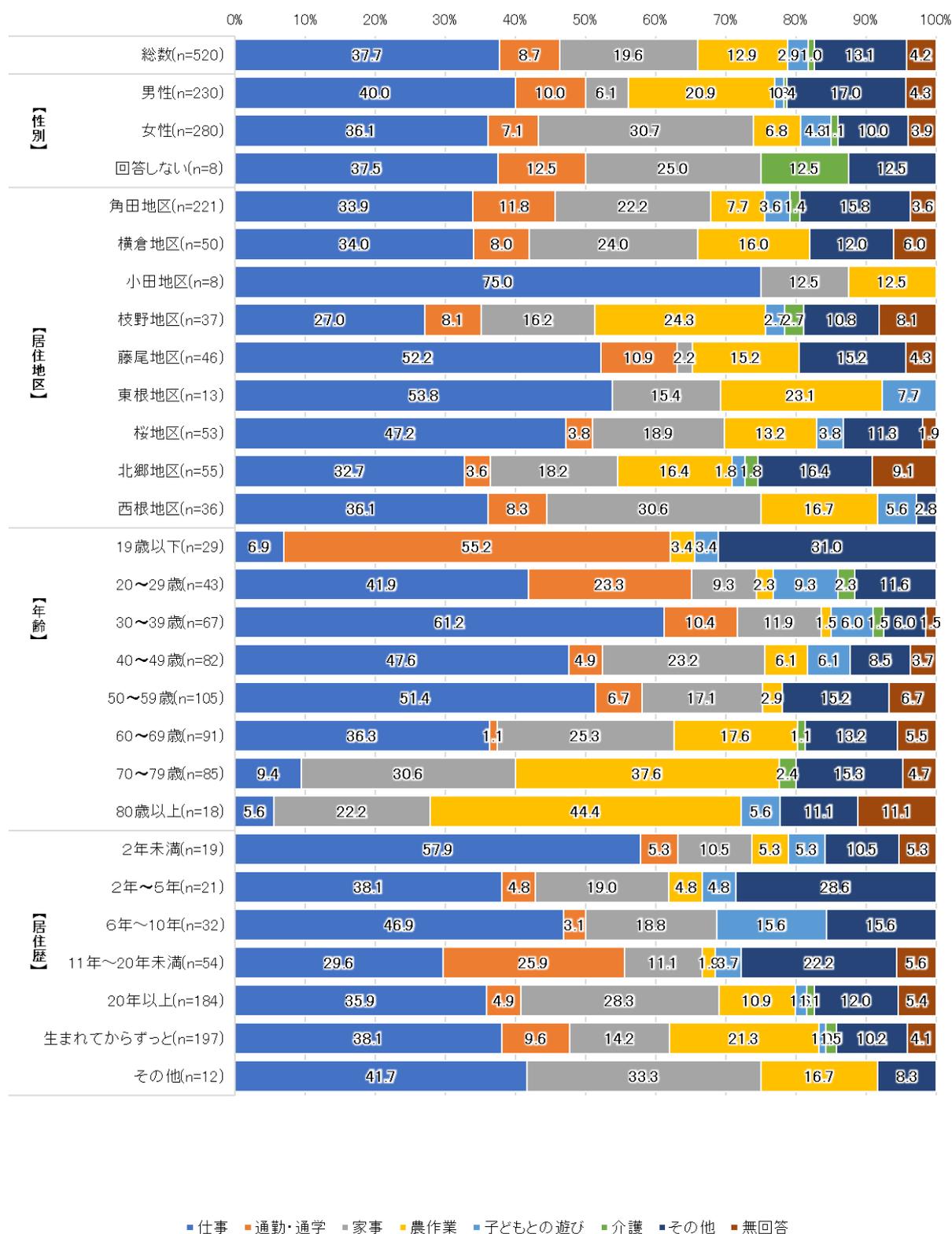
1日30分以上「歩行と同程度かそれ以上に体を動かす身体活動」の主な場面については「仕事」37.7%、「家事」19.6%、「その他」13.1%の順となっている。

【過去1年間における1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」の実施/属性別】



■ 行わない ■ 1週間に1日 ■ 1週間に2日 ■ 1週間に3~4日 ■ 1週間に5~6日 ■ 毎日 ■ 無回答

【1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」の主な場面/属性別】

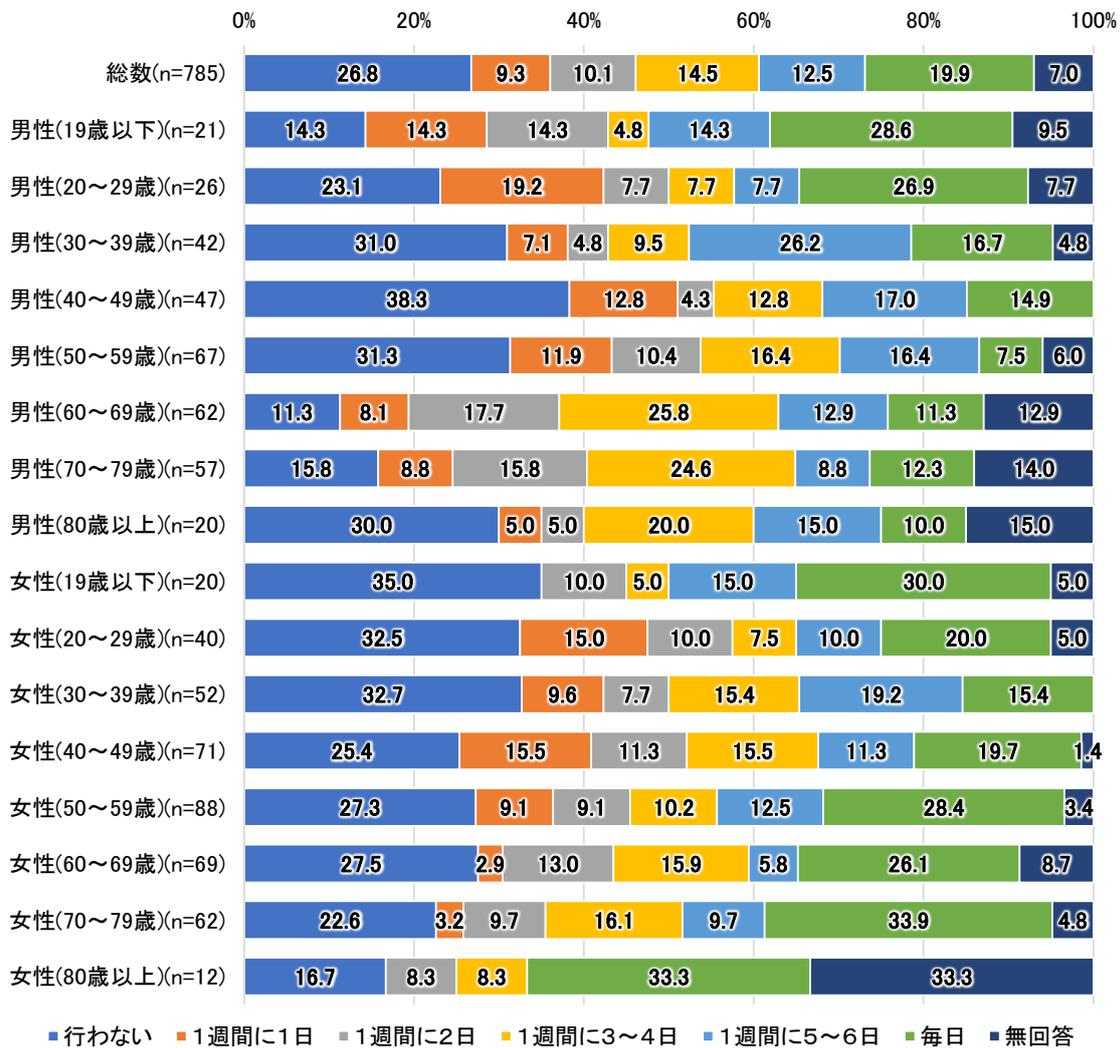


【1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」の主な場面/その他の内容】

以下の63件の意見があった。

YouTubeを見ながら宅トレ	散歩、買出し	ペット散歩
愛犬の散歩・犬の散歩(6件)	ジム・スポーツジム(2件)	ボクシング
家の中で足動かす	小学一年生の通学の手伝い	ポケモンGO
ウォーキング・ウォーキングを行っている(12件)	ジョギング	毎日のルーチンの中に入っている。
カーブス	除草作業	夕方の散歩
買い出し	水泳	育児
かくだスポーツビレッジ使用	スポーツ(3件)	学校
家庭菜園	掃除	兄弟と遊ぶ
草取り	ダイエット、リハビリ	犬の散歩
健康のため	動物の世話	散歩
公園	ノルディックウォーキング	趣味
ゴルフ(2件)	部活、自主的に運動をする	早朝
散歩(6件)	物販、植木手入れ他	部活

【過去1年間における1日30分以上「歩行と同程度か、それ以上に体を動かす身体活動」×性別年齢別】



性別年齢別にみると「男性」は「30~59歳」で、女性は年齢が低くなるにつれて「行わない」の割合が高くなる傾向がみられる。

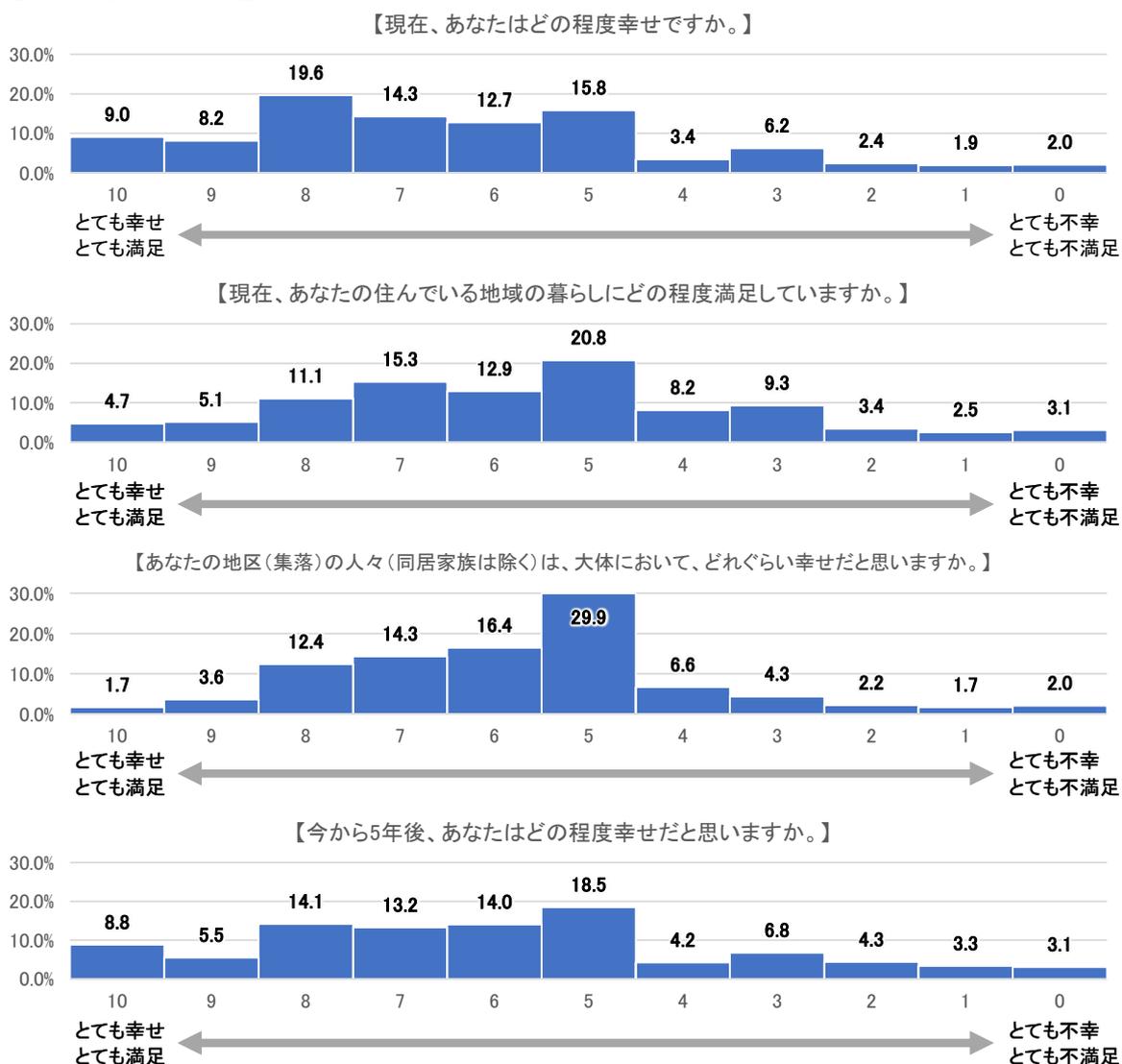
「毎日」の割合は、「男性」では年齢が低くなるにつれて高くなる傾向がみられる。「女性」は「30~39歳」で最も低く、年齢が離れていくにつれて高くなる傾向がみられる。

## (8) 幸福度・満足度について

### ①幸福度・満足度

問 23 あなたは、次にあげる項目において、どの程度の幸せあるいは満足を感じていますか。「とても幸せ」あるいは「とても満足」を 10 点、「とても不幸」あるいは「とても不満足」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。1～4 までの項目ごとに、最も当てはまる選択肢の番号 1 つに○印をつけてください。

#### 【幸福度・満足度】



『現在、あなたはどの程度幸せですか』の質問に対する回答では、10 点から 6 点までの回答数が 0 点から 4 点までの回答数よりも多い。その中でも、最も多い回答数は 8 点で、次いで中間の 5 点が続いた。最も低い回答数は、1 点であった。

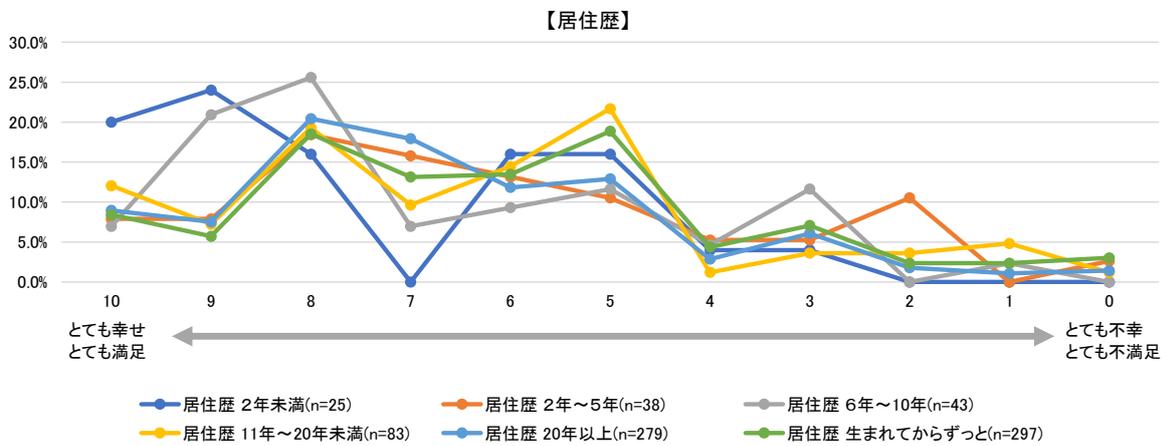
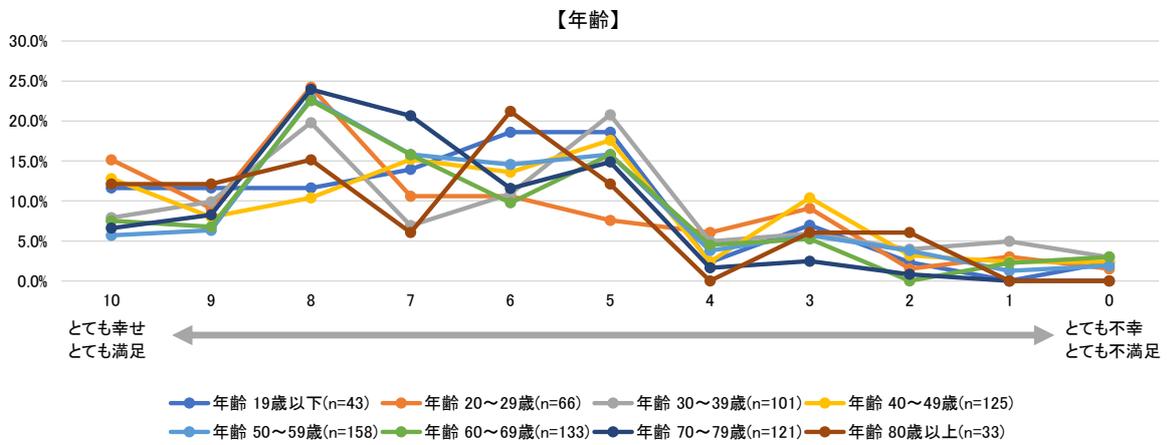
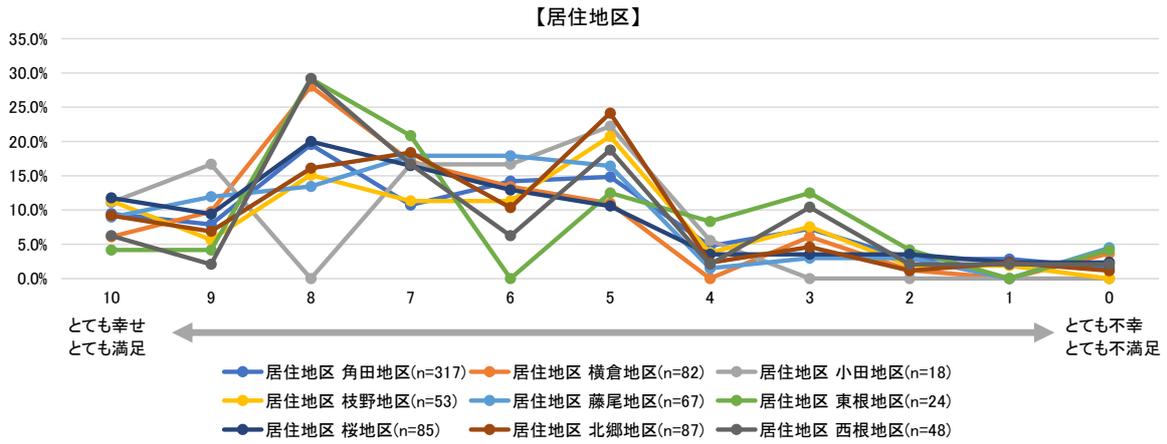
『現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか』の質問に対する回答でも、10 点から 6 点までの回答数が 0 点から 4 点までの回答数よりも多い。最も多い回答

数は、中間の5点で、次いで7点。最も低い回答数は、1点であった。

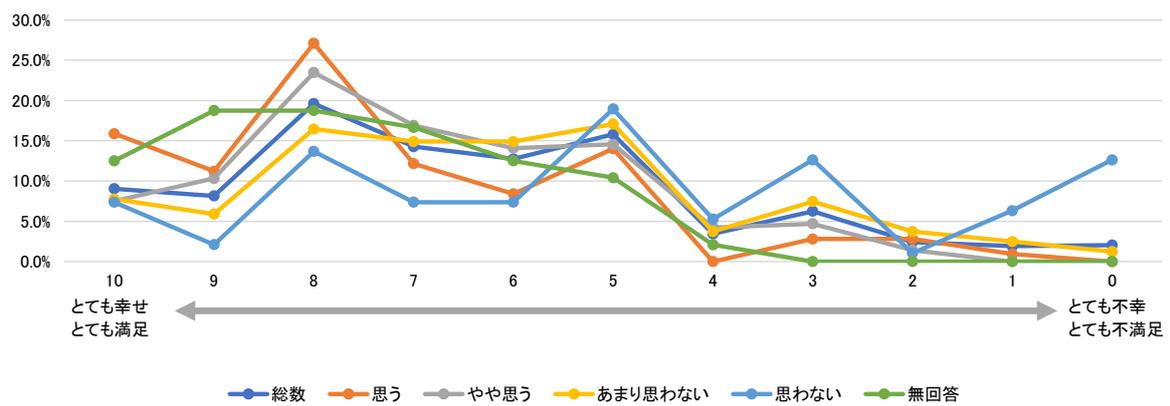
『あなたの地区（集落）の人々（同居家族は除く）は、大体において、どのくらい幸せだと思いますか』の質問に対する回答でも、10点から6点までの回答数が0点から4点までの回答数よりも多い。最も多い回答数は、中間の5点で、次いで6点。最も低い回答数は、10点と1点で、どちらも1.7%であった。

『今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか』の質問に対する回答でも、10点から6点までの回答数が0点から4点までの回答数よりも多い。最も多い回答数は、中間の5点で、次いで8点。最も低い回答数は、5点。最も低い回答数は、0点であった。

【現在、あなたはどの程度幸せですか。/属性別】



【現在、あなたはどの程度幸せですか。×角田市民としての誇り】



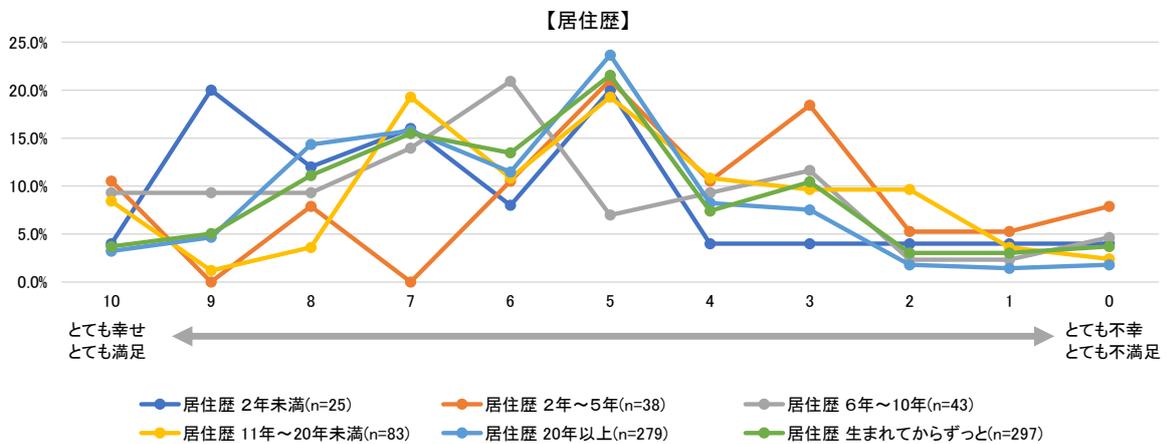
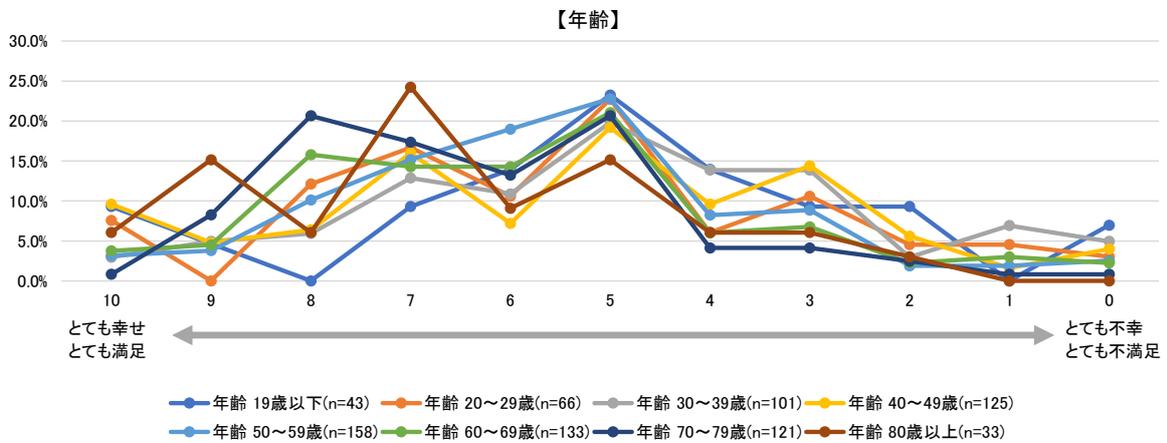
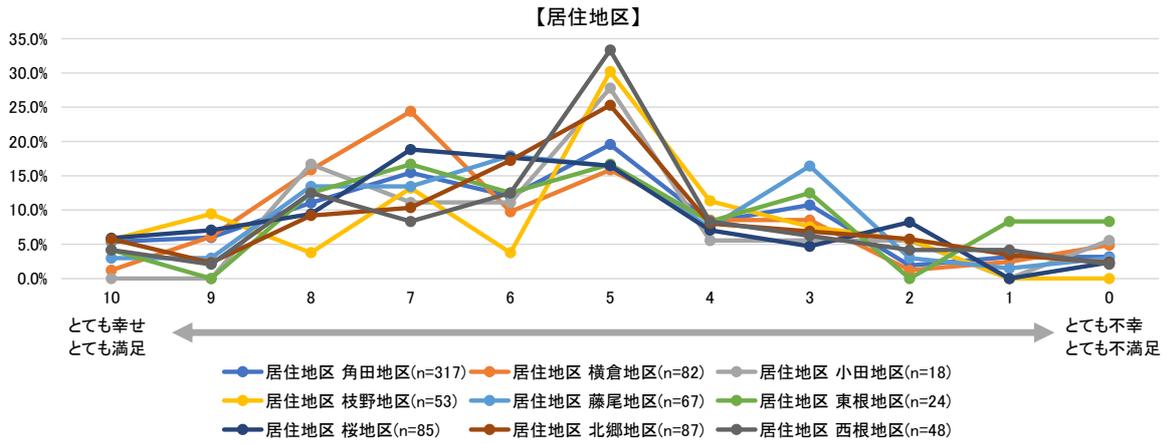
角田市民としての誇りとの関連で見ると、誇りを持っているほど幸福度が高く、誇りを持っていないほど幸福度は低くなっている傾向が見える。

【現在、あなたはどの程度幸せですか。×行政サービス（施策）の満足度】

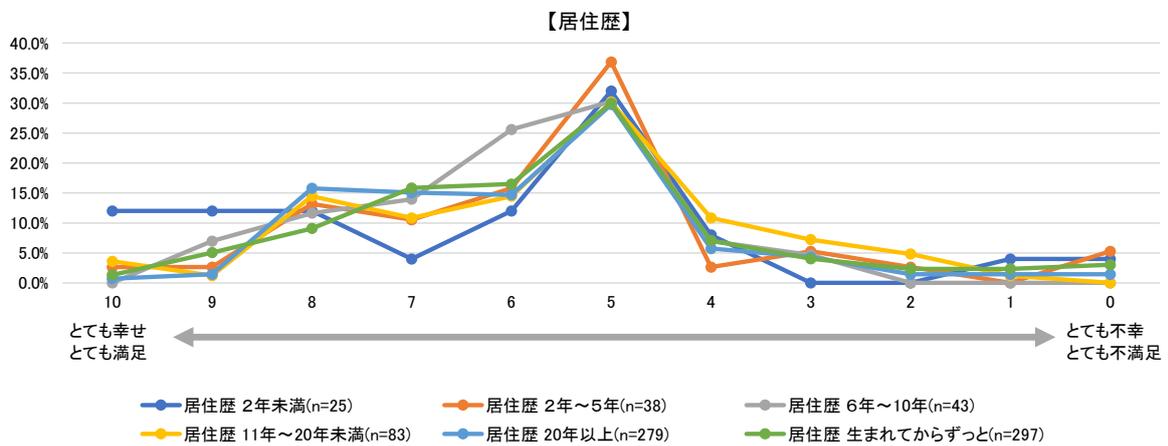
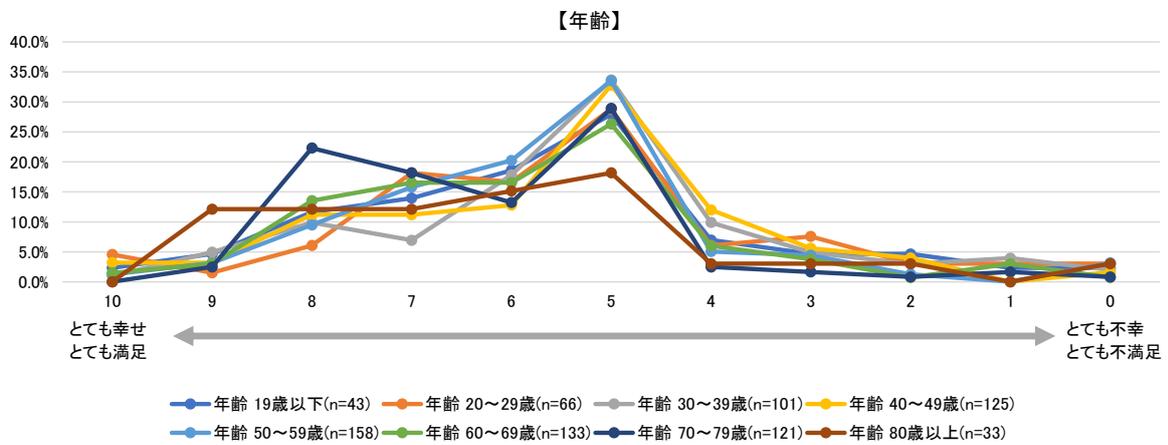
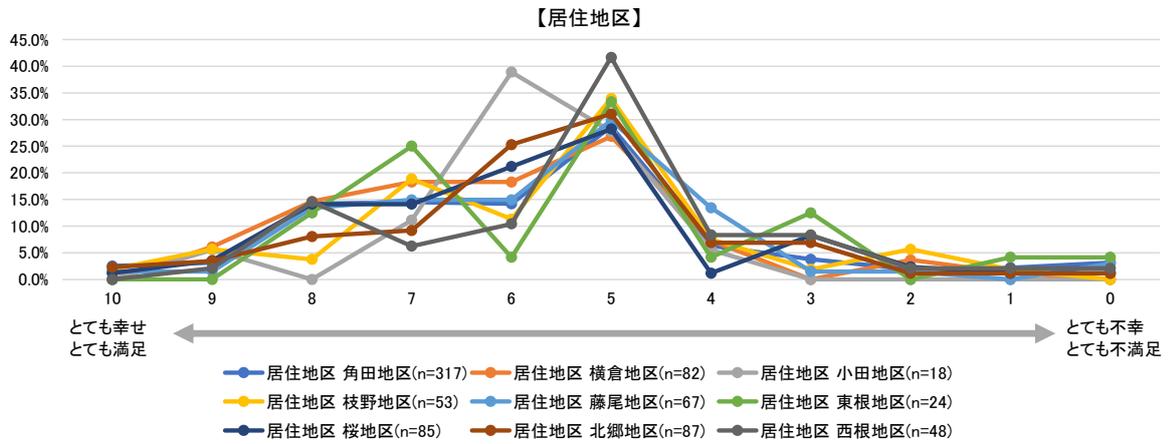
	総数		幸福度(高)		幸福度(中)		幸福度(低)	
	施策	満足度(点数)	施策	満足度(点数)	施策	満足度(点数)	施策	満足度(点数)
1位	広報活動による情報発信	23.92	広報活動による情報発信	35.16	広報活動による情報発信	25.08	スポーツによるまちづくり	5.42
2位	消防体制の強化	23.20	健康づくりの推進	33.63	消防体制の強化	22.90	消防体制の強化	4.58
3位	スポーツによるまちづくり	21.04	疾病・感染症予防の推進	31.29	スポーツによるまちづくり	21.88	文化芸術活動の推進	0.42
4位	健康づくりの推進	19.86	消防体制の強化	30.88	健康づくりの推進	18.65	安全・安心な農畜産物の生産	-0.41
5位	文化芸術活動の推進	18.30	道の駅かくだの活用	29.58	文化芸術活動の推進	16.57	広報活動による情報発信	-3.72
6位	疾病・感染症予防の推進	17.95	文化芸術活動の推進	28.27	疾病・感染症予防の推進	16.27	歴史・文化資源の保存活用	-6.36
7位	道の駅かくだの活用	14.66	スポーツによるまちづくり	26.33	交通安全・防犯対策の推進	14.42	道の駅かくだの活用	-7.08
8位	交通安全・防犯対策の推進	12.35	交通安全・防犯対策の推進	20.95	歴史・文化資源の保存活用	10.40	健康づくりの推進	-8.00
9位	歴史・文化資源の保存活用	11.34	歴史・文化資源の保存活用	19.43	道の駅かくだの活用	9.76	疾病・感染症予防の推進	-9.27
10位	安全・安心な農畜産物の生産	10.34	循環型社会の形成	18.13	安全・安心な農畜産物の生産	9.19	地域農業の推進	-10.08
11位	災害に強い防災体制の整備	7.81	安心を支える制度の運用	18.12	災害に強い防災体制の整備	6.64	農業生産基盤の充実	-11.44
12位	安心を支える制度の運用	7.12	災害に強い防災体制の整備	17.49	安心を支える制度の運用	5.29	広聴活動の推進	-12.50
13位	乳幼児の保育・教育体制の充実	4.91	安全・安心な農畜産物の生産	16.20	広聴活動の推進	4.41	上下水道の整備	-12.92
14位	生涯学習の充実	4.88	生涯学習の充実	15.85	生涯学習の充実	3.80	乳幼児の保育・教育体制の充実	-13.75
15位	広聴活動の推進	4.76	憩いの場である公園・緑地の整備	15.61	地域農業の推進	2.74	交通安全・防犯対策の推進	-14.17
16位	循環型社会の形成	4.60	乳幼児の保育・教育体制の充実	14.81	循環型社会の形成	1.81	災害に強い防災体制の整備	-14.35
17位	地域農業の推進	3.91	安心して暮らせる生活環境の整備	14.61	乳幼児の保育・教育体制の充実	1.66	障害者(児)福祉サービスの充実	-15.42
18位	安心して暮らせる生活環境の整備	2.90	障害者(児)福祉サービスの充実	12.54	上下水道の整備		森林資源の有効活用	-15.83
19位	憩いの場である公園・緑地の整備	2.83	広聴活動の推進	12.23	安心して暮らせる生活環境の整備	0.30	高齢者福祉サービスの充実	-16.25
20位	障害者(児)福祉サービスの充実	2.68	介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	11.74	障害者(児)福祉サービスの充実	0.15	脱炭素社会の形成	
21位	上下水道の整備	1.97	子育て支援の推進	11.32	介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	-0.30	憩いの場である公園・緑地の整備	-16.53
22位	介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	1.38	地域農業の推進	10.82	憩いの場である公園・緑地の整備	-0.30	地域福祉活動の支援	-16.67
23位	農業生産基盤の充実	0.53	時代の要請に応える教育環境の整備	10.74	高齢者福祉サービスの充実	-0.75	男女共同参画の推進	-16.81
24位	脱炭素社会の形成	0.26	住民自治による地域づくり	9.65	農業生産基盤の充実	-1.21	安心を支える制度の運用	-17.77
25位	高齢者福祉サービスの充実	0.13	効率的な行政経営を目指して	9.46	脱炭素社会の形成		子育て支援の推進	-18.03
26位	住民自治による地域づくり	-0.79	DXIによる新しい行政の確立	9.25	森林資源の有効活用	-2.13	時代の要請に応える教育環境の整備	-18.07
27位	効率的な行政経営を目指して	-0.80	学童保育・子どもの遊び場の充実	8.89	学童保育・子どもの遊び場の充実	-2.58	効率的な行政経営を目指して	
28位	時代の要請に応える教育環境の整備	-0.86	脱炭素社会の形成	8.72	効率的な行政経営を目指して	-3.64	DXIによる新しい行政の確立	
29位	学童保育・子どもの遊び場の充実	-0.98	高齢者福祉サービスの充実	8.51	地域福祉活動の支援	-3.79	介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	-18.33
30位	子育て支援の推進	-1.17	上下水道の整備	7.27	住民自治による地域づくり	-4.14	住民自治による地域づくり	-18.49
31位	DXIによる新しい行政の確立	-1.52	農業生産基盤の充実	6.56	DXIによる新しい行政の確立	-4.38	生涯学習の充実	-18.91
32位	男女共同参画の推進	-1.72	男女共同参画の推進	6.34	男女共同参画の推進	-4.59	継続的なつながりの確保	-19.92
33位	地域福祉活動の支援	-2.31	快適な居住環境づくり	5.81	時代の要請に応える教育環境の整備	-5.69	安心して暮らせる生活環境の整備	-20.59
34位	森林資源の有効活用	-2.38	地域福祉活動の支援	5.30	子育て支援の推進	-6.44	学童保育・子どもの遊び場の充実	-21.31
35位	継続的なつながりの確保	-3.91	学力・心・体の育成	4.06	学力・心・体の育成	-6.88	循環型社会の形成	-21.43
36位	学力・心・体の育成	-4.83	継続的なつながりの確保	4.04	継続的なつながりの確保	-7.06	環境衛生の向上	-21.55
37位	河川環境の有効活用	-6.53	森林資源の有効活用	2.66	河川環境の有効活用	-8.16	河川環境の有効活用	-22.22
38位	環境衛生の向上	-7.84	河川環境の有効活用	1.24	環境衛生の向上	-8.23	学力・心・体の育成	-23.11
39位	快適な居住環境づくり	-8.95	安定した雇用の確保	0.71	商店街活性化の支援	-11.13	地域観光資源のネットワーク化	-26.25
40位	商店街活性化の支援	-9.93	安全・安心な道路網の整備	0.35	地域観光資源のネットワーク化	-11.89	企業立地の振興	-28.39
41位	地域観光資源のネットワーク化	-10.15	商店街活性化の支援	0.18	企業立地の振興	-12.77	商店街活性化の支援	-29.58
42位	安定した雇用の確保	-10.33	地域観光資源のネットワーク化	-0.18	快適な居住環境づくり	-13.79	安定した雇用の確保	
43位	企業立地の振興	-12.32	環境衛生の向上	-1.24	安定した雇用の確保	-13.91	快適な居住環境づくり	-30.00
44位	安全・安心な道路網の整備	-12.42	企業立地の振興	-4.29	安全・安心な道路網の整備	-15.81	安全・安心な道路網の整備	-30.17
45位	公共交通システムの存続・利便性向上	-22.87	公共交通システムの存続・利便性向上	-7.92	公共交通システムの存続・利便性向上	-28.10	公共交通システムの存続・利便性向上	-43.44
46位	地域医療体制の充実	-32.81	地域医療体制の充実	-28.99	地域医療体制の充実	-33.28	地域医療体制の充実	-43.50

回答 10～8 を幸福度（高）、7～5 を幸福度（中）、6 以下を幸福度（低）とし、行政サービス（施策）の満足度を見ると、最上位は幸福度（高）と（中）は「広報活動による情報発信」、幸福度（低）では「スポーツによるまちづくり」となっている。最下位は「地域医療体制の充実」で共通している。

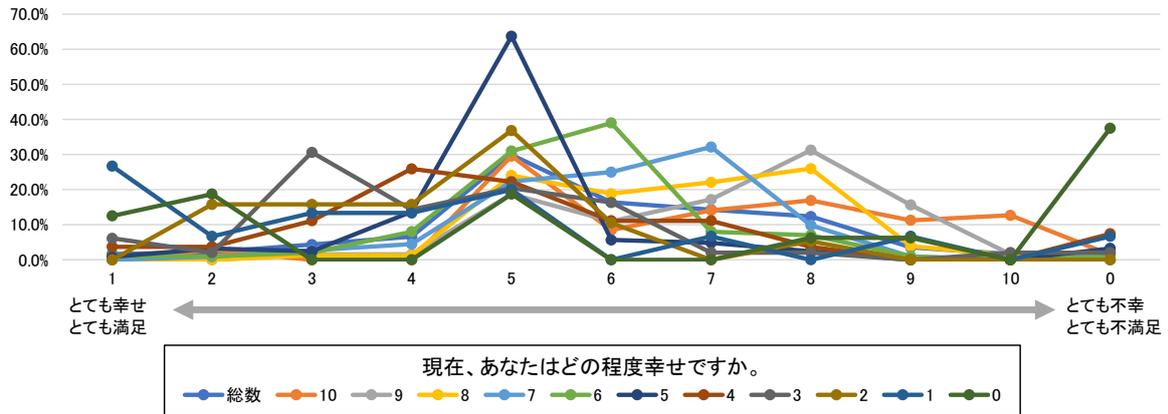
【現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。/属性別】



【あなたの地区（集落）の人々（同居家族は除く）は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか。/属性別】

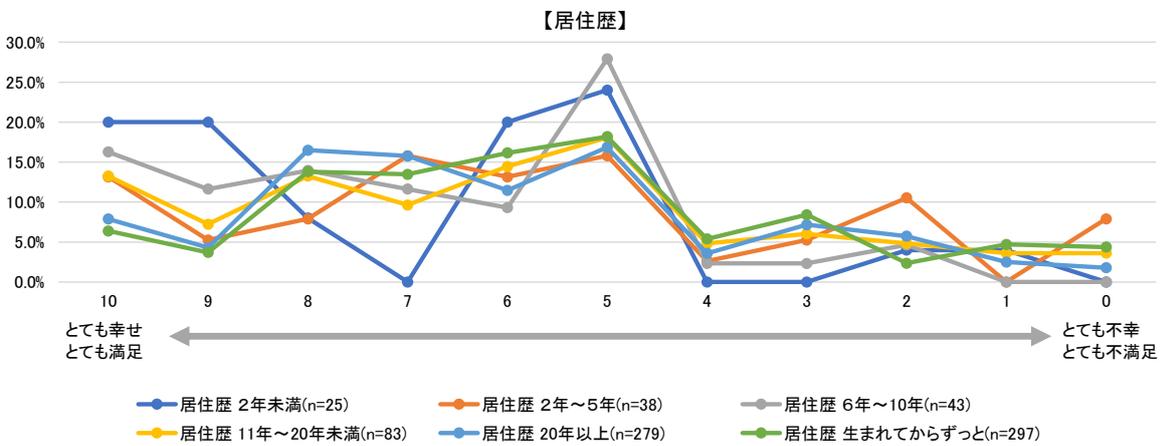
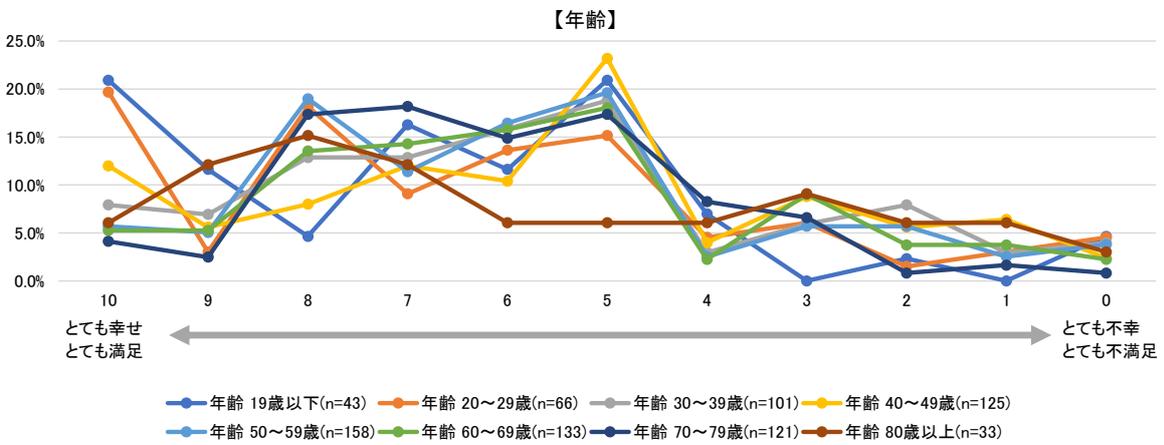
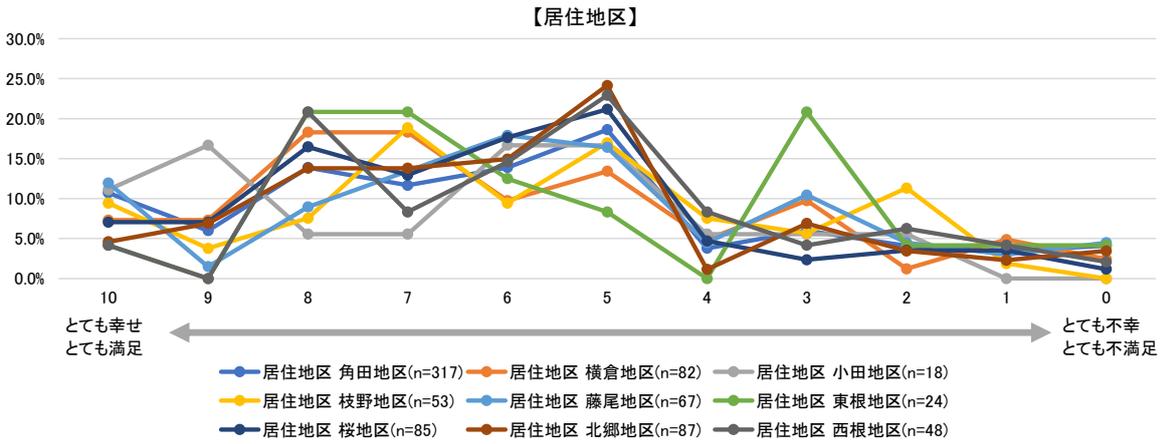


【あなたの地区（集落）の人々（同居家族は除く）は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか。×現在、あなたはどの程度幸せですか。】



「現在、あなたはどの程度幸せですか。」の回答別にみると、相関性は低くなっている。

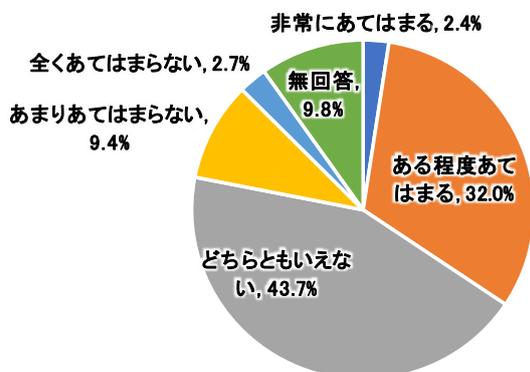
【今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。/属性別】



## ②身近なまわりの人

問 24 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。当  
てはまる番号 1つに○印をつけてください。

### 【身近なまわりの人が楽しい気持ちでいるか】



(n=785)

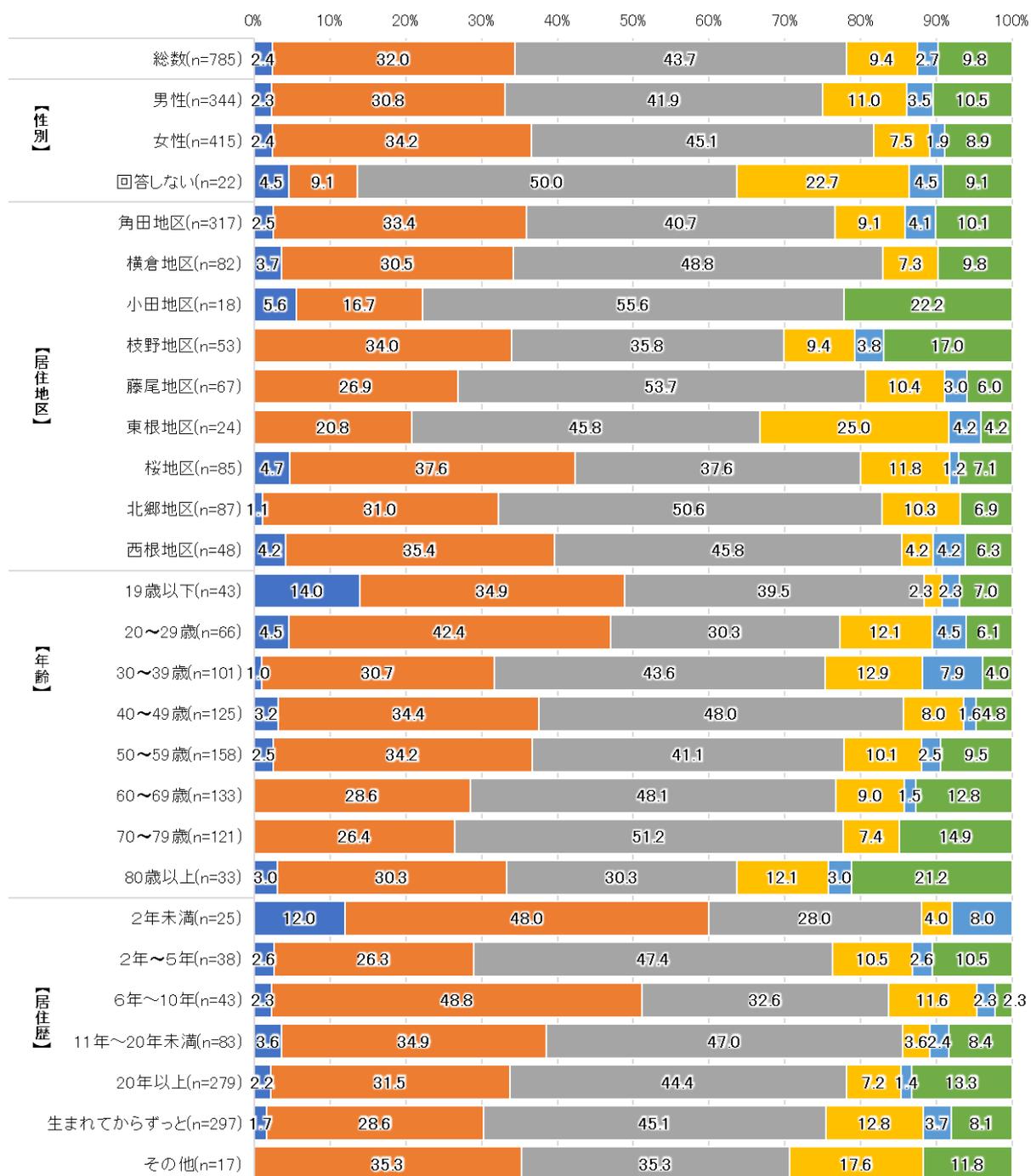
身近なまわりの人が楽しい気持ちでいるかについては「どちらともいえない」43.7%、「ある程度あてはまる」32.0%、「あまりあてはまらない」9.4%の順となっている。

居住地域別にみると『桜地区』では《あてはまる》が42.3%と最も多い一方で『東根地区』では《あてはまらない》が29.2%と最も多い。

年齢別にみると『19歳以下』では《あてはまる》が48.9%と最も多い一方で『30～39歳』では《あてはまらない》が20.8%と最も多い。

居住歴別にみると『2年未満』では《あてはまる》が60.0%と最も多い一方で『その他』では《あてはまらない》が17.6%と最も多い。

## 【身近なまわりの人が楽しい気持ちでいるか/属性別】



■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらともいえない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

### ③地域の生活環境

問 25 地域の生活環境について、あなたの考えはいかがですか。1～13 までの項目ごとに、最も当てはまる選択肢の番号 **1つに○印をつけてください。**

項目	内容
1 医療・福祉	医療機関が充実している 介護福祉施設のサービスが受けやすい
2 買物・飲食	日常の買い物にまったく不便がない 飲食を楽しめる場所が充実している
3 住宅環境	自宅には、心地のいい居場所がある 適度な費用で住居を確保できる
4 移動・交通	公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる
5 遊び・娯楽	楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある
6 子育て	子育て支援補助が手厚い 子どもたちがいきいきと暮らせる
7 初等・中等教育	教育環境（小中高校）が整っている 通学しやすい場所に学校がある
8 地域行政	地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う 地域の公共施設は使い勝手がよく便利である
9 デジタル生活	行政サービスのデジタル化が進んでいる 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい
10 公共空間	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある
11 都市景観	自慢できる都市景観がある
12 自然景観	自慢できる自然景観がある
13 自然の恵み	身近に自然を感じることができる 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

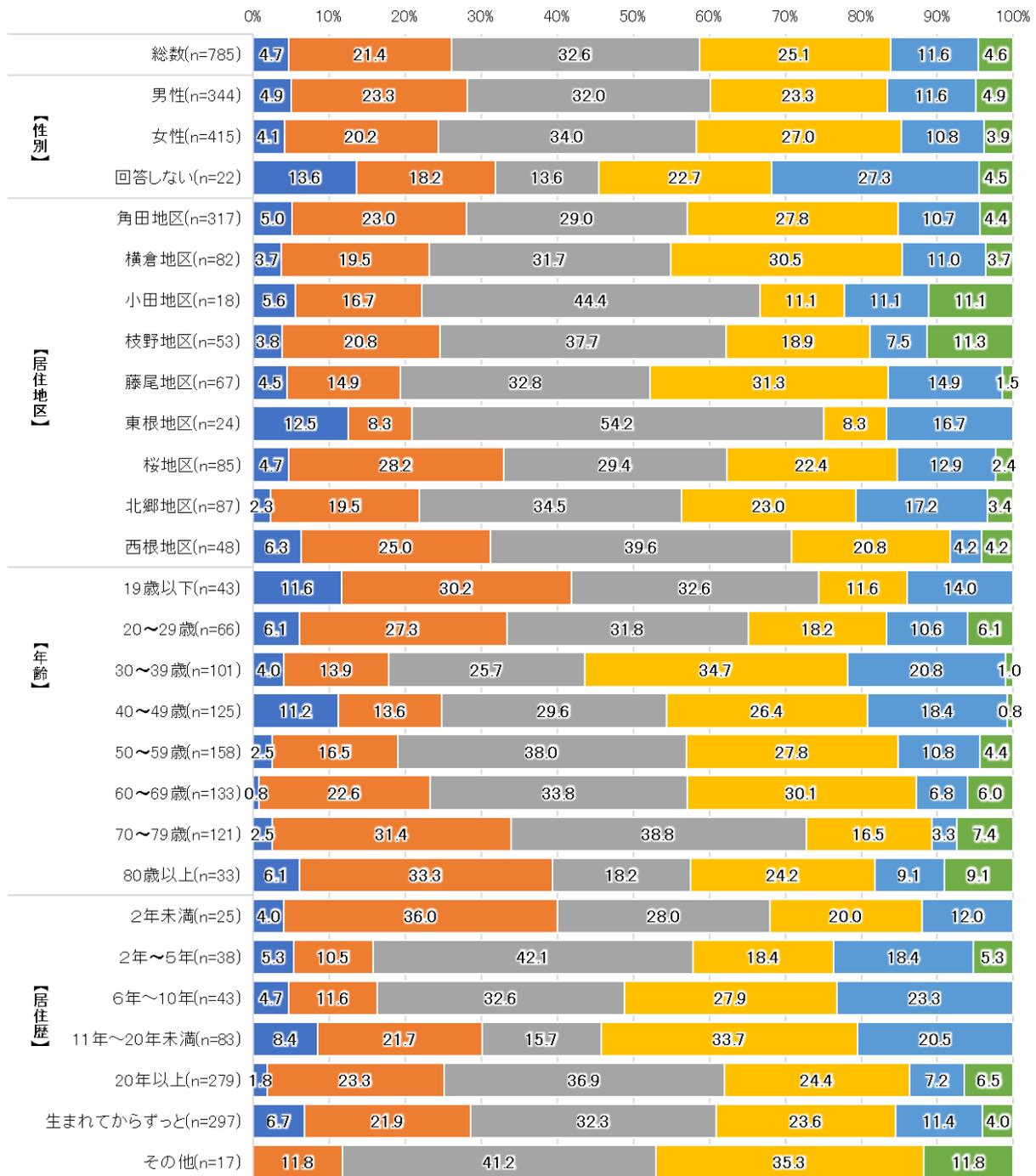
### 【各「地域の生活環境」の内容との適合性】

項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 「医療・福祉」の内容との適合性	4.7	21.4	32.6	25.1	11.6	4.6
2 「買物・飲食」の内容との適合性	7.8	37.7	26.4	17.1	6.8	4.3
3 「住宅環境」の内容との適合性	12.4	43.3	25.7	9.6	4.2	4.8
4 「移動・交通」の内容との適合性	5.7	17.5	19.4	26.2	26.9	4.3
5 「遊び・娯楽」の内容との適合性	2.7	10.7	24.2	31.6	25.7	5.1
6 「子育て」の内容との適合性	3.9	19.2	45.4	15.7	9.4	6.4
7 「初等・中等教育」の内容との適合性	6.5	29.3	33.2	16.2	9.4	5.4
8 「地域行政」の内容との適合性	3.1	24.8	41.9	17.7	7.8	4.7
9 「デジタル生活」の内容との適合性	2.9	15.0	47.4	18.9	10.4	5.4
10 「公共空間」の内容との適合性	7.0	30.4	34.8	16.6	6.1	5.1
11 「都市景観」の内容との適合性	5.4	16.7	36.9	22.3	13.9	4.8
12 「自然景観」の内容との適合性	10.4	29.9	30.4	15.3	9.3	4.6
13 「自然の恵み」の内容との適合性	13.4	40.4	28.9	8.0	5.0	4.3

- 非常にあてはまる    ■ ある程度あてはまる    ■ どちらとも言えない
- あまりあてはまらない    ■ 全くあてはまらない    ■ 無回答

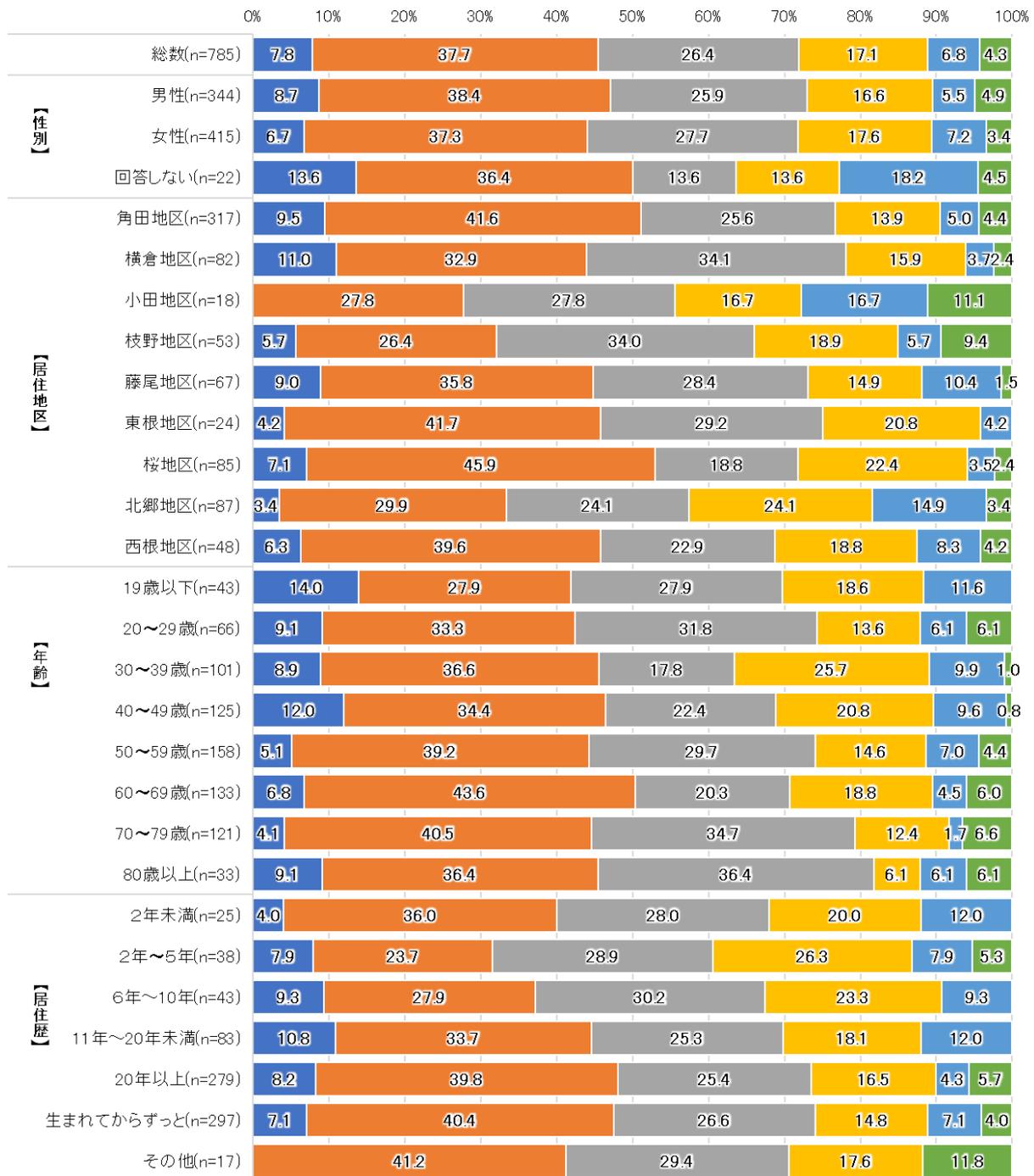
各「地域の生活環境」の内容との適合性について、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた《あてはまる》は『3 「住宅環境」の内容との適合性』で55.7%と最も多い一方、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた《あてはまらない》は『5 「遊び・娯楽」の内容との適合性』で57.3%と最も多くなっている。

## 【「医療・福祉」の内容との適合性/属性別】



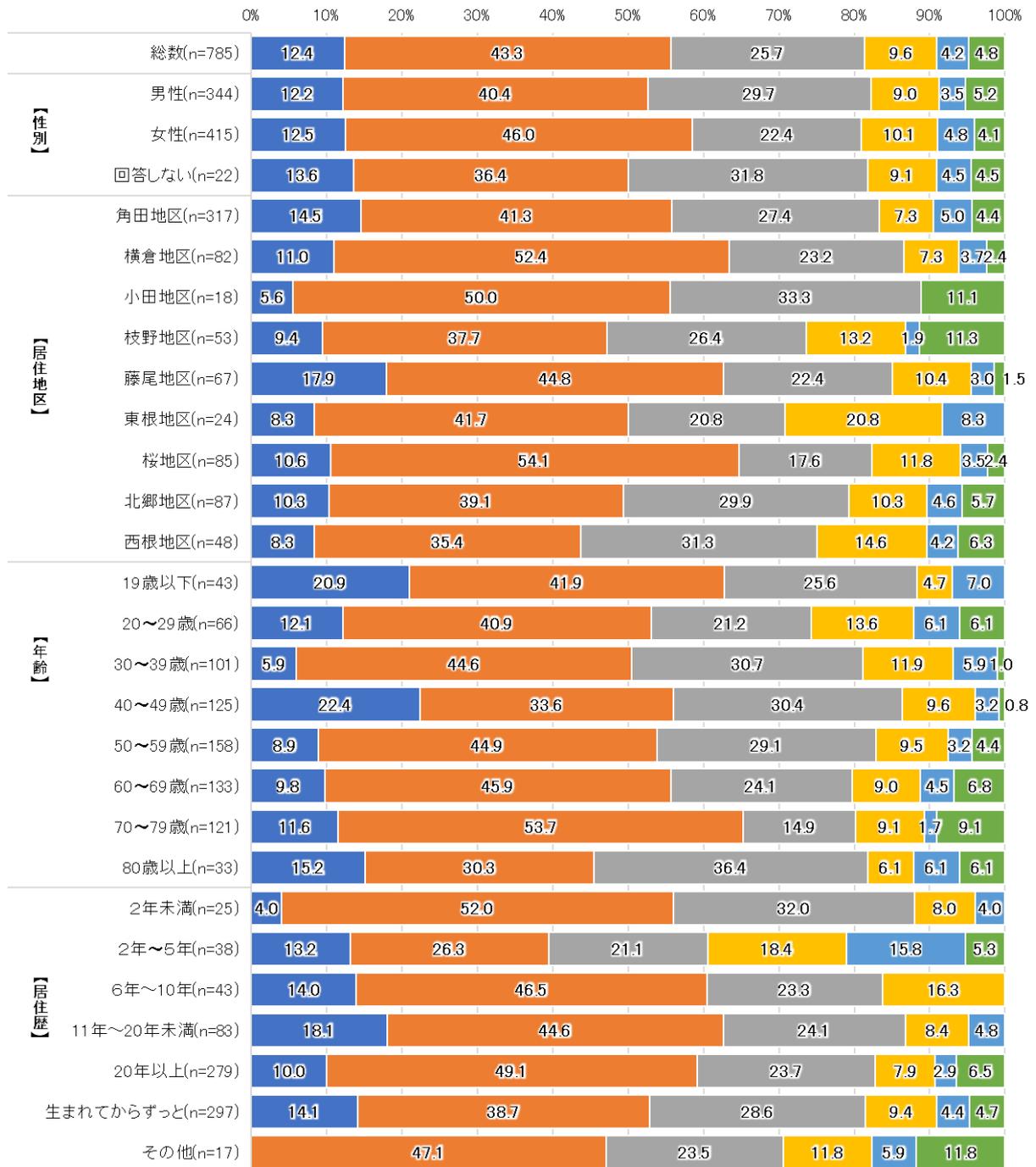
■ 非常にあてはまる ■ ある程度あてはまる ■ どちらとも言えない ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

## 【「買物・飲食」の内容との適合性/属性別】



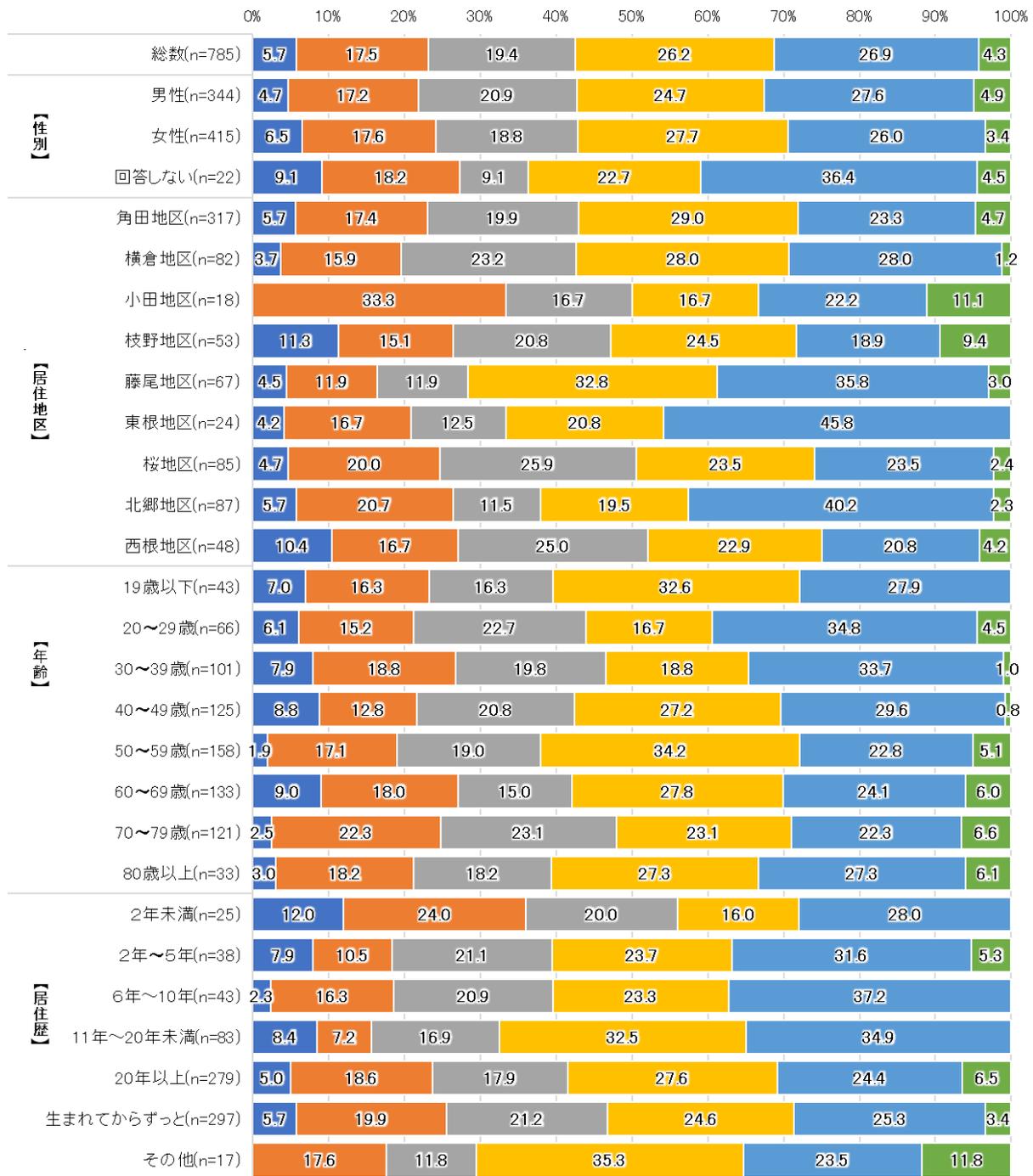
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「住宅環境」の内容との適合性/属性別】



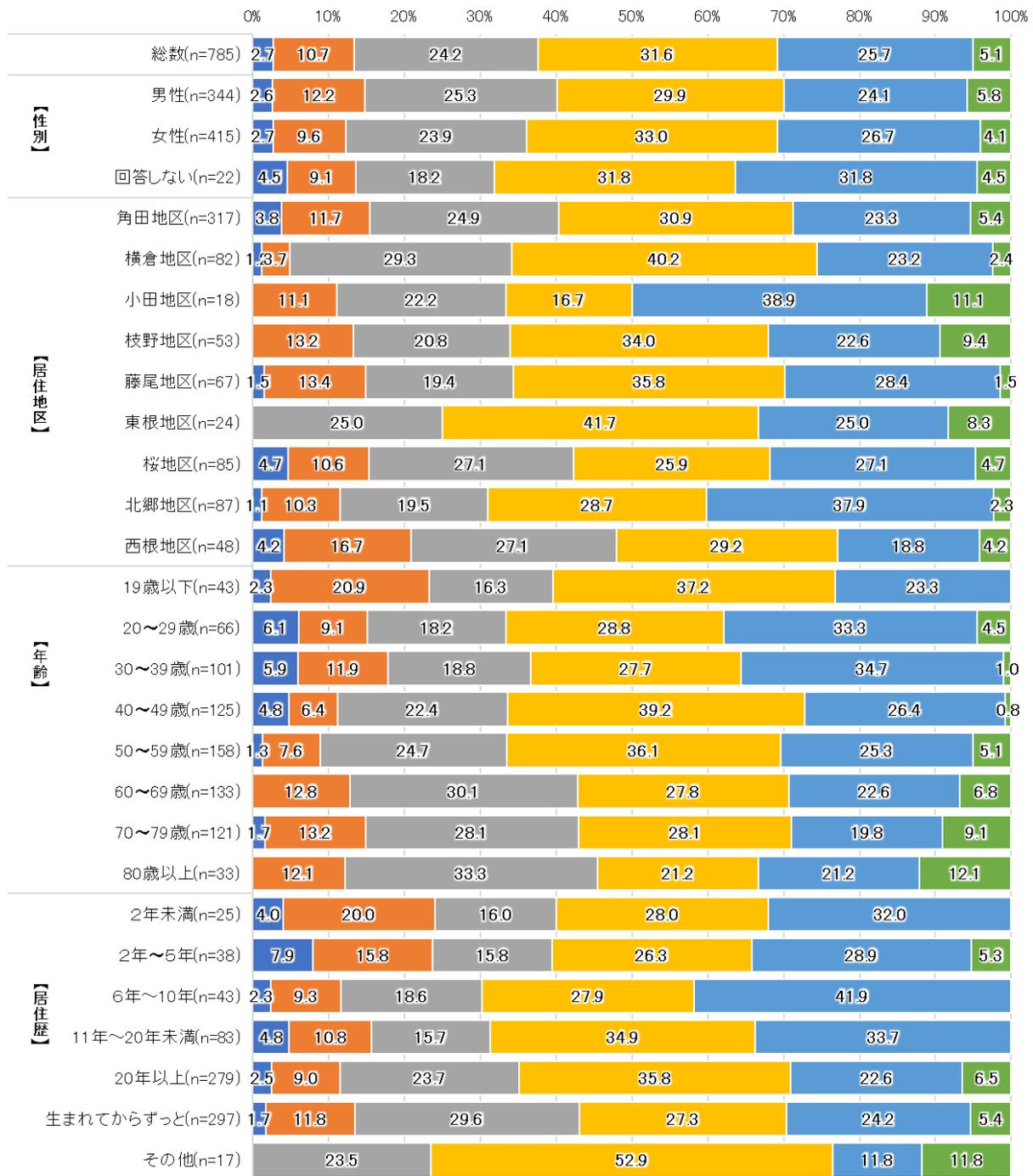
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「移動・交通」の内容との適合性/属性別】



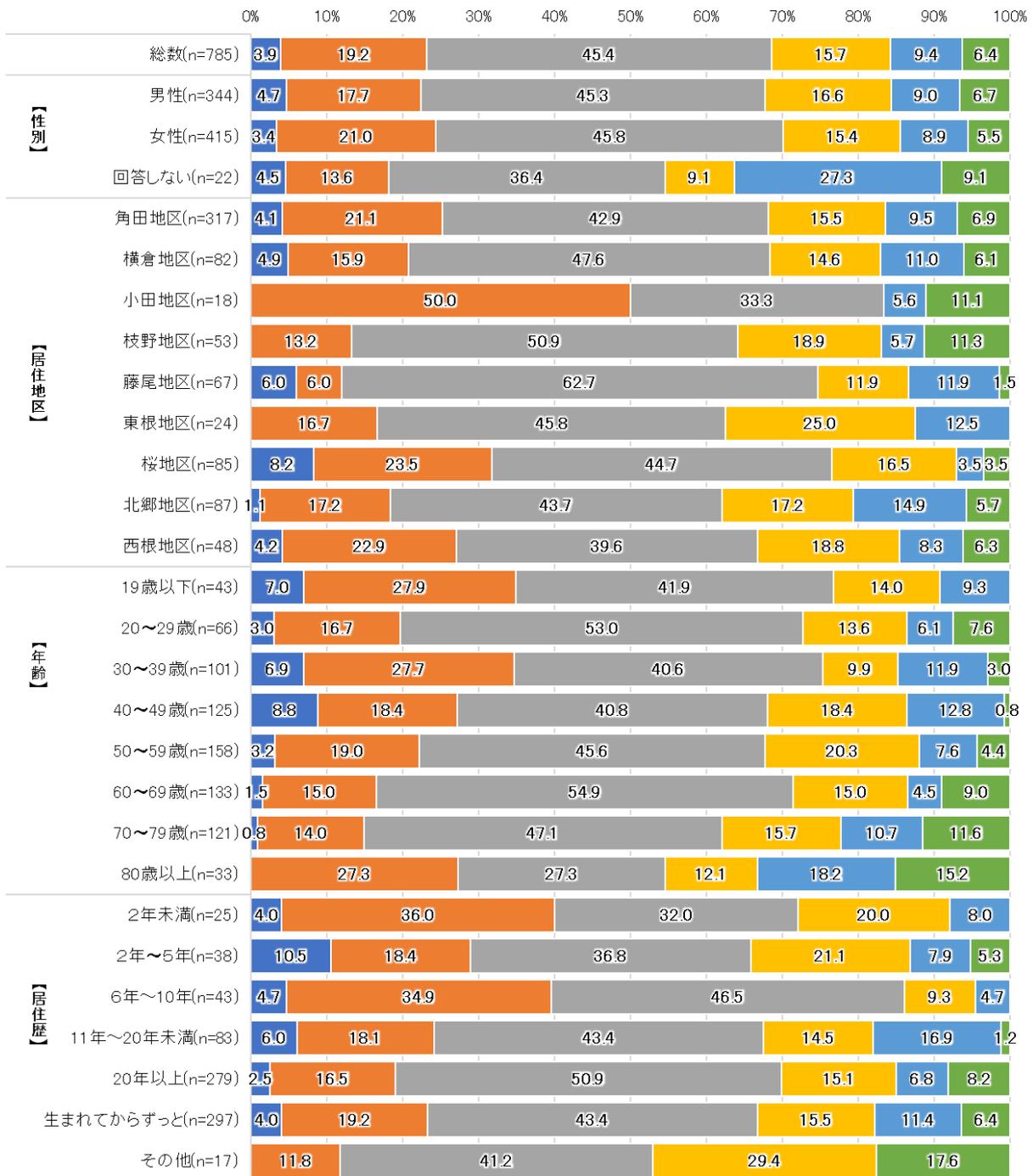
■ 非常にあてはまる ■ ある程度あてはまる ■ どちらとも言えない ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

## 【「遊び・娯楽」の内容との適合性/属性別】



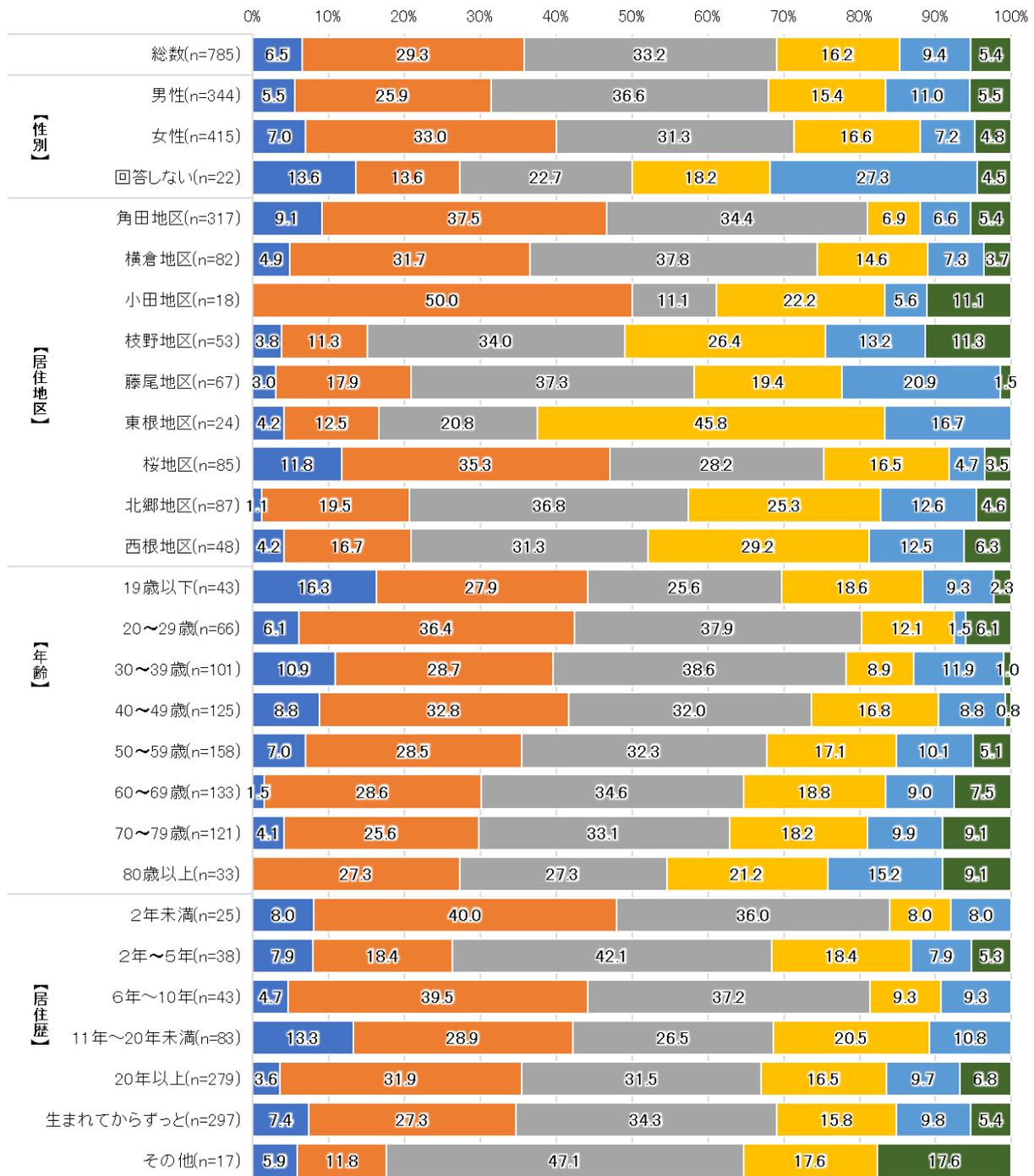
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「子育て」の内容との適合性/属性別】



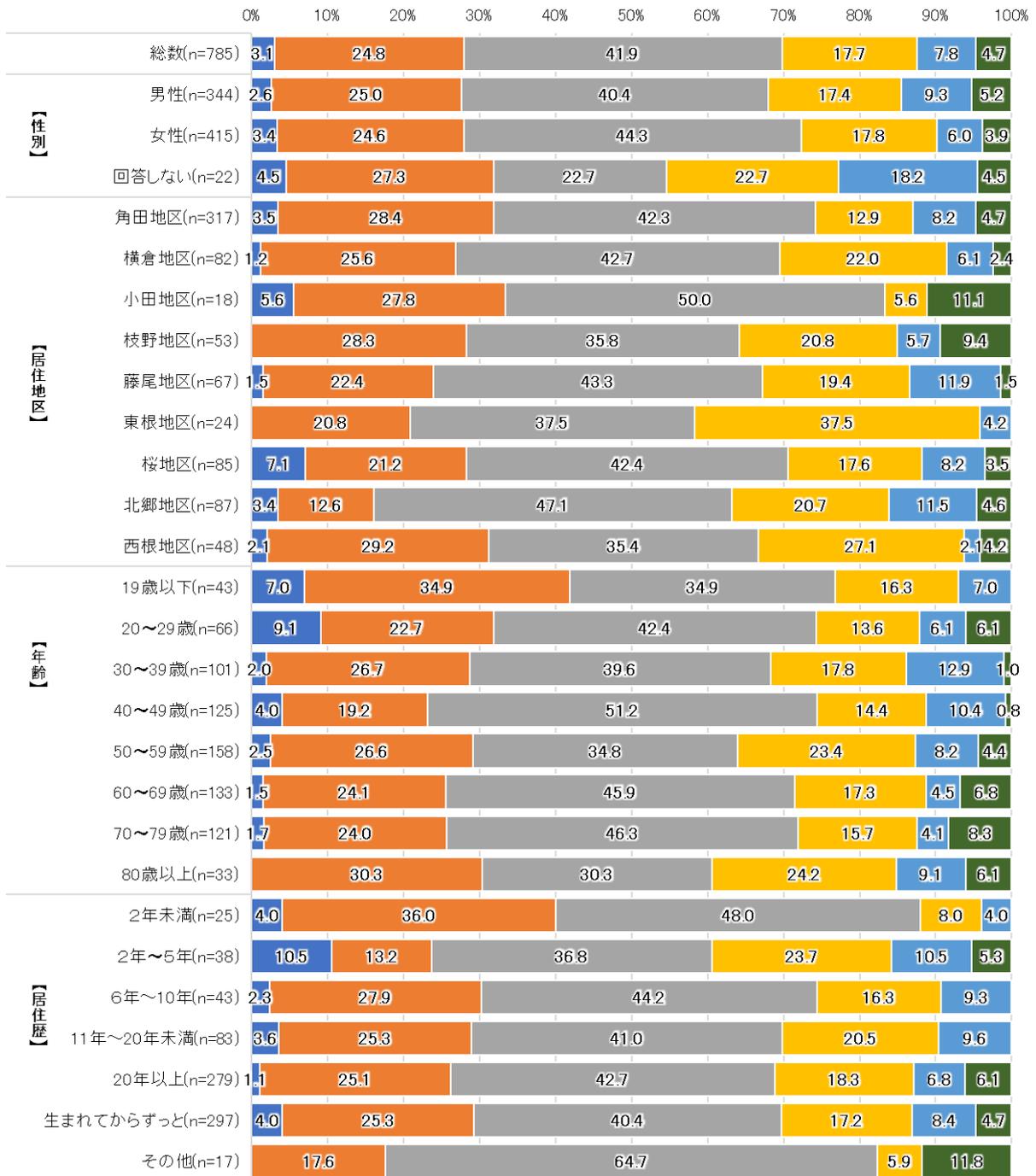
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「初等・中等教育」の内容との適合性/属性別】



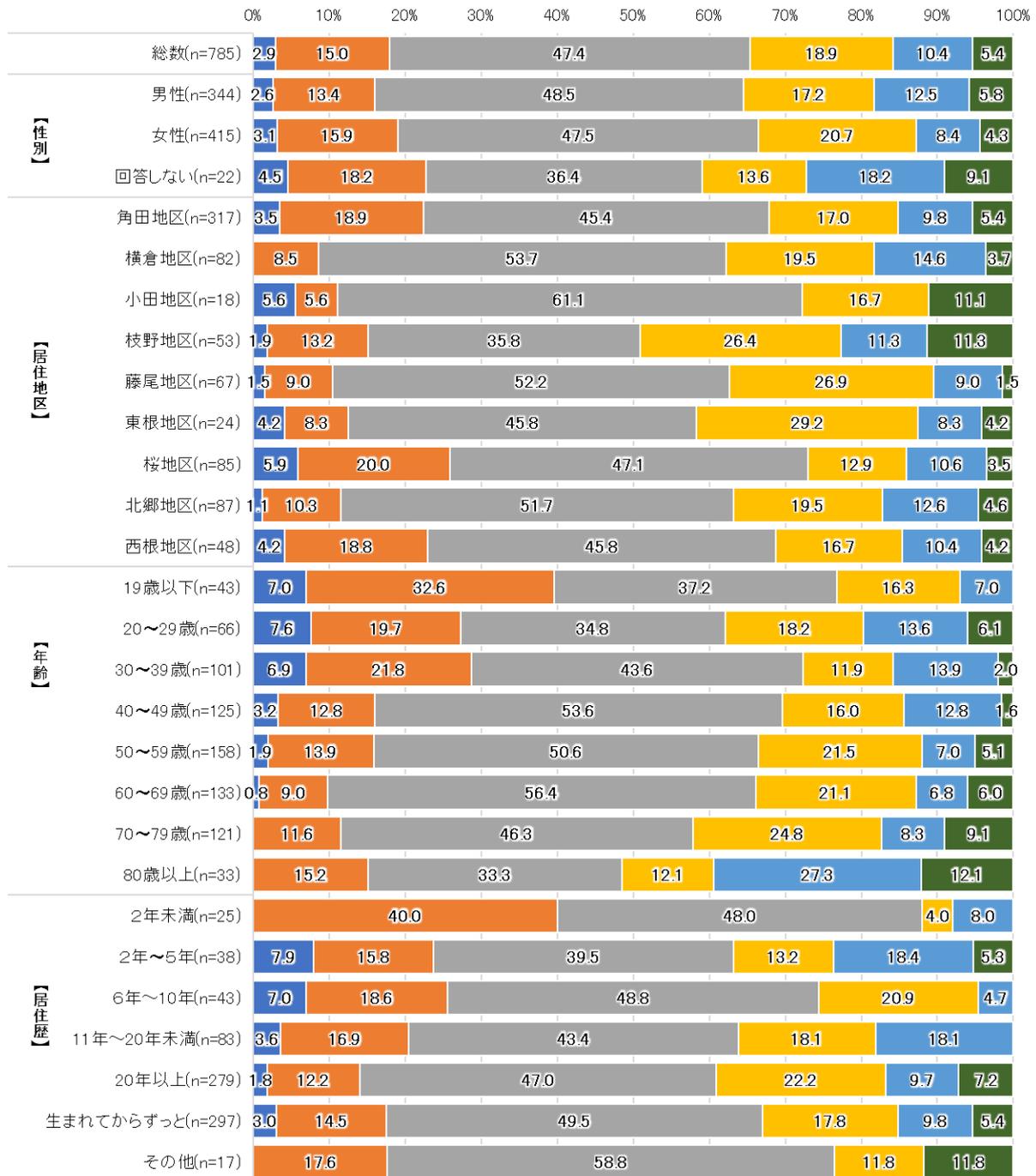
■ 非常にあてはまる
 ■ ある程度あてはまる
 ■ どちらとも言えない
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない
 ■ 無回答

## 【「地域行政」の内容との適合性/属性別】



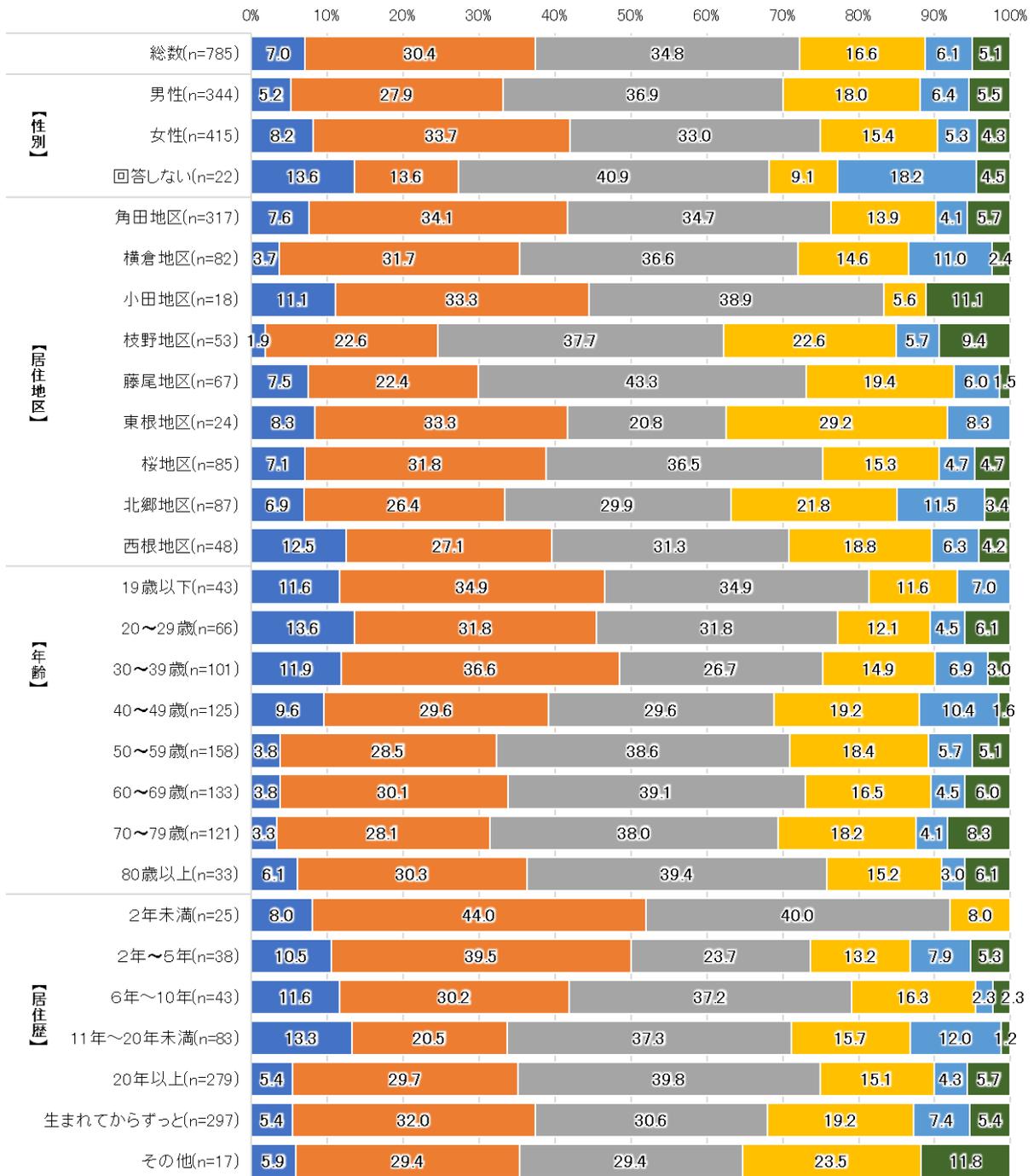
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「デジタル生活」の内容との適合性/属性別】



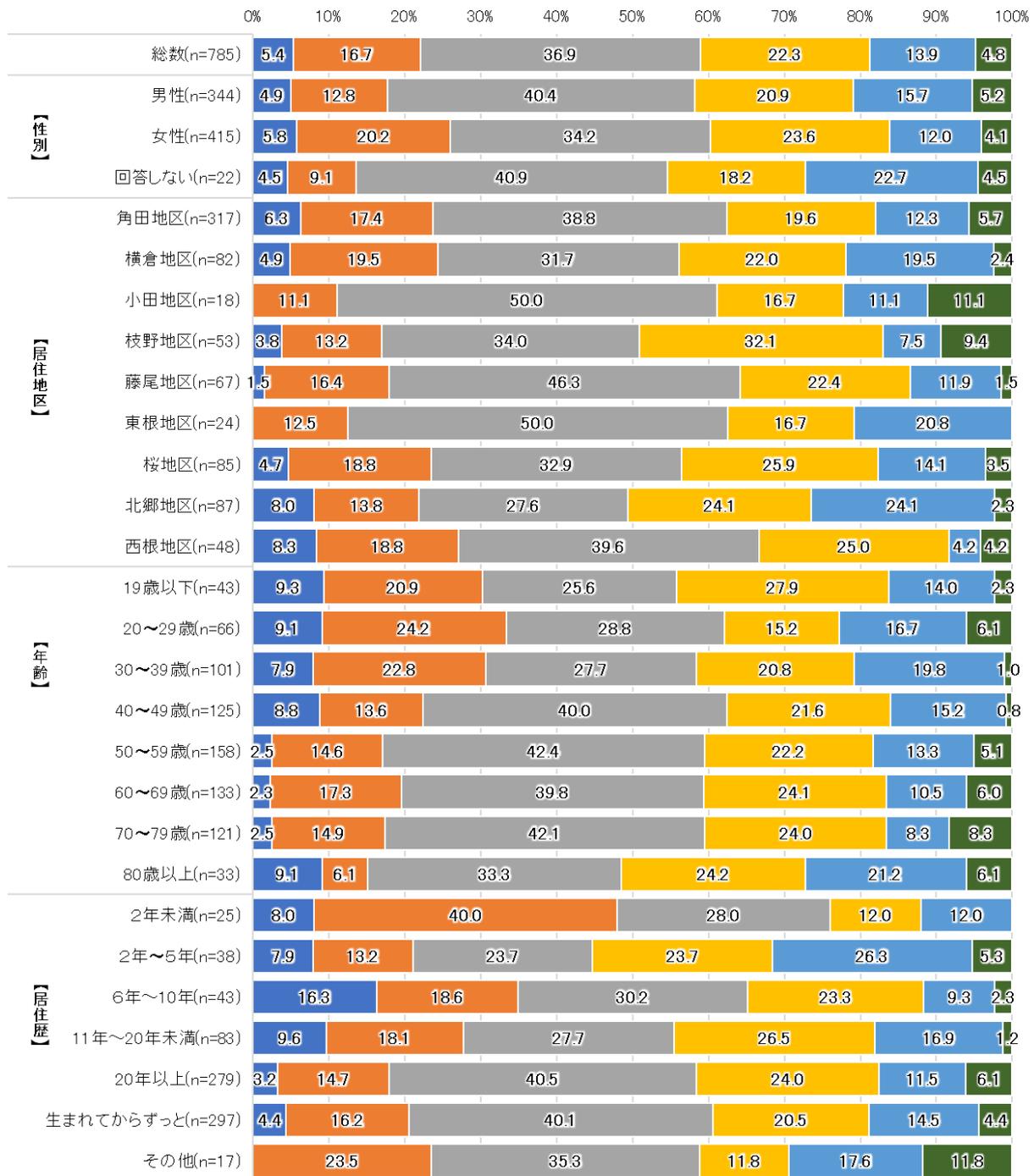
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「公共空間」の内容との適合性/属性別】



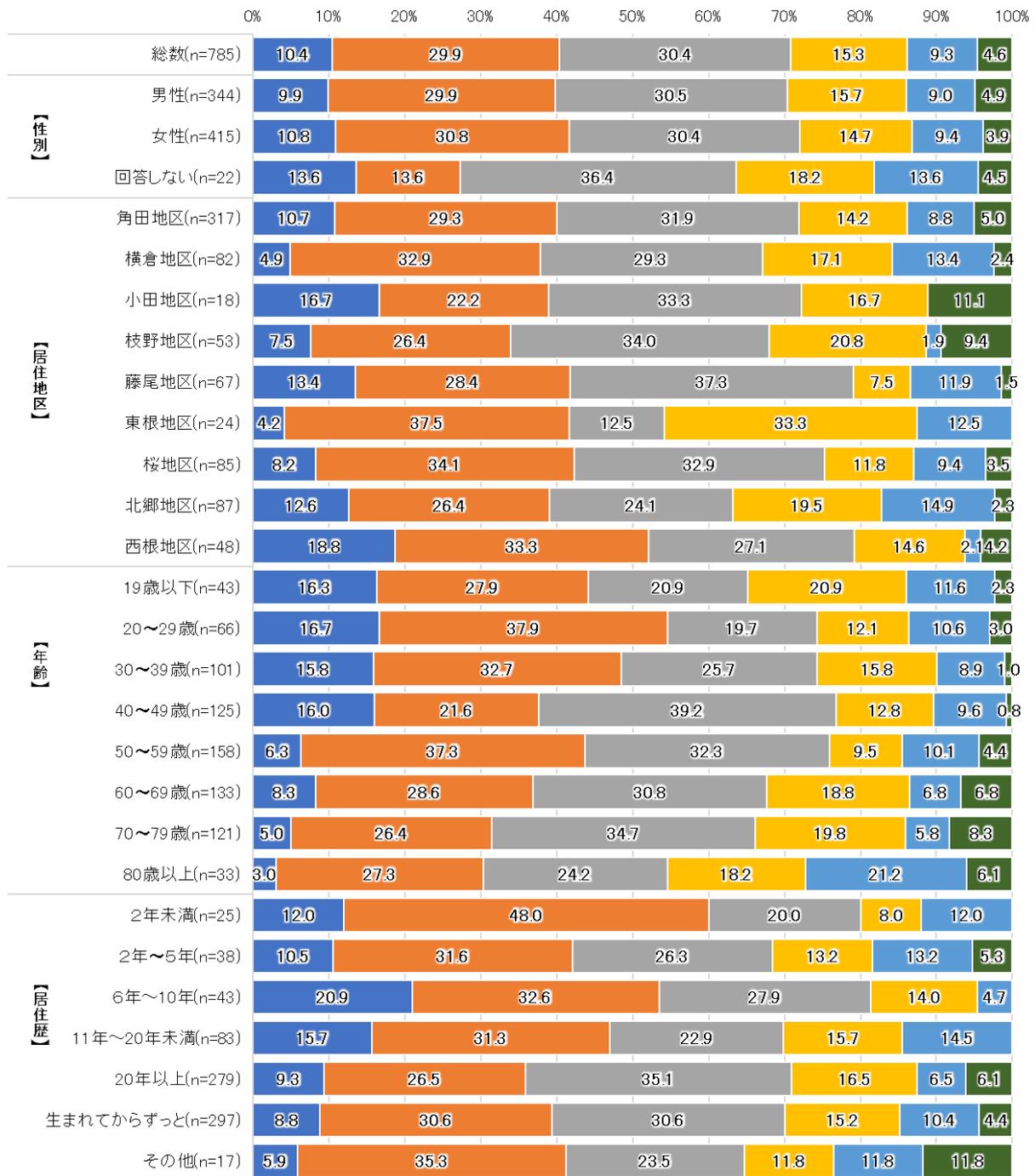
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「都市景観」の内容との適合性/属性別】



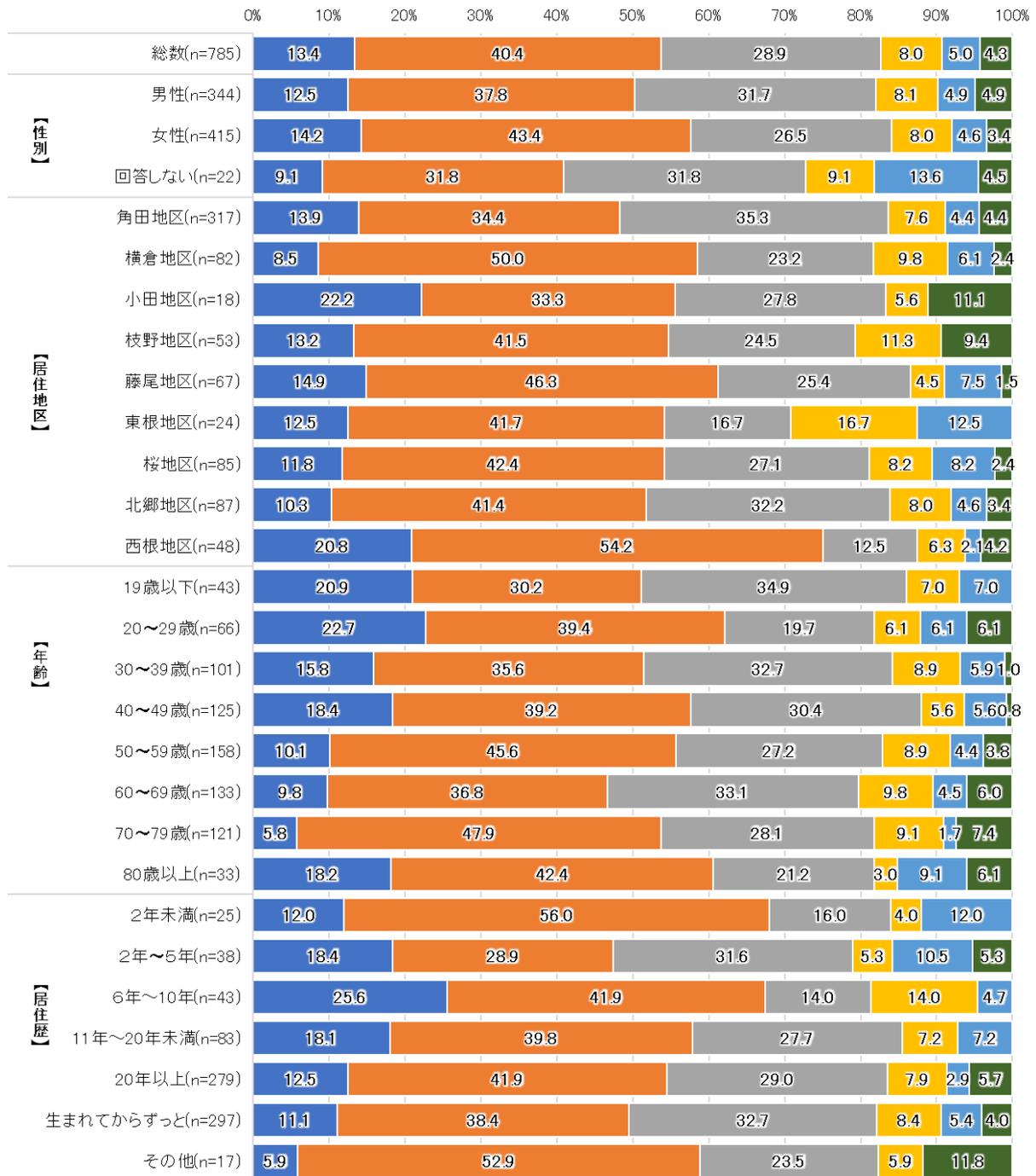
■ 非常にあてはまる
 ■ ある程度あてはまる
 ■ どちらとも言えない
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない
 ■ 無回答

## 【「自然景観」の内容との適合性/属性別】



■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

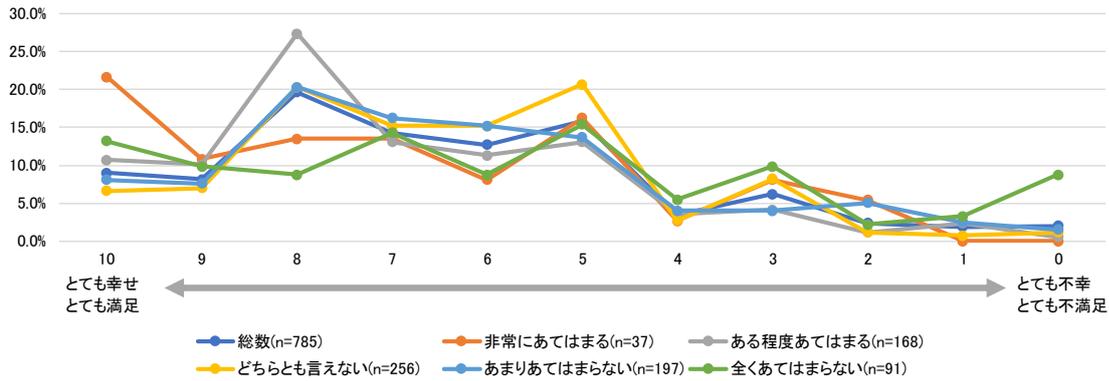
## 【「自然の恵み」の内容との適合性/属性別】



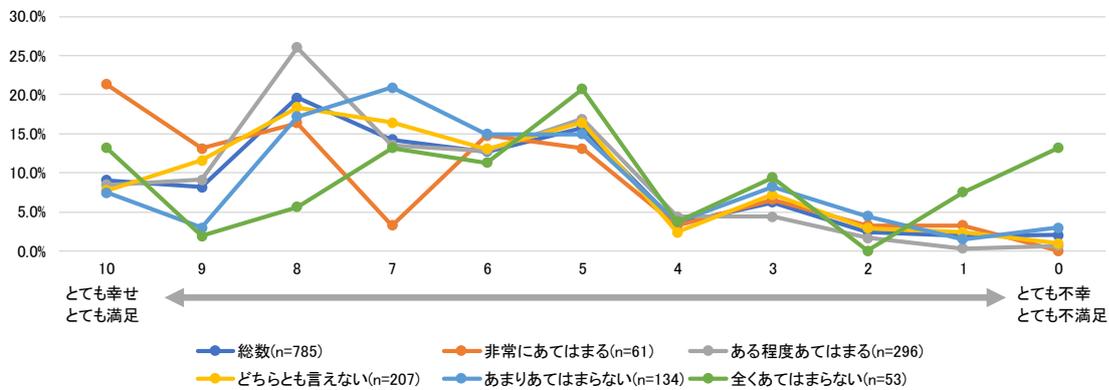
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

# 【地域の生活環境×「現在、あなたはどの程度幸せですか。」】

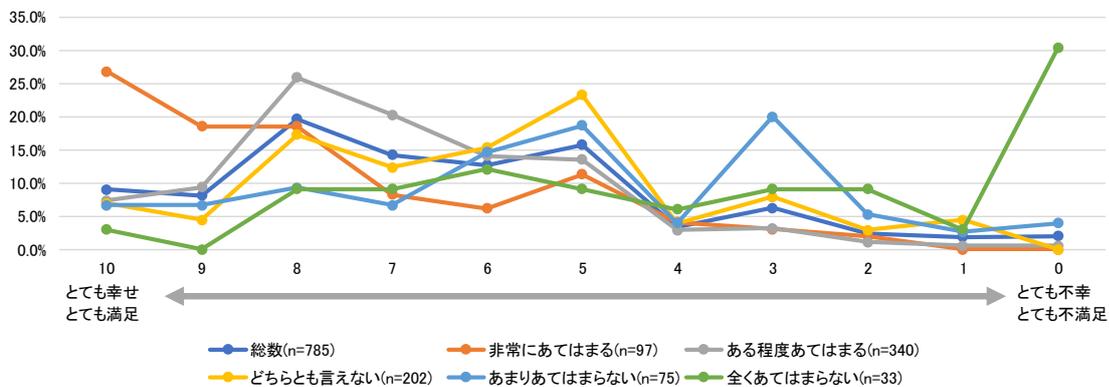
【「医療・福祉」の内容との適合性】



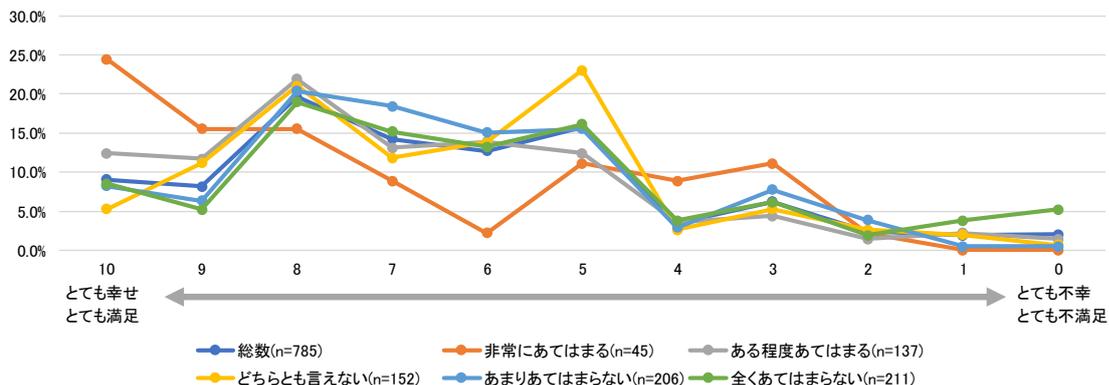
【「買物・飲食」の内容との適合性】



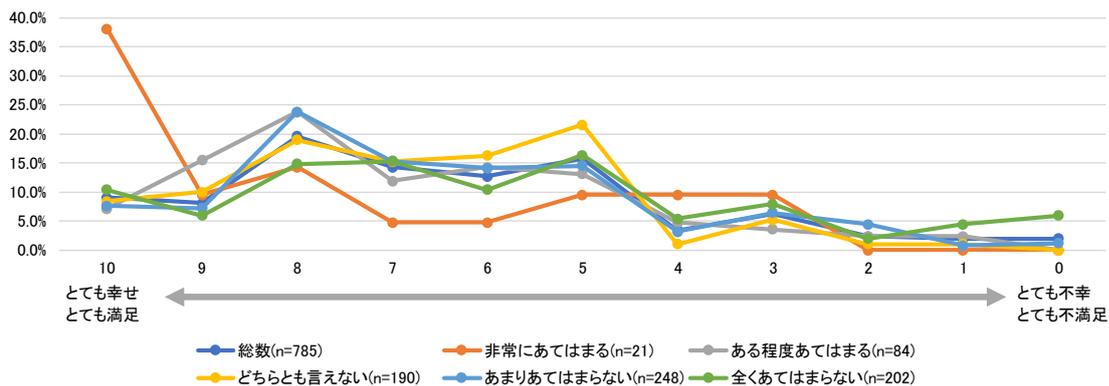
【「住宅環境」の内容との適合性】



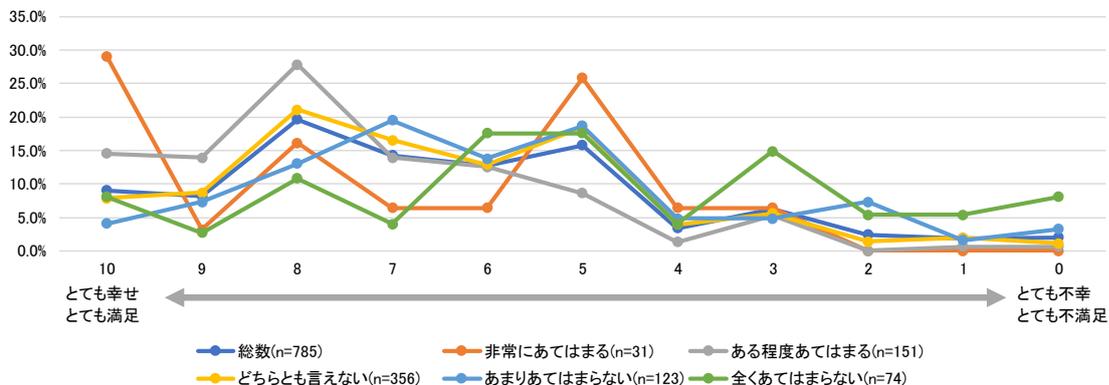
【「移動・交通」の内容との適合性】



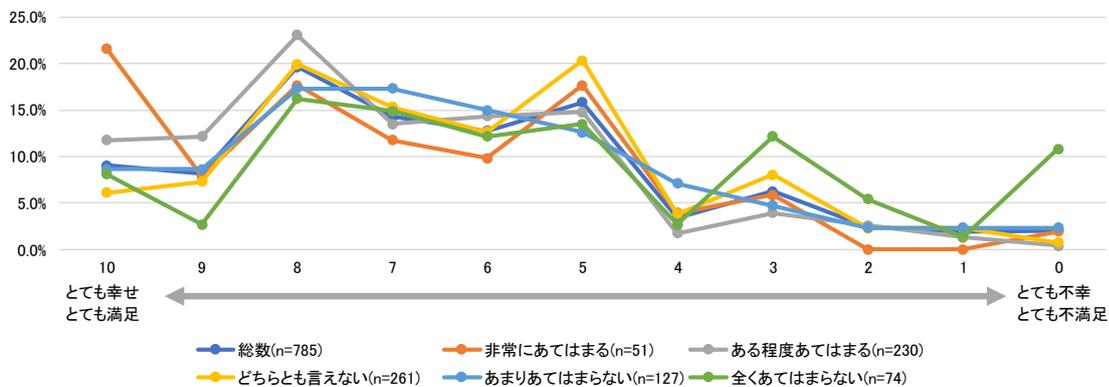
【「遊び・娯楽」の内容との適合性】



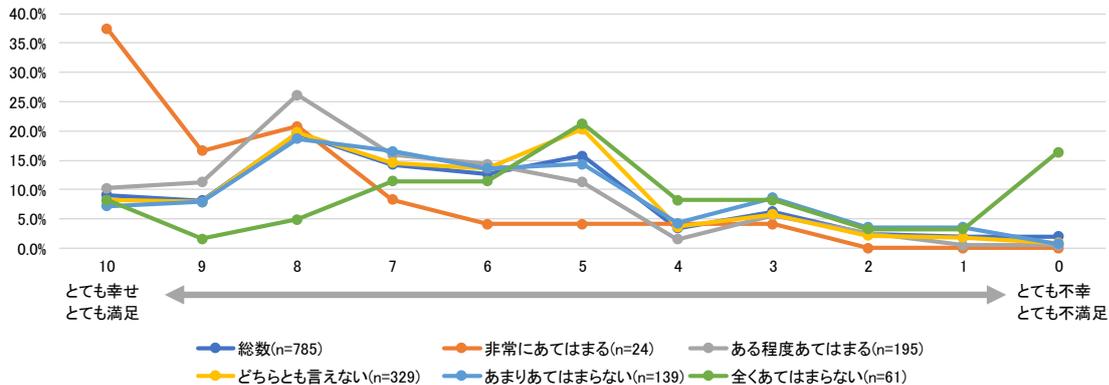
【「子育て」の内容との適合性】



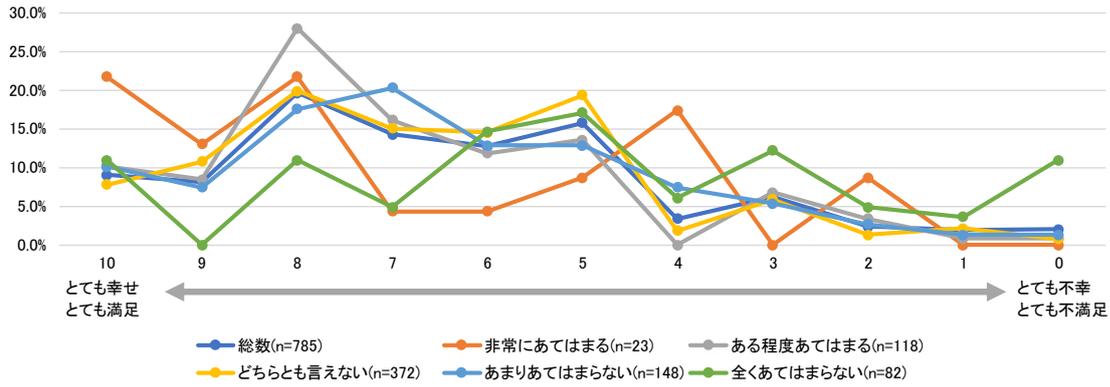
【「初等・中等教育」の内容との適合性】



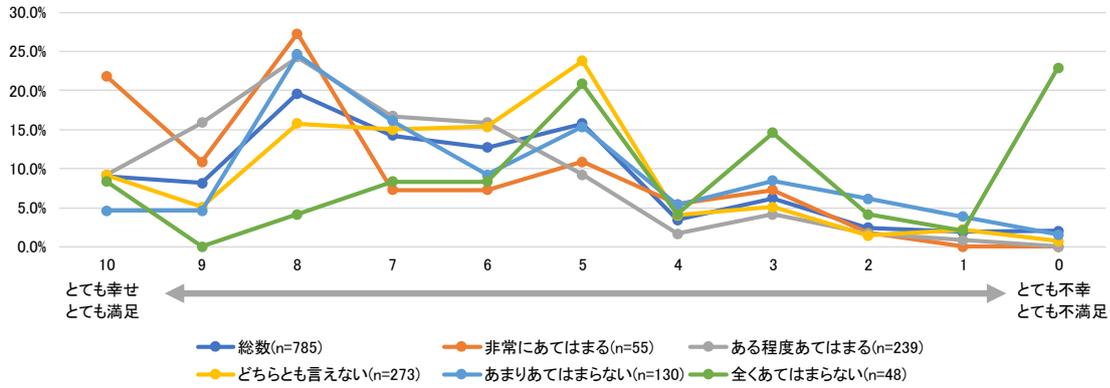
【「地域行政」の内容との適合性】



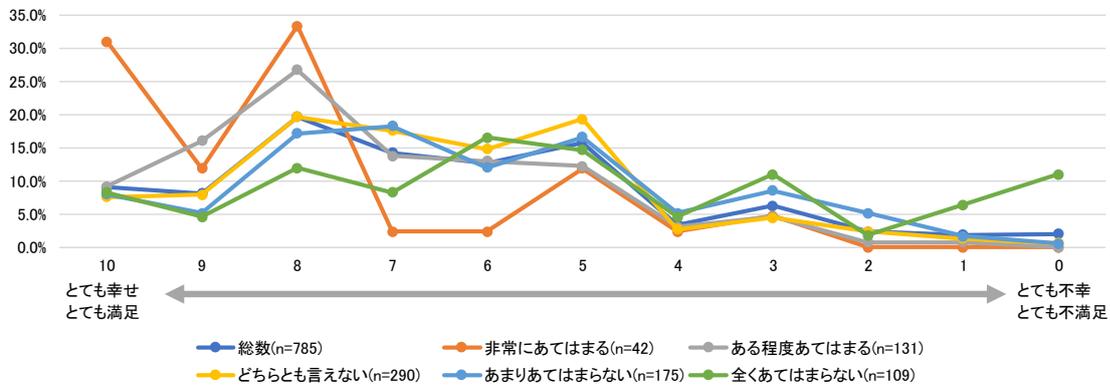
【「デジタル生活」の内容との適合性】



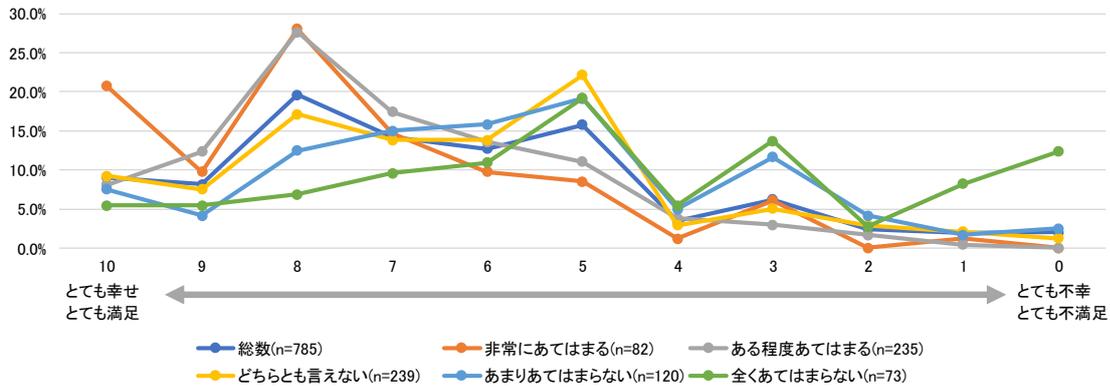
【「公共空間」の内容との適合性】



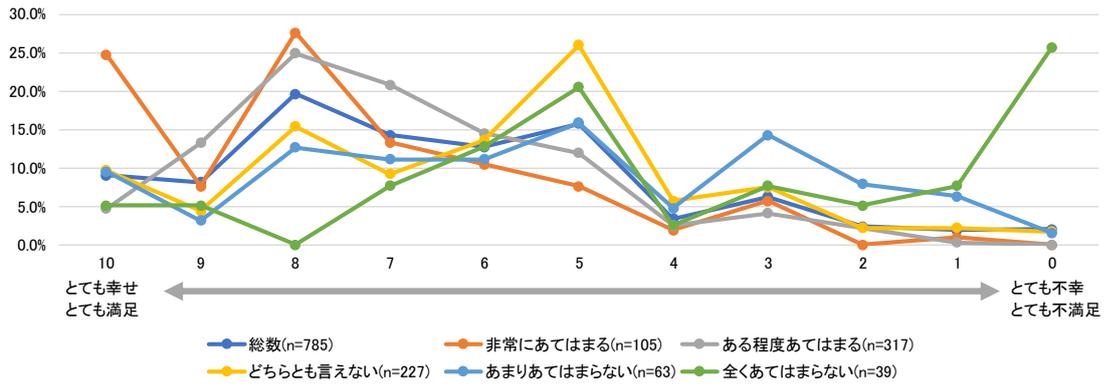
【「都市景観」の内容との適合性】



【「自然景観」の内容との適合性】



【「自然の恵み」の内容との適合性】

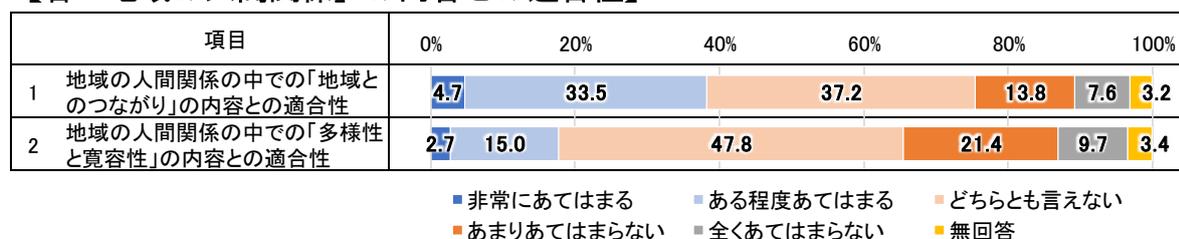


#### ④地域の人間関係

問 26 地域の人間関係について、あなたの考えはいかがですか。1、2の項目ごとに、最も当てはまる選択肢の番号**1つに○印をつけてください。**

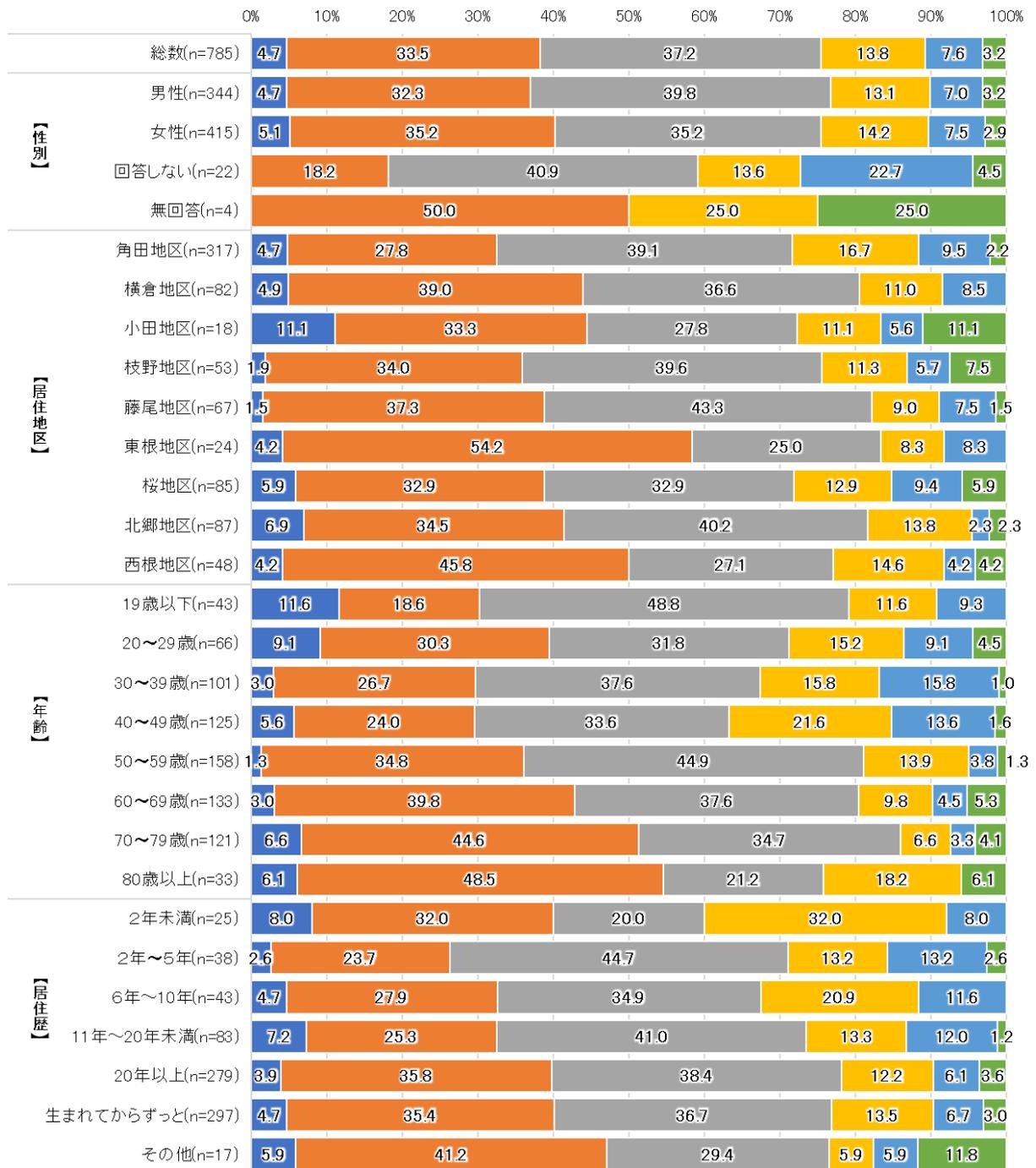
項目	内容
1 地域とのつながり	私は、同じ地区（集落）に住む人たちを信頼している 私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる 私は、地区（集落）の人が困っていたら手助けをする 私は、この地区（集落）に対して愛着を持っている
2 多様性と寛容性	この地区（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある 私は、見知らぬ他者であっても信頼する 私は、地区（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある

#### 【各「地域の人間関係」の内容との適合性】



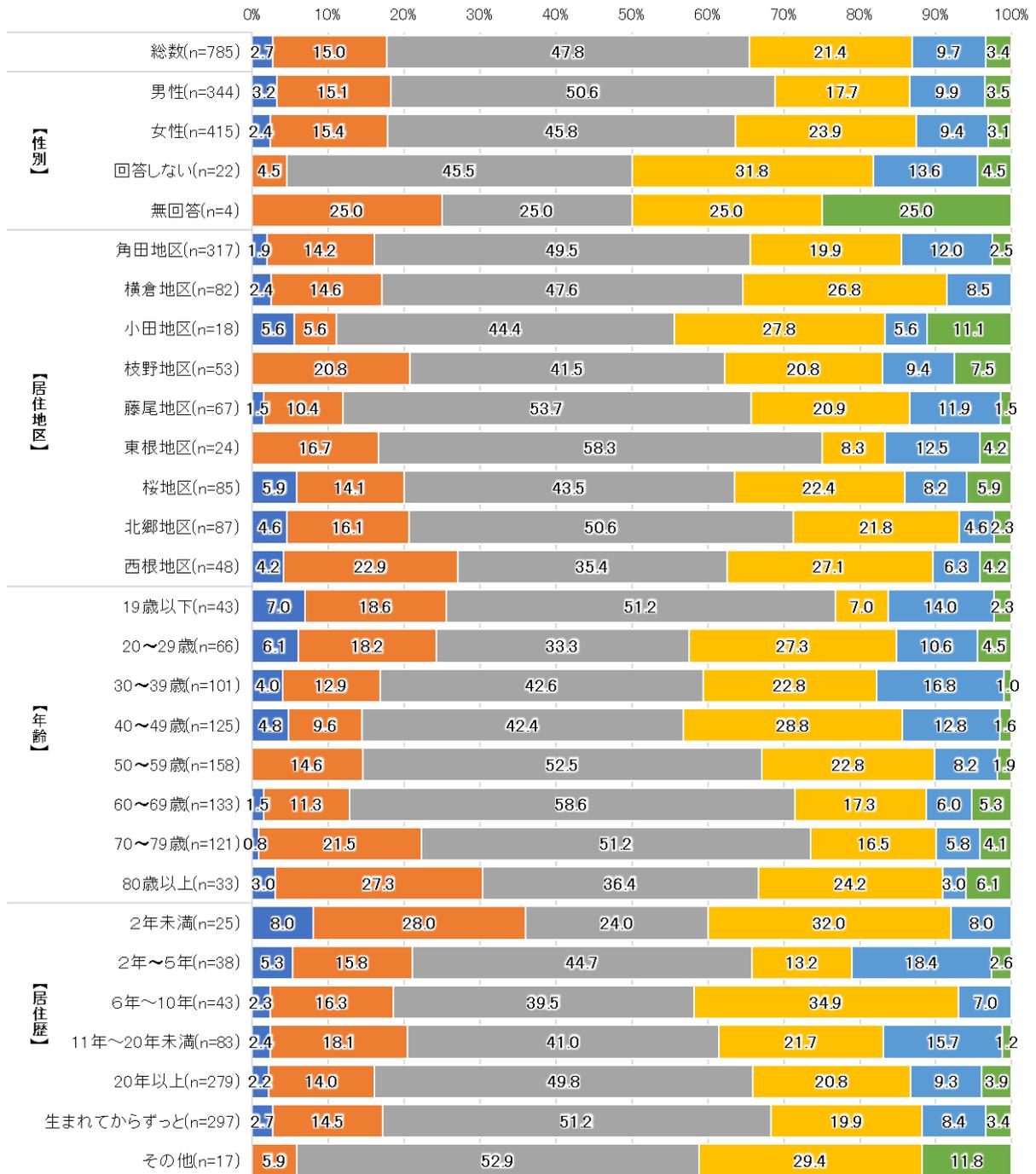
各「地域の人間関係」の内容との適合性について、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた《あてはまる》は『1 地域の人間関係の中での「地域とのつながり」の内容との適合性』で38.2%と最も多い一方、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた《あてはまらない》は『2 地域の人間関係の中での「多様性と寛容性」の内容との適合性』で31.1%と最も多くなっている。

## 【「地域とのつながり」の内容との適合性/属性別】



■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「多様性と寛容性」の内容との適合性/属性別】



■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## ⑤自分らしい生き方

問 27 自分らしい生き方について、あなたの考えはいかがですか。1～6までの項目ごとに、最も当てはまる選択肢の番号**1つに○印をつけてください。**

項目	内容
1 自己効力感	自分のことを好ましく感じる
2 健康状態	私は、身体的に健康な状態である 私は、精神的に健康な状態である
3 文化・芸術	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい
4 教育機会の豊かさ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある
5 雇用・所得	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある
6 事業創造	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

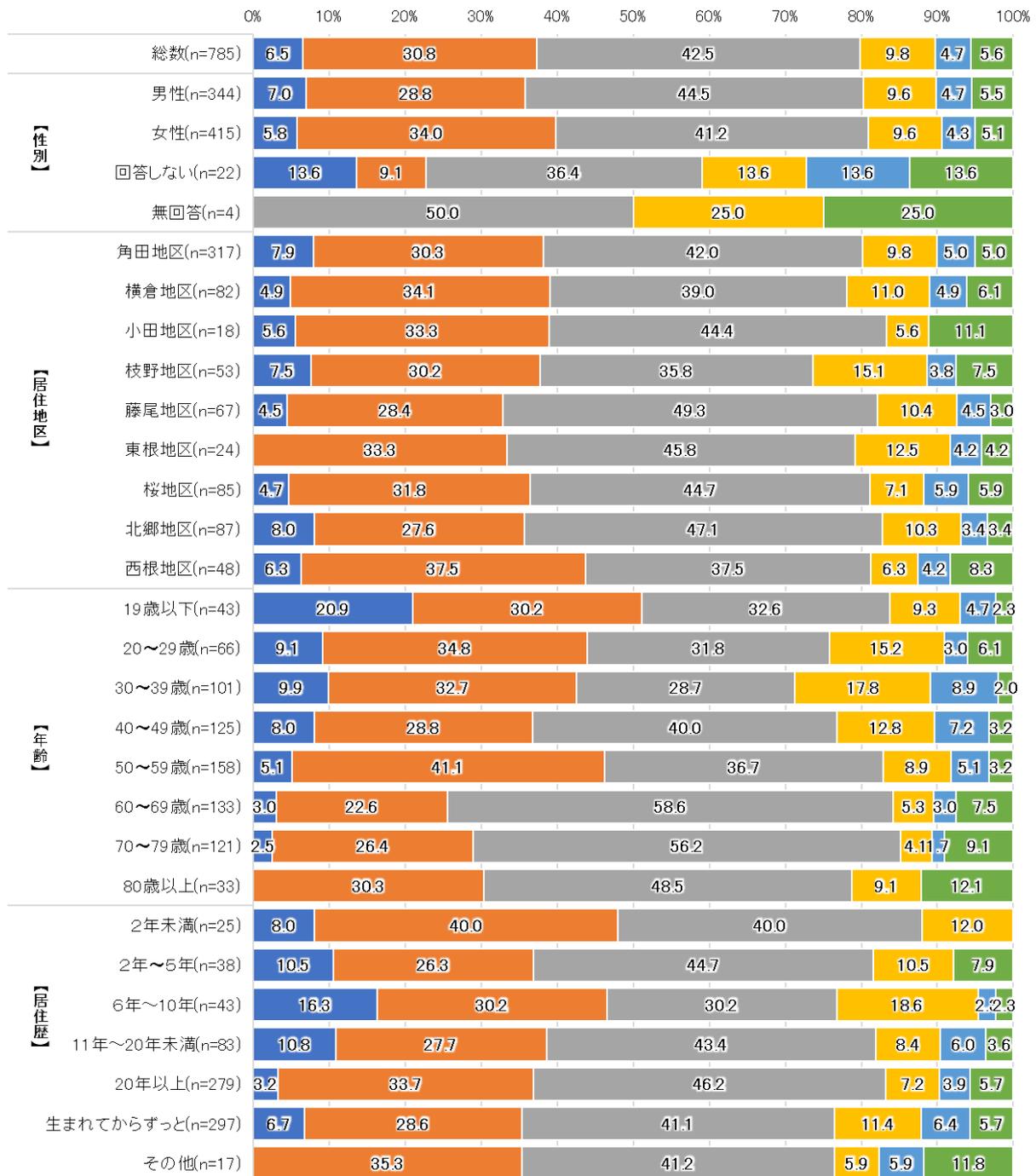
### 【各「自分らしい生き方」の内容との適合性】

項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 自分らしい生き方「自己効力感」の内容との適合性	6.5	30.8	42.5	9.8	4.7	5.6
2 自分らしい生き方「健康状態」の内容との適合性	11.1	39.9	26.1	15.0	3.8	4.1
3 自分らしい生き方「文化・芸術」の内容との適合性	4.8	24.8	40.4	19.7	6.5	3.7
4 自分らしい生き方「教育機会の豊かさ」の内容との適合性	3.8	15.9	42.5	25.0	8.8	3.9
5 自分らしい生き方「雇用・所得」の内容との適合性	3.7	10.8	33.6	29.3	18.9	3.7
6 自分らしい生き方「事業創造」の内容との適合性	3.1	10.1	39.2	25.9	17.7	4.1

■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない  
■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

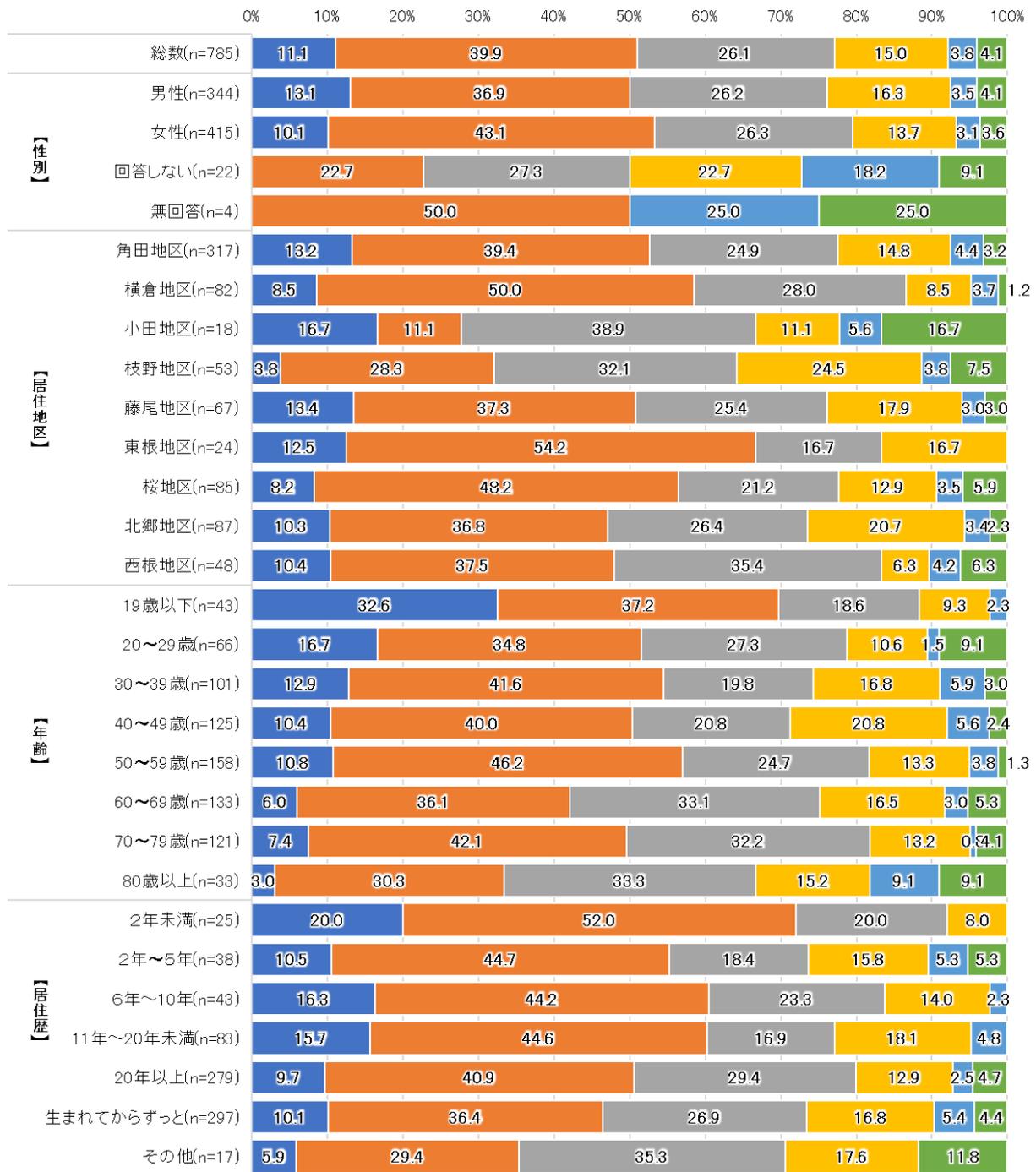
各「自分らしい生き方」の内容との適合性について、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた《あてはまる》は『2 自分らしい生き方「健康状態」の内容との適合性』で51.0%と最も多い一方、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた《あてはまらない》は『5 自分らしい生き方「雇用・所得」の内容との適合性』で48.2%と最も多くなっている。

## 【「自己効力感」の内容との適合性/属性別】



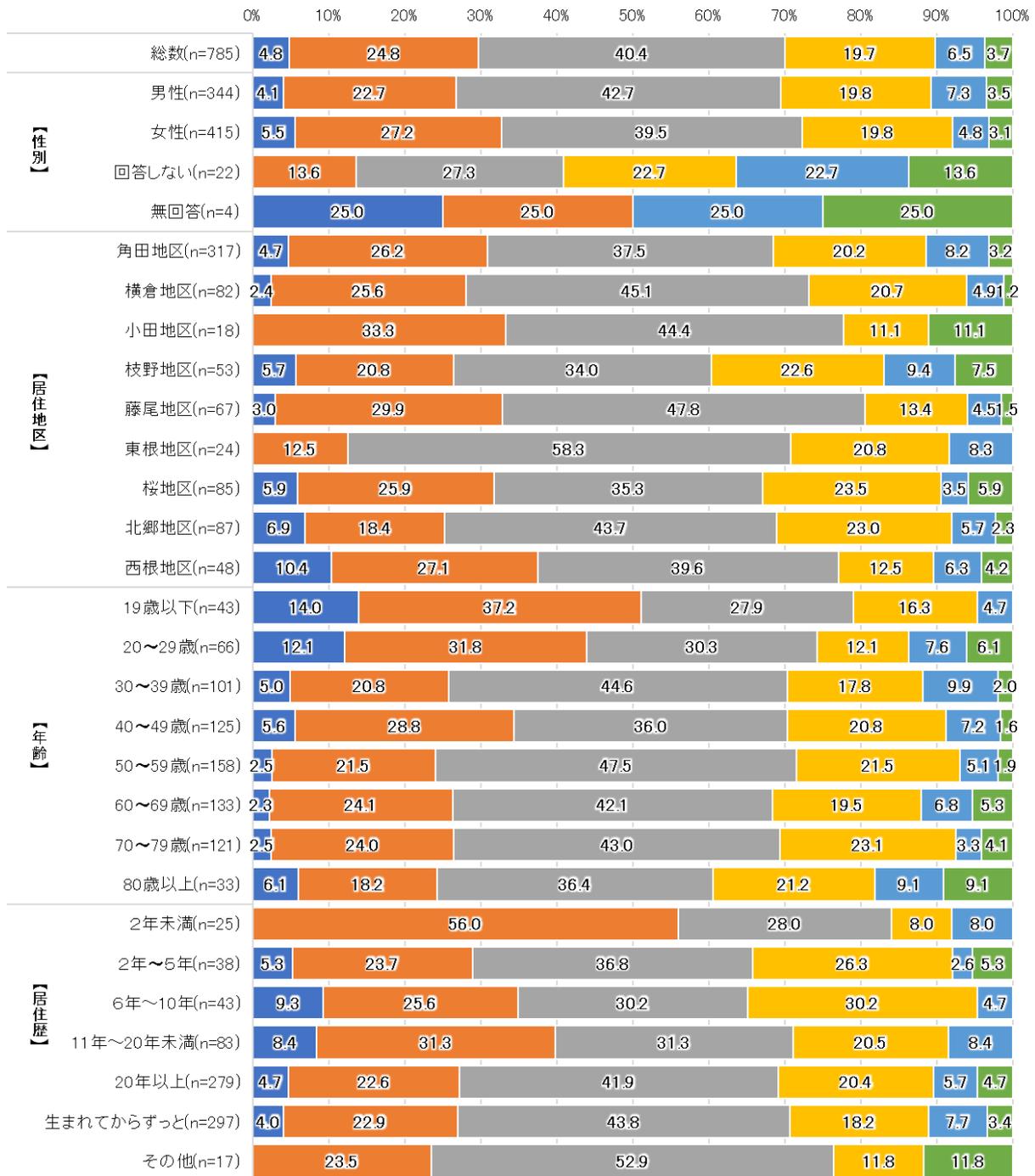
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「健康状態」の内容との適合性/属性別】



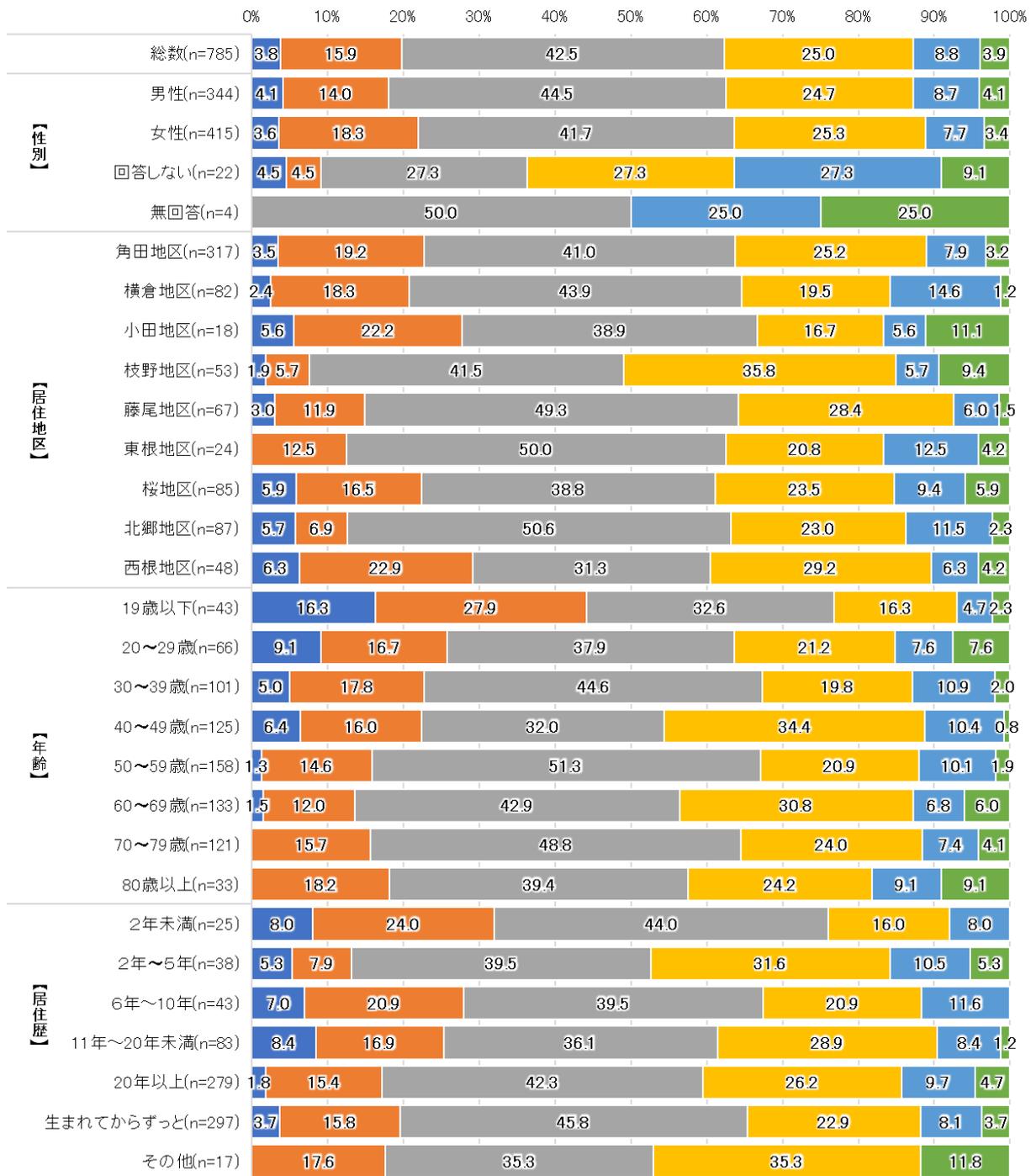
■ 非常にあてはまる ■ ある程度あてはまる ■ どちらとも言えない ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

## 【「文化・芸術」の内容との適合性/属性別】



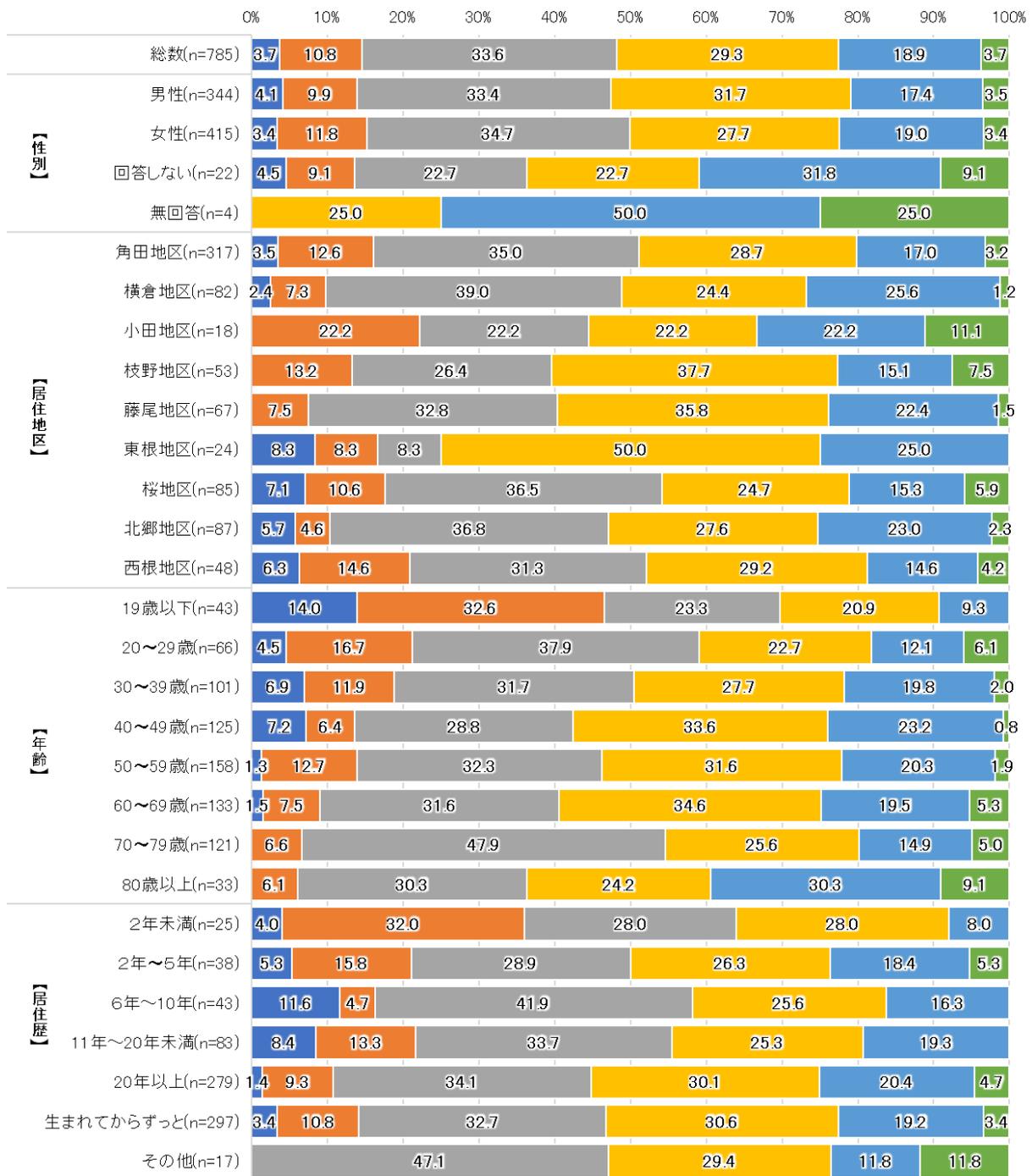
■ 非常にあてはまる ■ ある程度あてはまる ■ どちらとも言えない ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

## 【「教育機会の豊かさ」の内容との適合性/属性別】



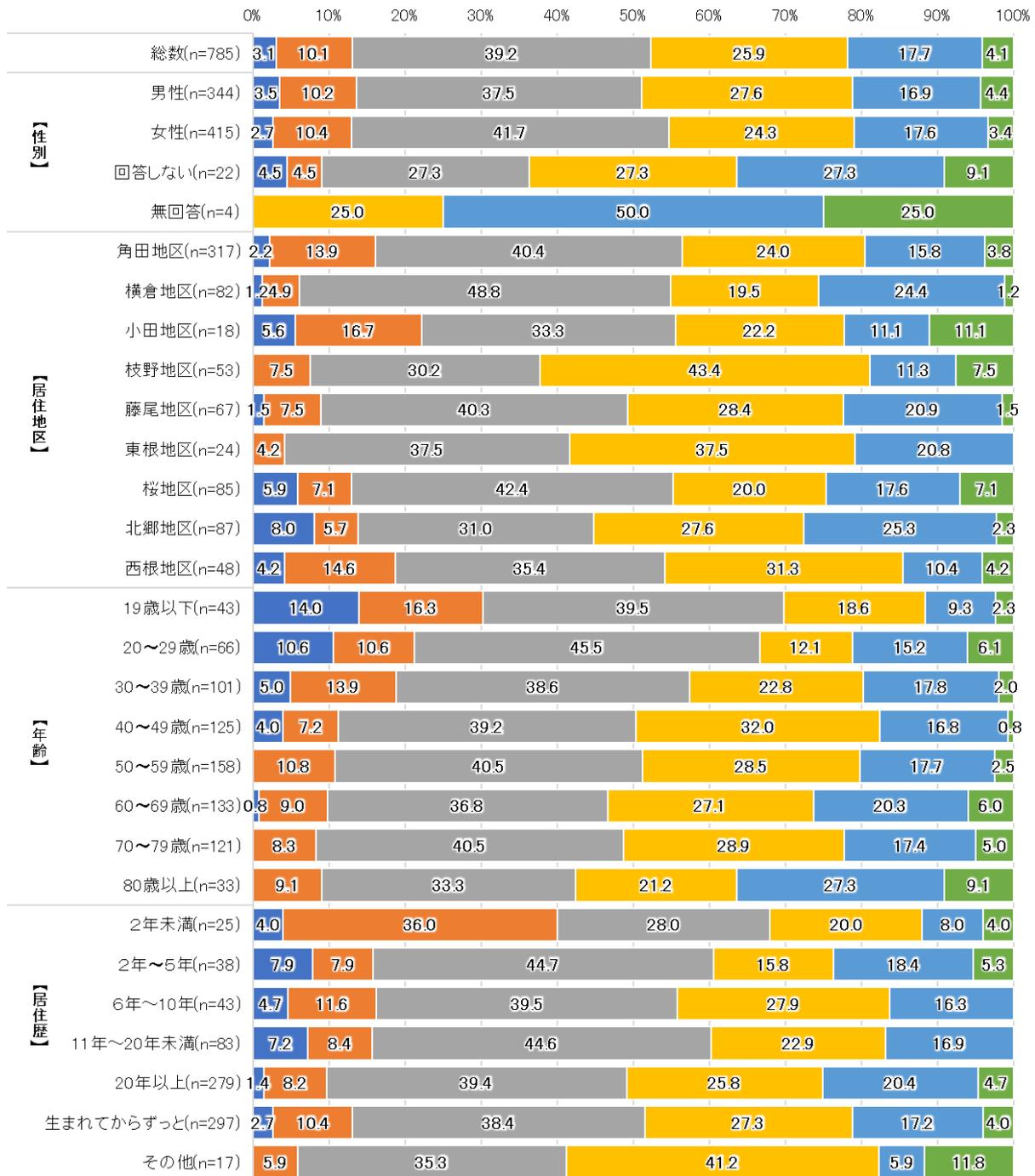
■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「雇用・所得」の内容との適合性/属性別】



■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらとも言えない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■無回答

## 【「事業創造」の内容との適合性/属性別】



■ 非常にあてはまる ■ ある程度あてはまる ■ どちらとも言えない ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

(9) 自由記入

問 28 角田市の発展や市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、まちづくりに関する意見や要望を自由にお書きください。

265 件の意見があり、施策体系に合わせると下表のように分類される。なお、複数の施策に関する意見もあるため、下表の合計と意見総数 265 件は一致しない。

分野	施策	件数	
1. 安全安心	1 消防体制の強化	1	
	2 災害に強い防災体制の整備	8	
	3 交通安全・防犯対策の推進	5	
2. 保健・医療・福祉	4 健康づくりの推進	0	
	5 疾病・感染症予防の推進	2	
	6 地域医療体制の充実	44	
	7 子育て支援の推進	16	
	8 乳幼児の保育・教育体制の充実	7	
	9 学童保育・子どもの遊び場の充実	13	
	10 地域福祉活動の支援	1	
	11 介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進	5	
	12 高齢者福祉サービスの充実	14	
	13 障害者(児)福祉サービスの充実	2	
	14 安心を支える制度の運用	11	
	3. 産業振興・就労	15 安全・安心な農畜産物の生産	3
		16 地域農業の推進	4
		17 農業生産基盤の充実	4
18 森林資源の有効活用		2	
19 商店街活性化の支援		9	
20 企業立地の振興		37	
21 安定した雇用の確保		15	
22 地域観光資源のネットワーク化		7	
23 道の駅かくだの活用		11	
4. まちづくり		24 住民自治による地域づくり	10
		25 男女共同参画の推進	2
	26 継続的なつながりの確保	4	
5. 教育・文化・スポーツ	27 学力・心・体の育成	4	
	28 時代の要請に応える教育環境の整備	7	
	29 生涯学習の充実	2	
	30 歴史・文化資源の保存活用	6	
	31 文化芸術活動の推進	3	
	32 スポーツによるまちづくり	1	
6. 都市基盤・生活環境	33 安全・安心な道路網の整備	10	
	34 公共交通システムの存続・利便性向上	51	
	35 河川環境の有効活用	1	
	36 快適な居住環境づくり	16	
	37 憩いの場である公園・緑地の整備	12	
	38 上下水道の整備	2	
	39 脱炭素社会の形成	0	

	40	循環型社会の形成	7
	41	環境衛生の向上	2
	42	安心して暮らせる生活環境の整備	15
7. 行財政経営	43	広報活動による情報発信	12
	44	広聴活動の推進	3
	45	効率的な行政経営を目指して	42
	46	DXによる新しい行政の確立	5

### 【自由記入のテキストマイニング※結果】

※大量のテキストデータから有益な情報を抽出する技術。単語の色は、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞・形容動詞、灰色が感動詞。



### 【主な意見】 代表的な意見を抜粋して記載しております。

#### 1. 安心安全

##### 1) 消防体制の強化

- ・野焼きを行っている人が多いです。

##### 2) 災害に強い防災体制の整備

- ・各河川の改善補強、補修等。
- ・側溝に雨が降るとび畑の土が入り溜まってしまいます。
- ・令和元年の台風災害から同様の被害が出ないような対策が十分に進んでいないように感じます。自然災害により生活が脅かされることのない安心な町づくり、そしてそれをPRして移住者を呼び込むような政策が必要と思います。
- ・最近、地球温暖化が進んでいて防災対策をしてほしい。(2015. 9月と2019. 10月)

- ・ペットと暮らしやすいまちづくり（公園利用、災害時など）
- ・廃校は倉庫として利用と聞きました。月1でマルシェなどを実施して活用はいかがでしょうか？災害時の避難所として、地域とのつながりとしてもいいと思います。
- ・災害も少なく安心して生活が出来ることが一番の望みです。
- ・防災について。角田市は比較的災害での被害が少ない為、危機感が感じられない。避難所である学校を廃校にし放置していて、本当の災害時にどのように活用するのか。市民の生命を守る行政が市民の安全確保ができる状態をキープし続ける事が重要なのでは。
- ・阿武隈川の氾濫を全力で阻止してほしい。

### 3) 交通安全・防犯対策の推進

- ・県道111号線の十字路は交通事故も多く、警察の取り締まりがいつも行われていますが、信号機をつけるのはいかがですか？一時停止せず夜間取り締まっているのを見たり、聞いたり（夜なのでひびく）すると嫌な気持ちになります。
- ・防犯対策として電灯を増やしてほしい。
- ・街灯が少ない。台山公園の街灯は21時迄お願いしたい。
- ・道路等の防災整備は整いつつあると思うが、暗かったり狭かったりと防犯や危険性への対策が不十分だと考える。
- ・空き家が多く防犯の面で心配。野良猫が多く迷惑。
- ・住宅街の街頭を増やすかもう少し明るい色にしてほしいです

## 2. 保健・医療・福祉

### 4) 健康づくりの推進

（特に意見なし）

### 5) 疾病・感染症予防の推進

- ・带状疱疹ワクチンについて。助成してもらいたい。
- ・コロナワクチン接種推奨をやめてほしい。  
亡くなった方々や今もなおワクチン後遺症や、免疫力低下による様々な症状に悩まされている方々が大勢います。定期接種などもってのほかです。  
高齢者や情報弱者が一番の被害者です。  
たくさんの被害の実態に目を向け、市としても推奨する事を即刻辞めていただきたいです。

### 6) 地域医療体制の充実

- ・子供を増やしたいのなら、耳鼻科、小児科、皮膚科を作してほしいです。
- ・耳鼻科がないのでわざわざ大河原まで行かないと行けないのが不便。
- ・子育て世代にはきびしい点がいくつかあると思います。小児科が無い、参院（産院）が無い
- ・病院の充実（小児科や耳鼻科）
- ・角田市に来て小児科がなくなり、子供のいる家庭は皆困っています。
- ・小児科、産婦人科、耳鼻科があると良い。

- ・角田市内の病院の対応が良くない。
  - ・小児科、産科がないのが、今後子育て世代、若い人にとって魅力がない。
  - ・皮膚科、耳鼻科がないので不便。
  - ・内科や歯医者は多いが、それ以外の医療機関がない。
  - ・内科などの病院だけでなく、心療内科など心のケアができる場が必要です。
  - ・耳鼻科、皮膚科、産科、夜間休日の救急病院を作ってほしい
- ※その他、大多数が、小児科・産婦人科・耳鼻科・皮膚科不足の声が多数を占める

## 7) 子育て支援の推進

- ・人口を増やす、子供を増やす政策を真剣に考える、取り組む必要があると思う。
- ・子育て支援に力を入れて頂き、若い世代の方は子育てしやすくなっていると感じています。できれば、不公平なく学年でまとめず誕生日まで支援して頂けると、4月生まれと3月生まれの不公平感がないと思います。
- ・子供達に寄り添った角田市になるといいなと思います。
- ・とにかく少子化なので、子供の手当てなどを増額したり、入学の時にかかる費用（制服、バッグ、ジャージ代など）の無償化するなどの支援があると助かります。
- ・7. 子育て～9. 学童保育については対策は工夫しているが、連携が時として上手く出来ていないと感じる時がある。
- ・子供が来年小学校に入学するが、現住所から学校まで徒歩40分以上かかりそうなので不安です。子供が安心して登校出来るようなサービスをお願い致します。
- ・子供達が安心して暮らせるまちづくりを望みます。通学も不便で小学校低学年の子供を毎日車で送迎しなければなりません。兄弟もいるので10年以上、これを続けなければいけません。働きながら正直大変です。
- ・子育てにおいて高校生まで学費がかからないような取り組みをどんどん実現していかないと、子供を産む人は増えない！！（岩沼）スズキ病院は50万の出産一時金があっても個人の手出しが10万以上！！それを市で払うくらいして頂かないと、子供を育てるのはとても厳しい！！ぜひ何かしらアクションを起こして下さい！！大阪では紙おむつで助成しているそうです！！助かる！！
- ・15歳まで医療費、給食費無償を継続して頂きたいです。
- ・子育て親の学び支援と子育て専念支援金の支給（3歳まで月15万以上）
- ・ウェルパークのZEB化など、環境配慮の取組にも評価するが、子育て世代として、子育て環境整備より、高齢者福祉の充実に関心しているように感じる。
- ・有効な補助金がある方は理解するが築20年のウェルパーク改修するよりも、学校のトイレ改修や体育館の雨漏れ改修など子育て環境、スポーツ環境もどうかして欲しい。そのための歳入アップではないのか？
- ・人口減少、少子高齢化が進む中、限られた財源をどう使うか、小さい市町村だからできるやり方もあると思う。
- ・私は大学進学をしましたが奨学金の返済応援制度みたいなのがないと良いと感じます。

## 8) 乳幼児の保育・教育体制の充実

- ・ 藤尾地区には保育所も無く、川を渡って街中まで行かなくてはならず、学校も遠いです…。  
（買い物する所も）このままでは子育て世代が離れていくのも無理ありません。
- ・ 子育て支援が手厚いとは思いますが、少しの発熱（せき、鼻水）などで保育園の早退や欠席をしなければならぬ事が多々ある。（熱が多少あっても元気で機嫌が良い状態）保護者はその都度仕事を休まなければならない。保育園に病児室を作ってもらえるととても助かると思います。明らかに伝染性の病気であったり、ぐったりしている時は除きますが…ご検討頂ければありがたいです。
  - ・ 子供が長時間過ごせる場所を作る
- 少子高齢化による様々な場面での人手不足により、若年層の親世代が長時間働く状況になり、子供へ割く時間減っていく、その間に高齢者のボランティアを募り、親の勤務が終わるまで子供を見守る環境や施設を充実させる
  - ・ 子供の学力を向上させる
- 現在は高校生でも掛け算・割り算が怪しい子供が増えている、将来的には計算力やその他の科目が出来ないまま社会進出する人材が増えると予想されるため、市内の小中高と連携して在校生の学力実態を把握しながら、市としての学習面におけるサポートを行う

## 9) 学童保育・子どもの遊び場の充実

- ・ 若人（小、中、高生）の多目的広場等を各地方にも。
- ・ 子供の遊び場、屋内の充実（夏は暑く外で遊ぶのは危険）。
- ・ 子供が屋内で遊べる充実した施設があると良い。
- ・ 小さな子供達が遊べる室内遊び場がない。山形県は無料で大きな施設がある、比較してしまう。
- ・ 白石市のように大きな室内遊び場があれば地域の子供達も遊ぶ場所に困らないし、他の市町村や県外からも遊びに行ってみようと足を運ぶひとが増えると思う。
- ・ 小さい子供も安心安全に遊べるキッズランド、例）白石のこじゅうろうキッズランドみたいな施設。
- ・ スポーツによる町づくりはもう十分やっていらっしゃるので、子供がボールなどを使って自由に遊べる場所がほしいです。廃校した校庭は団体貸し出しだそうで、団体に所属しない人が自由に遊べる場所があるとうれしいです。
- ・ 子供が遊べるような噴水などを作ってほしい（夏のみ）。花火をもっと打ち上げてほしかった。

※その他 室内遊び場を望む声多数あり

## 10) 地域福祉活動の支援

- ・ 老人が家に引きこもり、認知症が進んだり足腰が弱り、老化が進むのが早くなっているように思います。お金をあまりかけずに、楽しむ方法があれば助かります。

## 11) 介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進

- ・民生委員さん、地区での役割りは？30年間一度も訪問なし。調査して下さい。
- ・民生委員の方だと地区の方達に知られそうで言いづらい事沢山ある！（話したい事）
- ・少子高齢化が進む中、姑を介護中の所ヘルパーさんからの言葉“明日は我が身ですからね”がひしひしと感じる年齢となりました。各世代が生き生きと楽しく過ごせるよう自分、地域、街全体を網羅し、今できること、やらなければいけないことを考えていきたいと思うこの頃です。よろしくをお願いします。
- ・高齢者の一人暮らしの増加が気になり、近所の方には声がけしますが、親戚ではないのでどこまで介入していいのかわからないことがあります。民生委員の方が頑張っておられるとは思いますが、さらなる活躍を期待します。

## 1 2) 高齢者福祉サービスの充実

- ・若い人の意見を取り入れて、アンケートも年寄りには意味がありません。年寄りに優しい町にして下さい。
- ・中核病院に行くタクシーの料金助成があるが、中核以外の病院に通院している人のタクシー料金の助成がないのが不便。
- ・全国的な問題ですが、少子高齢化に伴い農地をどうするか、家をどうするか悩みが尽きない。若者は都会に職を求め、致し方ないとも思う。希望する職、大企業は都市部にしかないからだ。このままだと10年後、私達は入れる施設もなく迷子になってしまうのではと不安です。医療・福祉の充実をお願いしたいところです。
- ・デジタル弱者及び自力での情報収集力の低い者にも情報が届くと良いと思います。
- ・タクシー利用券が1回1枚ではどこにも行けない。年間に支給限度を決めているのだから、一度に全て使っても支出（市の）は同じなので、一回の制限をなくして欲しい。（周りからよく聞きます）・移動手段のない人が、行政手続きの際の補助を拡大して欲しい。
- ・現在、年金暮らしの老夫婦です。今のところ運転して病院、買物など出来ますが、免許証返納した場合不便になるので、市内循環バスとかタクシーなど、安くて利用出来ると助かります。（デマンドタクシーの台数を増やしてほしいです。）
- ・老々や独居の方が増え、今後空き家も増える一方なので、危機感を感じます。又、親の年金で生活している50～60代の方の今後も心配になります。
- ・コロナの影響などで敬老の日が中止となった行政区もあり残念！！一生に一回のお祝いなので、きちんと敬老の集いが実施してほしい事！地域とのつながりが薄れているとも感じてきます！お仕事したくとも薄いので誰に相談すれば良いのかも？
- ・高齢者への金銭的な負担を行政の手当を望む。
- ・今は車を運転して病院に行っているが、運転しなくなったら病院の通院が心配です。
- ・角田市も大変な事になっていくと思っています、すべてがですね？年齢も年ですので私も角田市のお世話になる身です。と思っています。住まいも山に囲まれて車が乗れなくなると大変不便です。迷惑かけない様に頑張っているつもりです。山、田んぼ、敷地が荒れるのが心配です。

## 1 3) 障害者（児）福祉サービスの充実

- ・個人としては、現在知的障害、自閉症の子供を育てています。まず、角田市に充実した療育施設や児童発達支援センターがないこと、障がい児遺族のケア（きょうだい児）などのコミュニティーの少なさ。金銭的な援助だけでなく、総合的な児童発達支援に、ぜひ力を入れて頂けたらと思います。小児科や婦人科の病院もあると助かります。
- ・がぎゅうベーカリーのパンはとても美味しいし、障害を持つ方の就労支援になっていると思いますが、あの美味しさは誇りを持って良いと思う。謙虚な姿勢で、これからもますます発展してほしい。これからもたくさん買いに行きたいと思う。もっと他市町村にも広まってほしい。

#### 1 4) 安心を支える制度の運用

- ・いじめや虐待、毒親など社会の負の面を負った人達が大人になり、一定数いてケアもされていないのに社会に協力したいとは思わないだろう。支援が必要かつ、そうした人達の協力もいる。
- ・生活環境の整備、安定した経済負担の支援施策をお願い致します。
- ・今までもこれからも「角田市」に期待などしていません。“第2子”“第3子”以降ばかり優遇される。「1人しか産まない」と選択したことの理由や意味を理解してくれる人は行政にも社会にもいない。子供を連れて遊びに行ける施設も平日のみで、土日祝の休みに市内で遊べる場所は公園以外ない。PRキャラを作る前に、目を向けるのがもっとあるのでは？道の駅も作ったものの、そんなに賑わってます??こんな町に嫁がなきゃよかったなー。こんなアンケートも“やるだけ”で何の意味もない。反映される気がしません。時間のムダですね。
- ・低所得者向けの補助金を増やす必要がある。
- ・人口の減少ばかりが目立って出入はあまり気になっていない行政だと感じます  
日本人だけでなく外国人や他県からくる人も想定したサービスをできるようにしてほしい
- ・医療施設の充実、低所得世帯に対する支援、精神面での相談の場の設置、相続手続きの簡素化
- ・水道料金、住民税等の減額
- ・なんでも相談出来る所があると嬉しい
- ・角田市では、パートナーシップ制度がなく将来を考えると自分自身は幸せになれないと思う。地域では、差別の目がありLGBTQに対する理解もなく、言葉すら知らない人は多いと思います。多様性があるという事を知ってもらい、パートナーシップ制度の実現、みんなが幸せに暮らせる角田市になるようお願いします。
- ・新婚だけでなく、新規住宅購入者に対しての支援もあって良いのではないかと思います。

### 3. 産業振興・就労

#### 1 5) 安全・安心な農畜産物の生産

- ・①猪に田んぼが荒らされる。年々ひどい状況なので駆除にもっと力を入れてほしい。②用排水整備が何十年たっても変わらない。整備されていないので優先して進めてほしい。③地域の共同作業はやりたくない。(クリーン作戦含む)
- ・農業関連で大気へ排出物を飛散され健康への悪影響がある
- ・有機農業やオーガニック野菜などを作る農家を育成、支援してほしい。

#### 1 6) 地域農業の推進

- ・農地（不耕地）の雑草等。
- ・高齢者が増えて田畑の耕作放棄がだんだん増えてしまい、どうしたらいいのか悩んでいます。どのような方法があるのでしょうか。景観の問題もありますし、シルバーさんにお願いすることで解決するのでしょうか？
- ・放棄農地の所有者への指導。
- ・角田においては自然気候条件として穏やかな気候であり、平らな農地など条件に恵まれているので、農業に力を入れていってほしい。現在の農家だけでなく、徐々に増えている他の若手の一般人をも仲間として、米だけでなく換金作物を見つけていって収入を増やすことに、もう少し研究していったらどうだろうか。

#### 1 7) 農業生産基盤の充実

- ・農業（特に米）に関して将来が心配。後継者不足、赤字経営、米の値段等、角田市としても対策を（国への働きかけ）。米の自給率UP。

#### 1 8) 森林資源の有効活用

- ・若い人を呼び込むこと、デジタル化などの大切だが、ぜひ角田市にいる生き物にも目を向けてほしい。せっかくこんなに自然が豊かで素敵な町なのに残念です。
- ・自然を生かして丸森に負けないキャンプ場等アウトドア施設を作り人を呼び込めば遠くても人は来るはず。

#### 1 9) 商店街活性化の支援

- ・駐車料はゼロではなく1台500円位取って、それでも行きたい！と思えるようなカフェやプール等、素敵な自然と人が集まるような施設があるといいと思う。一步踏み込んだ角田市のアピールができる場所の検討をお願いします。梅、豆、米、ロケットにとらわれないで欲しい！
- ・角田駅東口へ市役所の新築移転をし、駅前を商店街通りにする事！！角田駅を降りると田舎の町見たいです。
- ・なぜコンビニ、ガソスタ、薬局ばかり多くあるのか…？近距離にツルハ3店舗、薬王堂2店舗にドラモリ、そんなに薬局ばかりいらないと周りも言ってます。他のお店が欲しい。市なのに不便に感じているし、なんでこんなに栄えていないのだろう…と思いながら暮らしてます。
- ・若者達に暮らしたいと思わせる物がほしい！
- ・I WISH TO HAVE MORE CHILD CLINIC HERE IN KAKUDA AND FISH AND MEAT MARKET ALSO.（角田にもっと子供クリニックと魚と肉の市場があればいいのに）
- ・コンビニやスーパー、薬局だけがよく、楽しめる施設や遊べる所が無い。又、電気屋が無いので不便である。
- ・駅周辺が活性化する街づくりを希望します。
- ・地域全体が雇用、暮らしやすい街づくり、医療の充実、商業施設などの拡大をして地元の商店などのテナントを商業施設にまとめる。

## 20) 企業立地の振興

- ・角田市には誇れる食材や文化が沢山ありますが、それを前に出すには高校生や25歳までくらいの方が生活しやすい環境、すなわち大手チェーン店の上陸、JR開通SUICA使用可、タブレット授業は高校～（もしくは設定を生徒がいじれないようにし小学生～）など、ある程度生活しやすいまちづくりが必要だと思う。
- ・喫茶店やカフェなどを高校の近くに建ててほしいです。
- ・動物病院をあと1件増やしてほしいです。
- ・角田市全体が飲食店が少なく感じるので、たくさん作ってほしい。
- ・パチンコ店が2店舗しかないし、お店をつぶれてほしい。代わりにゲーセンを作ってほしい。  
（大型施設）阿武隈急行に乗って違う所に行くの面倒だし、お金がもったいない。
- ・スタバやタリーズなどカフェのお店を作ってほしい。（イートインできるように）
- ・時間をつぶす場所がない。（カフェなど）
- ・他市町村から人が集まって来るような商業施設があると良いとずっと思っています。
- ・子供用品のお店や飲食店などのある複合施設が欲しい。スターバックスが出来て欲しい。
- ・現在資格の勉強をしているのですが、図書館以外にもコワーキングスペースや勉強カフェを整備してほしい。図書館の休館日だけの開業でも良いと思います。空き家の利活用や創業支援、または社会福祉法人との連携を図り、市民のサードプレイスとしてのコワーキングスペースor勉強カフェの整備を検討してください。
- ・大きな企業誘致が必要と思われる。とにかく魅力のある街づくりを強く希望したい！！長く住み続けられるように！！
- ・休日に遊べる娯楽施設や様々なチェーン店含む飲食店の充実が必要かと思えます。休日は遠くに外出することが増えてしまいます。もっと盛り上がるような街にして頂きたいです。
- ・地域商店と大型ショッピングセンター（アウトレットショッピング施設の様な）が融合した施設があれば、他地域から人が角田市に入り、様々な面で角田市が豊かになる。地域商店の衰退防止も期待できる。人が集まれば、その他施設が増える可能性もあり、物流などの起点も期待され、近隣地域でも雇用拡大に繋がる可能性がある。
- ・学生が遊べる場所を作って欲しい
- ・アカチャンホンポや西松屋などの子供用品のお店がほしい  
若者やファミリー層が集まる飲食店やデパートがほしい
- ・[https://www.mext.go.jp/mext\\_02308.html](https://www.mext.go.jp/mext_02308.html)  
角田ロケットセンターやJAXAともっと連携して上記補助金を使える企業などを広く誘致出来ないものか？

## 21) 安定した雇用の確保

- ・最低賃金を上げないと発展などしない。また若い人は都市の方に出て行くでしょう。
- ・人手不足の解消の為に外国人を安易に受け入れるのは危険だと考えます。農業ならば大規模集約的にし、工場などもオートメーション化するなど、人力ではなく機械を積極的に取り入れ

ば充分間に合うと思います。その手助けを市では考えてもらいたいです。移民だらけの街とか住みたくないです。

- ・生まれも育ちも角田市で生活しています。最近は若者が市外に行くことが多くなりました。うちも子供は県外へ行きました。病院や働く場が少なく感じます。又、市役所などで働く人の求人ももう少し増やして、若者の意見を聞かなくては、今の50歳～60歳代の意見では古くて納得出来ない部分があります。人口減るのは行動に移してないからです。数や人口で決めるのではなく、まずは意見を出し合ってみること、ゆとり世代の意見も大切にしてください。
- ・若い方々は高校卒業すると大学や企業就職と地域を離れ、地元に戻らない環境を変えないと、他の問題解決、改善には至らないと考える。
- ・角田市出身で就職もできれば県内で角田市にすることが望ましかったが、やはり首都圏に比べ仕事の種類も待遇も劣っていた。これから企業誘致を可能な限り進めてほしい（できれば大卒者、大学で県外に出た者が戻っても良いと思える企業）。地域に関心があるのに仕事のために3月に転出することがすごく惜しい。移住支援も大切だが、まずは地元の若者が住み続けたいと思う、住み続けられる角田市を目指してほしい。
- ・積極的な働ける環境が欲しい。（低賃金や保険等の条件が悪かったり、どんな会社か分からない事が多い）
- ・角田市では仕事なく、他の市町に出て働いている。
- ・雇用・人口について。人口減少の大きな原因は雇用の確保ができない事と給料が安い事。角田市内（役所も含め）のパート・アルバイトの賃金が安いと感じる。生活に必要な金銭を得るためにより条件の良い所に行くことは当たり前。働く場所とそれに見合う賃金確保が必要。角田市内の事業所に掛け合い、市民の雇用を促すなどの対応もすべきと考える。
- ・若者の意見を取り入れられるように行政での若者の雇用、起用。

## 22) 地域観光資源のネットワーク化

- ・他県の人に角田市と言っても、丸森は知ってるけど角田は知らないと言う人がほとんど。何をするにしても角田市はつまらない。祭り事や行事も他の町のまねごと。
- ・娯楽施設やお祭り等をもう少し増やしてほしい。
- ・近年では、趣味に対して金銭の利用を惜しまない人が増えている、そのため、様々なコンテンツを利用して観光客を増やし、地域経済の活性化を目指す(例として、JAXA と連携し、宇宙やロケットについて学べる観光ツアーを開催するや、角田市を舞台としたアニメ制作などで知名度を上げるなどをする、これらで観光客を呼ぶ場合、国内向け、国外向けの対応を事前準備する)
- ・角田市を循環するバスがあれば、観光や地域の足として活用する人に非常に便利だと思います。
- ・YouTube に角田の名所を巡った動画を投稿したり、Instagram や TikTok での LIVE 配信を行って角田の良いところを若い世代にも発信していくのが良いと思います。
- ・道の駅の拡大、医療機関の充実は不可欠。角田市独自の人の集まる施設一例えば、富谷や山形の様なウォータースライダー、流れるプールなどがある施設、観光も含め行ってみたい街に。

### 23) 道の駅かくだの活用

- ・道の駅をもっと全国にPRするために角田に来ないと体験できない事や入手できない物などを考えた方がいいと思う。
- ・かくだ道の駅が狭い。買物者がぶつかりゆっくりしてられない！
- ・道の駅周辺をもっと整備してほしい。
- ・道の駅周りに遊歩道（散歩）、足湯、小動物とのふれあう場所などがあると、人が集まって来るのでは…と思います。
- ・道の駅にあるドッグランをもっと広くしてほしい。
- ・道の駅を作ったのは良いが、ここでしか買えないなどの付加価値が足りないと思う。イベントをするならメディアを利用するなど、価値をあげていかないと、数年後には閉鎖するようになると思います。
- ・道の駅かくだにお客さん入っている様で良いことと思います。もっと売り場面積を増やしたら集客力が上がると思います。
- ・かくだ道の駅、他市町村や他県の友人を連れて行こうと思っても、角田独自の自慢のものが無い。もっと頭の柔らかい、先を見据えたアイデアをもつ人をリーダーとして発展させてほしい。ありきたりな上に小さく、なんの特徴もない道の駅だと思う。
- ・梅バーガーをまた作って道の駅で売って欲しい。
- ・角田市道の駅を施設拡大して特産品や地元野菜などもっと多く置くべき。

## 4. まちづくり

### 24) 住民自治による地域づくり

- ・高齢化が進み地区の運動会、球技大会などに参加する人が少なくなり、人集めが大変なのであまりやりたくない（班長など）。そういう地区行事も必要ではあるが、角田市全体で出来るイベントなどをもっと増やしてほしい。
- ・地区ごとに役員を選出して活動している「交通安全母の会」や「婦人防火クラブ」等は、共稼ぎ家庭が多く活動に参加できる人も減少しているし、「母」や「婦人（女性も含む）」などという区別をつける名称も多様化の時代に合っていない上に、「女性」限定として活動する意味が全く分からないので廃止すべきだと思います。
- ・若者、高齢者にとり魅力ある市へを市民全体で考える。考えましょう！（アイデアを出し合う）「損する市（人が集まらず出て行く）」ではなく「得する市（人が集まる）」へ。人に寄り添う市へ。能動的に。
- ・角田の町中に暮らしている人はクリーン作戦、草刈りなどは参加しなくてもあまりとがめられることはないと思いますが、この地区はまだまだきびしくいつまで参加できるか不安です。まして江払いに関しては毎年隣組で愚痴の連続です。
- ・市民参加型のイベントを盛り上げ活気ある市（街）づくりに参加出来る企画。
- ・他区の行事など、参加者が減って役員しか参加していないので廃止してほしい。役員の飲食のために区費を集めているようなもの。
- ・引っ越しても地域の状況が不明瞭。馴染めないのに班長など任されて何もわからない。こんな状況では子育てもままならない。

## 25) 男女共同参画の推進

- ・男女の差別化をなくして、女性が働く機会が増えたなら、男性は家事ができる様にならないと、女性の負担が増え、結婚への希望はない。意識改革から必要だと思う。好きで独身でいる若者もいるので、年配の方の独身への偏見をなくすべき。
- ・男女平等に関しても、教育の場や避難の状況が分からないため、“平等”としか書かざるを得ない。

## 26) 継続的なつながりの確保

- ・若者をいかに動かせるか？
- ・かく大學プロジェクトは地域交流のきっかけに加え、この講座をきっかけに新たな趣味や関心を見つけることができる非常に良い取り組みだと感じています。今後もこのような取り組みを拡充し、移住を検討している人へのPR材料や市民の幸福度上昇につなげてほしいと思います。

## 5. 教育・文化・スポーツ

### 27) 学力・心・体の育成

- ・人間の頭（脳）が発達しすぎて色々考えすぎる。もっと本能のまま生きれば良いと思う。人生を生き切ることが一番良いと思う。一日一善です。それが「幸せ」です。
- ・次世代を育てるために教育の内容が大切だと思う。
- ・ボランティア活動は自主性がないと意味がない。PTAは自動加入で自主性の欠如が見られる。ボランティア活動なのだから、しっかり自主性を尊重してほしい。
- ・子供 若者 高齢でも、挨拶からを心がけていますが、返答がなくさみしくも思う。今の時代自分が良ければそれで良いと思う人が、多いと感じます。
- ・支援、支援、と子どもたちに手厚くなんでも「してあげる」のではなく、将来を担う子どもたちが、周りに感謝しながら、自分の力を信じて活躍できるよう、「してあげる」教育ではなく、たくさんのかんことを体験させ、自ら学べる機会を作ってあげた方が良いと思う。それから、市内の中学校の荒れ具合を隠さず、本気で子どもたちに向き合わないと、大変なことになると思う。心の荒れ具合、学校での授業の様子、知っていますか？驚くような状況です。

### 28) 時代の要請に応える教育環境の整備

- ・タブレット授業は高校～（もしくは設定を生徒がいじれないようにし小学生～）など、ある程度生活しやすいまちづくりが必要だと思う。
- ・学校に行けない子、苦手な子がいるのが心配です。阿武急がなくならないように何とかしたいです。
- ・いじめや虐待、毒親など社会の負の面を負った人達が大人になり、一定数いてケアもされていないのに社会に協力したいとは思わないだろう。支援が必要かつ、そうした人達の協力もいる。

- ・学校に欲しい物（場所）があります。それは登校に問題がある児童、生徒が行ける部屋、教室を設置して頂けると。どうしても仕事を休めない親御さんもいらっしゃると思うので。

### 29) 生涯学習の充実

- ・市民講座（文化、教養、健康）を増やして頂くと、角田で過ごす時間が増えます。

### 30) 歴史・文化資源の保存活用

- ・近所に「猫神さん」という神社のようなものがありますが、このたび「解体」されるそうです。ご神体がないし、養蚕がなくなったので維持が費用的に難しいそうです。一度なくなると二度と再開されることもないと思われます。なんとか文化財として後世に残すことができないのかと残念です。
- ・設備の老朽化の整備の推進に力を入れてほしいです。少子高齢化が進む中だが歯止めをかけられるのか、抑えることができるのか将来が不安です。空家が増えたり、廃校となった学校校舎の有効利用等は、是非とも重要な事と考え、お話しをして頂きたいです。
- ・市の歴史や自慢できる場所を整備し積極的に発信して行くべきだ。メディアを利用したPRを大に行って行くべき、外からの人の流入（観光）を図って行くことが必要です。
- ・JAXAの施設があることは角田市民としてとても誇りに思う。もっと連携して関わりなども発展させれば良いのと思う。

### 31) 文化芸術活動の推進

- ・娯楽施設やお祭り等をもう少し増やしてほしい。
- ・田園ホールの文化的なイベント(寄席など)は楽しみにしています。

### 32) スポーツによるまちづくり

- ・橋の向こうにスポーツビレッジ？角田市民が毎日通えるような場所ならよかったのに。不便。

## 6. 都市基盤・生活環境

### 33) 安全・安心な道路網の整備

- ・家の周りの路上駐車をなくすか取り締まり等の措置を行ってほしい。
- ・市を中心に白石、仙台、柴田と道路を作ってほしい。角田に来るには結構不便で時間がかかるので、短縮できると思う。防災も兼ねてと思う。
- ・道路脇の除草は何とかならないものか。市役所に電話をしても全く改善されません。車がすれ違うのに苦労しています。(地図あり)
- ・家の周りは狭い道路（センターラインなし）なのに路駐が多い。
- ・高齢者の自転車通行が増えているように思います。自転車通行の専用レーンがあってもいいと思います。
- ・道路等の防災整備は整いつつあると思うが、暗かったり狭かったりと防犯や危険性への対策が不十分だと考える。
- ・道路綺麗にしてほしい

- ・近隣市町村との走りやすいアクセス道路の整備が必須。
- ・道路整備が適切に丁寧になされていなく、実家の前の道路は日本一悪い道路ではないかと思うほど酷い。あの状況をなんとも思わない、気づきもしないことに非常に驚いている。ドライブレコーダーが少しの衝撃にも反応するが、その道路を通るたび反応するほどボコボコの酷い道路です。何年あのままにするつもりですか？角田市の発展、市民の暮らしを豊かにする、と大きなことを言う前に、身近な我々の生活環境をしっかりと見て知ってすぐに改善してほしい。桜8区の道路です！
- ・道路の東西軸を充実させる、東北道（高速）と常磐道をうまく利用する、交通アクセスを良くする事
- ・一本木町の道路を補修して欲しい。

#### 34) 公共交通システムの存続・利便性向上

- ・中核が遠い。年金で生活している身では、すごく大変です。
- ・阿武急がなくならないように何とかしたいです。
- ・公共交通機関の充実（Kスポまでと移動手段、阿武隈急行駅周辺に観光客を呼べる施設など）。
- ・公共交通の充実。
- ・角田駅に自動改札機の設置をしてほしい。
- ・7時9分角田駅発の電車では、つきのき駅での乗り換えの際、仙台駅行きの電車に乗り遅れそうになることがあり、焦るので7時5分発にするなど少し出発の時間を早めてほしい。
- ・角田市と仙台をつなぐアクセスが充実すれば人口増になると考える。阿武隈急行の利用者が増える策が必要である。運賃を下げる、直通便を増やすなど。
- ・公共交通がないので、若者が居なくなるので角田市の重要課題である。
- ・阿武急、朝の電車本数減らされて困りすぎ。学校から「早く来るな」と言われた。学校に通達してほしい。
- ・天候次第で運休することもある阿武急行。通勤、通学、用足し等本当に困ります。小型でも良いのでバスを運行して頂きたい。
- ・これから年を取ると車の運転が出来なくなる為、ラビットくん以外でも交通機関が欲しい。
- ・今まであった仙台までのバスがなくなり少しがっかりしている。
- ・通学に利用している阿武隈急行線の料金を下げて欲しいです
- ・公共交通機関として、角田市を中心に東西方面の市町へのアクセスが良くなると便利。  
例えば、角田市から最寄りの新幹線（白石蔵王駅）まで公共交通機関を利用するとした場合は、利便性が非常に悪い。車かタクシーを利用するか、電車を乗り継ぎ、白石駅まで行くか、別の駅（仙台、福島）まで行くしかない。  
また、他県から公共交通機関を利用して角田市を訪れる場合も白石蔵王駅を起点とした場合、アクセスが悪い。（他県の方から良く聞きますし、自身も同意見）
- ・阿武隈急行は JR にはない良さが沢山あるのに知らない人が多すぎると思います。お得な切符や自転車を持ち込めるなど、ポスターなどで知らせていくのはいかがですか？

- ・現在のラビットくんは事前予約が必要なため、休日の外出利用と相性が良いとはいえません。そこで、利用当日であっても乗車時刻の一定時間前までは予約ができるようにするほか、詳しい利用手順を市のHP上に掲載して周知の強化を図ってほしいと思います。
- ・阿武急に Suica 置いて欲しい
- ・阿武急だけでなく、デマンドタクシーの充実やバスか何かの交通面

### 35) 河川環境の有効活用

- ・健康維持のため、あぶくま川堤防を歩き始めてますが、犬のフンがいっぱいで不快になります。エチケットを守るように推し進めて下さい。

### 36) 快適な居住環境づくり

- ・もっとペット同伴化の施設が増えると、ペットを飼っている人口がとて増えていると思うので、市に活気が出ると思います。
- ・低価格での住宅提供（土地価格）
- ・地域的に人口が減少している事と、若い人が少なくなっている事から活気がなくなっている為、何とか若い人が住みやすい地域になれると良い。
- ・4号線が通ってなく田舎の割に土地が高いため新居を建てづらい。このままでは人口は減るのみだと思うので移住して来た人だけでなく昔から住んでる住人にも手当を出すべき。建売りの家も増えてますが土地そのものが狭すぎて住みたいとは思わない。
- ・若い世代の人達が住みやすい環境作り！
- ・駅前を豊かにしてほしい。

### 37) 憩いの場である公園・緑地の整備

- ・子供や女性、家族でゆっくりできる芝生公園（ペット可）の整備をして欲しい。
- ・散歩が趣味なので、いろいろなところにベンチや東屋があるといいのになと思います。お年寄りも気軽にウォーキングできるようになって、健康寿命が伸びるのではないのでしょうか。
- ・大河原みたいなサイクリングコースやドッグランを作してほしい。
- ・台山公園の噴水は殆ど動いていません。せつかくの施設、なぜ噴水しないか疑問。せめて9時から16時の噴水を望む。
- ・魅力ある台山公園の整備。“角田市のシンボル”
- ・四方山展望台に車で行けるよう整備してほしい。（アマチュア無線運用に困る。他県へのアピール出来ない）
- ・台山公園のトイレをどんぐりパークのようなトイレにしてほしい。
- ・四方山の桜をまた整枝してほしいです。景色がよく見えません。
- ・アスレチック公園を作るのはどうでしょう。
- ・交通公園にトイレが出来て良かった。台山公園もぜひ。

### 38) 上下水道の整備

- ・森林の保全、地下水系を含む安全な水の確保。

- ・水道、街灯を増設してほしい。

### 39) 脱炭素社会の形成

(特に意見なし)

### 40) 循環型社会の形成

- ・紙のムダ、辞めてほしい。
- ・空家が増えたり、廃校となった学校校舎の有効利用等は、是非とも重要な事と考え、お話しをして頂きたいです。
- ・緑豊かな我が町がソーラーパネルで黒く変る異様な風景に落胆を隠せない。
- ・最近残念だと思ったのが、生ゴミ処理機の補助金制度がない事でした。
- ・農地や山林への太陽光パネル設置を推し進めないでほしい。
- ・ゴミ分別が細かい様で大雑把。アルミとスチールは缶として一緒に出して良いのに、なぜプラが細かいのか。  
アルミとスチールこそ別けて、プラは洗わずでも良いのではないか。  
出したゴミはプラも最終的に燃やしているのでは。

### 41) 環境衛生の向上

- ・生活環境について。角田市内でも野良猫や野生動物の被害が多発している。ゴミの分別は当たり前になってきているが、不法投棄やポイ捨てが無くならない。空き地などの整備費用の補填や所有者から費用を取り、角田市で整備希望を取りまとめシルバーなどに依頼し整備できないのか。高齢化や一人暮らしなどで整備できない場合が多いので、整備を促すだけでなく助ける事も必要と感じる。また、野良猫は不妊費用の補填が出るが飼い猫は費用補填がない。野良猫を保護し、飼ってくれる人には角田市独自で補填するなどし、野良猫を増やさない活動をしてはどうか。
- ・町中の空き地や草で荒れた田んぼなどにゴミが多く落ちている。市でボランティアなど集めて拾うなどすれば、今よりももっと角田市の自然が美しくなると思う。※手代木沼近くの土手なども。

### 42) 安心して暮らせる生活環境の整備

- ・自然豊かなところが気に入っています。河川付近の整備もされていていいのですが、キジ打ちが来るのが嫌です。一年中狩りを禁止して頂きたい。付近をウォーキングする時、怖い思いをしています。
- ・高齢化が進み空き家が増えてた。その空き家をどうするか？を真剣に相談出来る所がほしい。
- ・今後の空き家、世帯人数の減、就農者の減にどう対応するかが課題と思います。
- ・自然豊か、緑がいっぱいのほどほどの田舎で良いのですが、山の木や庭木、空き地などの管理をしっかりしてほしい。市民にも知らせるべきだ、快適に暮らせるように。
- ・街中の空き地の整備。

- ・市営住宅地のゴースト化。
- ・生活環境の整備、安定した経済負担の支援施策をお願い致します。
- ・人口減少を止める、角田の魅力発信し知ってもらい人口増加に貢献する。

## 6. 行財政経営

### 4 3) 広報活動による情報発信

- ・もっともっと上手な情報発信を希望します。
- ・広報車等がたまに来ますが、何を言っているのかチンプンカンプンで意味があるのでしょうか？
- ・市全体の伝播力（角田市のいい所などの紹介など）が足りない。
- ・広報くらいしか情報を取れるものがない為、現状の把握ができておらず、せっかくのアンケートなのに今と未来で役に立つ回答ができなかったなど。デジタル弱者及び自力での情報収集力の低い者にも情報が届くと良いと思います。
- ・メディアを利用したPRを大いに行っていくべき、外からの人の流入（観光）を図っていくことが必要です。
- ・一人暮らしの高齢者のサポート、子供を育てやすいようにアピールが下手、SNSなどを活用すべき、メディアも使うべき。色々やっていると思うが知らないところも多い。もっと知ってもらうようにすべき。
- ・自然災害により生活が脅かされることのない安心な町づくり、そしてそれをPRして移住者を呼び込むような政策が必要と思います。
- ・角田をもっとよそにPRする。
- ・行政として10～15年後角田市はこうありたい、こう考えて進んで行く、という姿を言葉の表現だけ並べるだけでなく、子供～大人まで、なる程こう考えているんだなと理解できるPRをお願いしたい。
- ・人口減少を止める、角田の魅力発信し知ってもらい人口増加に貢献する。
- ・若者は基本的に意見を言わないし政策に興味薄いので、若者が目につくような言い回しや、分かりやすく手当が〇〇万円出ますという広告などを回してくれたりすると良いと思います。

### 4 4) 広聴活動の推進

- ・市民の悩み事、相談事などに紙切れ1枚で済ませないで、面談し少しでも和らぐ様な対応してほしい。
- ・中途半端だと感じる所が多々あります。道の駅の使い方、メディアの使い方etc。前にまちづくりについての意見会のような集まりを募集した時も年齢制限を設けられて疎外感を感じたこともありました。まちづくりについて細かく市民に聞く機会を作ったらどうでしょうか？子供達の方が頭が柔らかくすばらしい意見が出るかもしれませんよ。

#### 45) 効率的な行政経営を目指して

- ・角田駅（2F）のホール等、営利団体にも貸してほしい。会場費が非営利より高くなるとしても、角田には市民センター位しかイベント等ができる場所がない。ウェルパークのホールも土日解放し、できるだけ多くの人に使ってもらう方が、角田市の収入にもなるのでは？ぜひ検討願います！
- ・行政の偏りが多く見られる。役所人間に有利になっている様に見えます。税金も払いたくないような気持ちです。公平な町造りをする事で人は集まります。強い弱いじゃなく公平にお願いします。
- ・国、県、市が連携して太いパイプで繋がりを望みます。設備の老朽化の整備の推進に力を入れてほしいです。
- ・現在（角田市）の環境にあった指標を見つけ、重点的に人、物、金をつぎ込んで思い切った行政を期待します。アンケートの集計はどこかの業者に依頼しないで、担当部署で目を通して下さい！！
- ・商品券のバラまき？みたいな事が起こった。どうせなら毎年してほしい。
- ・商品券の購入する際に10組まで購入可能な事と、例としてなのですが中島地区、梶賀地区に別けて皆さんが購入出来るように考えて欲しいです。一緒にすると買えない人買える人が出てきて問題が出ますね。
- ・市役所庁舎閉庁後、延々と照明が点灯し、恐らく残業と想像するが、時短の昨今残業の原因は何か疑問。①仕事が多すぎる②効率的な考えをしていない③本人能力不足等か。電気料高騰の今、税金の無駄使いではないか。市民課窓口対応職員の業務態度、あまりに失礼。本人の能力を考えた適材適所の配置人事をすべき。
- ・亘理町を見習ってほしい。
- ・角田市の人口に対して職員が多すぎる、減らすこと。
- ・市役所の南側庁舎の窓ガラスに日除けのためか模造紙の様な紙を使用し雑な貼り方は見た目もですが顔となる角田市の庁舎としては考えて頂きたいです。
- ・人口減＝税収減、人口増＝税収増と都合良く行かない、矛盾している所もあるが、納税者は基本的に納めているはず！市町村、県、国の税金の使い方に様々な問題がある点など見直して、必要な未来の暮らし、平和、気候変動改善等に使う役人、政治家を選ぶ事が必要と思う。
- ・独身の者にとっては住民税など収入が少なくても高いと思います。
- ・物価高騰で商品券でしたが商品券はお釣りも出ない、ある場所しか使えないし現金の方がいろんなところで使えるので次は現金がいい！！
- ・このアンケートに回答するメリットがあまりない気がします。たとえば、回答した人に商品券プレゼントとか、クーポン券などをもらえたらアンケートの回答率が上がると思う。送られて来ても無視する人が多かったら資源の無駄なので！
- ・次ページ取り組み内容⑪田園ホールにおける自衛隊第6音楽隊のチケット配布方法について。配布日時を先に案内して開始時間前より炎天下で並ばせ、数時間経過したあげく予定枚数を超えた為に整理券をもらえなかった人数を把握していますか？他市のほとんどは抽選形式にしています。次年度より検討願います。田園ホールの受付の方の配布終了をお知らせをする際の横柄な態度も改善が必要です。

- ・市職員一人一人の質向上に最善を尽くしているかをまず見直された方が良いのでは…？
- ・市職員、学校の先生方はもう少し努力すべき。
- ・角田に住む前に5つの市町村に住んでいましたが、角田市は水道料金が高かったです。これから物価が上がっていく不安がありますので、生活には欠かせない水道を低価格に抑える工夫をして頂けると嬉しいです。ふるさと納税活用しては？
- ・市政も議員も票確保目当ての高齢者中心の古い考えの施策ばかりで若い世代には魅力的ではない。これではいくら企業誘致しても従業員が角田に住むことはない。さらにバスやJRなど公共交通機関がないのは致命的。リカバリーできるドラスティブな施策を実現できる若い世代の首長を求む。
- ・行政主導にしないことに尽きる
- ・ふるさと納税や、ネーミングライツなど、歳入アップの取組を行っているのは評価する。ウェルパークのZEB化など、環境配慮の取組にも評価するが、子育て世代として、子育て環境整備より、高齢者福祉の充実に入力しているように感じる。有効な補助金がある方は理解するが築20年のウェルパーク改修するよりも、学校のトイレ改修や体育館の雨漏れ改修など子育て環境、スポーツ環境もどうかして欲しい。そのための歳入アップではないのか？  
人口減少、少子高齢化が進む中、限られた財源をどう使うか、小さい市町村だからできるやり方もあると思う。
- ・若者の意見を取り入れられるように行政での若者の雇用、起用。

#### 4 6) DXによる新しい行政の確立

- ・ワンセグの電波が市内の広い範囲で弱い。
- ・市の公式LINEは早急に開設し、行政と市民の距離感を近くするべき。  
現時点では、角田市の広報が広報誌のみの印象であり、情報の伝達スピードが悪い。  
丸森町の広報『facebook』を見習い、市でどのような事が起きてるかもっと身近に発信してほしい。
- ・YouTubeに角田の名所を巡った動画を投稿したり、InstagramやTikTokでのLIVE配信を行って角田の良いところを若い世代にも発信していくのが良いと思います。